

## 第3章 アンケート調査結果(当事者)

### (1) 調査票の回答者

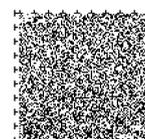
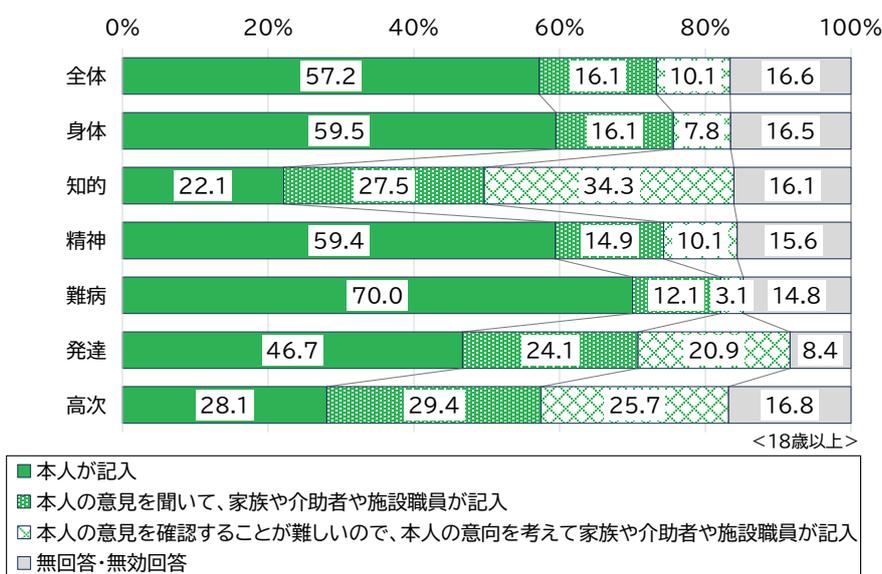
#### ア 調査票の回答者

調査票の回答者について、18歳以上の方全体では、「本人が記入」の回答が57.2%と最も高く、次いで、「本人の意見を聞いて、家族や介助者や施設職員が記入」の回答が16.1%となっている。

障がい種別に見ると、[難病]において「本人が記入」の回答が、[知的]、[高次]において「本人の意見を聞いて、家族や介助者や施設職員が記入」の回答が、[知的]、[発達]、[高次]において「本人の意見を確かめることが難しいので、本人の意向を考えて家族や介助者や施設職員が記入」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問1】 この調査票はどなたが記入されますか。(単一回答)

図表 3-1 調査票の回答者(18歳以上)

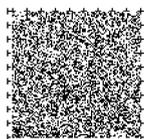
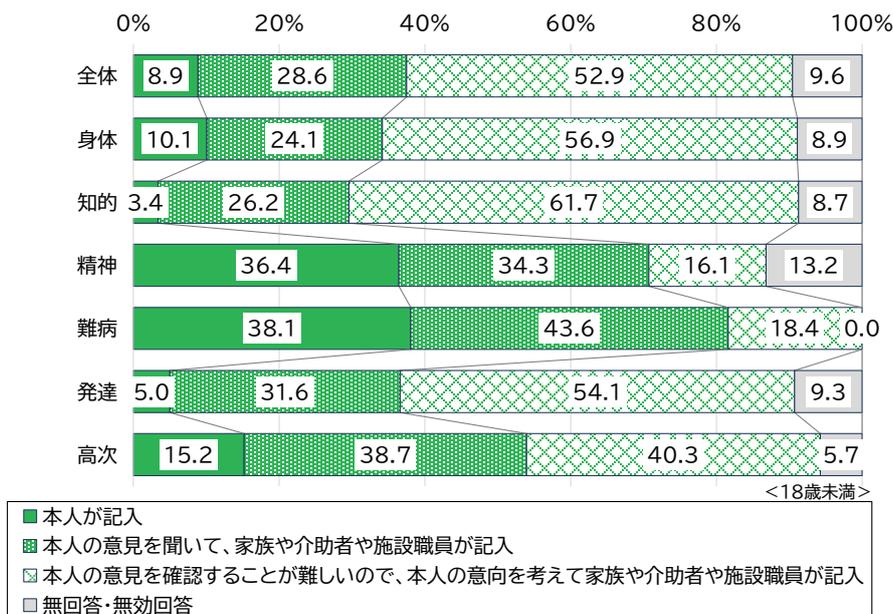


18歳未満の方全体では、「本人の意見を確認することが難しいので、本人の意向を考えて家族や介助者や施設職員が記入」の回答が52.9%と最も高く、次いで「本人の意見を聞いて、家族や介助者や施設職員が記入」の回答が28.6%、「本人が記入」の回答が8.9%となっている。

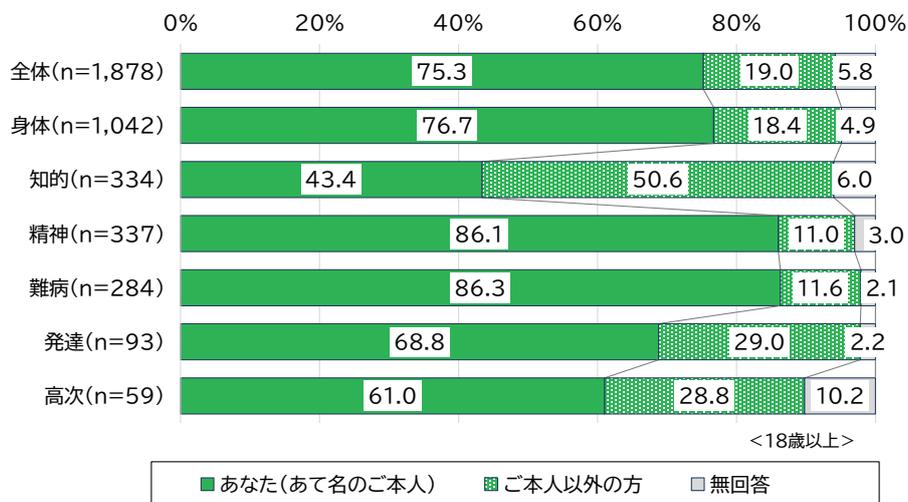
障がい種別に見ると、[精神]、[難病]において、「本人が記入」の回答が、[難病]、[高次]において「本人の意見を聞いて、家族や介助者や施設職員が記入」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問1】 この調査票はどなたが記入されますか。(単一回答)

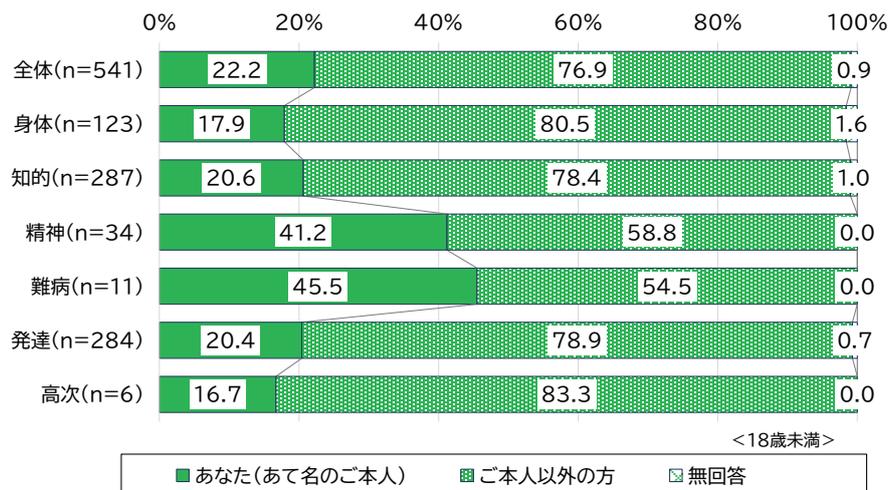
図表 3-2 調査票の回答者(18歳未満)



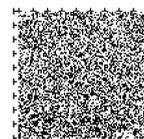
図表 3-3 参考:前回調査結果 調査票の回答者(18歳以上)<sup>1</sup>



図表 3-4 参考:前回調査結果 調査票の回答者(18歳未満)



<sup>1</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)



## (2) ご本人について

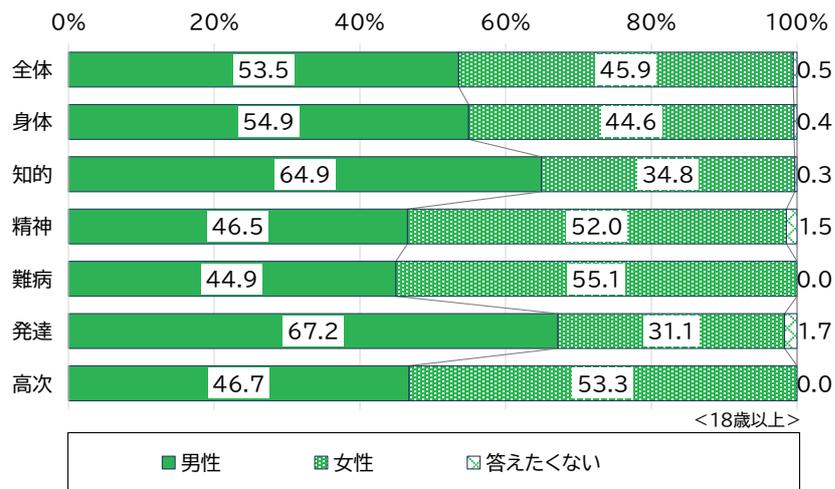
### ア 性別

性別について、18歳以上の方全体では、「男性」の回答が53.5%、「女性」の回答が45.9%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]、[発達]において「男性」の回答が、全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問2\_1】 あなた(あて名のご本人)の性別を教えてください。(単一回答)

図表 3-5 性別(18歳以上)

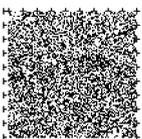
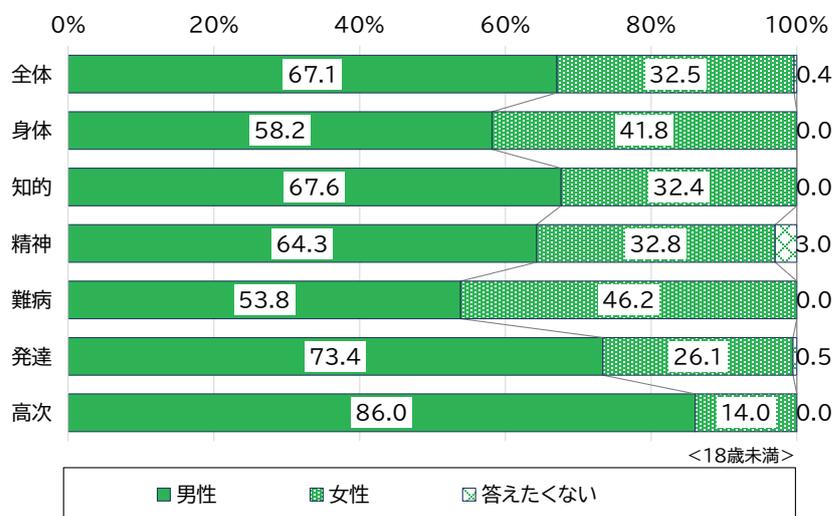


18歳未満の方全体では、「男性」の回答が67.1%、「女性」の回答が32.5%となっている。

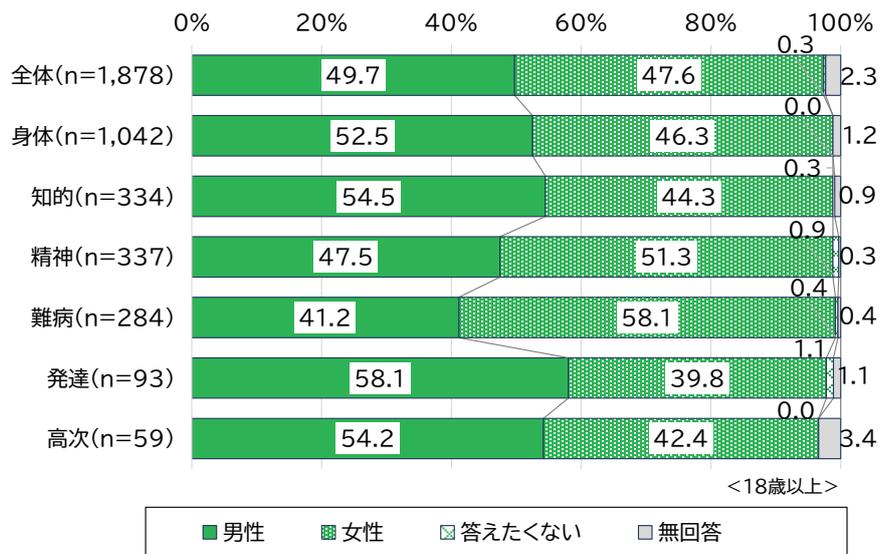
障がい種別に見ると、[高次]において「男性」の回答が、[難病]において「女性」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問2\_1】 あなた(あて名のご本人)の性別を教えてください。(単一回答)

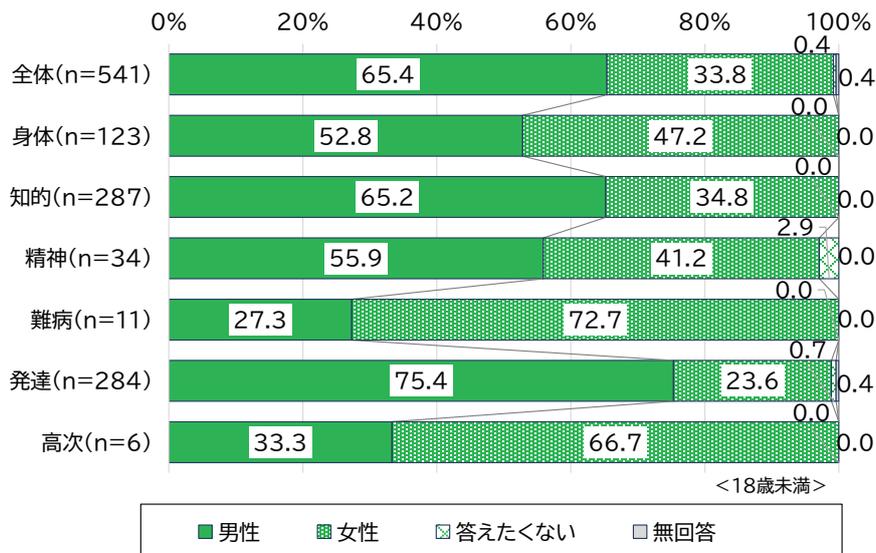
図表 3-6 性別(18歳未満)



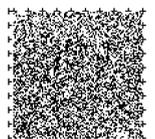
図表 3-7 参考:前回調査結果 性別(18歳以上)<sup>2</sup>



図表 3-8 参考:前回調査結果 性別(18歳未満)



<sup>2</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)



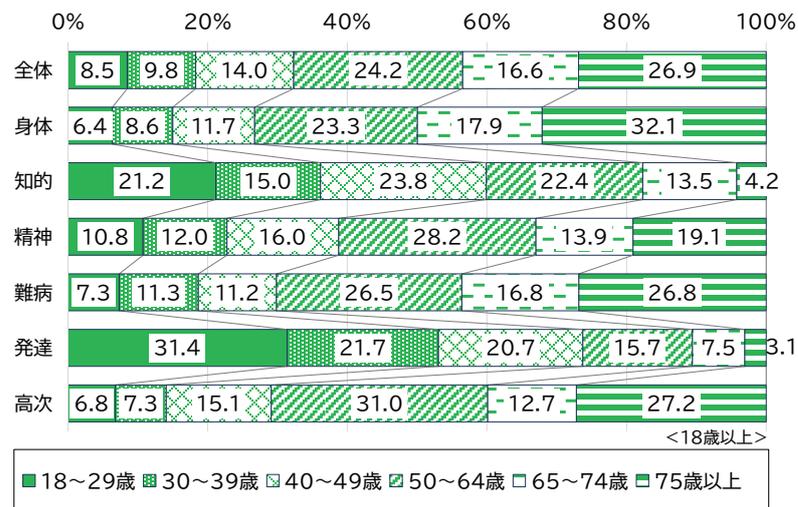
## イ 年齢

年齢について、18歳以上の方全体では、「75歳以上」の回答が26.9%、「50～64歳」の回答が24.2%、「65～74歳」の回答が16.6%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]、[発達]において全体と比較して年齢が若い方の回答が多くなっている。

【18歳以上 問2.2】 あなたの年齢(令和4年4月1日現在)を教えてください。(数値による回答)

図表 3-9 年齢(18歳以上)

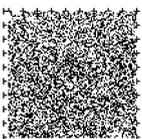
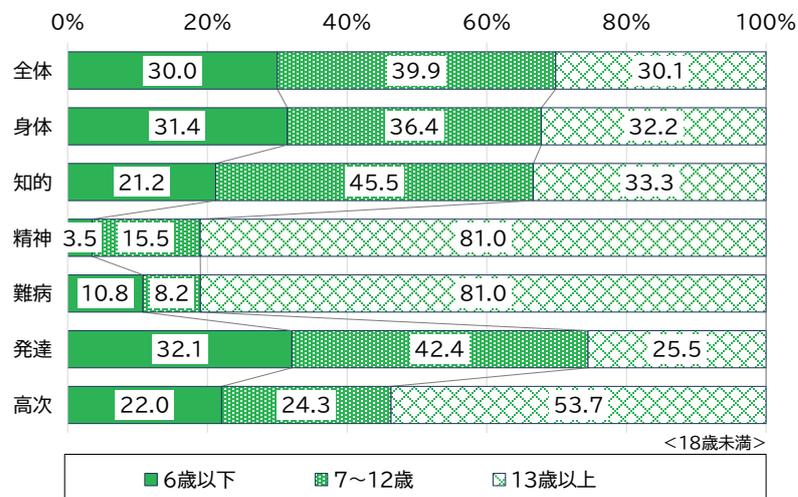


18歳未満の方全体では、「7～12歳」の回答が39.9%と最も高く、次いで「13歳以上」の回答が30.1%、「6歳以下」の回答が30.0%となっている。

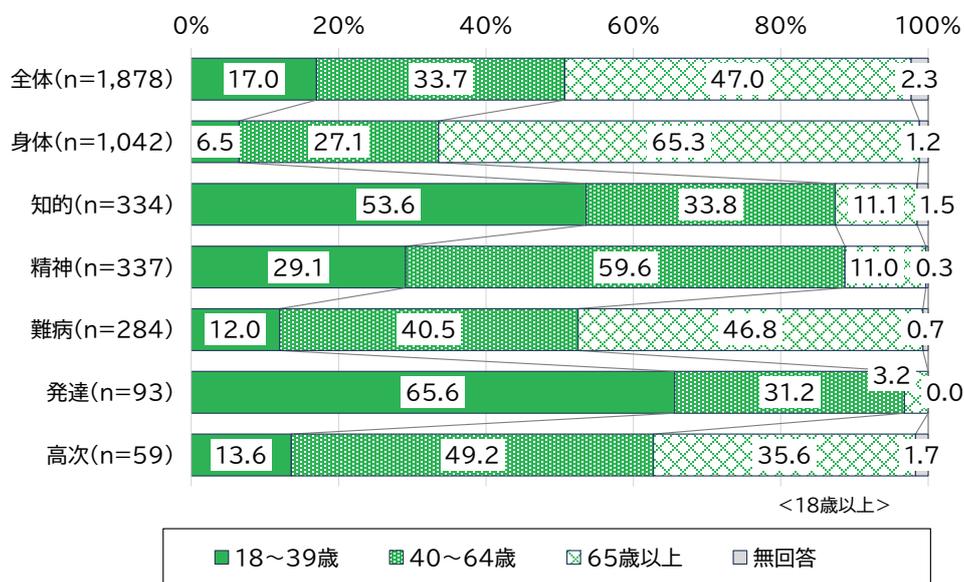
障がい種別に見ると、[精神]、[難病]、[高次]において、「13歳以上」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問2.2】 あなたの年齢(令和4年4月1日現在)をお答えください。(数値による回答)

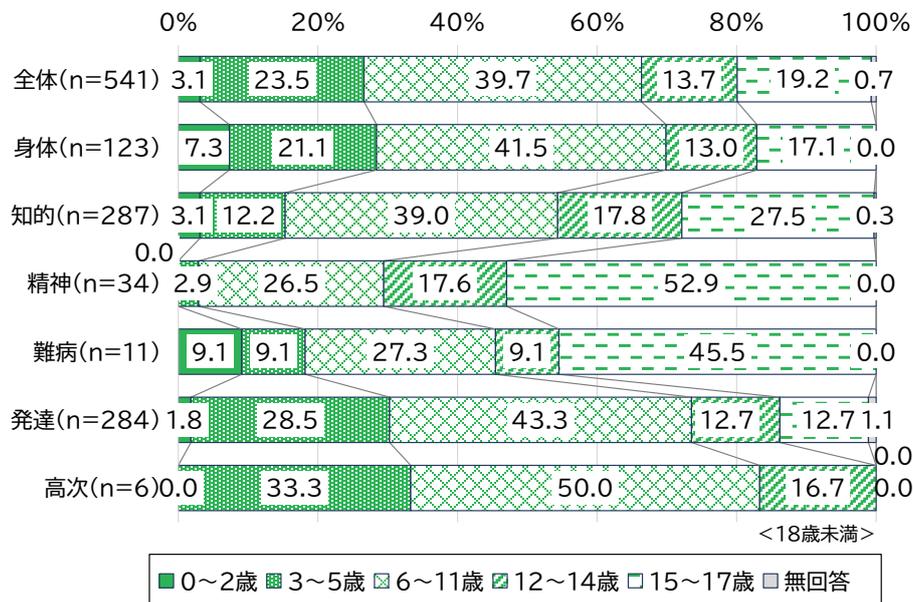
図表 3-10 年齢(18歳未満)



図表 3-11 参考:前回調査結果 年齢(18歳以上)<sup>3</sup>



図表 3-12 参考:前回調査結果 年齢(18歳未満)



<sup>3</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)  
なお、年齢について今回調査では数値で尋ねているが、前回調査では選択肢の中から該当する年齢を選択する形式で尋ねている。

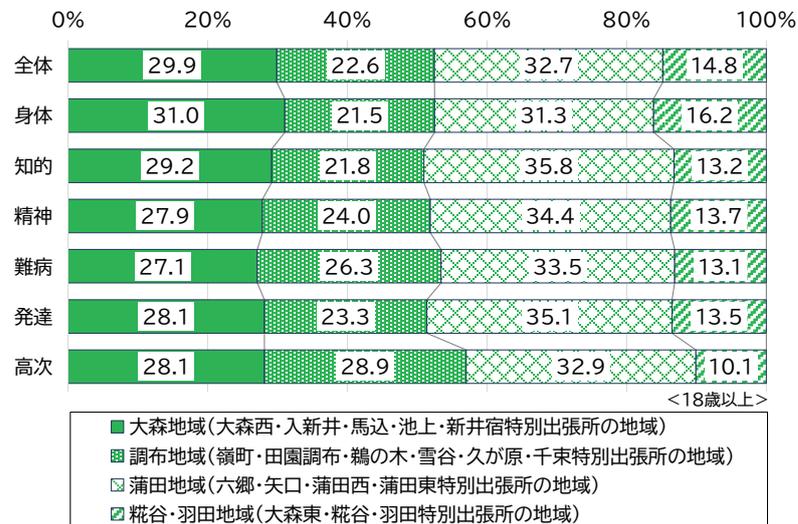


## ウ 居住地域

居住地域について、18 歳以上の方全体では、「蒲田地域」が 32.7%と最も高く、次いで「大森地域」が 29.9%、「調布地域」が 22.6%、「糀谷・羽田地域」が 14.8%となっている。

【18 歳以上 問 3】 あなたがお住まいの地域はどこですか。(単一回答)

図表 3-13 居住地域(18 歳以上)

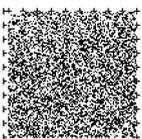
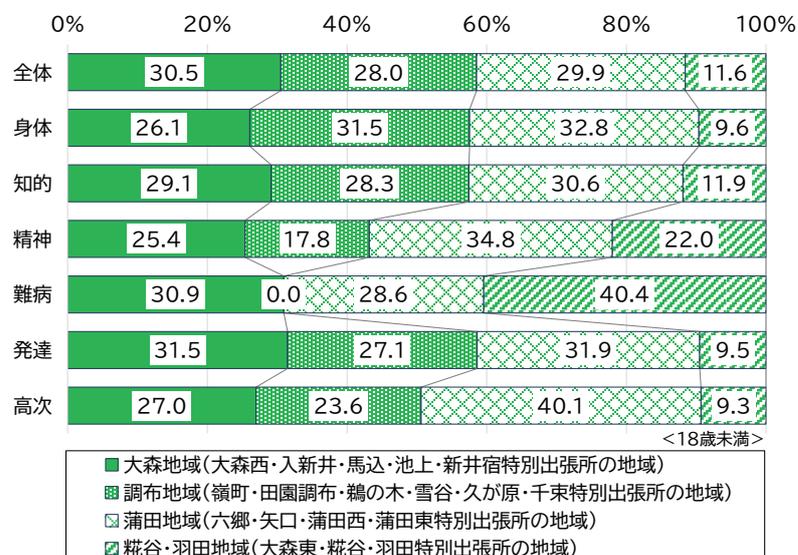


18 歳未満の方全体では、「大森地域」が 30.5%と最も高く、次いで「蒲田地域」が 29.9%、「調布地域」が 28.0%、「糀谷・羽田地域」が 11.6%となっている。

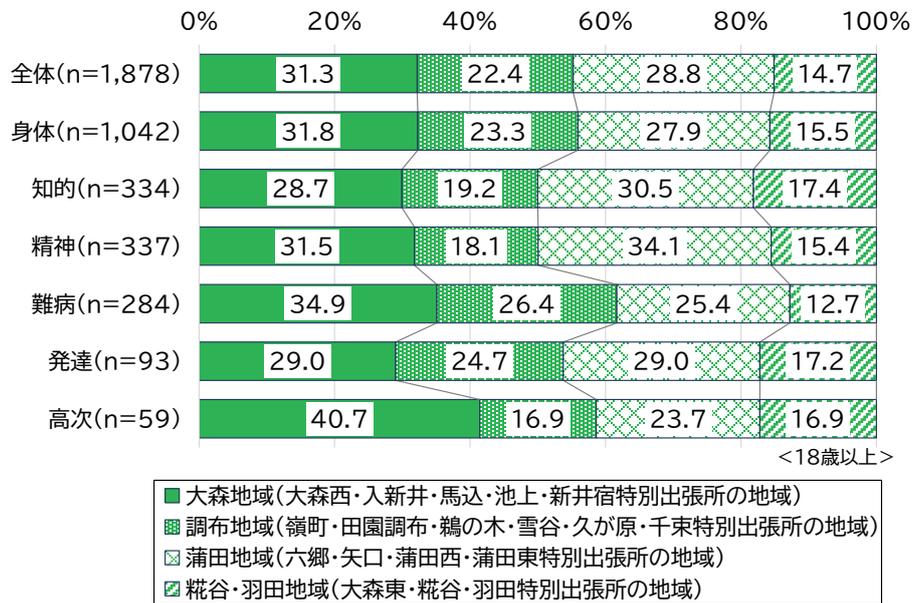
障がい種別に見ると、[精神]、[難病]において「糀谷・羽田地域」の回答が、[高次]において「蒲田地域」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18 歳未満 問 3】 あなたがお住まいの地域はどこですか。(単一回答)

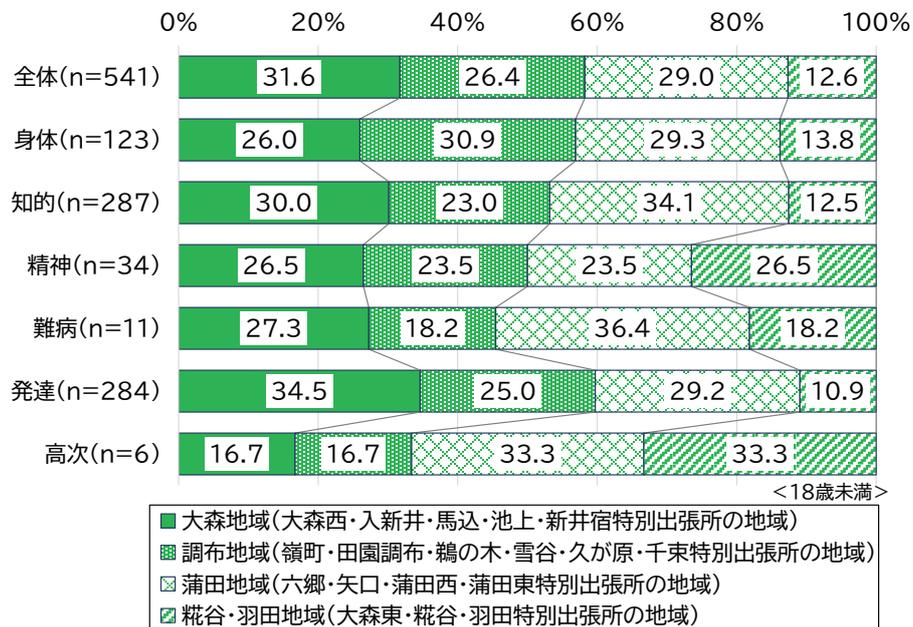
図表 3-14 居住地域(18 歳未満)



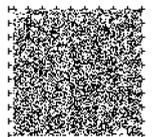
図表 3-15 参考:前回調査結果 居住地域(18歳以上)<sup>4</sup>



図表 3-16 参考:前回調査結果 居住地域(18歳未満)



<sup>4</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)

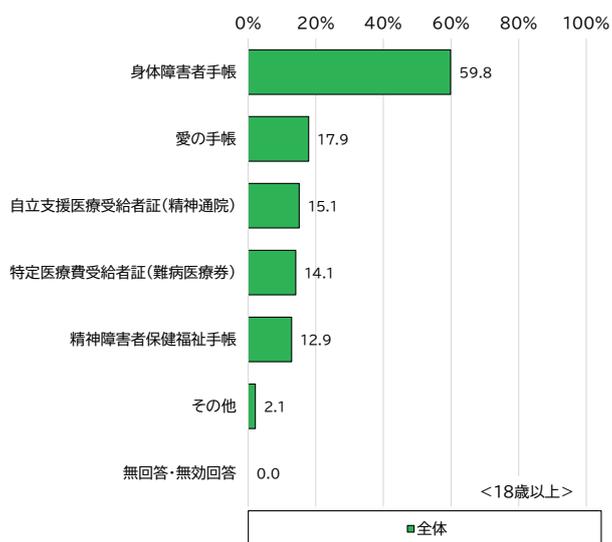


## エ 手帳・受給者証の保有状況

手帳・受給者証の保有状況について、18歳以上の方全体では、「身体障害者手帳」の回答が59.8%と最も高く、次いで「愛の手帳」の回答が17.9%、「自立支援医療受給者証(精神通院)」の回答が15.1%となっている。

【18歳以上 問4\_1】 あなたがお持ちの手帳・受給者証はどれですか。(複数回答)

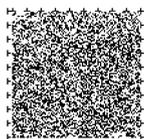
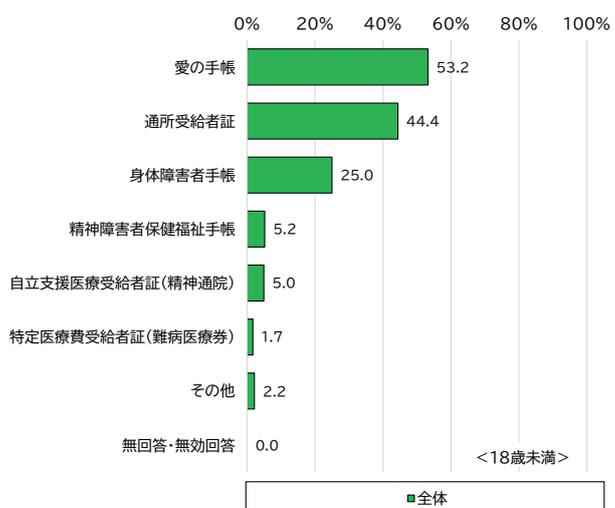
図表 3-17 手帳・受給者証の保有状況(18歳以上)



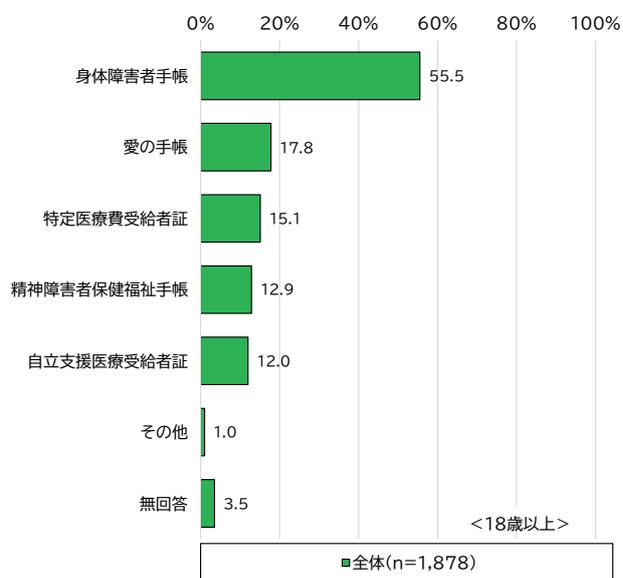
18歳未満の方全体では、「愛の手帳」の回答が53.2%と最も高く、次いで「通所受給者証」の回答が44.4%、「身体障害者手帳」の回答が25.0%となっている。

【18歳未満 問4\_1】 あなたがお持ちの手帳・受給者証はどれですか。(複数回答)

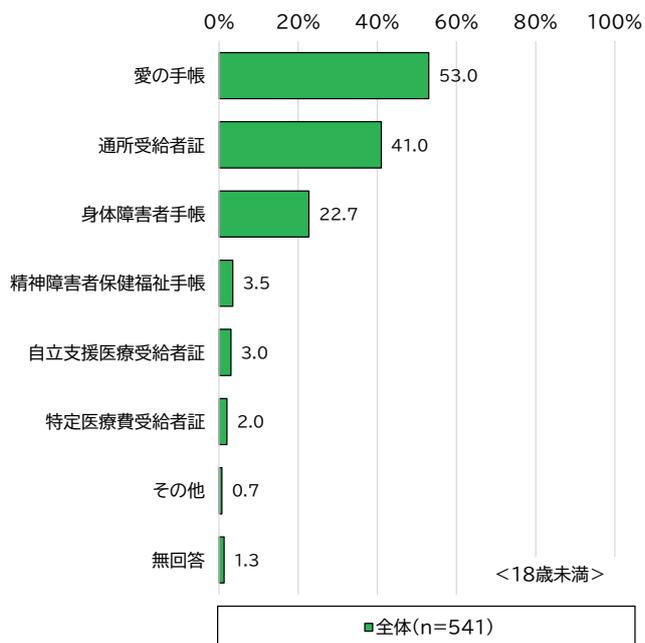
図表 3-18 手帳・受給者証の保有状況(18歳未満)



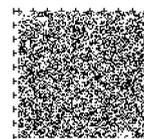
図表 3-19 参考:前回調査結果 手帳・受給者証の保有状況(18歳以上)<sup>5</sup>



図表 3-20 参考:前回調査結果 手帳・受給者証の保有状況(18歳未満)



<sup>5</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)

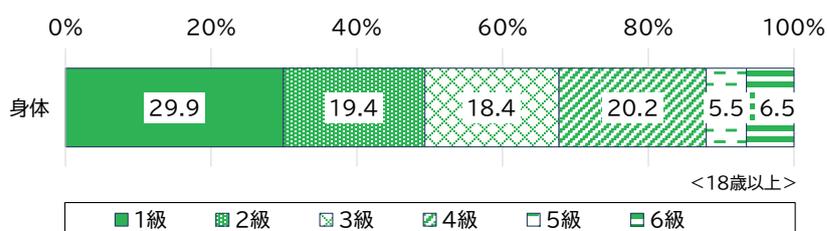


## オ 身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級について、18歳以上の方では、「1級」の回答が29.9%と最も高く、次いで「4級」の回答が20.2%、「2級」の回答が19.4%となっている。

【18歳以上 問4\_1】身体障害者手帳の等級(単一回答)

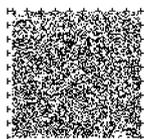
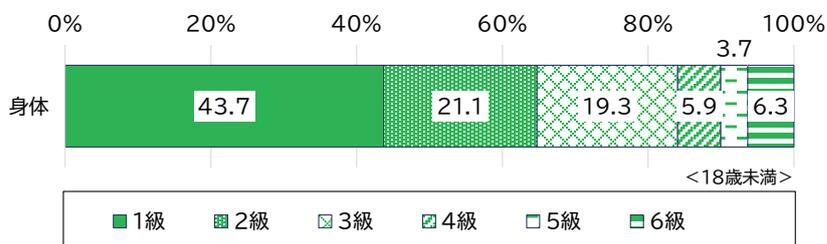
図表 3-21 身体障害者手帳の等級(18歳以上)<sup>6</sup>



18歳未満の方では、「1級」の回答が43.7%と最も高く、次いで「2級」の回答が21.1%、「3級」の回答が19.3%となっている。

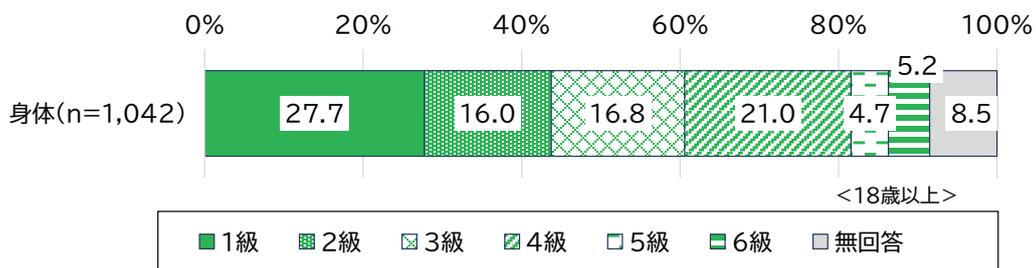
【18歳未満 問4\_1】身体障害者手帳の等級(単一回答)

図表 3-22 身体障害者手帳の等級(18歳未満)

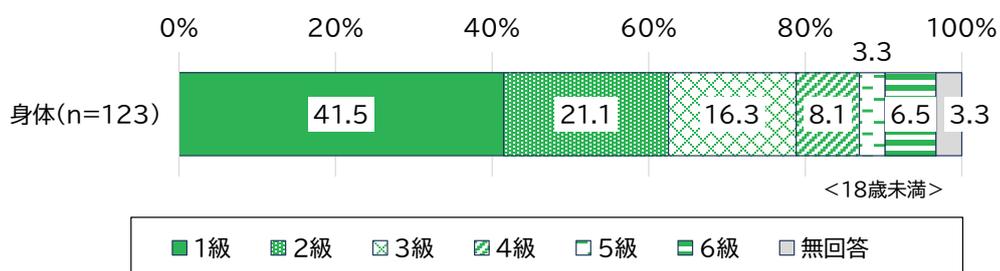


<sup>6</sup> 身体障害者手帳を保有していると回答した方のみ集計対象。(18歳未満も同様)

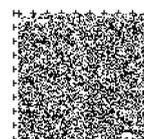
図表 3-23 参考:前回調査結果 身体障害者手帳の等級(18歳以上)<sup>7</sup>



図表 3-24 参考:前回調査結果 身体障害者手帳の等級(18歳未満)



<sup>7</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)

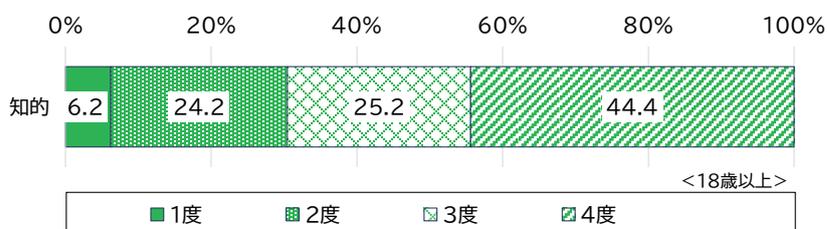


## カ 愛の手帳の等級

愛の手帳の等級について、18歳以上の方では、「4度」の回答が44.4%と最も高く、次いで「3度」の回答が25.2%、「2度」の回答が24.2%となっている。

【18歳以上 問4\_1】愛の手帳の等級(単一回答)

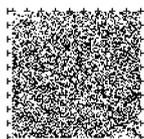
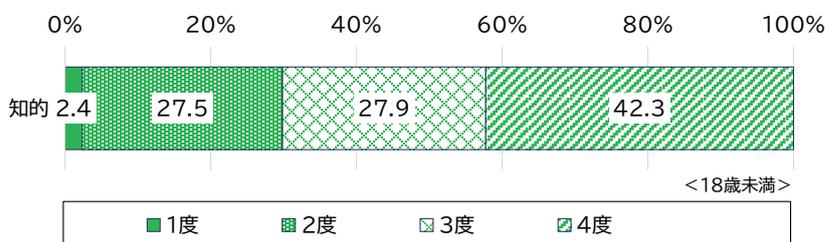
図表 3-25 愛の手帳の等級(18歳以上)<sup>8</sup>



18歳未満の方では、「4度」の回答が42.3%と最も高く、次いで「3度」の回答が27.9%、「2度」の回答が27.5%となっている。

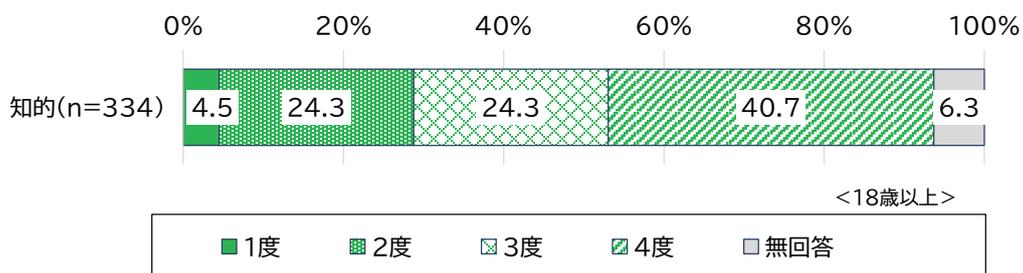
【18歳未満 問4\_1】愛の手帳の等級(単一回答)

図表 3-26 愛の手帳の等級(18歳未満)

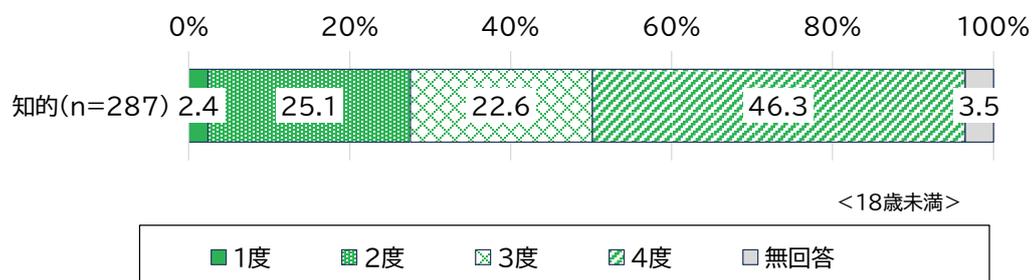


<sup>8</sup> 愛の手帳を保有していると回答した方のみ集計対象。(18歳未満も同様)

図表 3-27 参考:前回調査結果 愛の手帳の等級(18歳以上)<sup>9</sup>



図表 3-28 参考:前回調査結果 愛の手帳の等級(18歳未満)



<sup>9</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)

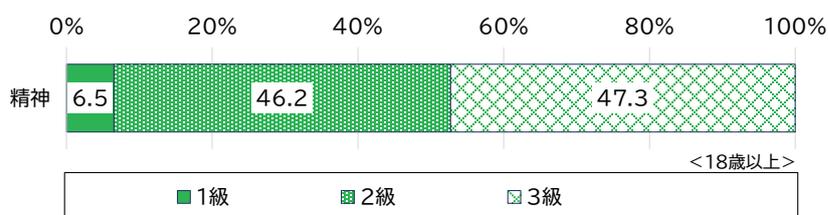


## キ 精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳の等級について、18歳以上の方では、「3級」の回答が47.3%と最も高く、次いで「2級」の回答が46.2%、「1級」の回答が6.5%となっている。

【18歳以上 問4\_1】精神障害者保健福祉手帳の等級(単一回答)

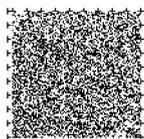
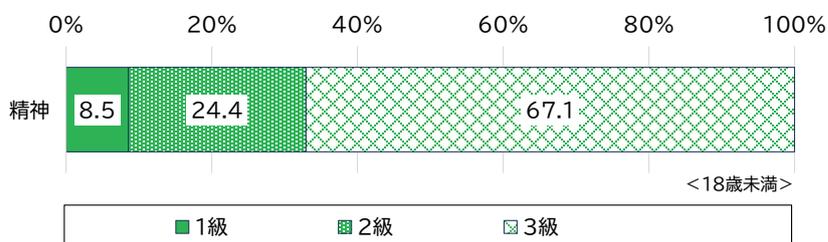
図表 3-29 精神障害者保健福祉手帳の等級(18歳以上)<sup>10</sup>



18歳未満の方では、「3級」の回答が67.1%と最も高く、次いで「2級」の回答が24.4%、「1級」の回答が8.5%となっている。

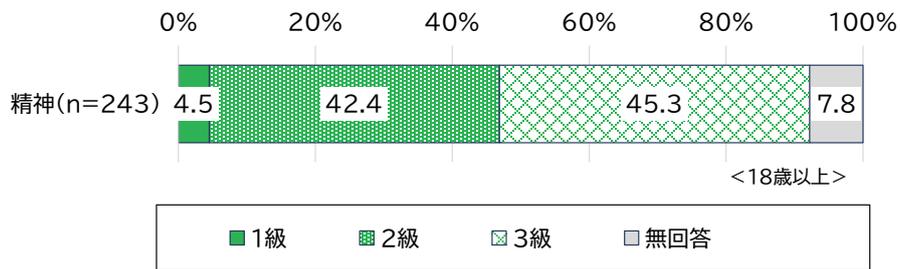
【18歳未満 問4\_1】精神障害者保健福祉手帳の等級(単一回答)

図表 3-30 精神障害者保健福祉手帳の等級(18歳未満)

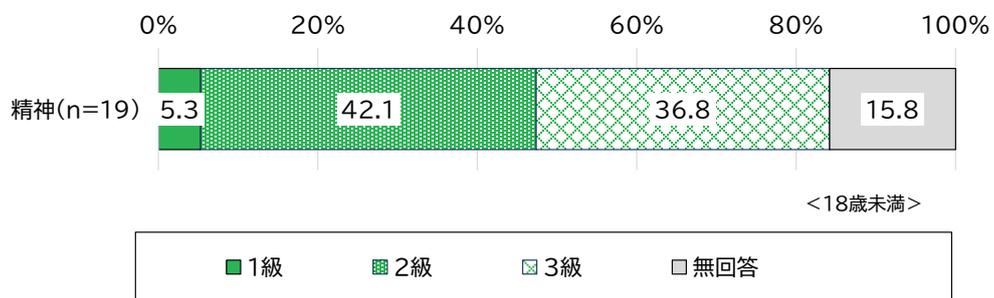


<sup>10</sup> 精神障害者保健福祉手帳を保有していると回答した方のみ集計対象。(18歳未満も同様)

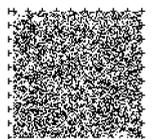
図表 3-31 参考:前回調査結果 精神障害者保健福祉手帳の等級(18歳以上)<sup>11</sup>



図表 3-32 参考:前回調査結果 精神障害者保健福祉手帳の等級(18歳未満)



<sup>11</sup> 前回調査結果は、居住地及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)

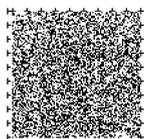
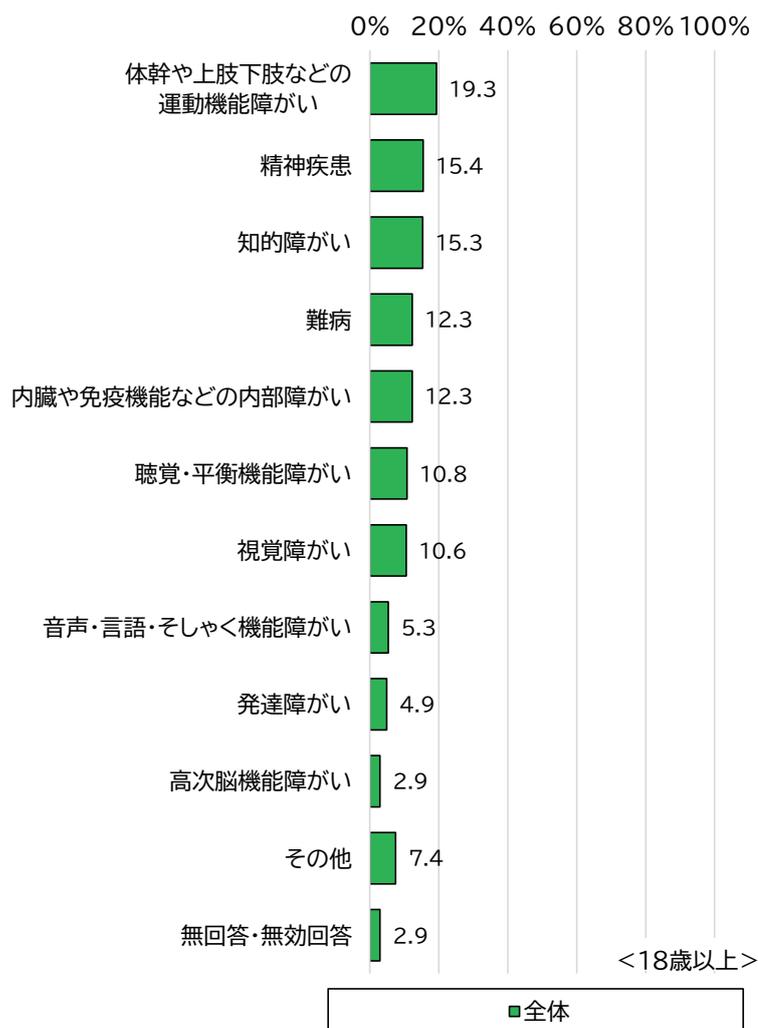


## ク 障害者手帳や受給者証を持つようになったきっかけ

障害者手帳や受給者証を持つようになったきっかけについて、18 歳以上の方全体では、「体幹や上肢下肢などの運動機能障がい」の回答が 19.3%と最も高く、次いで「精神疾患」の回答が 15.4%、「知的障がい」の回答が 15.3%となっている。

【18 歳以上 問 4\_2】 あなたが障がい福祉のサービスを使ったり、手帳や受給者証を持つきっかけとなったのは、次のうちどれですか。（複数回答）

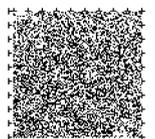
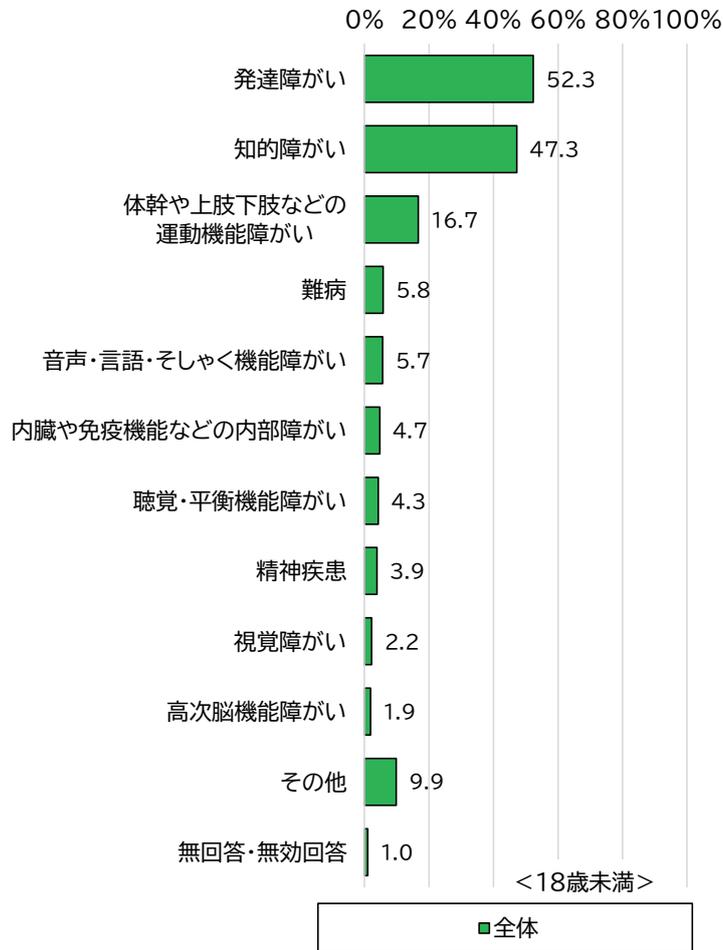
図表 3-33 障害者手帳や受給者証を持つようになったきっかけ(18 歳以上)



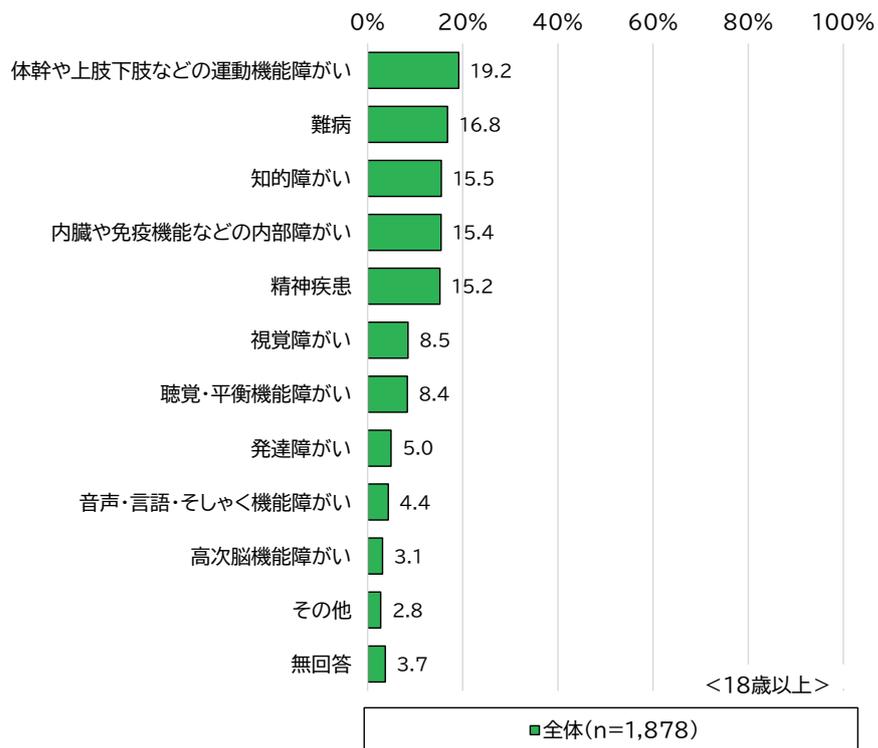
18 歳未満の方全体では、「発達障がい」の回答が 52.3%と最も高く、次いで「知的障がい」の回答が 47.3%、「体幹や上肢下肢などの運動機能障がい」の回答が 16.7%となっている。

【18 歳未満 問 4\_2】 あなたが障がい福祉のサービスを使ったり、手帳や受給者証を持つきっかけとなったのは、次のうちどれですか。(複数回答)

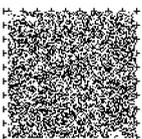
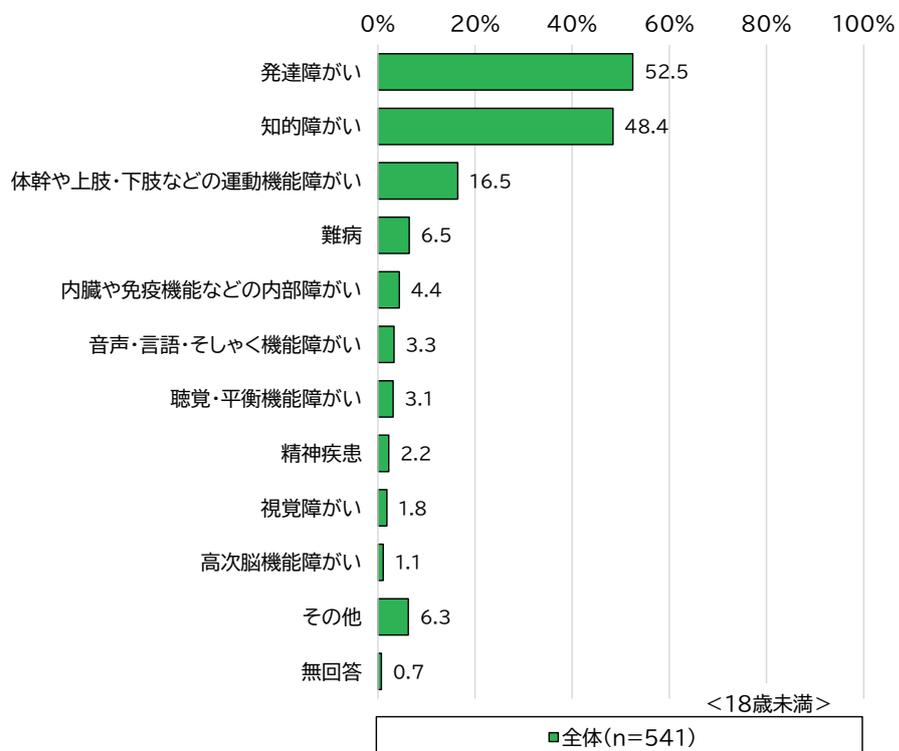
図表 3-34 障害者手帳や受給者証を持つようになったきっかけ(18 歳未満)



図表 3-35 参考:前回調査結果 障害者手帳や受給者証を持つようになったきっかけ(18 歳以上)<sup>12</sup>



図表 3-36 参考:前回調査結果 障害者手帳や受給者証を持つようになったきっかけ(18 歳未満)



<sup>12</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18 歳未満も同様)

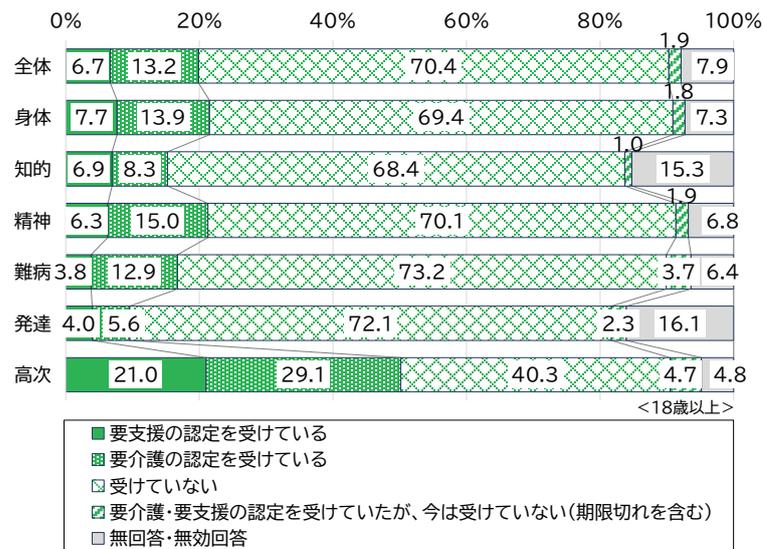
## ケ 要支援・要介護認定の有無

要支援・要介護認定の有無について、18歳以上の方全体では、「受けていない」の回答が70.4%と最も高く、次いで「要介護の認定を受けている」の回答が13.2%、「要支援の認定を受けている」の回答が6.7%となっている。

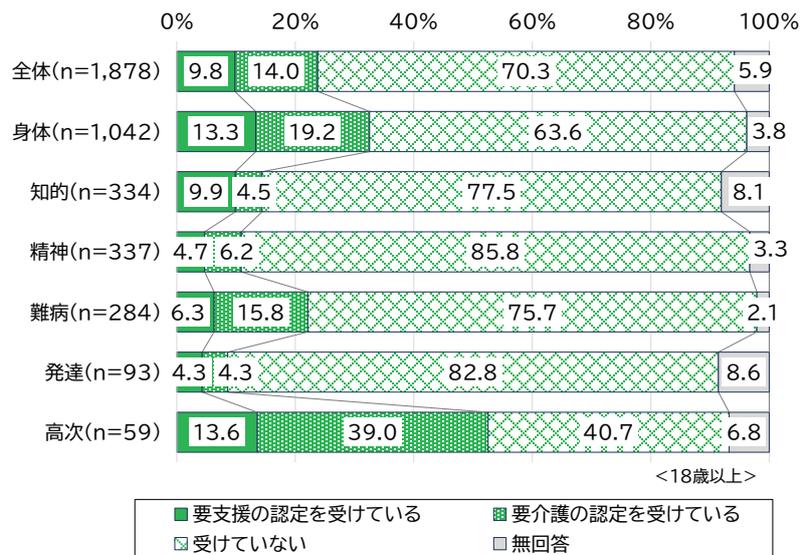
障がい種別に見ると、[高次]において、「要支援の認定を受けている」、「要介護の認定を受けている」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問5】 あなたは、介護保険制度で要支援または要介護の認定を受けていますか。(単一回答)

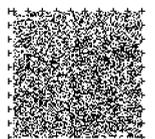
図表 3-37 要支援・要介護認定の有無(18歳以上)



図表 3-38 参考:前回調査結果 要支援・要介護認定の有無(18歳以上)<sup>13</sup>



<sup>13</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)



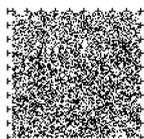
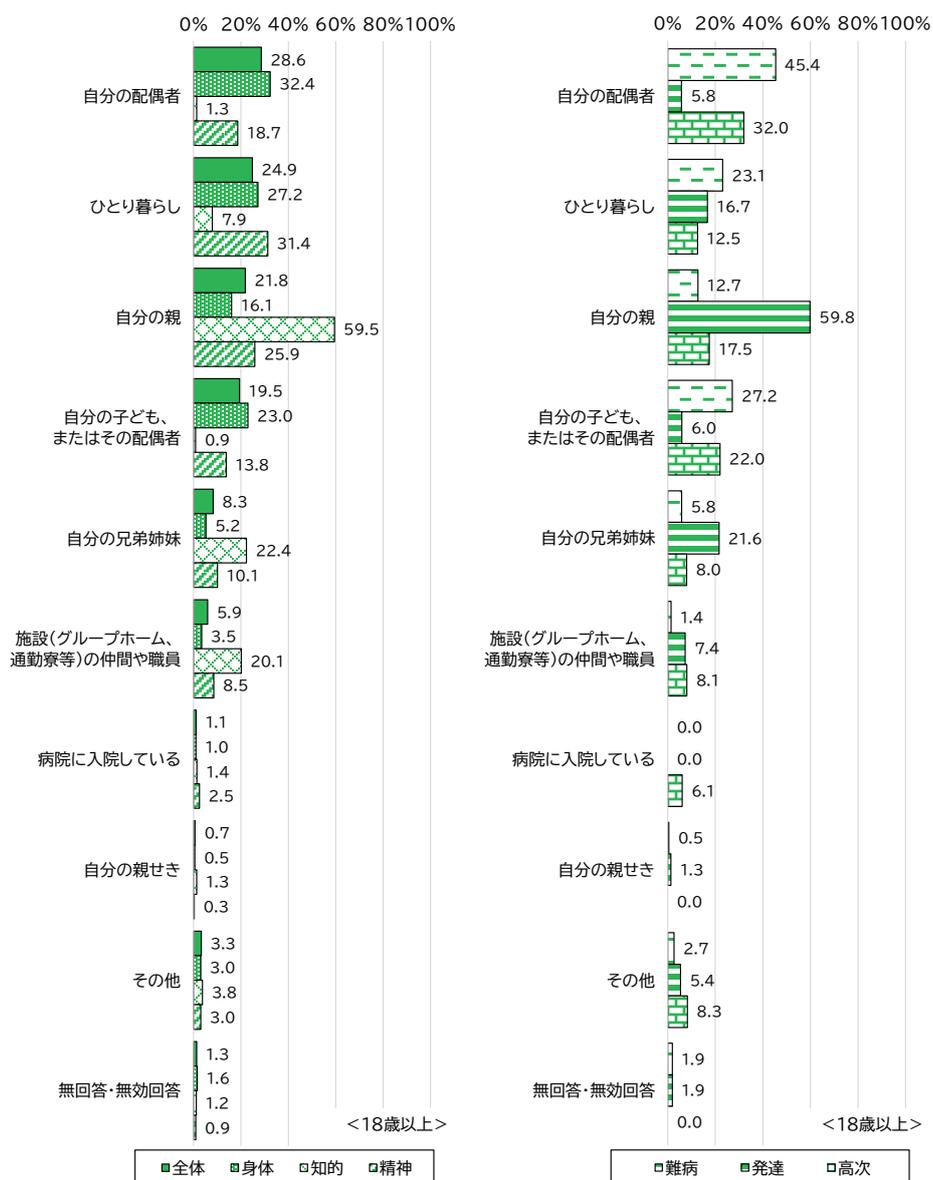
## コ 一緒に暮らしている人

一緒に暮らしている人について、18歳以上の方全体では、「自分の配偶者」の回答が28.6%と最も高く、次いで「ひとり暮らし」の回答が24.9%、「自分の親」の回答が21.8%となっている。

障がい種別に見ると、[難病]において「自分の配偶者」の回答が、[知的]、[発達]において「自分の親」、「自分の兄弟姉妹」の回答が、[知的]において「施設(グループホーム、通園寮等)の仲間や職員」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問6】あなたは、どなたと暮らしていますか。(複数回答)

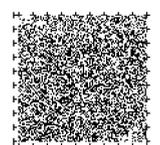
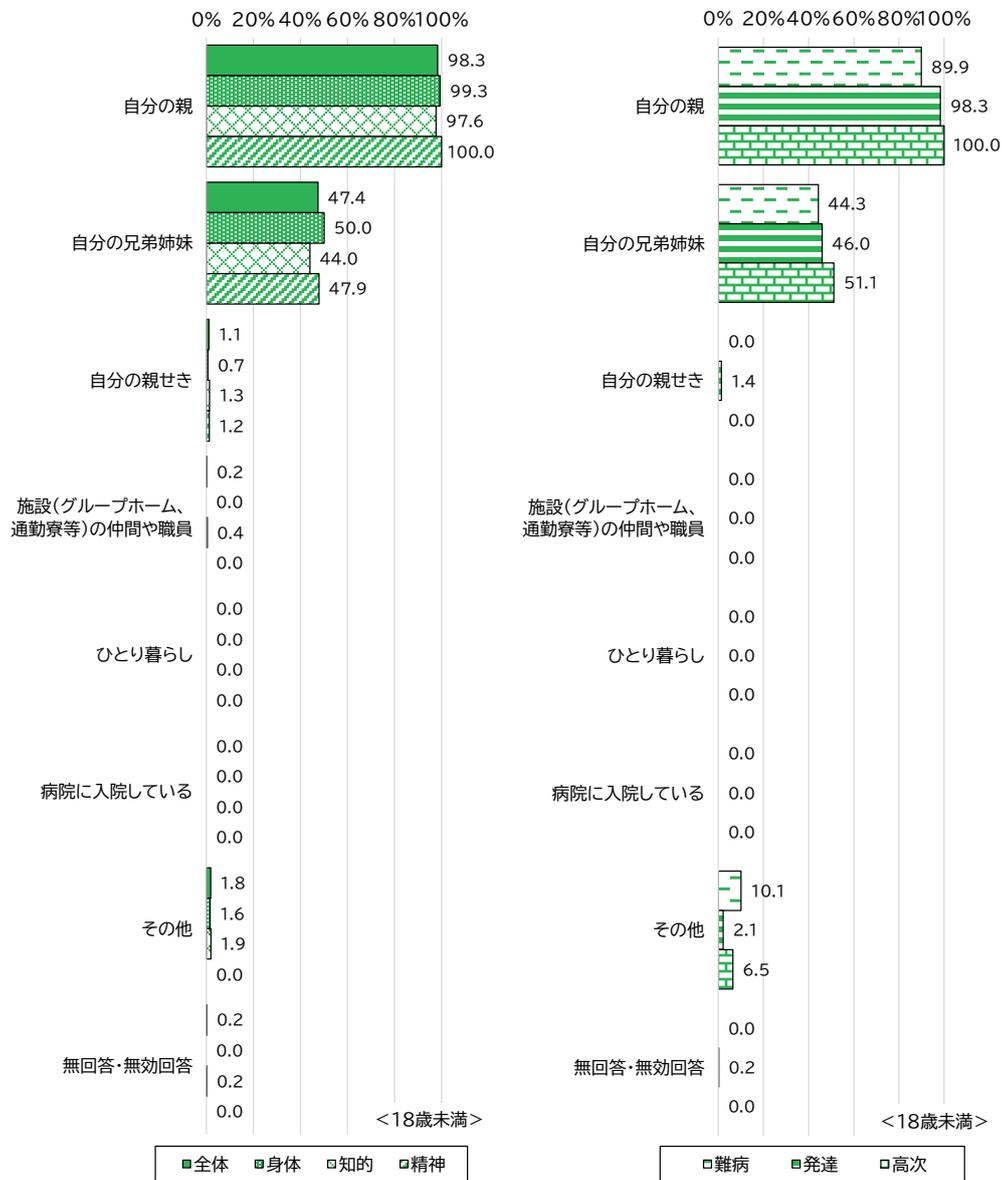
図表 3-39 一緒に暮らしている人(18歳以上)



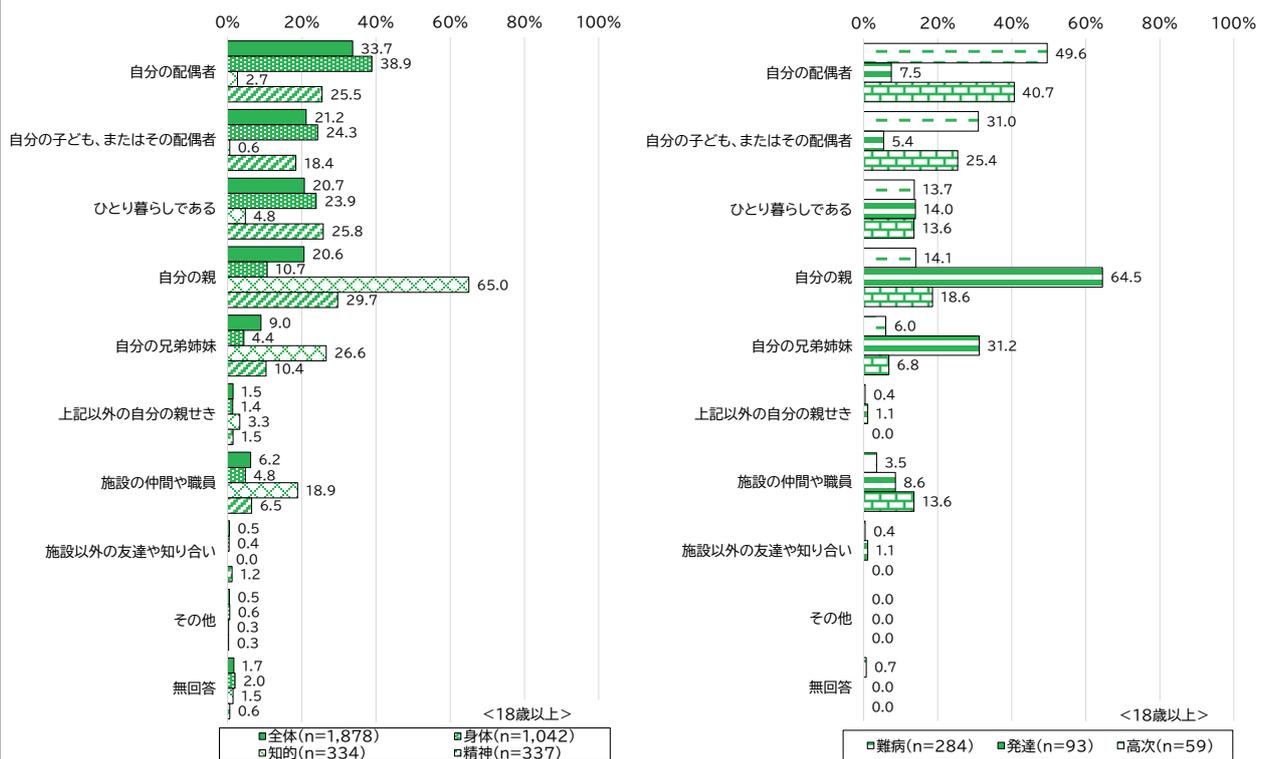
18歳未満の方全体では、「自分の親」の回答が98.3%と最も高く、次いで「自分の兄弟姉妹」の回答が47.4%となっている。

【18歳未満 問5】あなたは、どなたと暮らしていますか。(複数回答)

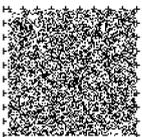
図表 3-40 一緒に暮らしている人(18歳未満)



図表 3-41 参考:前回調査結果 一緒に暮らしている人(18歳以上)<sup>14</sup>



<sup>14</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。なお、「上記以外の自分の親せき」は、調査票上では「2～5以外の自分の親せき」となっている。



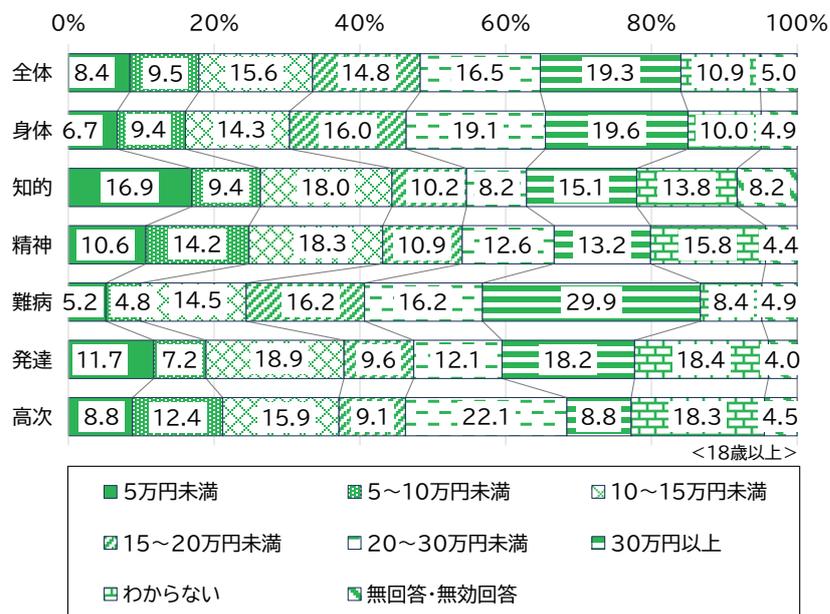
## サ 世帯の平均月収

世帯の平均月収について、18歳以上の方全体では、「30万円以上」の回答が19.3%と最も高く、次いで「20～30万円未満」の回答が16.5%、「10～15万円未満」の回答が15.6%となっている。また、「5万円未満」と「5～10万円未満」を合わせた回答は、17.9%となっている。

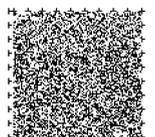
障がい種別に見ると、[知的]、[精神]において収入が低い方の回答が全体と比較して高くなっている。一方で、[難病]において「30万円以上」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問7】 あなたの世帯の1か月の平均収入はいくらですか。(単一回答)

図表 3-42 世帯の平均月収(18歳以上)<sup>15</sup>



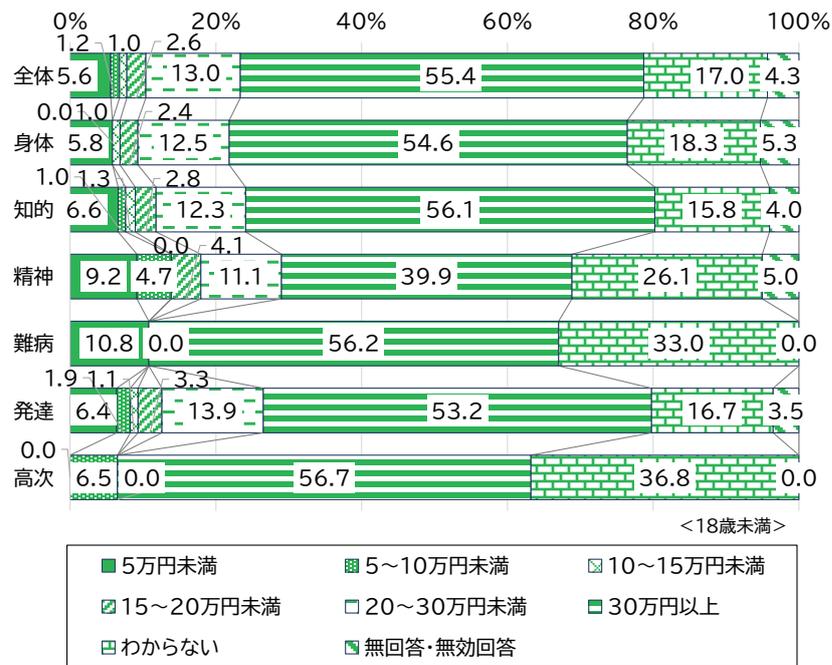
<sup>15</sup> 「5万円未満」の区分について、調査票においては、「1万円未満」、「1～3万円未満」、「3～5万円未満」に分けて尋ねているが、表記の都合上、「5万円未満」にまとめて記載している。詳細な結果は資料編を参照。



18歳未満の方全体では、「30万円以上」の回答が55.4%と最も高く、次いで「わからない」の回答が17.0%、「20～30万円未満」の回答が13.0%となっている。また、「5万円未満」と「5～10万円未満」を合わせた回答は、6.8%となっている。

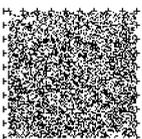
【18歳未満 問6】 あなたの世帯の1か月の平均収入はいくらですか。(単一回答)

図表 3-43 世帯の平均月収(18歳未満)<sup>16</sup>



<sup>16</sup> [難病]では、「5～10万円未満」、「10～15万円未満」、「15～20万円未満」、「20～30万円未満」の回答割合が0.0%となっている。[高次]では、「10～15万円未満」、「15～20万円未満」、「20～30万円未満」の回答割合が0.0%となっている。

また、「5万円未満」の区分について、調査票においては、「1万円未満」、「1～3万円未満」、「3～5万円未満」に分けて尋ねているが、表記の都合上、「5万円未満」にまとめて記載している。詳細な結果は資料編を参照。



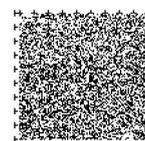
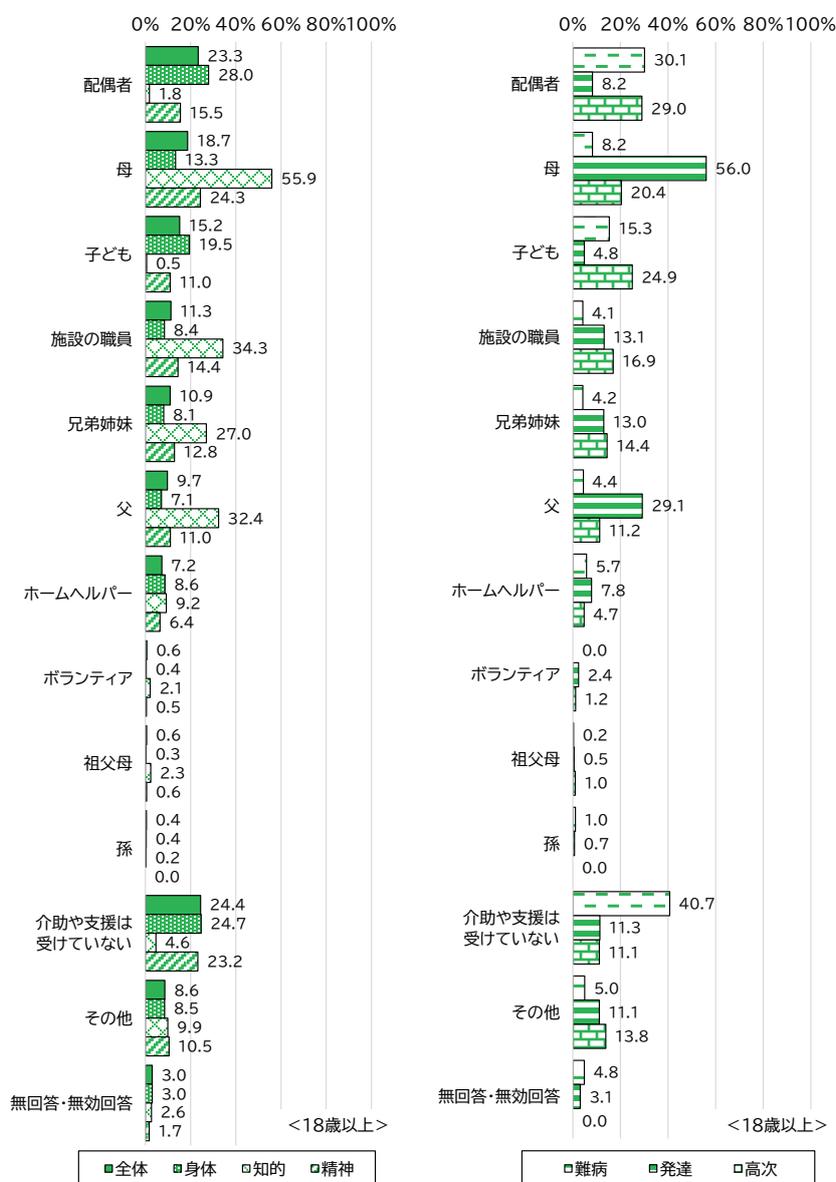
## シ 介助者・支援者

介助者・支援者について、18歳以上の方全体では、「介助や支援は受けていない」の回答が24.4%と最も高くなっている。また、「配偶者」の回答が23.3%、「母」の回答が18.7%、「子ども」の回答が15.2%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]、[発達]において「母」、「父」の回答が、[知的]において「施設の職員」、「兄弟姉妹」の回答が全体と比較して高くなっている。また、「介助や支援は受けていない」の回答は、全体と比較して[難病]において高く、[知的]、[発達]、[高次]において低くなっている。

【18歳以上 問 8\_1】 ふだん、あなたを介助・支援している(助けてくれる)のはどなたですか。(複数回答)

図表 3-44 介助者・支援者(18歳以上)

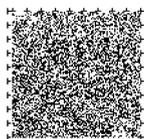
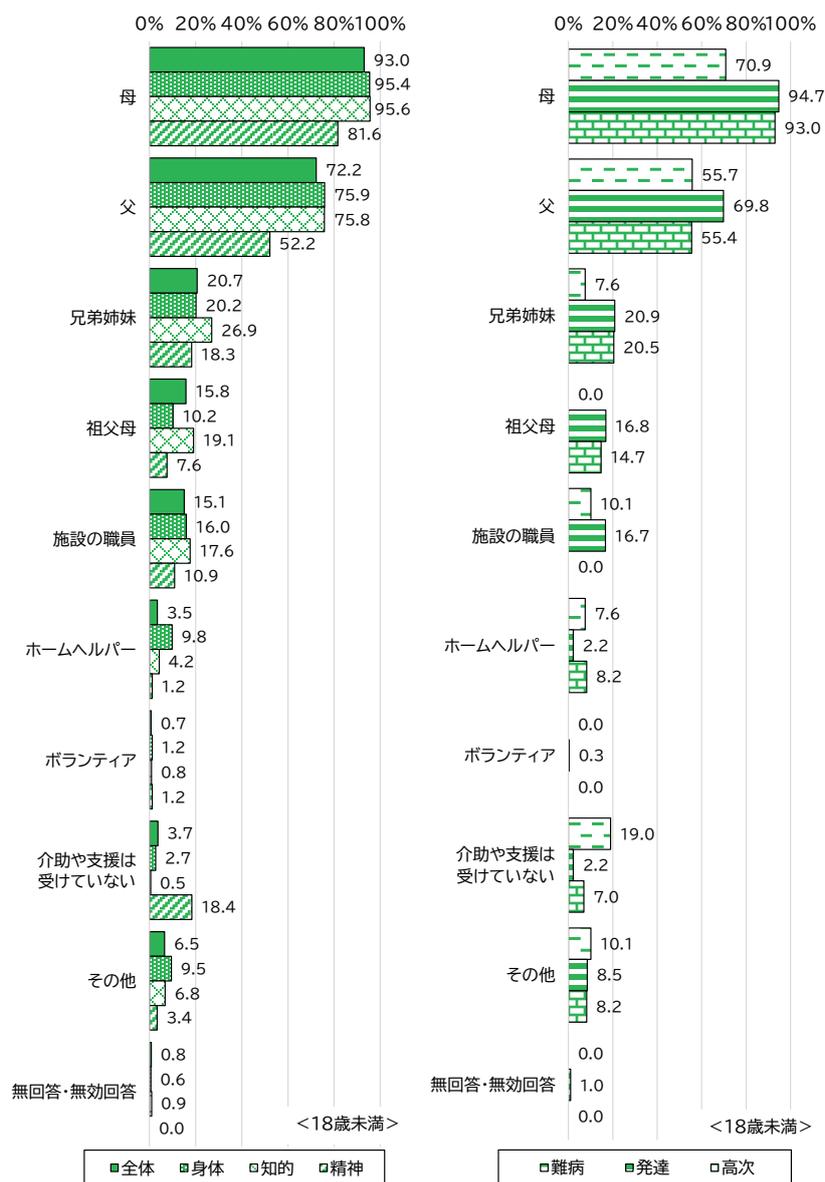


18歳未満の方全体では、「母」の回答が93.0%と最も高く、次いで「父」の回答が72.2%、「兄弟姉妹」の回答が20.7%となっている。

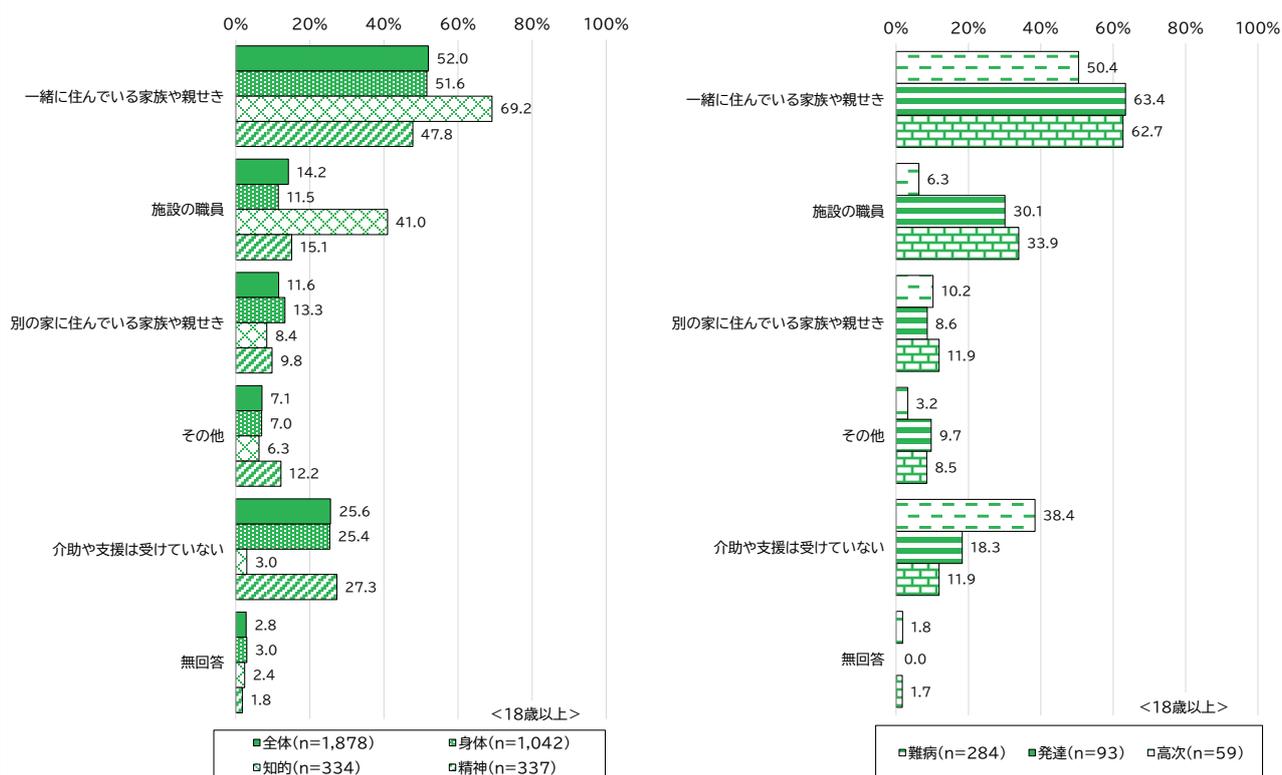
障がい種別に見ると「介助や支援は受けていない」の回答が、全体と比較して[精神]、[難病]において高くなっている。

【18歳未満 問7\_1】 ふだん、あなたを介助・支援している(助けてくれる)のはどなたですか。(複数回答)

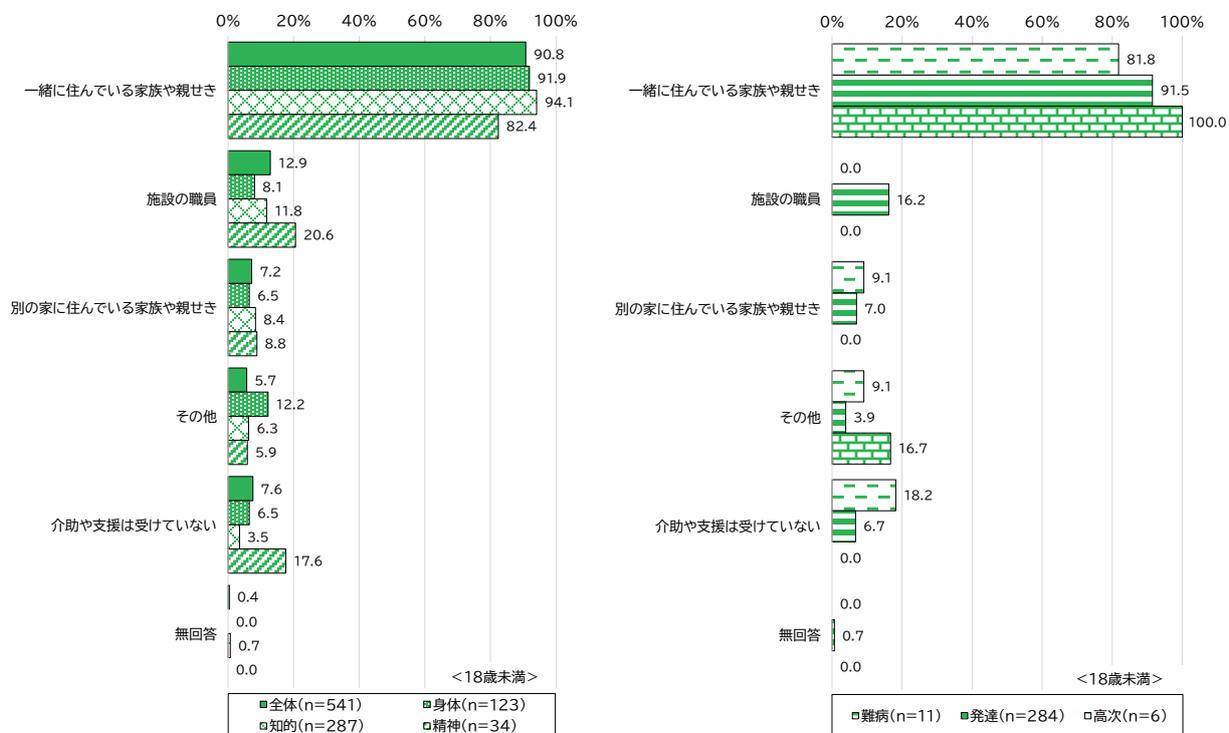
図表 3-45 介助者・支援者(18歳未満)



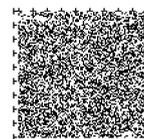
図表 3-46 参考:前回調査結果 介助者・支援者(18歳以上)<sup>17</sup>



図表 3-47 参考:前回調査結果 介助者・支援者(18歳未満)



<sup>17</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)

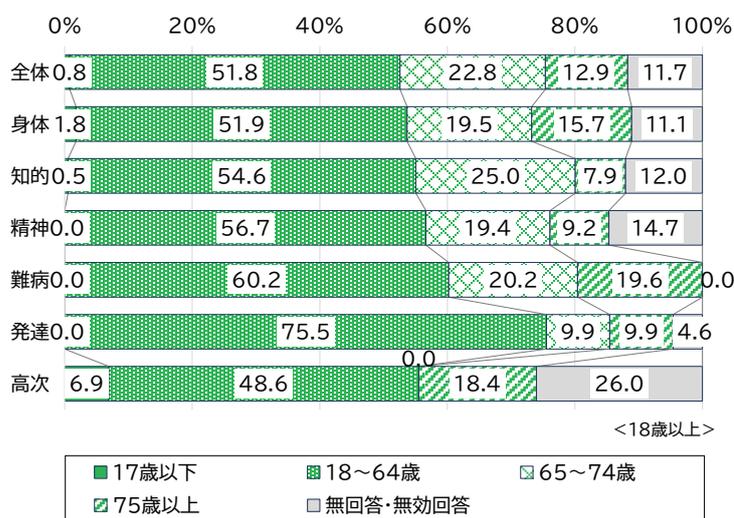


## ス 介助・支援している兄弟姉妹の年齢

18 歳以上の障がいをお持ちの方を介助・支援している兄弟姉妹(あて名の方から見た続柄)の年齢について、全体では「18～64 歳」の回答が 51.8%と最も高く、次いで「65～74 歳」の回答が 22.8%、「75 歳以上」の回答が 12.9%となっている。

【18 歳以上 問 8\_1】 介助・支援している兄弟姉妹の年齢<sup>18</sup>(数値による回答)

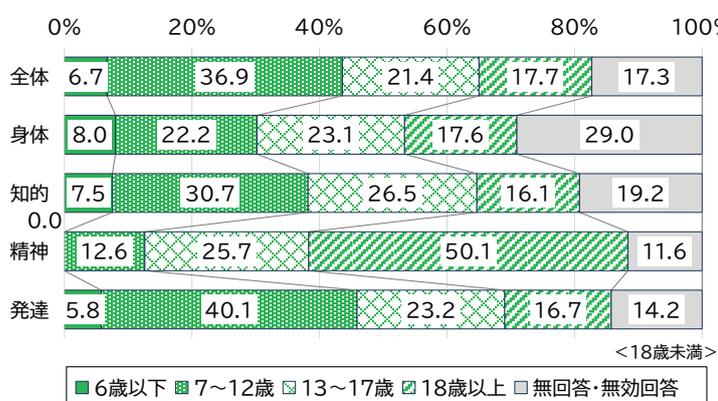
図表 3-48 介助・支援している兄弟姉妹の年齢(18 歳以上)



18 歳未満の障がいをお持ちの方を介助・支援している兄弟姉妹(あて名の方から見た続柄)の年齢について、全体では、「7～12 歳」の回答が 36.9%と最も高く、次いで「13～17 歳」の回答が 21.4%、「18 歳以上」の回答が 17.7%となっている。

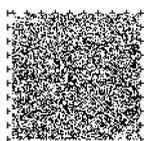
【18 歳未満 問 7\_1】 介助・支援している兄弟姉妹の年齢(数値による回答)

図表 3-49 介助・支援している兄弟姉妹の年齢(18 歳未満)<sup>19</sup>



<sup>18</sup> 介助者・支援者について、「兄弟姉妹」と回答した方のみ集計対象。(18 歳未満も同様)

<sup>19</sup> [難病]、[高次]においては、集計対象件数が 10 件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため掲載を省略した。

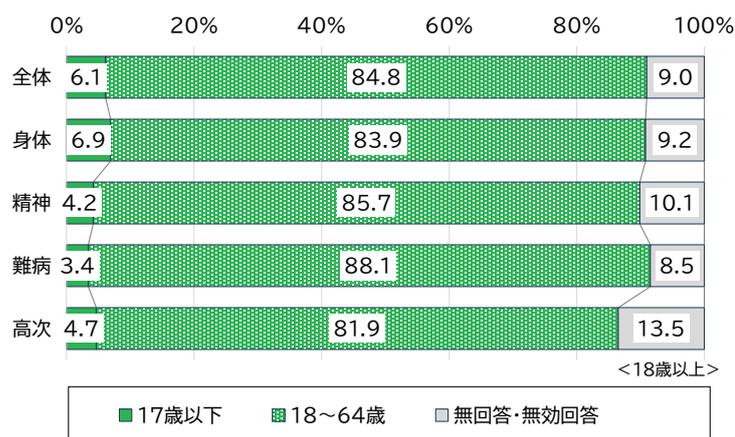


## セ 介助・支援している子どもの年齢

18歳以上の障がいをお持ちの方を介助・支援している子ども(あて名の方から見た続柄)の年齢について、18歳以上の方全体では、「18～64歳」の回答が84.8%となっている。一方で、「17歳以下」の回答は6.1%となっている。

【18歳以上 問 8.1】 介助・支援している子どもの年齢<sup>20</sup>(数値による回答)

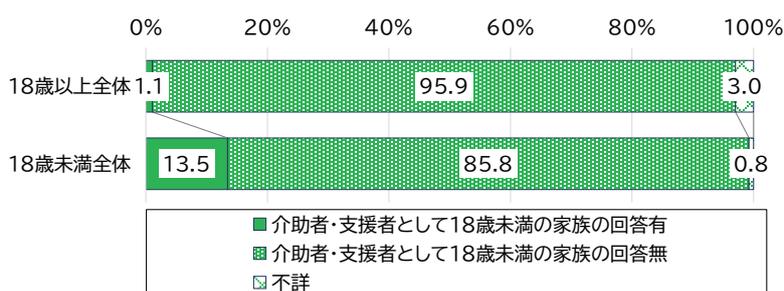
図表 3-50 介助・支援している子どもの年齢(18歳以上)<sup>21</sup>



## ソ 18歳未満の介助者・支援者

介助者・支援者として18歳未満の家族を回答した方は、18歳以上の方全体では1.1%、18歳未満の方全体では13.5%となっている。

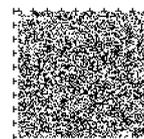
図表 3-51 18歳未満の介助者・支援者(18歳以上)<sup>22</sup>



<sup>20</sup> 介助者・支援者について、「子ども」と回答した方のみ集計対象。

<sup>21</sup> [知的]、[発達]においては、集計対象件数が10件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため掲載を省略した。なお、介助・支援している孫の年齢についても尋ねているが、集計対象件数が非常に少なくなっている(年齢の回答が得られているのは全体で計6件)ため、掲載を省略した。

<sup>22</sup> 18歳以上では、介助者・支援者として、「兄弟姉妹」、「子ども」、「孫」と回答した方でその家族の年齢として18歳未満の回答があった方を「介助者・支援者として18歳未満の家族の回答有」に該当する方として集計を行った。18歳未満では、介助者・支援者として、「兄弟姉妹」と回答した方でその家族の年齢として18歳未満の回答があった方を「介助者・支援者として18歳未満の家族の回答有」に該当する方として集計を行った。また、当該設問に対して回答がなかった方については「不詳」として集計している。



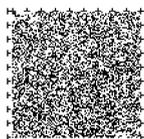
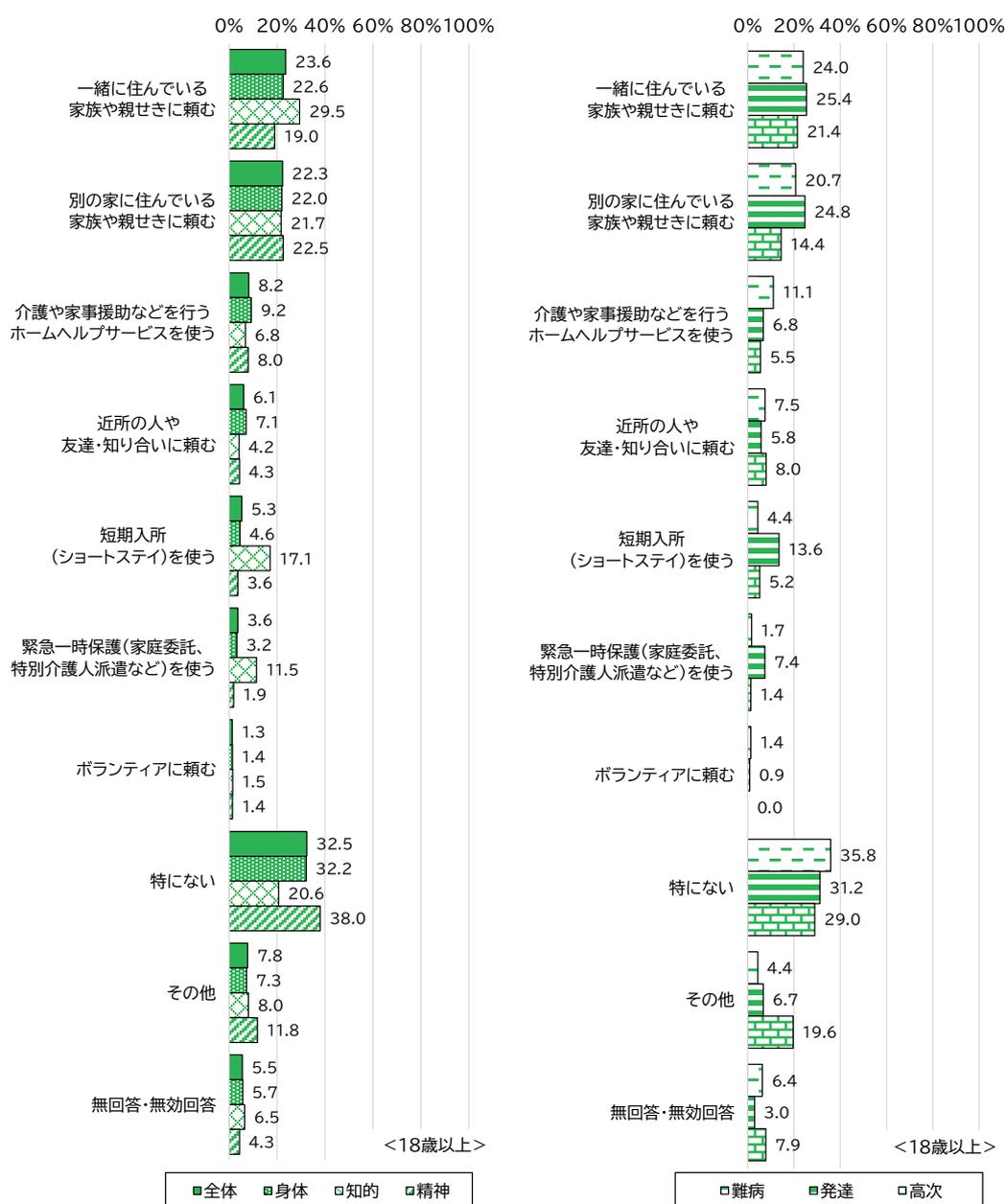
## タ 主な介助者・支援者が不在時の対応

主な介助者・支援者が不在時の対応について、18歳以上の方全体では、「特にない」の回答が32.5%と最も高くなっている。一方で、「一緒に住んでいる家族や親せきに頼む」の回答が23.6%、「別の家に住んでいる家族や親せきに頼む」の回答が22.3%、「介護や家事援助などを行うホームヘルプサービスを使う」の回答が8.2%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]において「短期入所(ショートステイ)を使う」の回答が全体と比較して高くなっている。また、「特にない」の回答は、全体と比較して[知的]において低くなっている。

【18歳以上 問 8\_2】あなたは、介助や支援してくれる(助けてくれる)人がいないときに支援が必要になった場合、どのようにしていますか。(複数回答)

図表 3-52 主な介助者・支援者が不在時の対応(18歳以上)

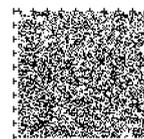
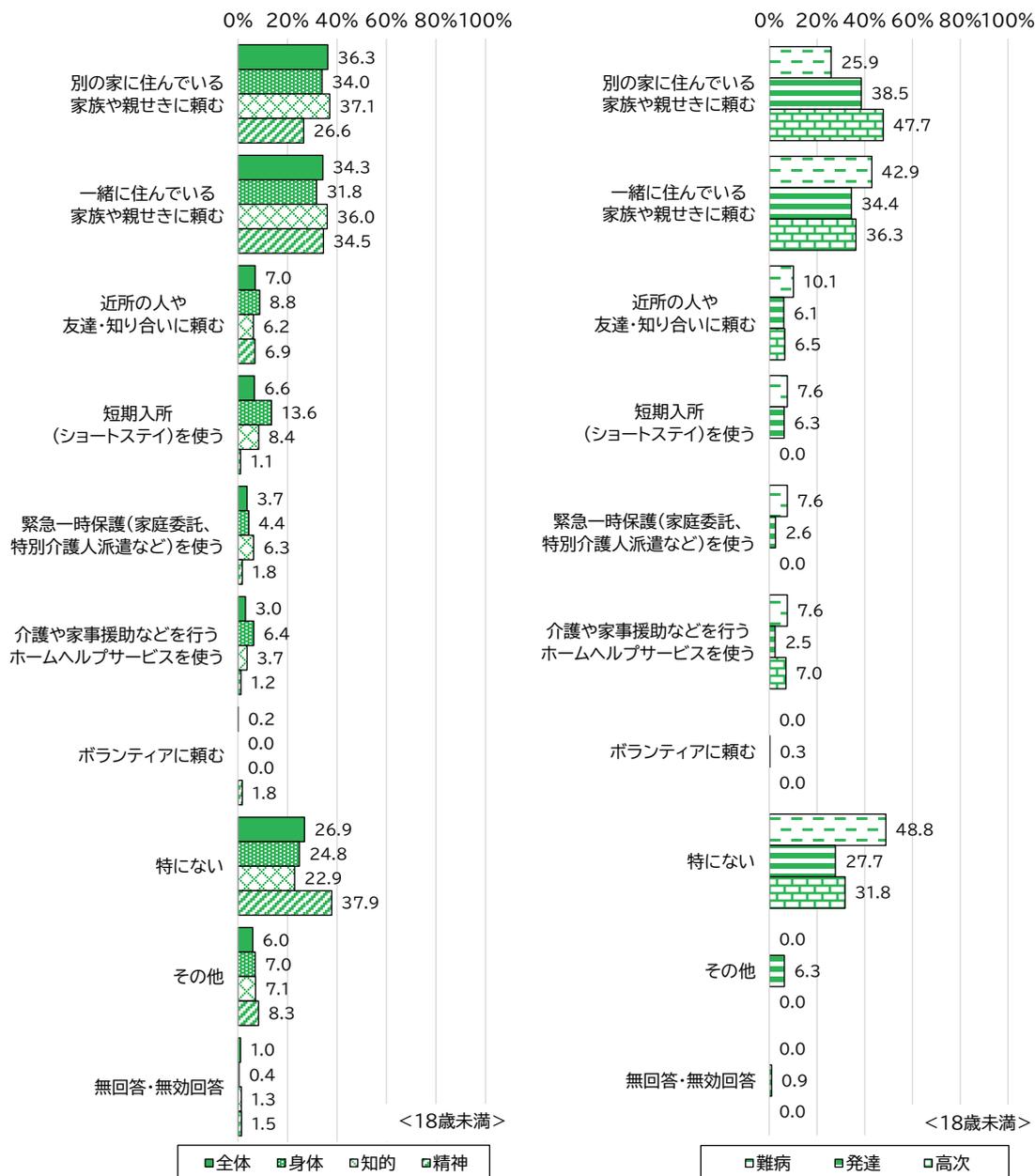


18歳未満の方全体では、「別の家に住んでいる家族や親せきに頼む」の回答が36.3%と最も高く、「一緒に住んでいる家族や親せきに頼む」の回答が34.3%、「近所の人や友達・知り合いに頼む」の回答が7.0%となっている。また、「特にない」の回答は26.9%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「別の家に住んでいる家族や親せきに頼む」の回答が全体と比較して高くなっている。また、「特にない」の回答は、全体と比較して[精神]、[難病]において高くなっている。

【18歳未満 問7\_2】あなたは、介助や支援してくれる(助けてくれる)人がいないときに支援が必要になった場合、どのようにしていますか。(複数回答)

図表 3-53 主な介助者・支援者が不在時の対応(18歳未満)



## チ 意志の伝達方法

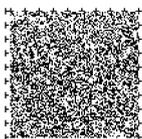
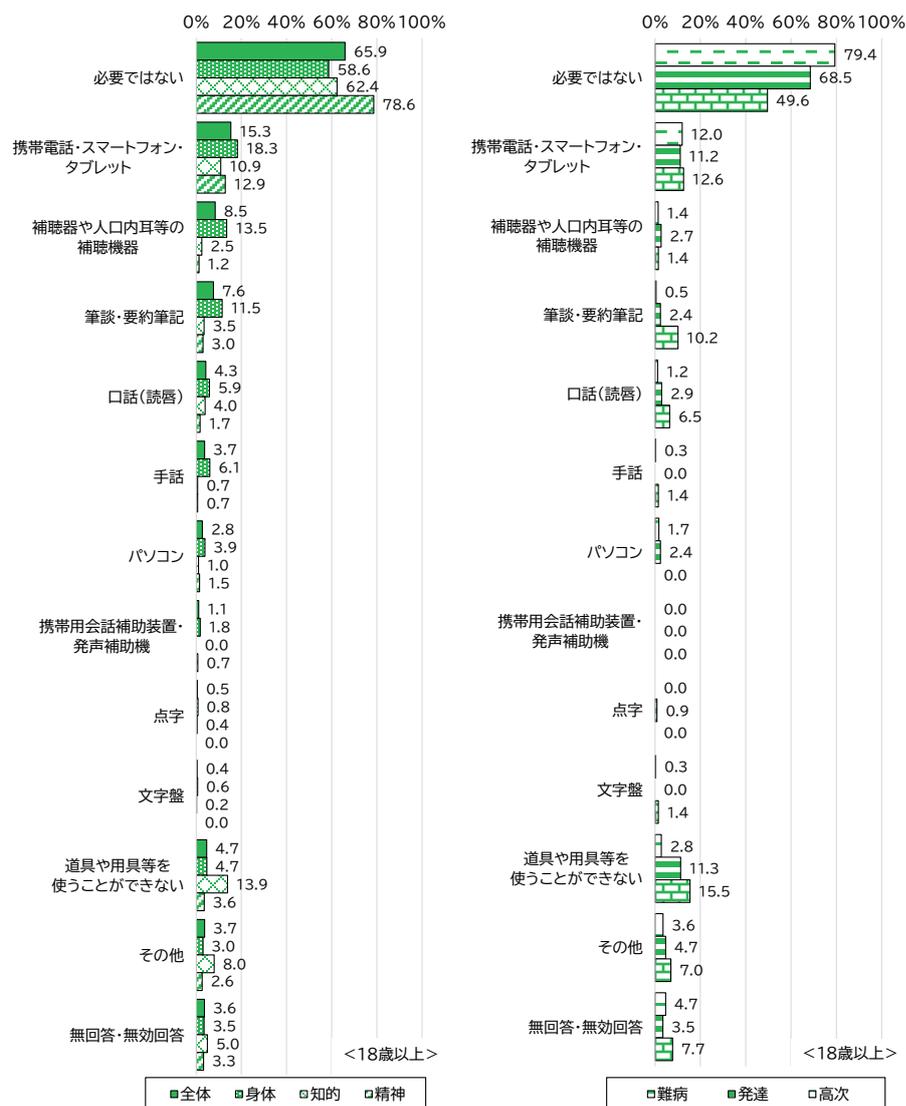
意志の伝達方法について、18歳以上の方全体では、特別な手段や道具や用具等が「必要ではない」の回答が65.9%と最も高くなっている。また、「携帯電話・スマートフォン・タブレット」の回答が15.3%、「補聴器や人口内耳等の補聴機器」の回答が8.5%、「筆談・要約筆記」の回答が7.6%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において特別な手段や道具や用具等が「必要ではない」の回答が全体と比較して低く、「道具や用具等を使うことができない」の回答が全体と比較して高くなっている。

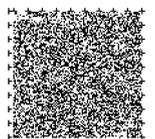
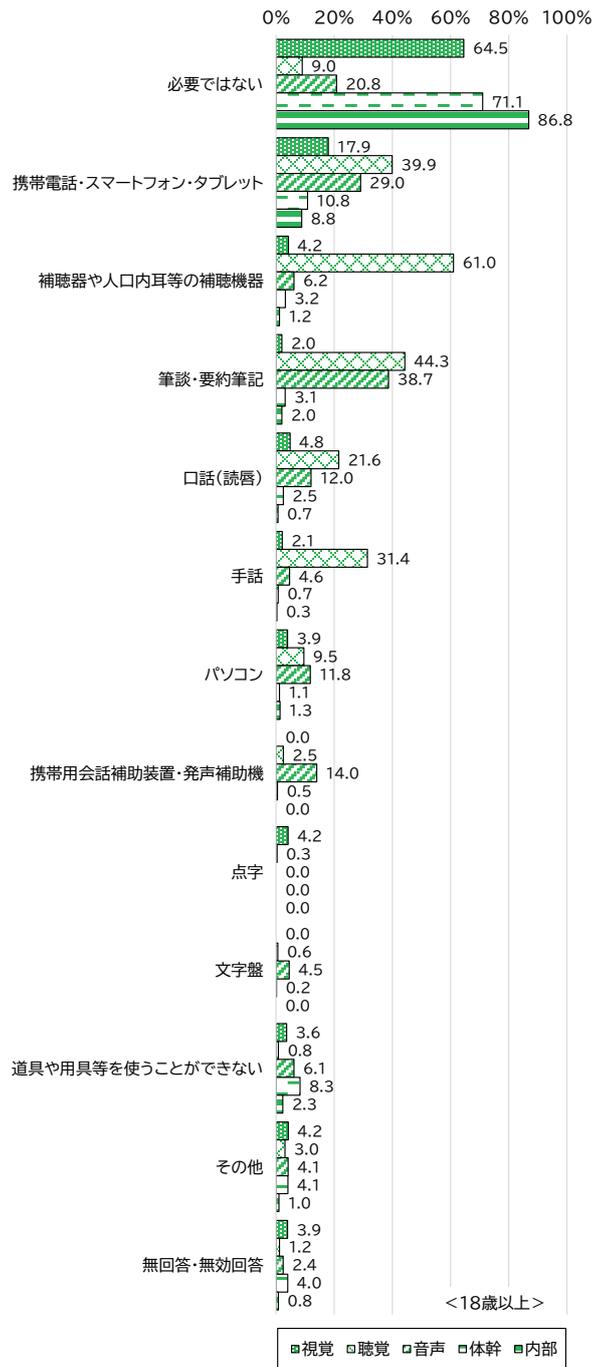
身体障がいの詳細について見ると、特別な手段や道具や用具等が「必要ではない」の回答は、全体と比較して[内部]において高く、[聴覚]、[音声]において低くなっている。また、[聴覚]、[音声]において「携帯電話・スマートフォン・タブレット」、「筆談・要約筆記」、の回答が、[聴覚]において「補聴器や人口内耳等の補聴機器」、「口話(読唇)」、「手話」の回答が、[音声]において「携帯用会話補助装置・発声補助機」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問9】 意志の伝達を図る際に、特別な手段や道具や用具等を使っていますか。(複数回答)

図表 3-54 意志の伝達方法(18歳以上)



図表 3-55 意志の伝達方法(18歳以上 身体障がい詳細)



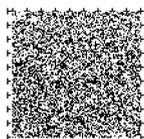
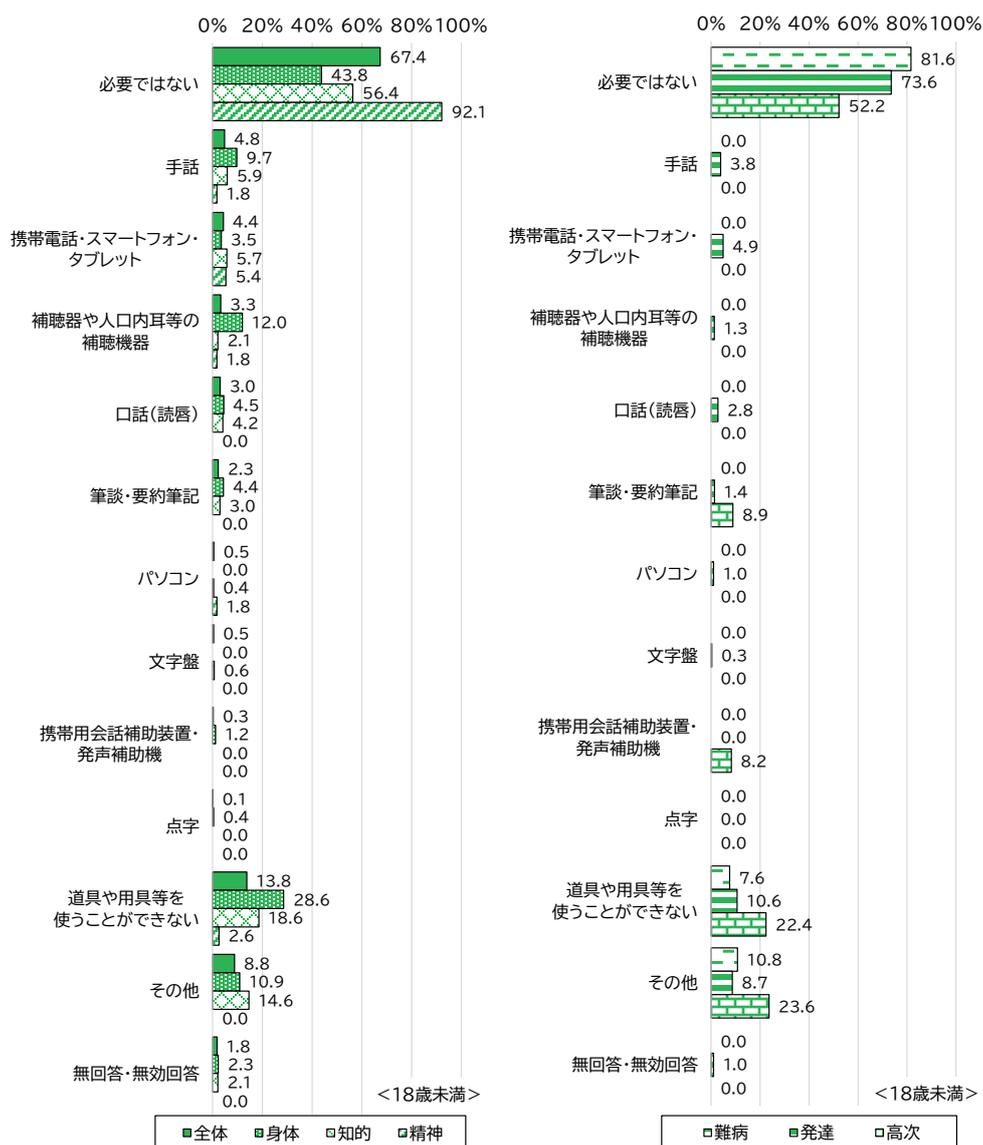
18歳未満の方全体では、特別な手段や道具や用具等が「必要ではない」の回答が67.4%と最も高く、次いで「道具や用具等を使うことができない」の回答が13.8%となっている。また、「手話」の回答が4.8%、「携帯電話・スマートフォン・タブレット」の回答が4.4%、「補聴器や人工内耳等の補聴機器」の回答が3.3%となっている。

障がい種別に見ると、[身体]、[知的]、[高次]において特別な手段や道具や用具等が「必要ではない」の回答が全体と比較して低くなっている。また、[身体]において「道具や用具等を使うことができない」の回答が全体と比較して高くなっている。

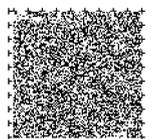
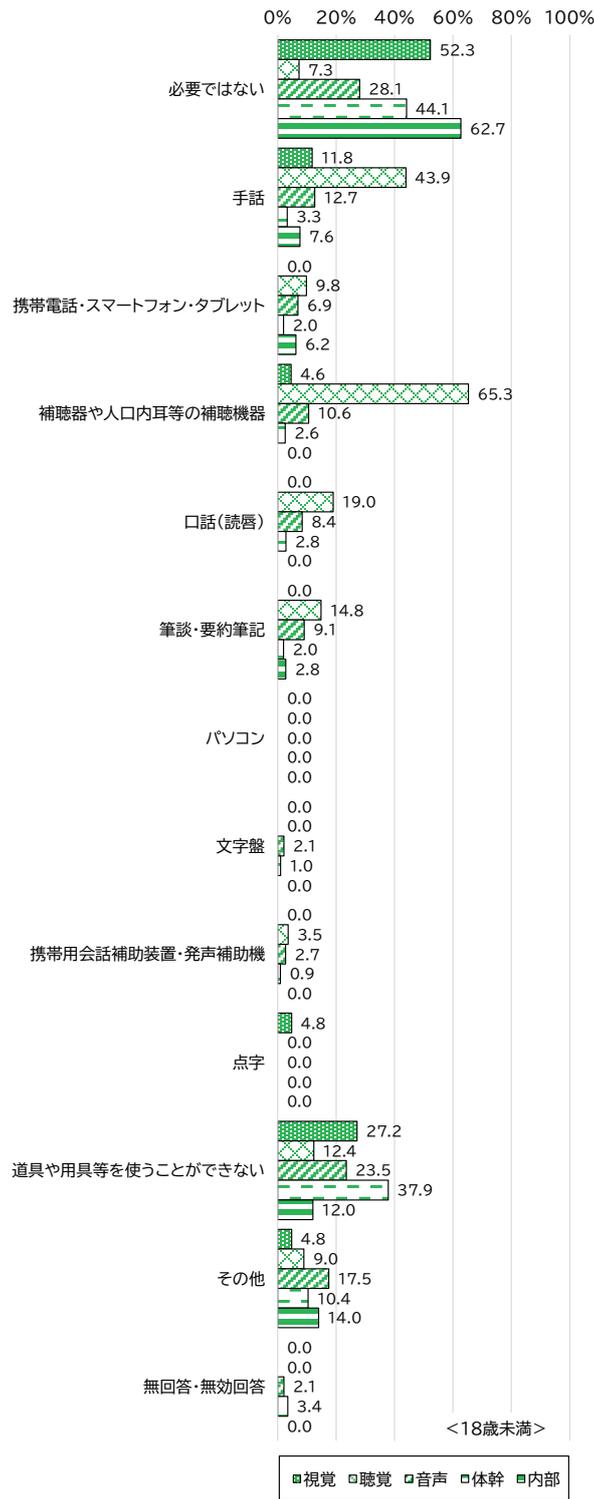
身体障がいの詳細について見ると、特別な手段や道具や用具等が「必要ではない」の回答は、全体と比較して[視覚]、[聴覚]、[音声]、[体幹]において低くなっている。また、[聴覚]において「手話」、「補聴器や人工内耳等の補聴機器」、「口話(読唇)」、「筆談・要約筆記」の回答が、[視覚]、[体幹]において「道具や用具等を使うことができない」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問8】 意志の伝達を図る際に、特別な手段や道具や用具等を使っていますか。(複数回答)

図表 3-56 意志の伝達方法(18歳未満)



図表 3-57 意志の伝達方法(18歳未満 身体障がい詳細)



### (3) 障害福祉サービス等について

#### ア サービスの利用状況及び今後の利用意向

現在利用しているサービスについて、18歳以上の方全体では、「計画相談支援」の回答が9.7%、「日常生活用具給付等事業」の回答が9.5%、「居宅介護」の回答が8.4%となっている。なお、いずれのサービスの満足度についても回答していない「無回答・無効回答」の割合は64.3%となっている<sup>23</sup>。

また、今後利用したいサービスについては、「居宅介護」の回答が8.2%、「日常生活用具給付等事業」の回答が7.5%、「生活介護」の回答が7.1%となっている。

なお、現在利用していないが今後利用したいサービスについては、「居宅介護」の回答が6.6%、「自立生活援助」の回答が6.3%、「生活介護」の回答が6.0%となっている。

【18歳以上 問10\_1】(1)現在利用しているサービスの満足度と、(2)今後利用したいサービスを教えてください。(1は単一回答、2は複数回答)

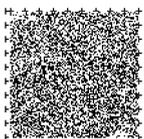
図表 3-58 サービスの利用状況及び今後の利用意向(18歳以上)<sup>24</sup>

サービス名	現在利用しているサービス(%)	今後利用したいサービス(%)	現在利用していないが今後利用したいサービス(%)
計画相談支援	9.7	6.9	5.1
日常生活用具給付等事業	9.5	7.5	5.2
居宅介護	8.4	8.2	6.6
移動支援事業	6.3	6.6	5.1
生活介護	6.2	7.1	6.0
就労継続支援(B型)	5.7	3.1	2.1
自立訓練(機能訓練)	4.8	4.7	4.0
共同生活援助(グループホーム)	4.0	5.0	4.5
同行援護	3.9	4.5	3.9
自立訓練(生活訓練)	3.4	4.1	3.6
短期入所	3.1	4.7	4.2
相談支援事業	3.0	6.0	5.6
施設入所支援	2.8	5.5	4.9
訪問入浴サービス	2.6	2.9	2.7
自立生活援助	2.5	6.7	6.3

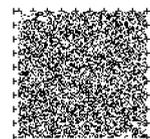
※次ページに続く

<sup>23</sup> サービスの満足度に回答していない「無回答・無効回答」の方の多くは、障害福祉サービスを利用していない方であると考えられる。

<sup>24</sup> 調査票では、現在利用しているサービスの満足度について尋ねており、回答のあったサービスについて、「現在利用しているサービス」として集計を行った。なお、「現在利用しているサービス」の多い順にサービスを掲載している。また、各項目について回答割合が5%以上サービスについて、色付けを行っている。また、表記の都合上18歳以上全体についてのみ集計結果を掲載している。



サービス名	現在利用しているサービス(%)	今後利用したいサービス(%)	現在利用していないが今後利用したいサービス(%)
就労移行支援	2.5	3.6	3.2
就労定着支援	2.2	3.1	2.8
行動援護	1.8	3.5	3.3
地域活動支援センター機能強化事業	1.7	2.0	1.9
日中一時支援	1.6	4.6	4.3
地域定着支援	1.6	4.1	4.1
地域移行支援	1.6	2.2	2.1
重度訪問介護	1.4	2.0	2.0
手話奉仕員養成研修事業	1.4	1.4	1.1
意思疎通支援事業	1.3	1.6	1.3
就労継続支援(A型)	1.3	2.3	2.2
理解促進研修・啓発事業	1.2	1.3	1.3
自動車運転免許取得・改造助成	1.2	2.1	1.9
自発的活動支援事業	1.2	1.7	1.6
宿泊型自立訓練	1.2	2.1	2.0
レクリエーション活動等支援	1.1	4.5	4.1
療養介護	1.1	2.5	2.4
芸術文化活動振興	1.1	3.3	3.1
成年後見制度法人後見支援事業	1.1	2.5	2.4
成年後見制度利用支援事業	1.1	2.9	2.9
重度障害者等包括支援	1.0	1.4	1.4
無回答・無効回答	64.3	64.7	64.7



現在利用しているサービスについて、18 歳未満の方全体では、「放課後等デイサービス」の回答が 49.2%、「児童発達支援」の回答が 27.3%、「計画相談支援」の回答が 16.9%となっている。なお、いずれのサービスの満足度についても回答していない「無回答・無効回答」の割合は 24.2%となっている。

また、今後利用したいサービスについては、「放課後等デイサービス」の回答が 30.7%、「移動支援事業」の回答が 15.2%、「短期入所」の回答が 13.8%となっている。

なお、現在利用していないが今後利用したいサービスについては、「放課後等デイサービス」の回答が 15.3%、「移動支援事業」の回答が 11.8%、「就労移行支援」の回答が 11.7%となっている。

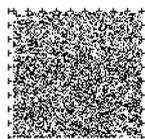
【18 歳未満 問 9\_1】 (1)現在利用しているサービスの満足度と、(2)今後利用したいサービスを教えてください。(1は単一回答、2は複数回答)

図表 3-59 サービスの利用状況及び今後の利用意向(18 歳未満)<sup>25</sup>

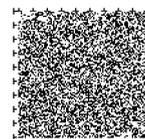
サービス名	現在利用しているサービス(%)	今後利用したいサービス(%)	現在利用していないが今後利用したいサービス(%)
放課後等デイサービス	49.2	30.7	15.3
児童発達支援	27.3	12.1	4.3
計画相談支援	16.9	11.2	7.5
移動支援事業	11.7	15.2	11.8
障害児相談支援	10.6	12.8	9.9
短期入所	7.2	13.8	10.8
居宅介護	6.8	6.3	4.2
相談支援事業	6.6	10.4	8.7
日常生活用具給付等事業	6.6	4.2	2.6
医療型児童発達支援	5.0	3.2	2.3
保育所等訪問支援	4.9	3.1	2.3
自立訓練(機能訓練)	3.1	9.1	8.7
行動援護	2.4	8.4	7.7
自立訓練(生活訓練)	2.0	11.3	11.0
日中一時支援	1.6	10.2	9.3
同行援護	1.6	3.6	2.8
重度訪問介護	1.5	2.5	2.0
居宅訪問型児童発達支援	1.4	4.4	3.8
生活介護	1.1	5.6	5.4

※次ページに続く

<sup>25</sup> 調査票では、現在利用しているサービスの満足度について尋ねており、回答のあったサービスについて、「現在利用しているサービス」として集計を行った。なお、「現在利用しているサービス」の多い順にサービスを掲載している。また、各項目について回答割合が5%以上及び10%以上のサービスについて、それぞれ色付けを行っている。また、表記の都合上18歳未満全体についてのみ集計結果を掲載している。



サービス名	現在利用しているサービス(%)	今後利用したいサービス(%)	現在利用していないが今後利用したいサービス(%)
訪問入浴サービス	0.9	4.7	4.7
地域移行支援	0.8	4.4	4.2
施設入所支援	0.7	6.4	6.0
自発的活動支援事業	0.7	4.8	4.7
地域定着支援	0.6	5.0	4.8
宿泊型自立訓練	0.5	7.7	7.4
レクリエーション活動等支援	0.5	10.0	9.9
就労移行支援	0.4	11.8	11.7
手話奉仕員養成研修事業	0.4	1.7	1.7
理解促進研修・啓発事業	0.4	3.5	3.4
自立生活援助	0.3	8.6	8.3
成年後見制度利用支援事業	0.3	9.4	9.3
成年後見制度法人後見支援事業	0.3	7.7	7.6
重度障害者等包括支援	0.3	2.2	2.1
就労継続支援(A型)	0.2	10.4	10.3
就労継続支援(B型)	0.2	11.7	11.6
就労定着支援	0.2	8.3	8.2
療養介護	0.2	1.4	1.4
共同生活援助(グループホーム)	0.2	11.7	11.6
意思疎通支援事業	0.2	2.9	2.8
地域活動支援センター機能強化事業	0.2	3.5	3.4
芸術文化活動振興	0.2	4.9	4.8
自動車運転免許取得・改造助成	0.2	4.4	4.4
無回答・無効回答	24.2	34.2	34.2

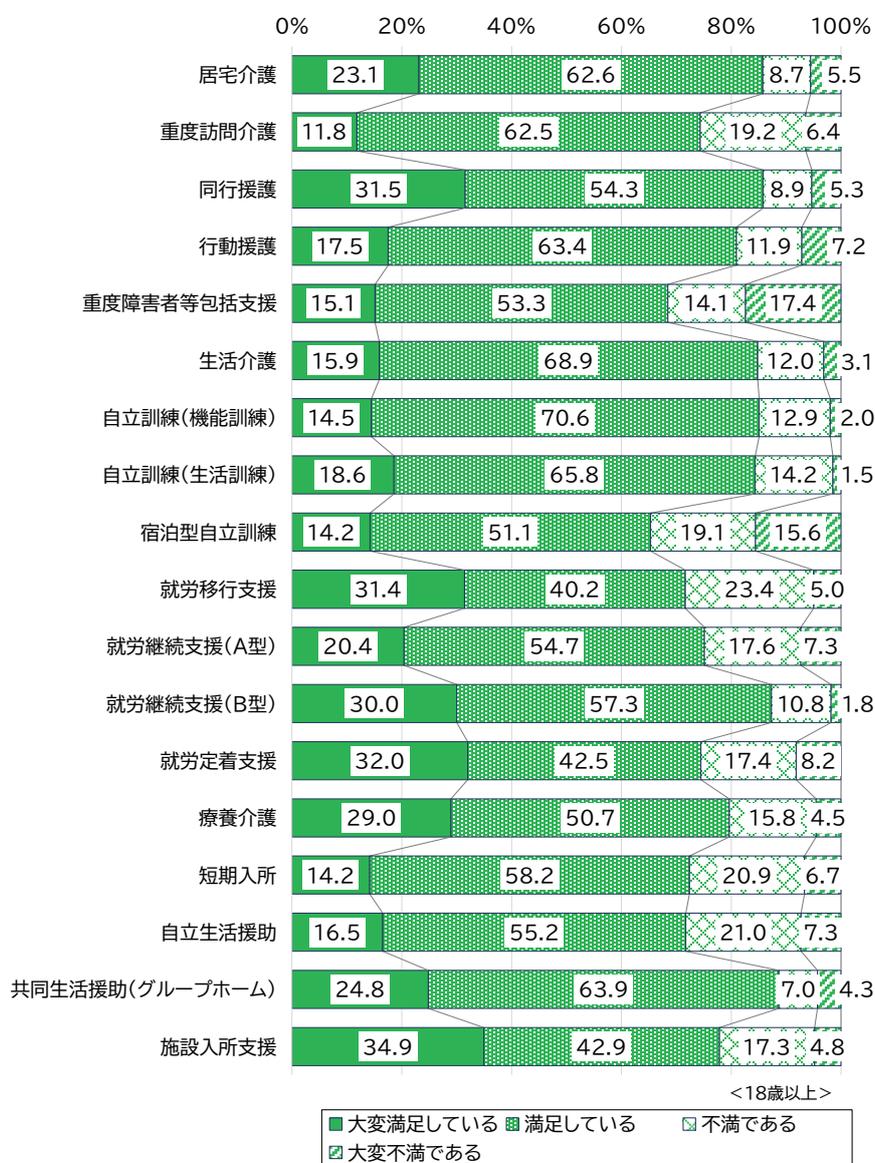


## イ 現在利用しているサービスの満足度

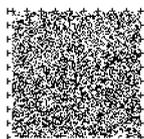
現在利用しているサービスの満足度について、18 歳以上の方全体では、多くのサービスにおいて「大変満足している」、「満足している」の回答が高くなっている。一方で、「重度障害者等包括支援」、「宿泊型自立訓練」、「理解促進研修・啓発事業」、「自発的活動支援事業」、「成年後見制度法人後見支援事業」、「意思疎通支援事業」、「レクリエーション活動等支援」、「芸術文化活動振興」、「自動車運転免許取得・改造助成」については、「不満である」、「大変不満である」の回答を合わせた割合が30%を超えている。

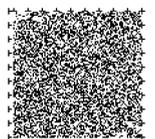
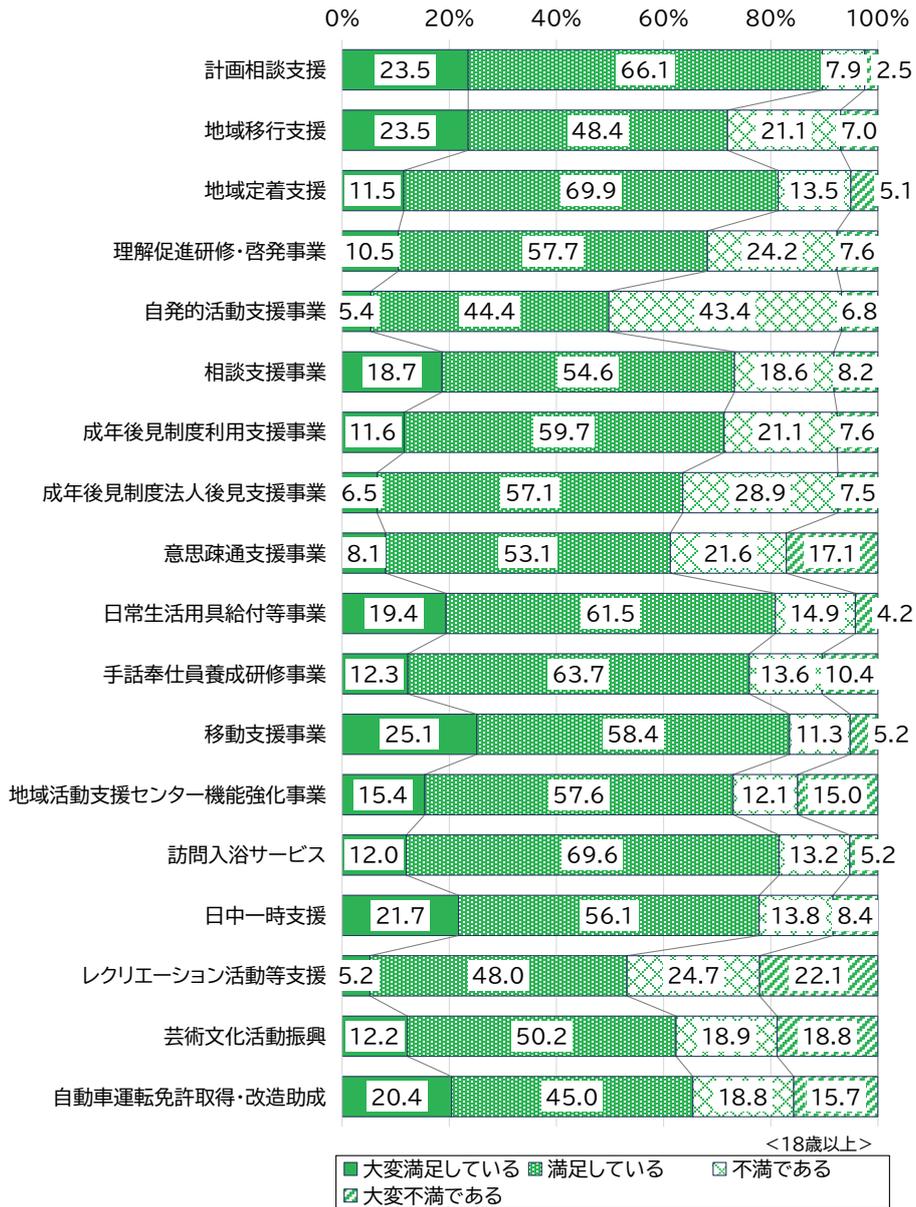
【18 歳以上 問 10\_1】 (1)現在利用しているサービスの満足度と、(2)今後利用したいサービスを教えてください。(1は単一回答、2は複数回答)

図表 3-60 現在利用しているサービスの満足度(18 歳以上)<sup>26</sup>



<sup>26</sup> 無回答を除いた割合について掲載している。一部のサービスについては、回答者が非常に少なくなっている可能性があるため、留意が必要。また、表記の都合上 18 歳以上全体についてのみ集計結果を掲載している。(18 歳未満も同様)

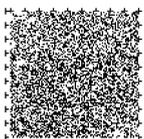
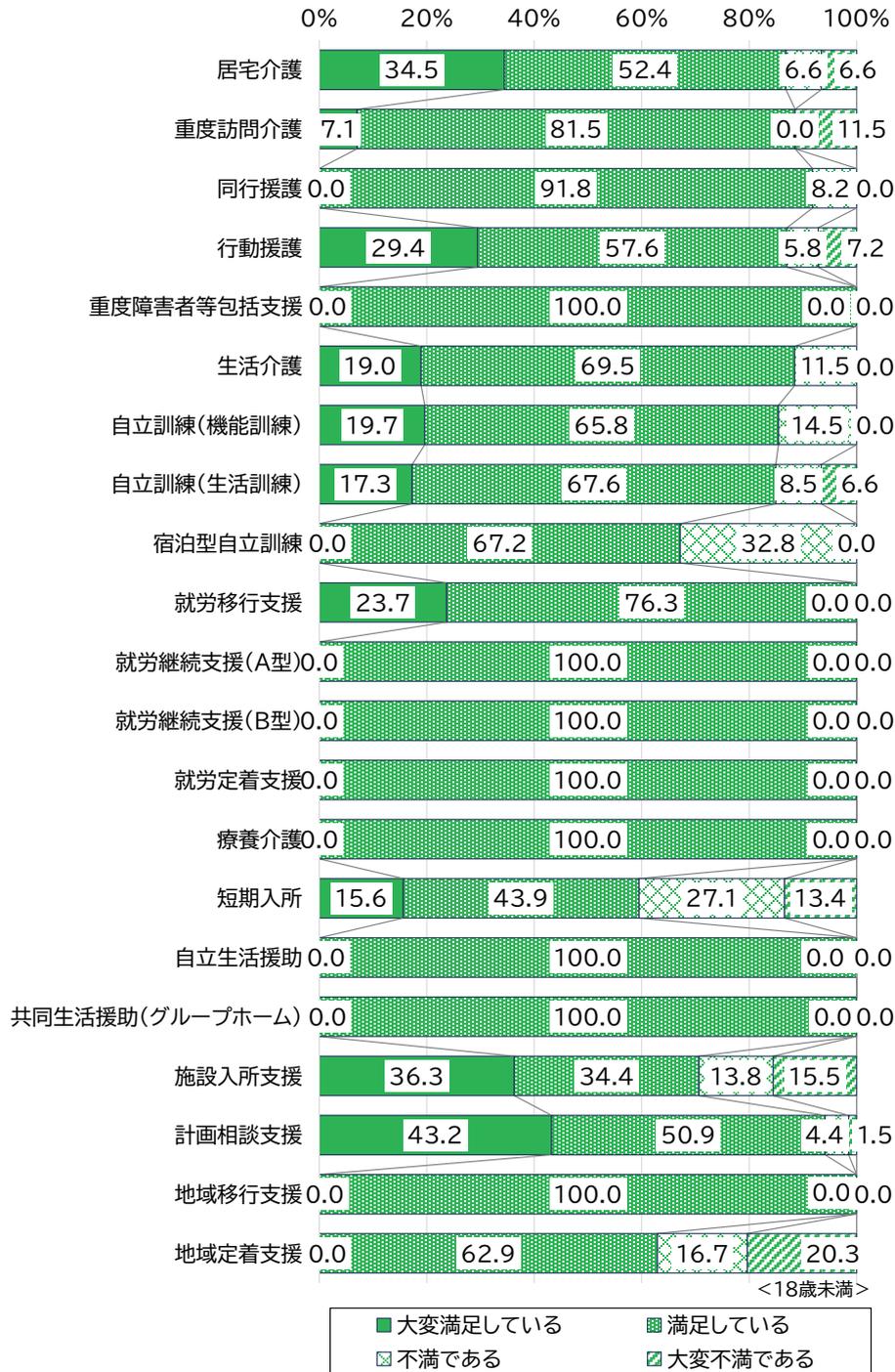


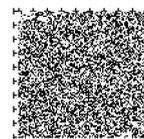
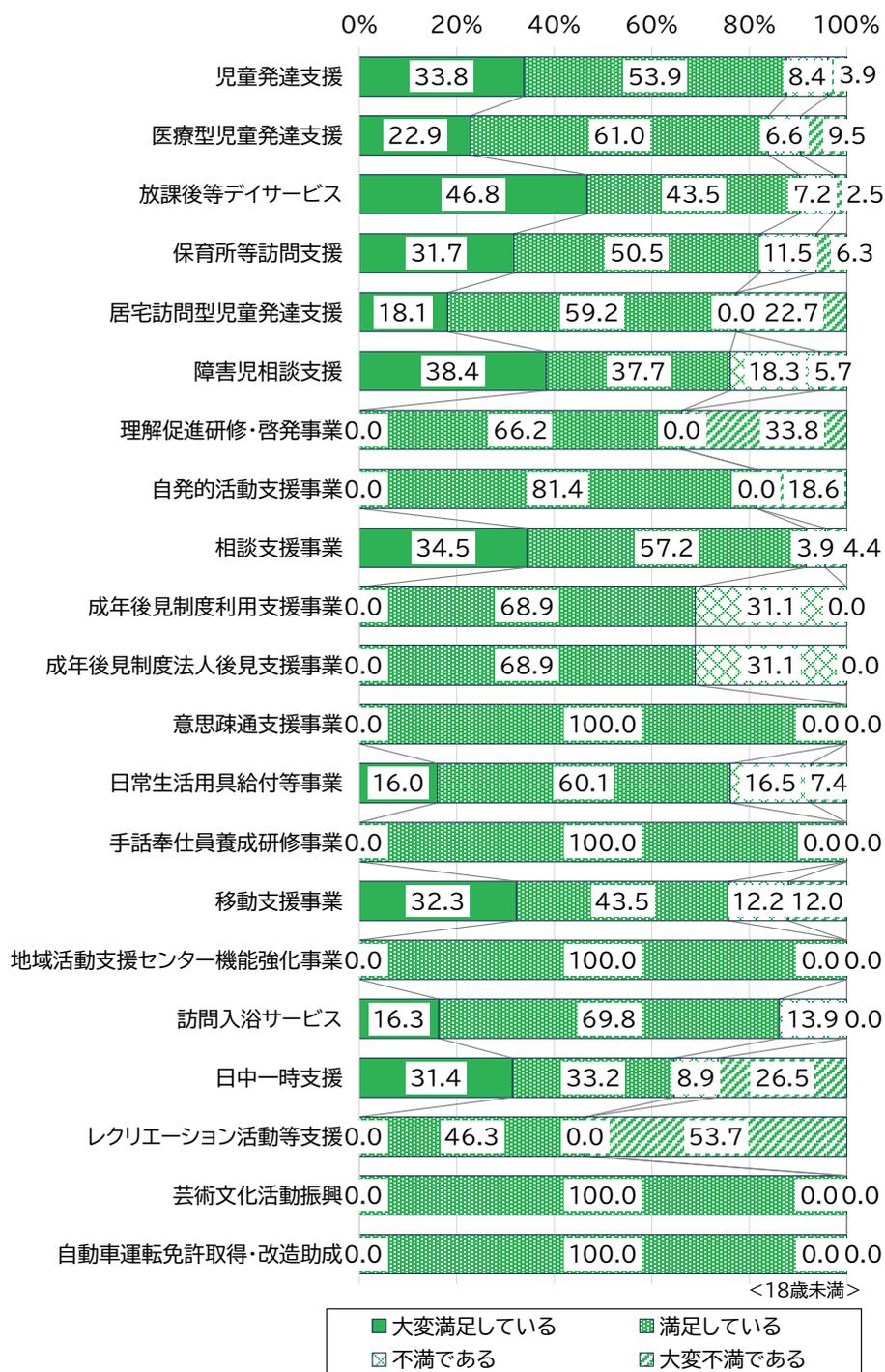


18歳未満の方全体では、多くのサービスにおいて「大変満足している」、「満足している」の回答が高くなっている。一方で、「宿泊型自立訓練」、「短期入所」、「地域定着支援」、「理解促進研修・啓発事業」、「成年後見制度利用支援事業」、「成年後見制度法人後見支援事業」、「日中一時支援」、「レクリエーション活動等支援」については、「不満である」、「大変不満である」の回答を合わせた割合が30%を超えている。

【18歳未満 問9\_1】(1)現在利用しているサービスの満足度と、(2)今後利用したいサービスを教えてください。(1は単一回答、2は複数回答)

図表 3-61 現在利用しているサービスの満足度(18歳未満)





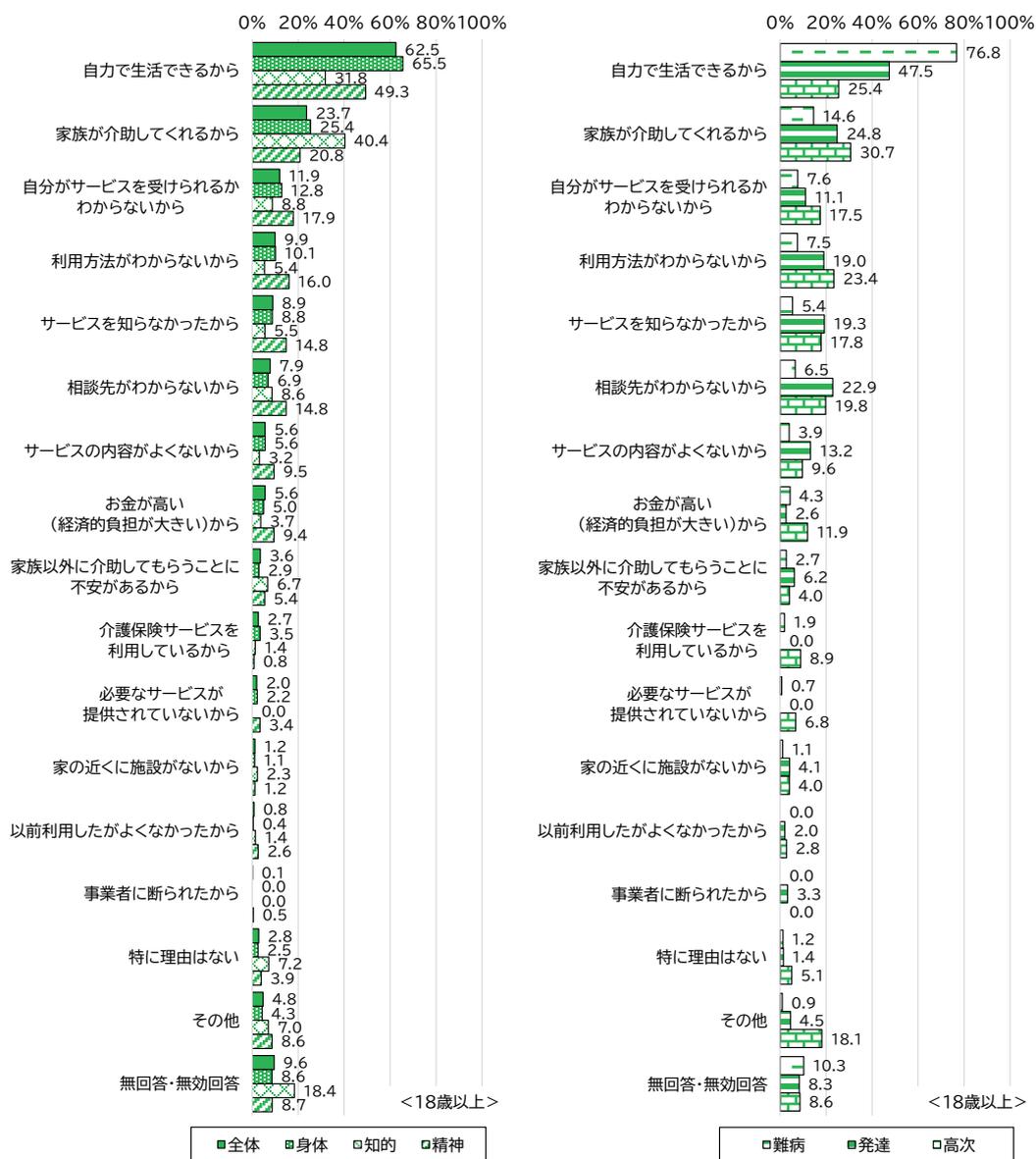
## ウ サービスを利用していない理由

サービスを利用していない理由について、18 歳以上の方全体では、「自力で生活できるから」の回答が 62.5%と最も高く、次いで「家族が介助してくれるから」の回答が 23.7%、「自分がサービスを受けられるかわからないから」の回答が 11.9%となっている。

障がい種別に見ると、[難病]において「自力で生活できるから」の回答が、[知的]において「家族が介助してくれるから」の回答が、[高次]において「利用方法がわからないから」の回答が、[発達]において「サービスを知らなかったから」の回答が、[発達]、[高次]において「相談先がわからないから」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18 歳以上 問 10\_2】 あなたがサービスを利用していない理由は何ですか。(複数回答)

図表 3-62 サービスを利用していない理由(18 歳以上)<sup>27</sup>



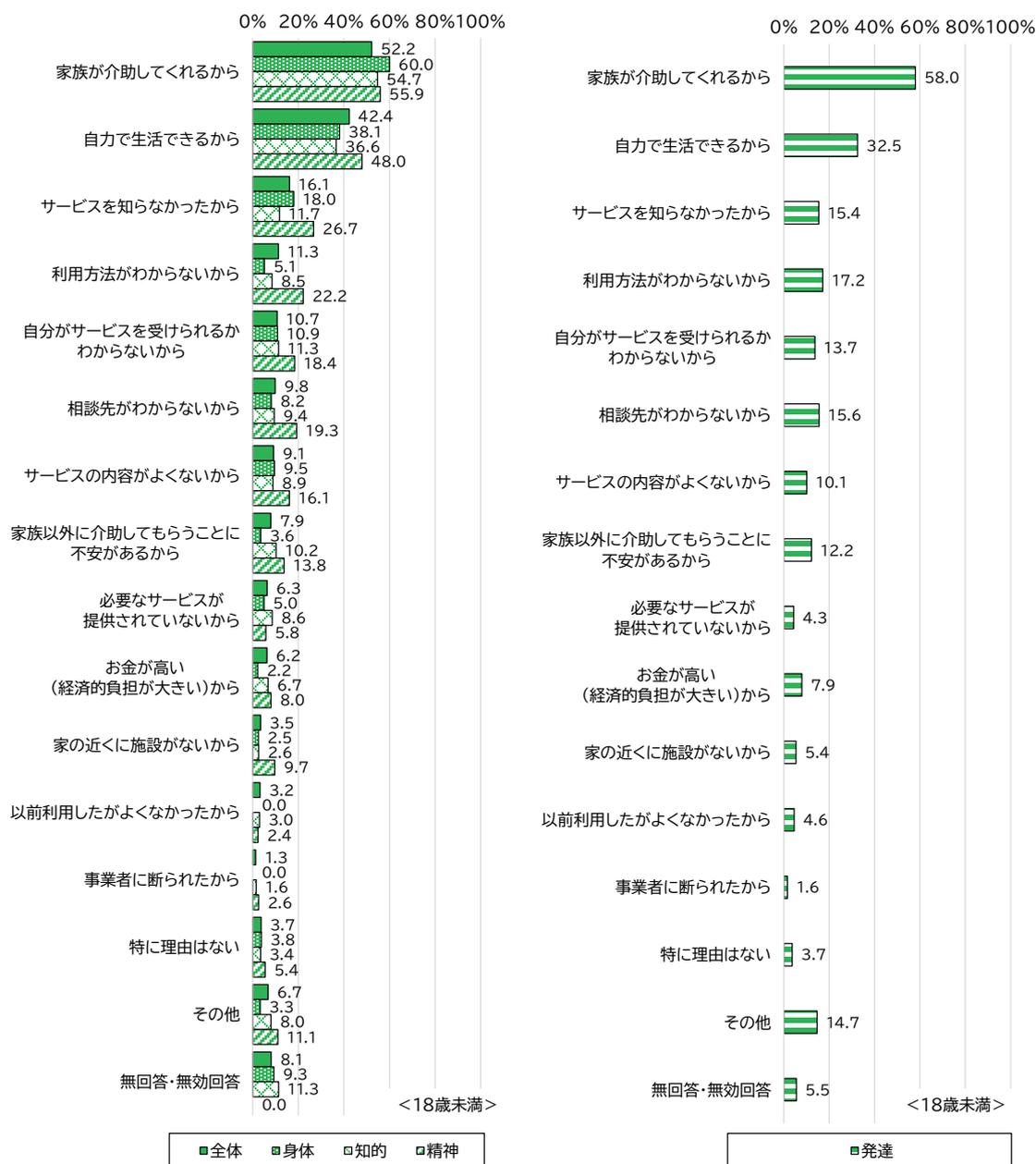
<sup>27</sup> いずれのサービスの満足度に対しても回答がなかった方のみ集計対象。(18 歳未満も同様)

18歳未満の方全体では、「家族が介助してくれるから」の回答が52.2%と最も高く、次いで「自力で生活できるから」の回答が42.4%、「サービスを知らなかったから」の回答が16.1%となっている。

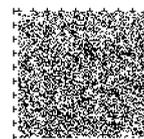
障がい種別に見ると、[精神]において「サービスを知らなかったから」、「利用方法がわからないから」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問9\_2】あなたがサービスを利用していない理由は何ですか。(複数回答)

図表 3-63 サービスを利用していない理由(18歳未満)<sup>28</sup>



<sup>28</sup> [難病]、[高次]においては、集計対象件数が10件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため掲載を省略した。

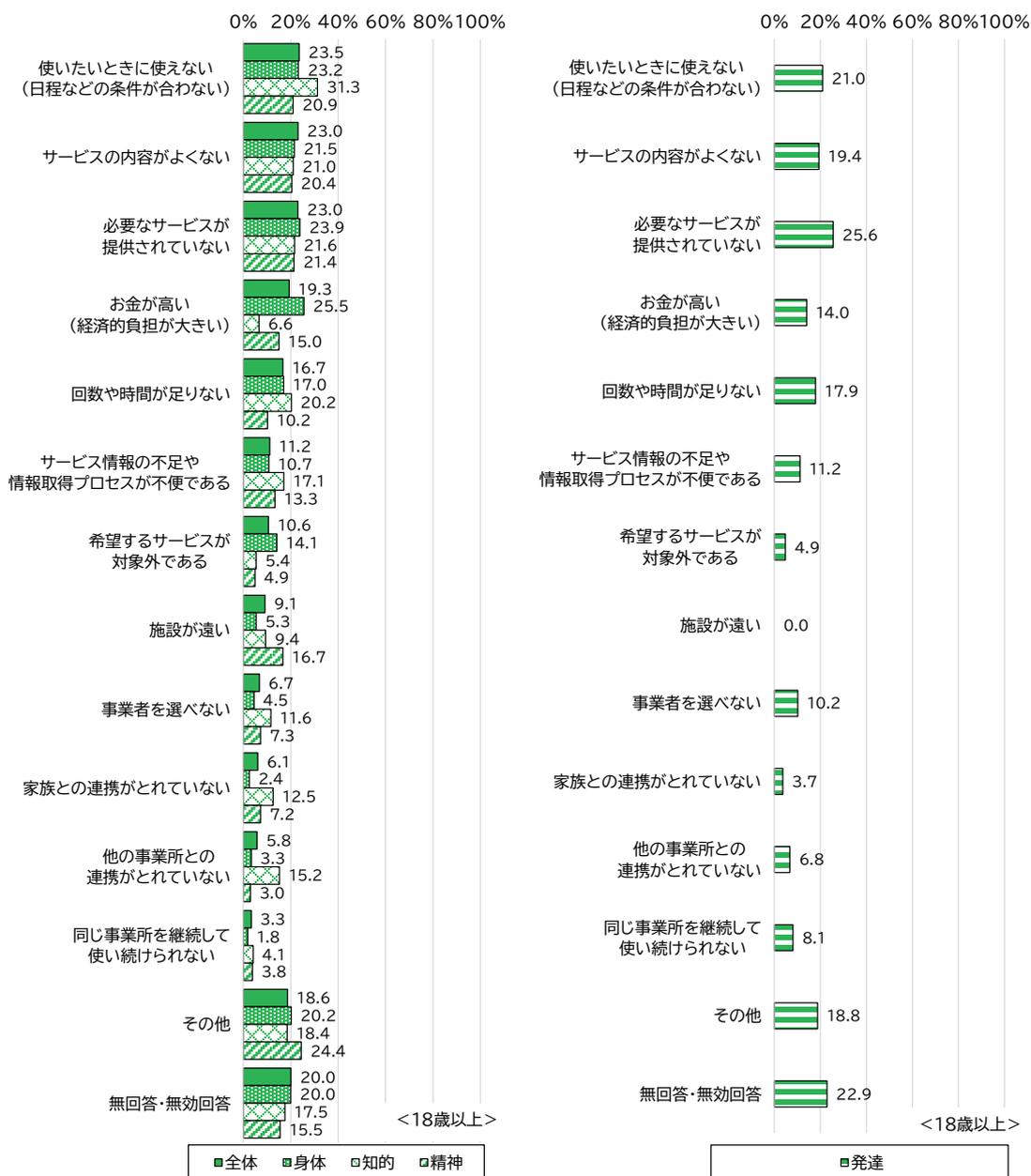


## エ サービス利用にあたって不満に感じること

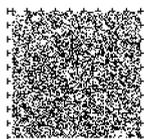
サービス利用にあたって不満に感じることに、18 歳以上の方全体では、「使いたいときに使えない(日程などの条件が合わない)」の回答が 23.5%と最も高く、次いで「サービスの内容がよくない」の回答が 23.0%、「必要なサービスが提供されていない」の回答が 23.0%となっている。

【18 歳以上 問 10\_3】 どういった点に不満を感じますか。(複数回答)

図表 3-64 サービス利用にあたって不満に感じること(18 歳以上)<sup>29</sup>



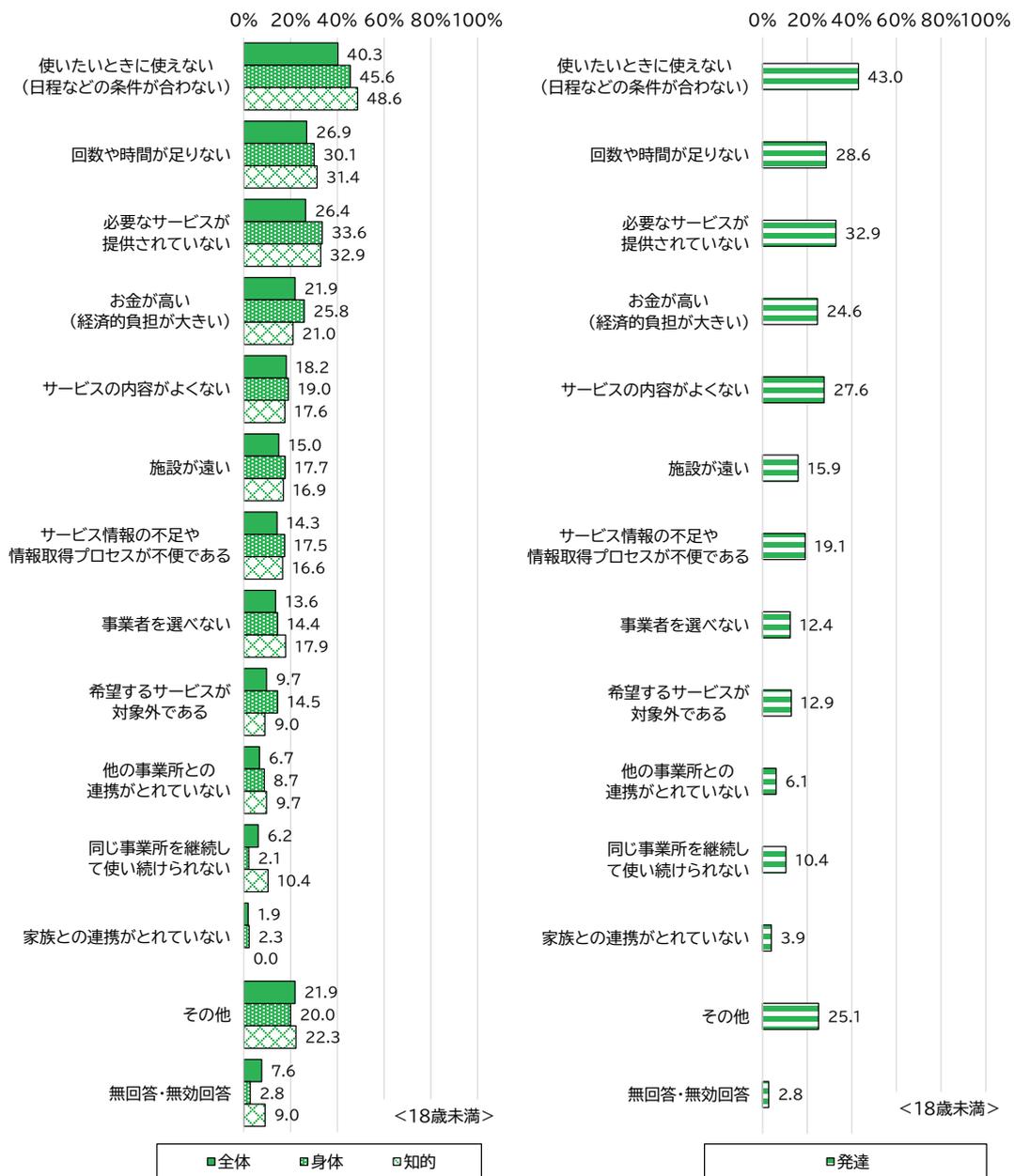
<sup>29</sup> いずれかのサービスの満足度について、「不満である」または「大変不満である」と回答した方のみ集計対象。(18 歳未満も同様)また、「難病」、[高次]においては、集計対象件数が 10 件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため掲載を省略した。



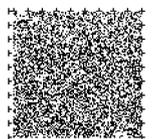
18歳未満の方全体では、「使いたいときに使えない(日程などの条件が合わない)」の回答が40.3%と最も高く、次いで「回数や時間が足りない」の回答が26.9%、「必要なサービスが提供されていない」の回答が26.4%となっている。

【18歳未満 問9\_3】 どういった点に不満を感じますか。(複数回答)

図表 3-65 サービス利用にあたって不満に感じること(18歳未満)<sup>30</sup>



<sup>30</sup> [精神]、[難病]、[高次]においては、集計対象件数が10件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため掲載を省略した。



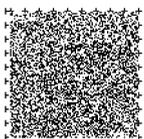
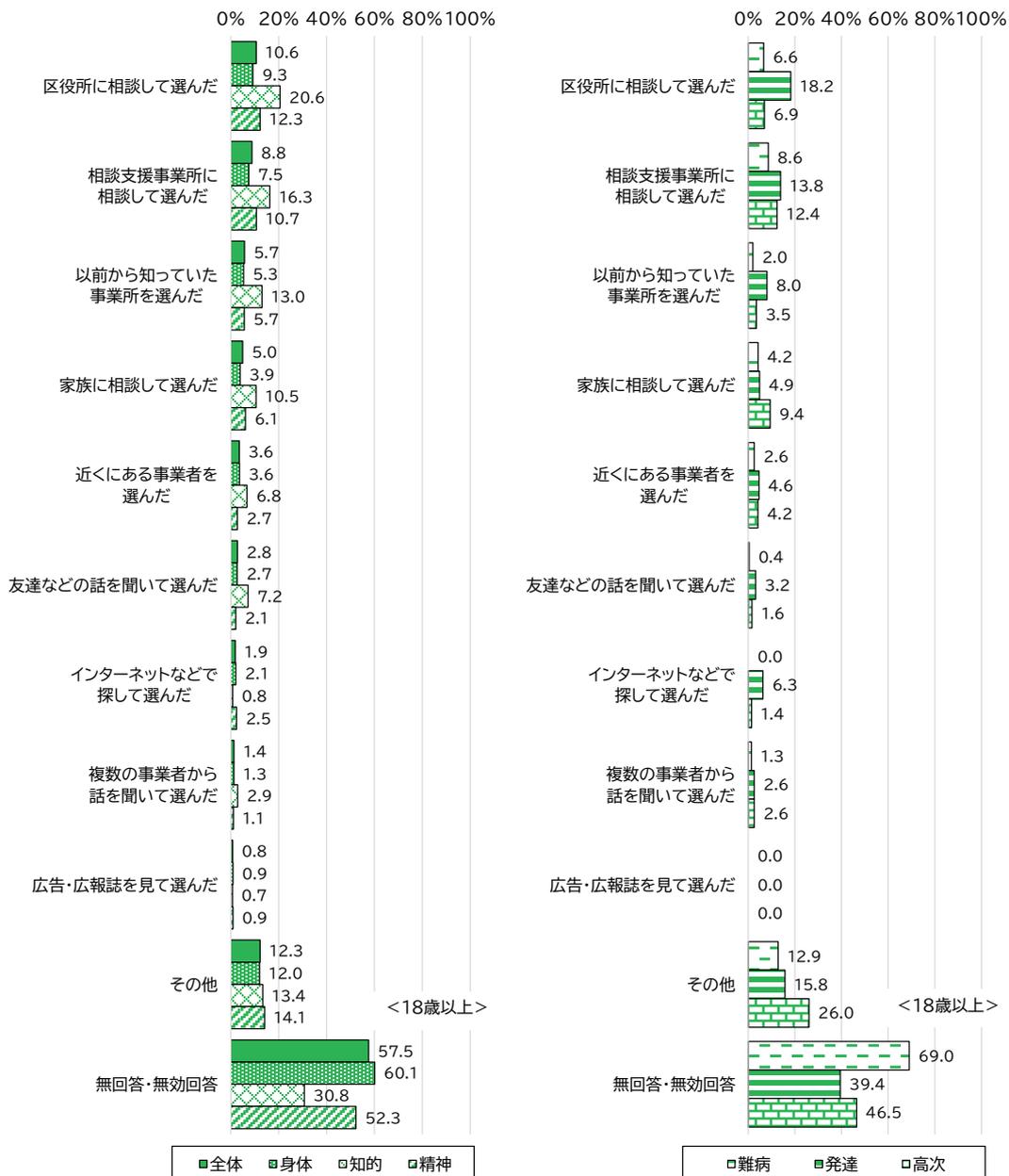
## オ サービス提供事業者の選び方

サービス提供事業者の選び方について、18歳以上の方全体では、「区役所に相談して選んだ」の回答が10.6%、「相談支援事業所に相談して選んだ」の回答が8.8%、「以前から知っていた事業所を選んだ」の回答が5.7%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]において「区役所に相談して選んだ」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問11】 あなたは、いま使っているサービス提供事業者をどのようにして選びましたか。  
(複数回答)

図表 3-66 サービス提供事業者の選び方(18歳以上)

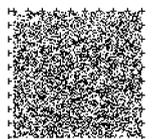
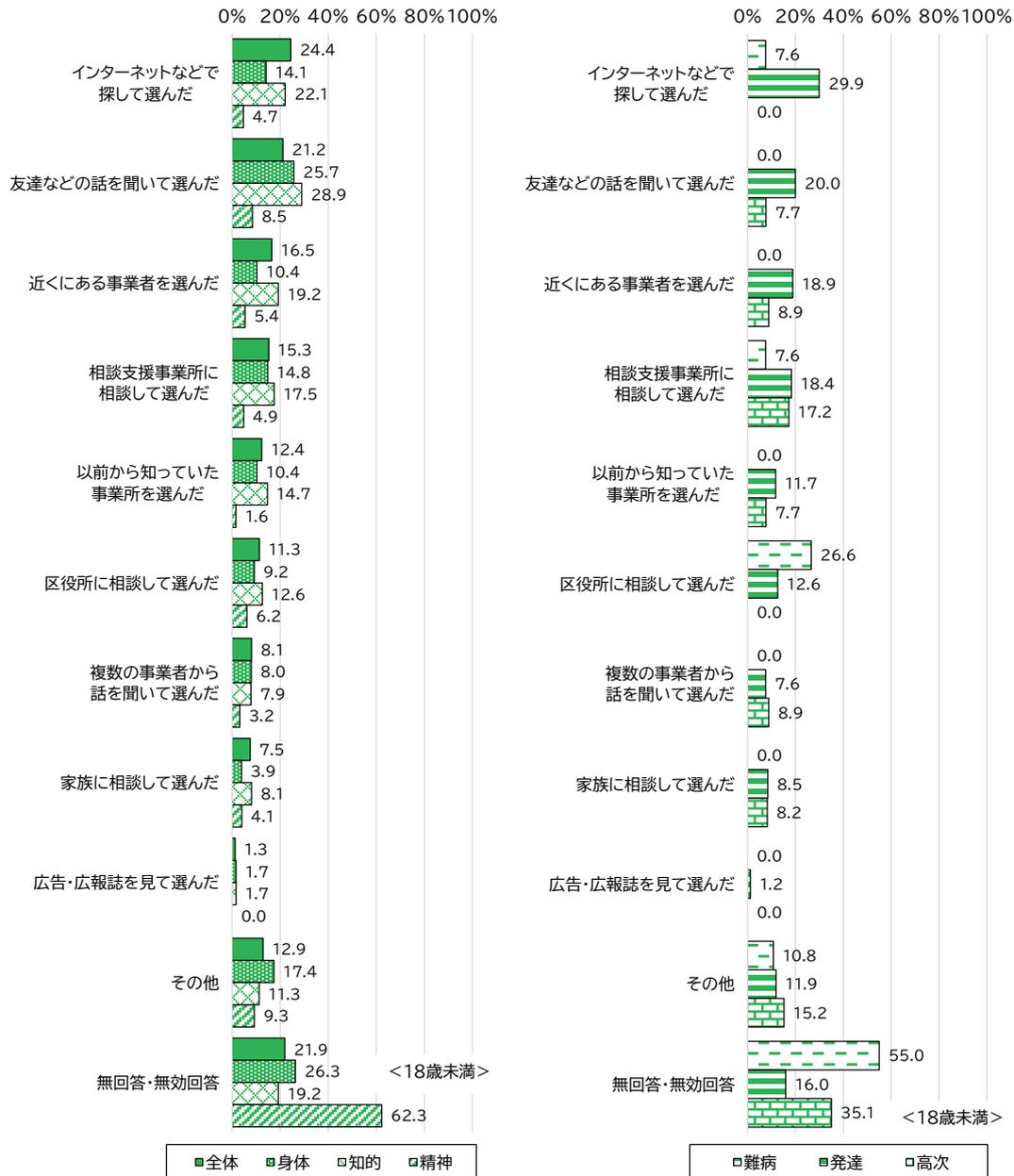


18歳未満の方全体では、「インターネットなどで探して選んだ」の回答が24.4%、「友達などの話を聞いて選んだ」の回答が21.2%、「近くにある事業者を選んだ」の回答が16.5%となっている。

障がい種別に見ると、[難病]において「区役所に相談して選んだ」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問10】あなたは、いま使っているサービス提供事業者をどのようにして選びましたか。  
(複数回答)

図表 3-67 サービス提供事業者の選び方(18歳未満)



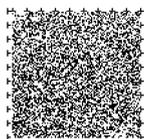
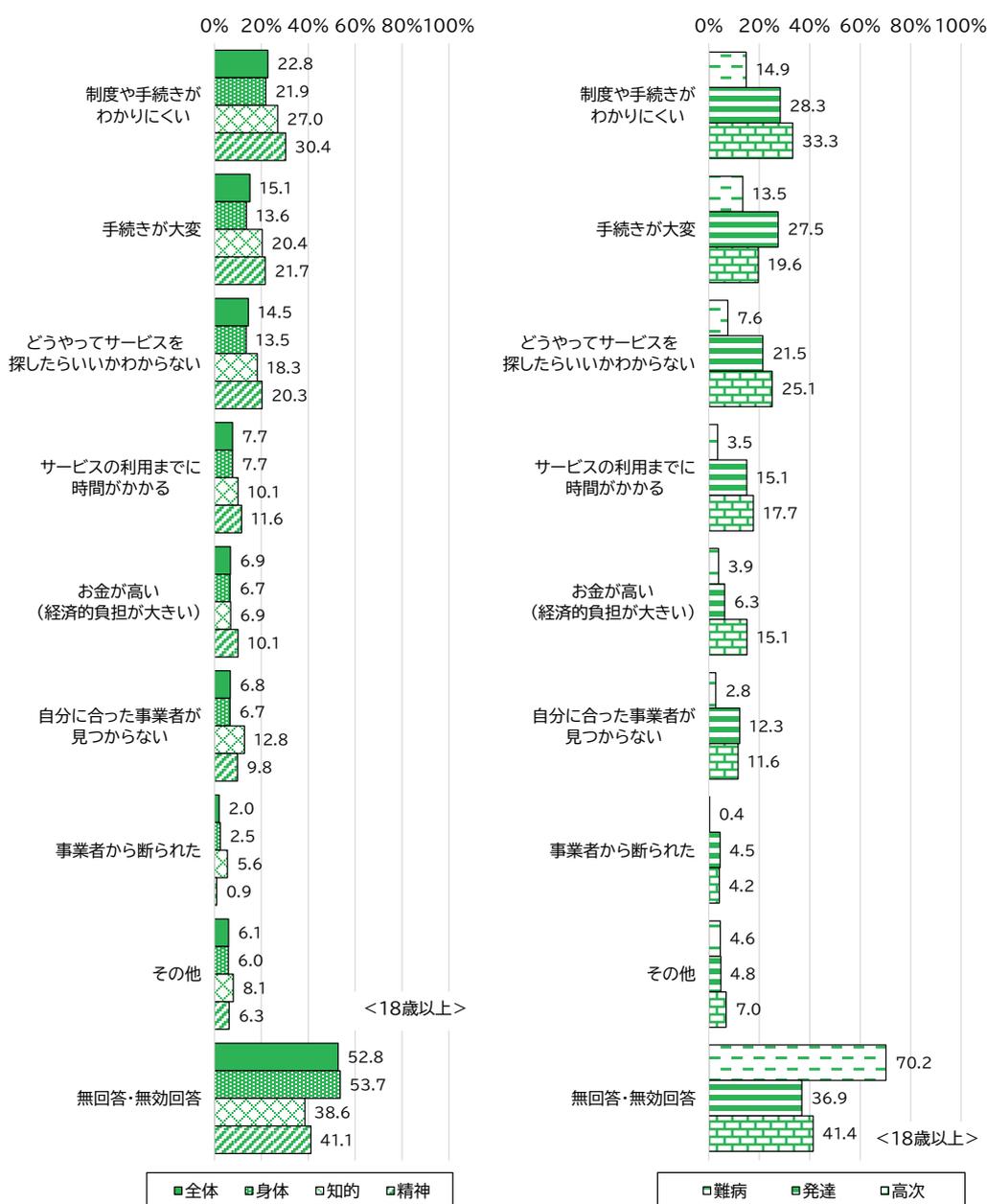
## カ サービス利用時に困ったこと

サービス利用時に困ったことについて、18歳以上の方全体では、「制度や手続きがわかりにくい」の回答が22.8%、「手続きが大変」の回答が15.1%、「どうやってサービスを探したらいいかわからない」の回答が14.5%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「制度や手続きがわかりにくい」、「どうやってサービスを探したらいいかわからない」、「サービスの利用までに時間がかかる」の回答が、[発達]において「手続きが大変」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問12\_1】あなたが、「障害福祉サービス等」を使いたいと思ったときに、困ったことはどのようなことですか。(複数回答)

図表 3-68 サービス利用時に困ったこと(18歳以上)



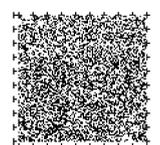
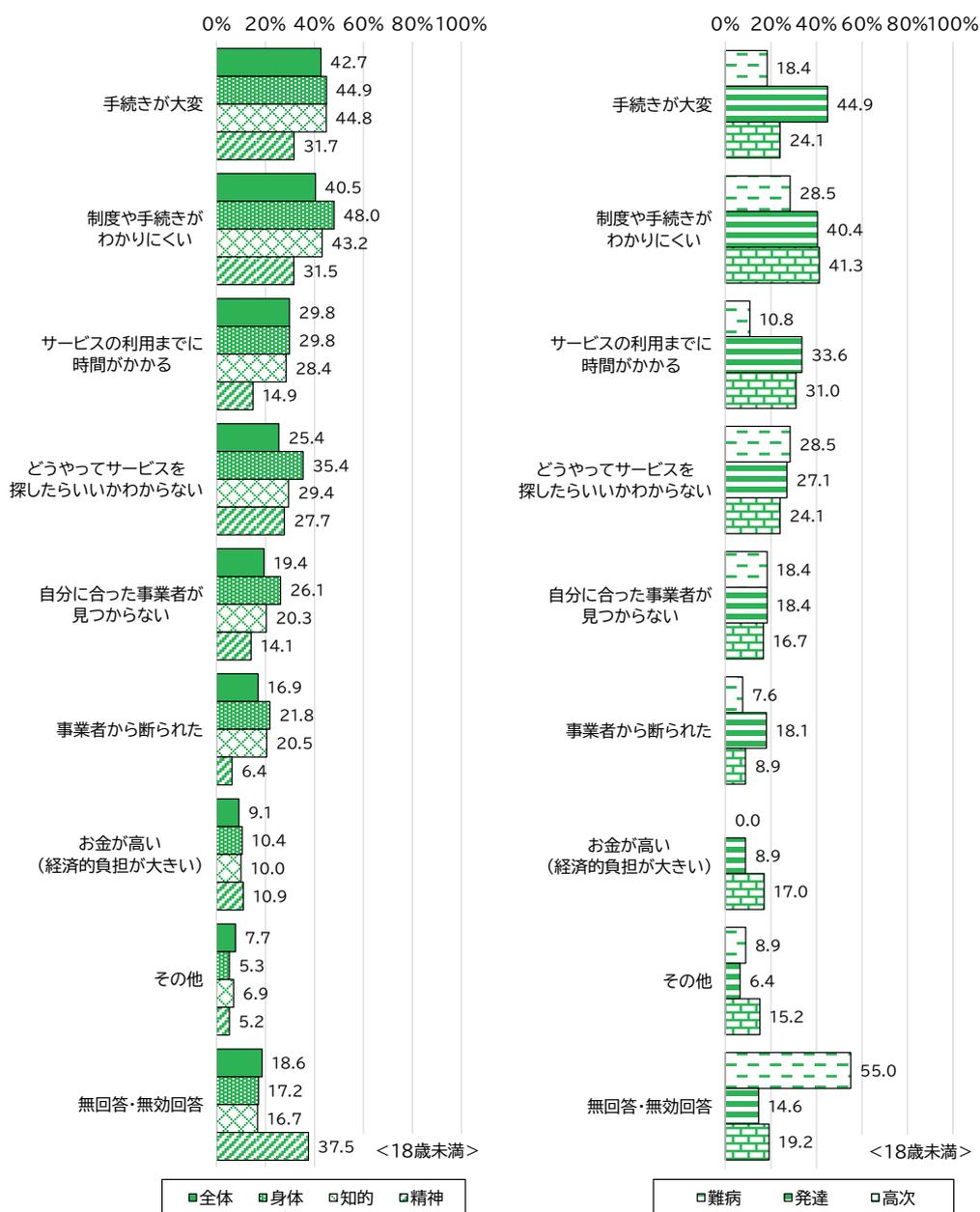
18歳未満の方全体では、「手続きが大変」の回答が42.7%と最も高く、次いで「制度や手続きがわかりにくい」の回答が40.5%、「サービスの利用までに時間がかかる」の回答が29.8%となっている。

障がい種別に見ると、[身体]において「どうやってサービスを探したらいいかわからない」の回答が全体と比較して高くなっている。

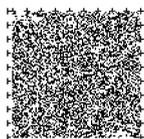
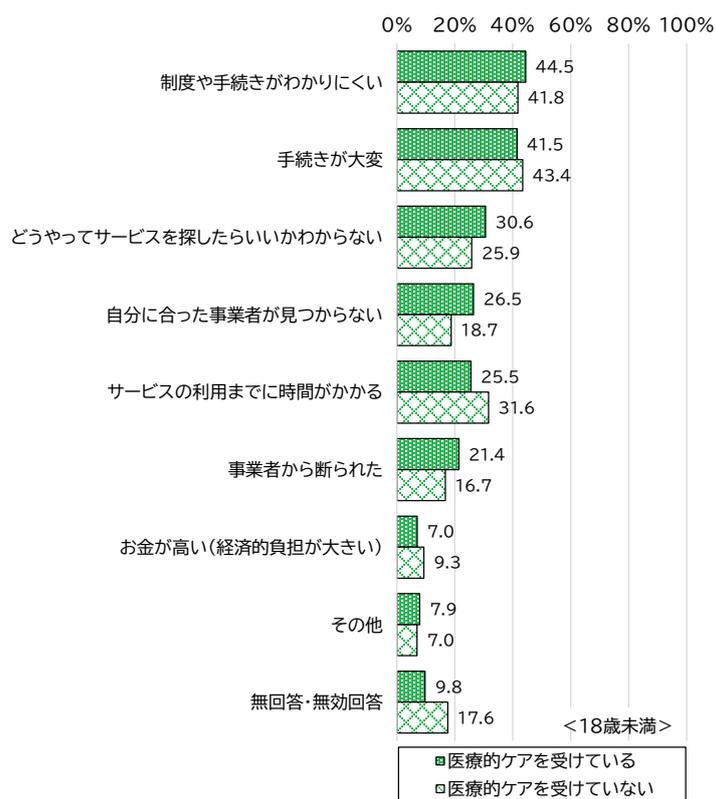
医療的ケアを受けている方では、「制度や手続きがわかりにくい」の回答が44.5%と最も高く、次いで「手続きが大変」の回答が41.5%、「どうやってサービスを探したらいいかわからない」の回答が30.6%となっている。

【18歳未満 問11\_1】あなたが、「障害福祉サービス等」を使いたいと思ったときに、困ったことはどのようなことですか。(複数回答)

図表 3-69 サービス利用時に困ったこと(18歳未満)



図表 3-70 サービス利用時に困ったこと(18歳未満 医療的ケアの有無別)<sup>31</sup>



<sup>31</sup> 何らかの医療的ケアを受けていると回答した方及び医療的ケアを受けていない方について集計を行った。

## キ サービス利用を事業者から断られた理由

サービス利用を事業者から断られた理由について、18 歳以上の方全体では、「事業所が人材不足のため」の回答が 45.9%と最も高く、次いで「利用日程が合わないため」の回答が 32.1%、「すでに定員いっぱいであるため」の回答が 19.9%となっている。

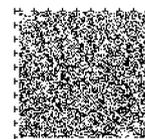
障がい種別に見ると、[知的]において「事業所が人材不足のため」、「利用日程が合わないため」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18 歳以上 問 12.2】 事業者から断られた理由について、差し支えない範囲で教えてください。(複数回答)

図表 3-71 サービス利用を事業者から断られた理由(18 歳以上)<sup>32</sup>



<sup>32</sup> サービス利用時に困ったことについて、「事業者から断られた」と回答した方のみ集計対象。(18 歳未満も同様)[精神]、[難病]、[発達]、[高次]においては、集計対象件数が 10 件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため掲載を省略した。



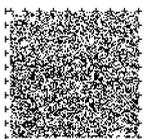
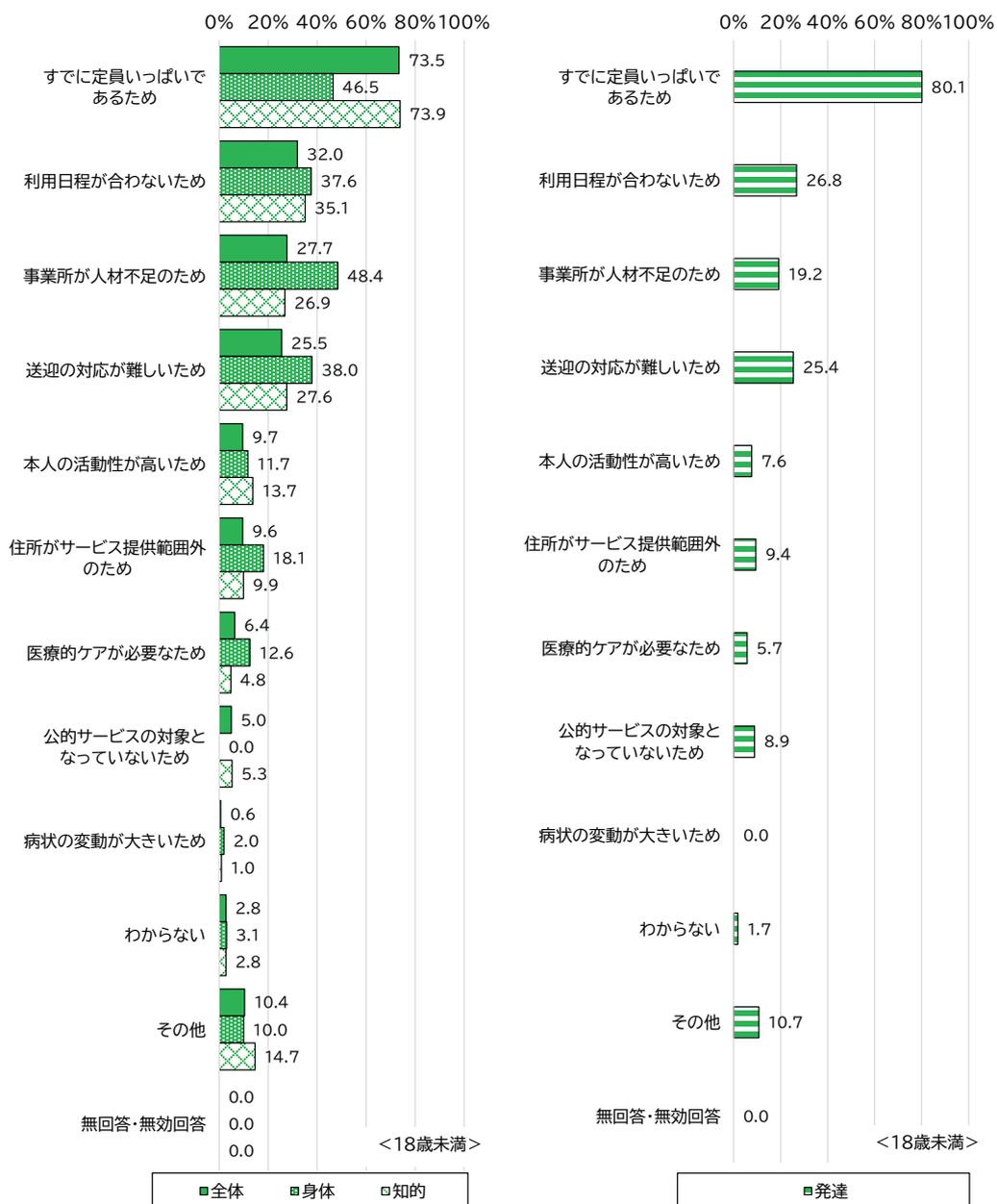
18歳未満の方全体では、「すでに定員いっぱいであるため」の回答が73.5%と最も高く、次いで「利用日程が合わないため」の回答が32.0%、「事業所が人材不足のため」の回答が27.7%となっている。

障がい種別に見ると、[身体]において「事業所が人材不足のため」、「送迎の対応が難しいため」の回答が全体と比較して高くなっている。

また、医療的ケアを受けている方では、「医療的ケアが必要なため」の回答が44.7%と高くなっている。

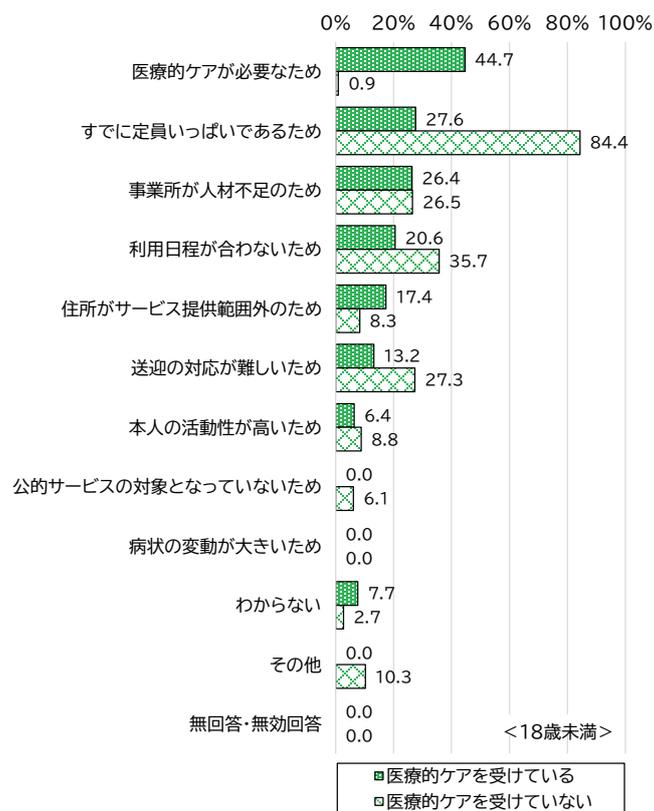
【18歳未満 問11\_2】事業者から断られた理由について、差し支えない範囲で教えてください。(複数回答)

図表 3-72 サービス利用を事業者から断られた理由(18歳未満)<sup>33</sup>

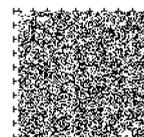


<sup>33</sup> [精神]、[難病]、[高次]においては、集計対象件数が10件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため掲載を省略した。

図表 3-73 サービス利用を事業者から断られた理由(18歳未満 医療的ケアの有無別)<sup>34</sup>



<sup>34</sup> サービス利用時に困ったことについて、「事業者から断られた」と回答した方のうち、何らかの医療的ケアを受けていると回答した方及び医療的ケアを受けていない方について集計を行った。



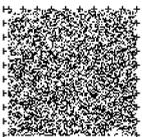
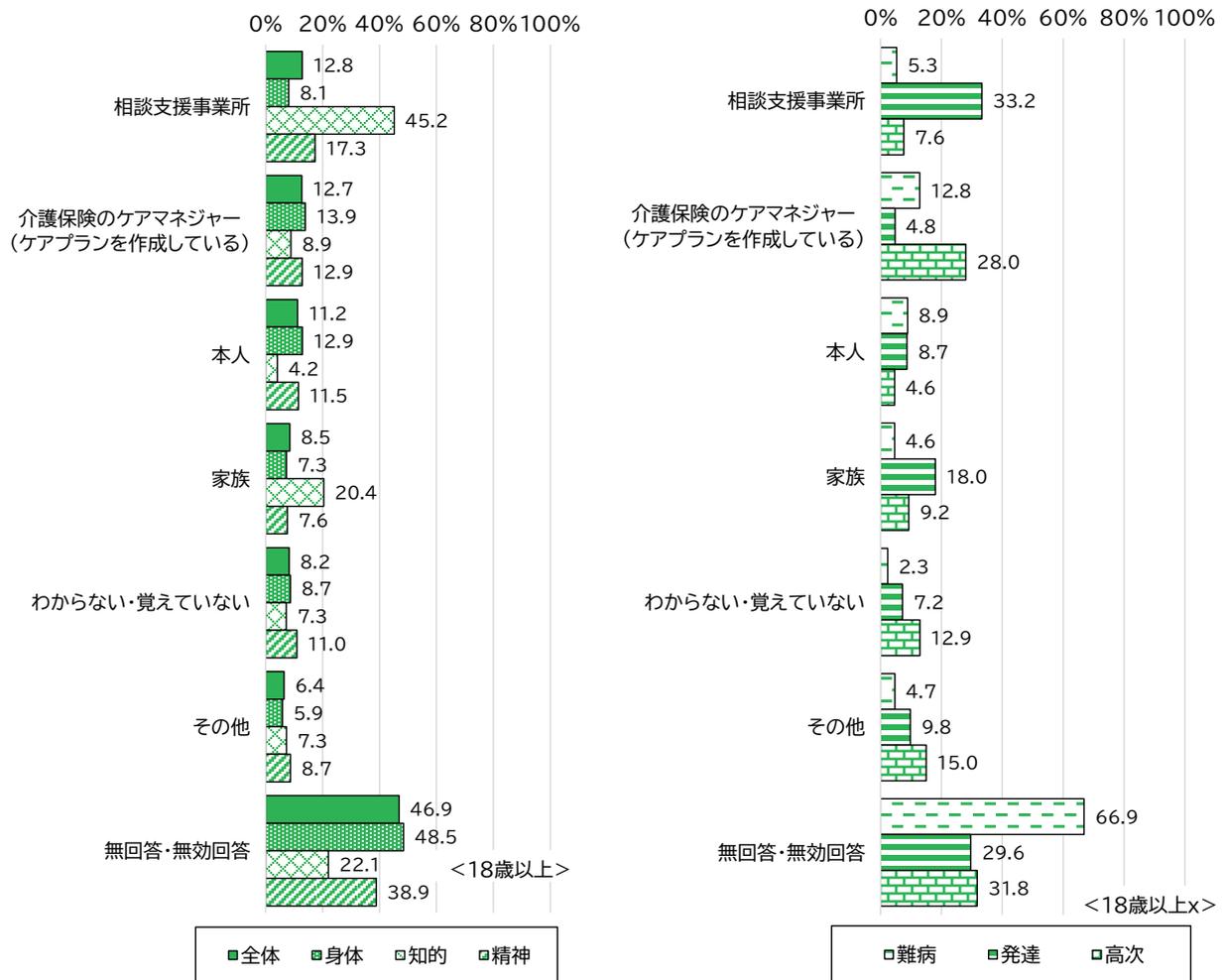
## ク 障害福祉サービス利用計画の作成者

障害福祉サービス利用計画の作成者について、18歳以上の方全体では、「相談支援事業所」の回答が12.8%、「介護保険のケアマネジャー(ケアプランを作成している)」の回答が12.7%、「本人」の回答が11.2%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]、[発達]において、「相談支援事業所」の回答が、[高次]において「介護保険のケアマネジャー(ケアプランを作成している)」の回答が、[知的]において「家族」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問13\_1】 あなたの障害福祉サービスの利用計画は誰が作成していますか。(複数回答)

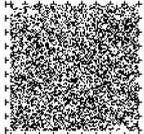
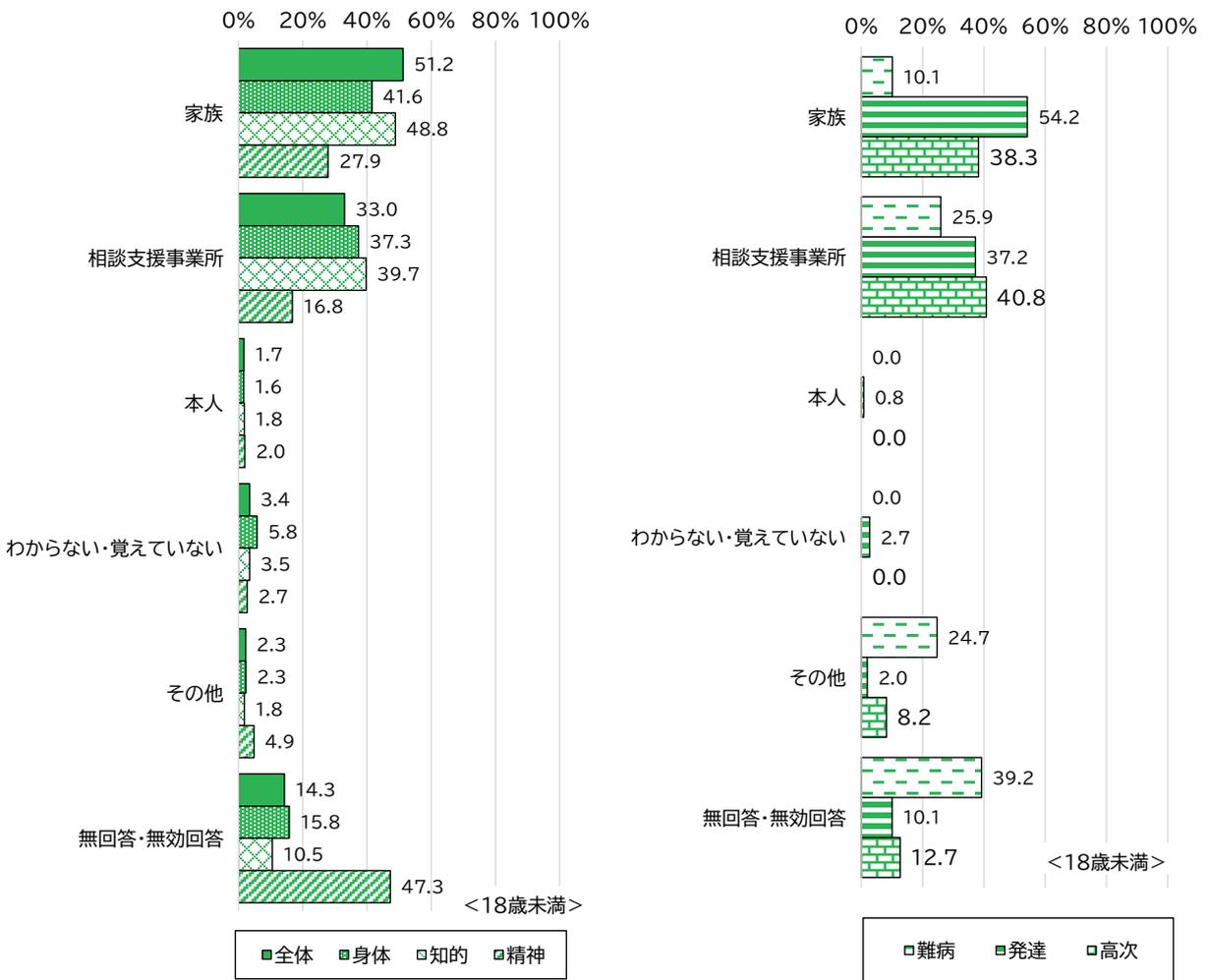
図表 3-74 障害福祉サービス利用計画の作成者(18歳以上)



18 歳未満の方全体では、「家族」の回答が 51.2%と最も高く、次いで「相談支援事業所」の回答が 33.0%となっている。

【18 歳未満 問 12\_1】 あなたの障害福祉サービスの利用計画は誰が作成していますか。(複数回答)

図表 3-75 障害福祉サービス利用計画の作成者(18 歳未満)



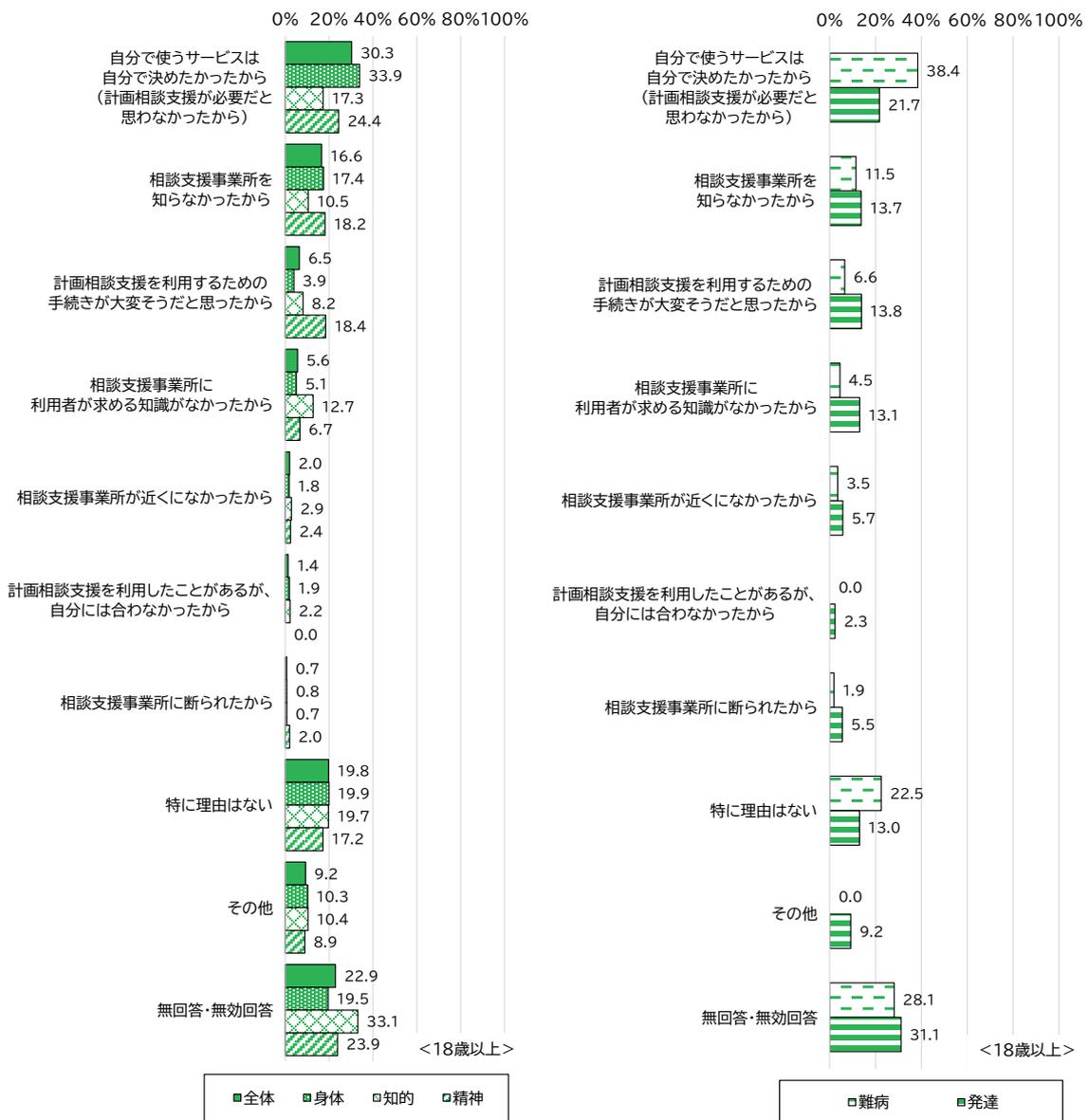
## ケ 計画相談支援を利用しない理由

計画相談支援を利用しない理由について、18歳以上の方全体では、「自分で使うサービスは自分で決めたかったから(計画相談支援が必要だと思わなかったから)」の回答が30.3%、「相談事業所を知らなかったから」の回答が16.6%となっている。

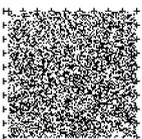
障がい種別に見ると、[精神]において「計画相談支援を利用するための手続きが大変そうだったから」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問13\_2】計画相談支援を利用しない理由を教えてください。(複数回答)

図表 3-76 計画相談支援を利用しない理由(18歳以上)<sup>35</sup>



<sup>35</sup> 障害福祉サービス利用計画の作成者について、「本人」または「家族」と回答した方のみ集計対象。なお、[高次]においては、集計対象件数が10件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため掲載を省略した。



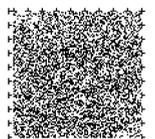
18歳未満の方全体では、「計画相談支援を利用するための手続きが大変そうだったから」の回答が28.1%と最も高く、次いで「自分で使うサービスは自分で決めたかったから（計画相談支援が必要だと思わなかったから）」の回答が20.9%、「相談支援事業所を知らなかったから」の回答が19.7%となっている。

【18歳未満 問12\_2】計画相談支援を利用しない理由を教えてください。（複数回答）

図表 3-77 計画相談支援を利用しない理由(18歳未満)<sup>36</sup>



<sup>36</sup> [難病]、[高次]においては、集計対象件数が10件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため掲載を省略した。



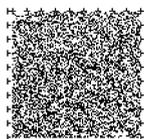
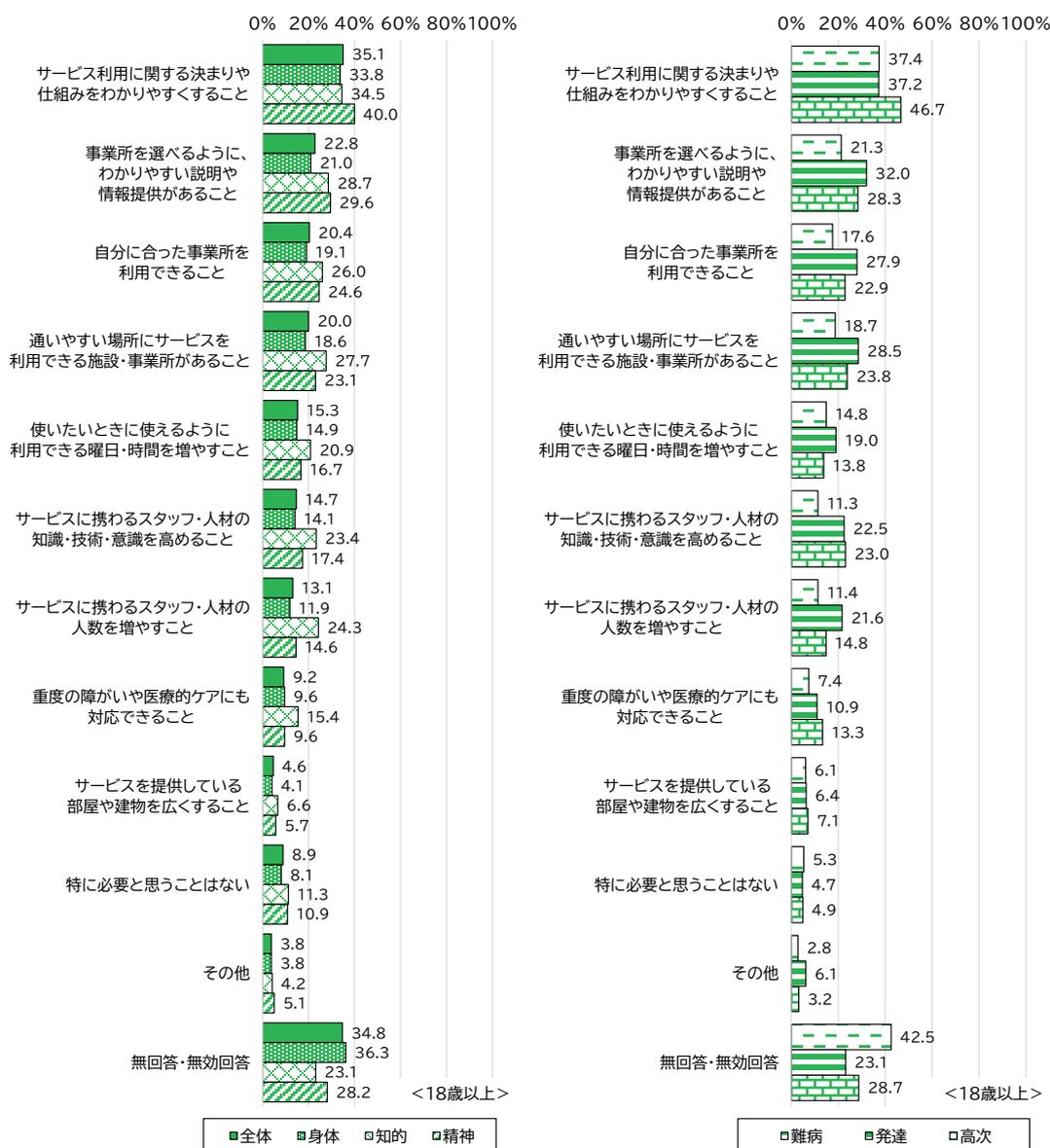
## コ サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと

サービスを利用しやすくするために必要だと思うことについて、18歳以上の方全体では、「サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること」の回答が35.1%、「事業所を選べるように、わかりやすい説明や情報提供があること」の回答が22.8%、「自分に合った事業所を利用できること」の回答が20.4%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること」の回答が、[知的]において「サービスに携わるスタッフ・人材の人数を増やすこと」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問14】 サービスを利用しやすくするために必要だと思うことを教えてください。(複数回答)

図表 3-78 サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと(18歳以上)

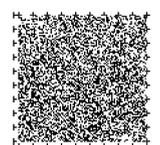
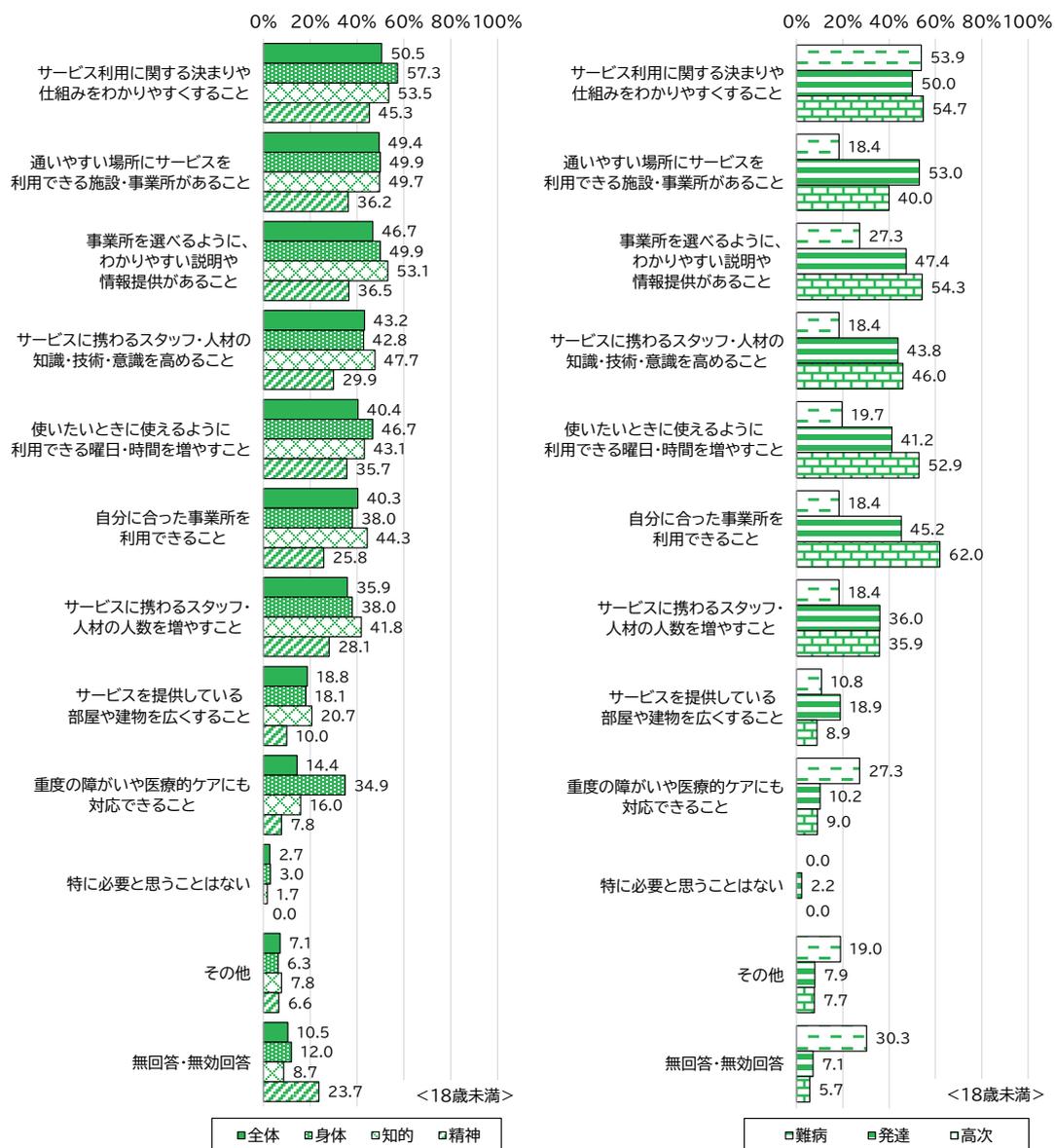


18歳未満の方全体では、「サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること」の回答が50.5%と最も高く、次いで「通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること」の回答が49.4%、「事業所を選べるように、わかりやすい説明や情報提供があること」の回答が46.7%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「使いたいときに使えるように利用できる曜日・時間を増やすこと」、「自分に合った事業所を利用できること」の回答が、[身体]、[難病]において「重度の障がいや医療的ケアにも対応できること」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問13】 サービスを利用しやすくするために必要だと思うことを教えてください。(複数回答)

図表 3-79 サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと(18歳未満)



## (4) 日中活動や就労について

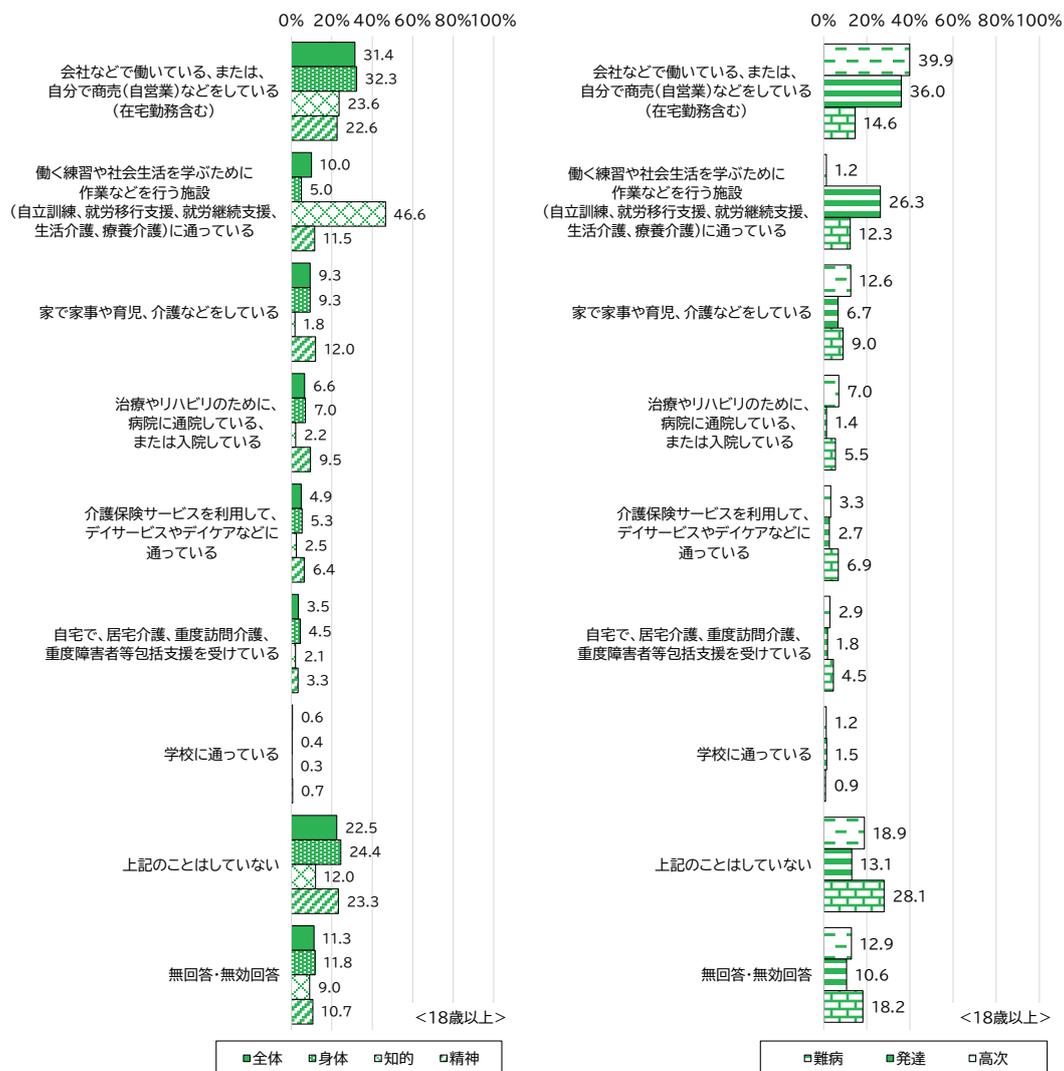
### ア 平日の日中を主に過ごす場所

平日の日中を主に過ごす場所について、18歳以上の方全体では、「会社などで働いている、または、自分で商売(自営業)などをしている(在宅勤務含む)」の回答が31.4%と最も高く、次いで「上記のことはしていない」(調査票上では「1~7に該当することはしていない」)の回答が22.5%となっている。

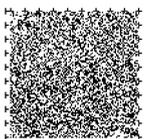
障がい種別に見ると、[知的]、[発達]において、「働く練習や社会生活を学ぶために作業などを行う施設(自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、生活介護、療養介護)に通っている」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問15\_1】あなたは、月曜日から金曜日(平日)の日中(昼間)、主にどこで過ごしていますか。  
(単一回答)

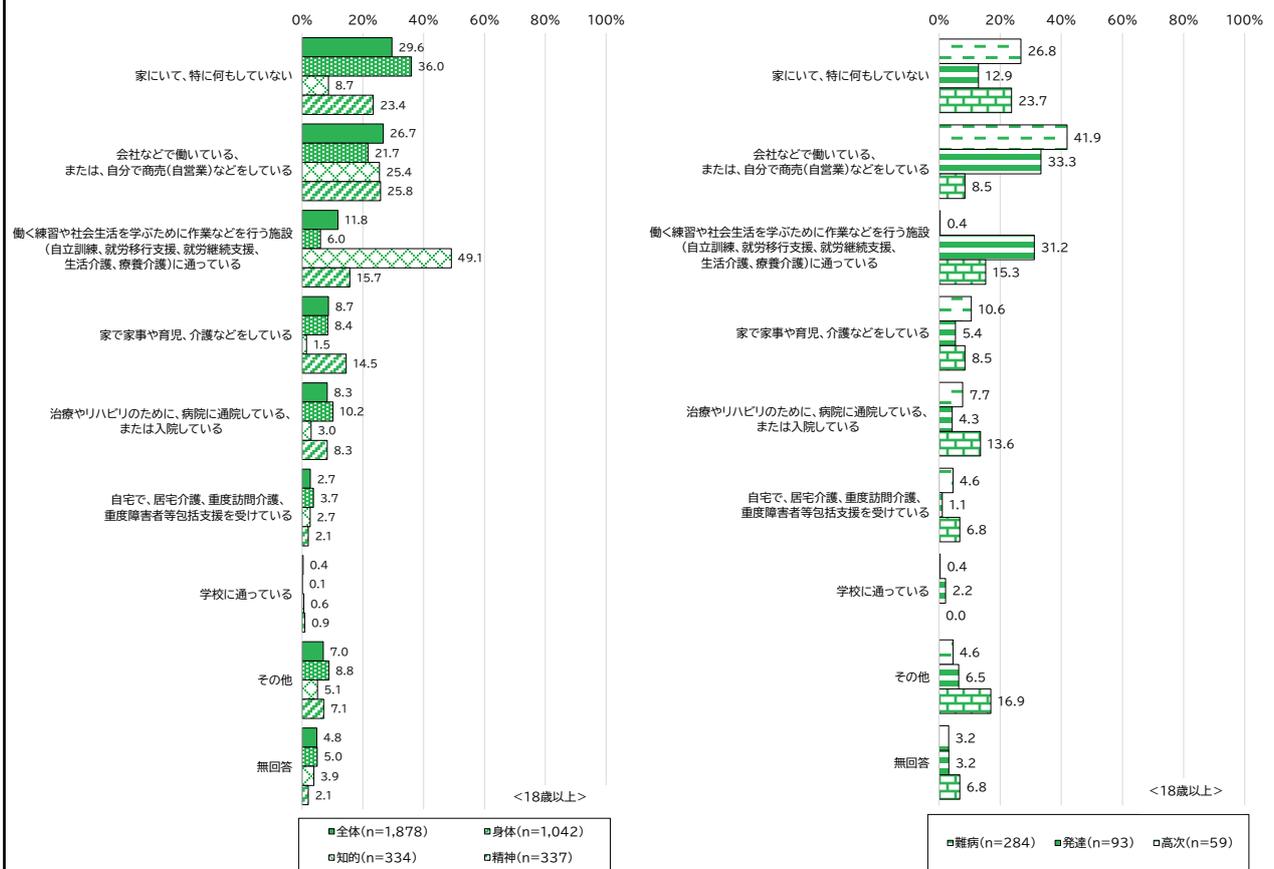
図表 3-80 平日の日中を主に過ごす場所(18歳以上)<sup>37</sup>



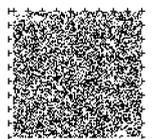
<sup>37</sup> 本設問は単一回答の設問であるが、表記の都合上、複数回答と同様のグラフを用いて集計結果を示している。また、調査票上では「1~7に該当することはしていない」と記載されていた選択肢について、「上記のことはしていない」と表記している。



図表 3-81 参考:前回調査結果 平日の日中を主に過ごす場所(18歳以上)<sup>38</sup>



<sup>38</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)



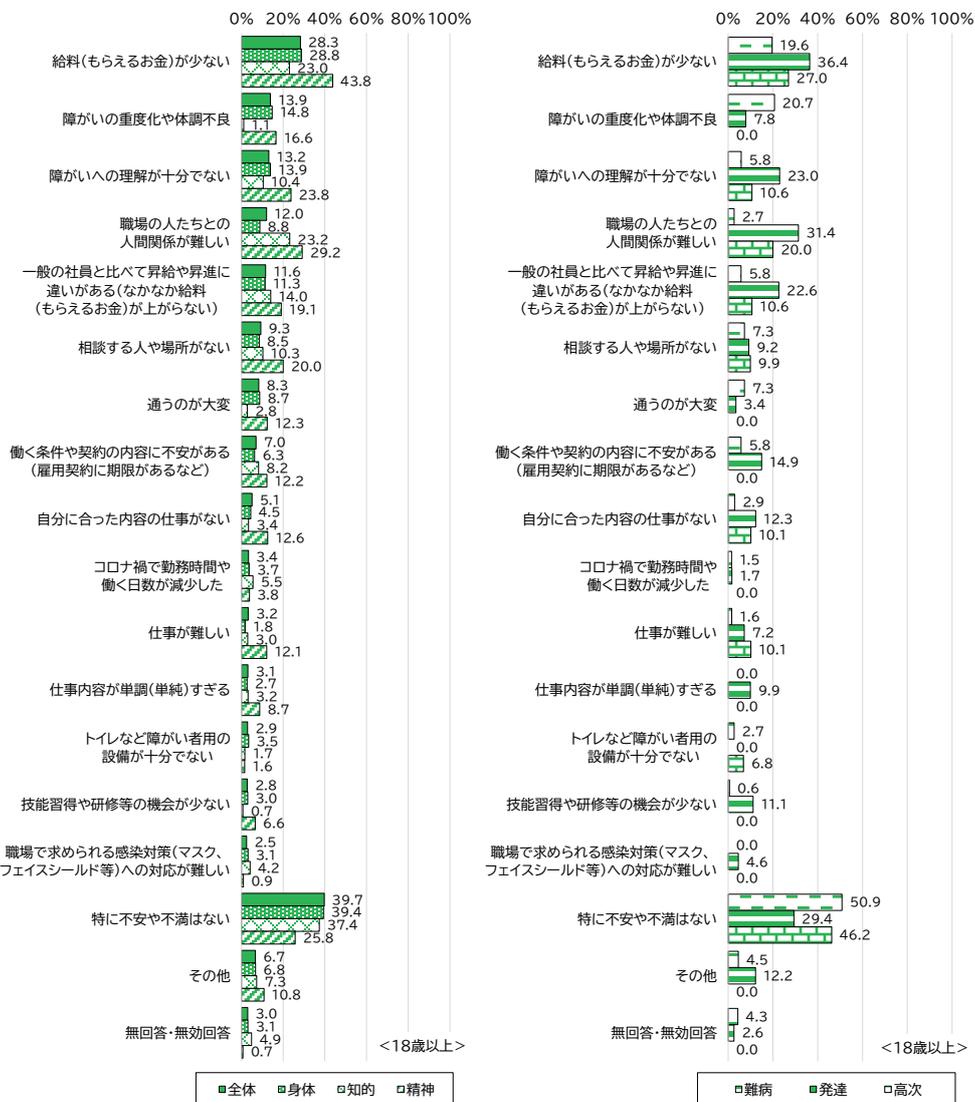
## イ 仕事をする上での不安や不満

仕事をする上での不安や不満について、18歳以上の方全体では、「特に不安や不満はない」の回答が39.7%と最も高くなっている。一方で、「給料(もらえるお金)が少ない」の回答が28.3%、「障がいの重度化や体調不良」の回答が13.9%、「障がいへの理解が十分でない」の回答が13.2%となっている。

障がい種別に見ると、[精神]において「給料(もらえるお金)が少ない」、「障がいへの理解が十分でない」、「相談する人や場所がない」の回答が、[知的]、[精神]、[発達]において「職場の人たちとの人間関係が難しい」の回答が、[発達]において「一般の社員と比べて昇給や昇進に違いがある(なかなか給料(もらえるお金)が上がらない)」の回答が全体と比較して高くなっている。なお、「特に不安や不満はない」の回答は、全体と比較して[難病]において高く、[精神]、[発達]において低くなっている。

【18歳以上 問15\_2】仕事をする上で不安や不満はありますか。(複数回答)

図表 3-82 仕事をする上での不安や不満(18歳以上)<sup>39</sup>



<sup>39</sup> 平日の日中を主に過ごす場所について、「会社などで働いている、または、自分で商売(自営業)などを行っている(在宅勤務含む)」と回答した方のみ集計対象。

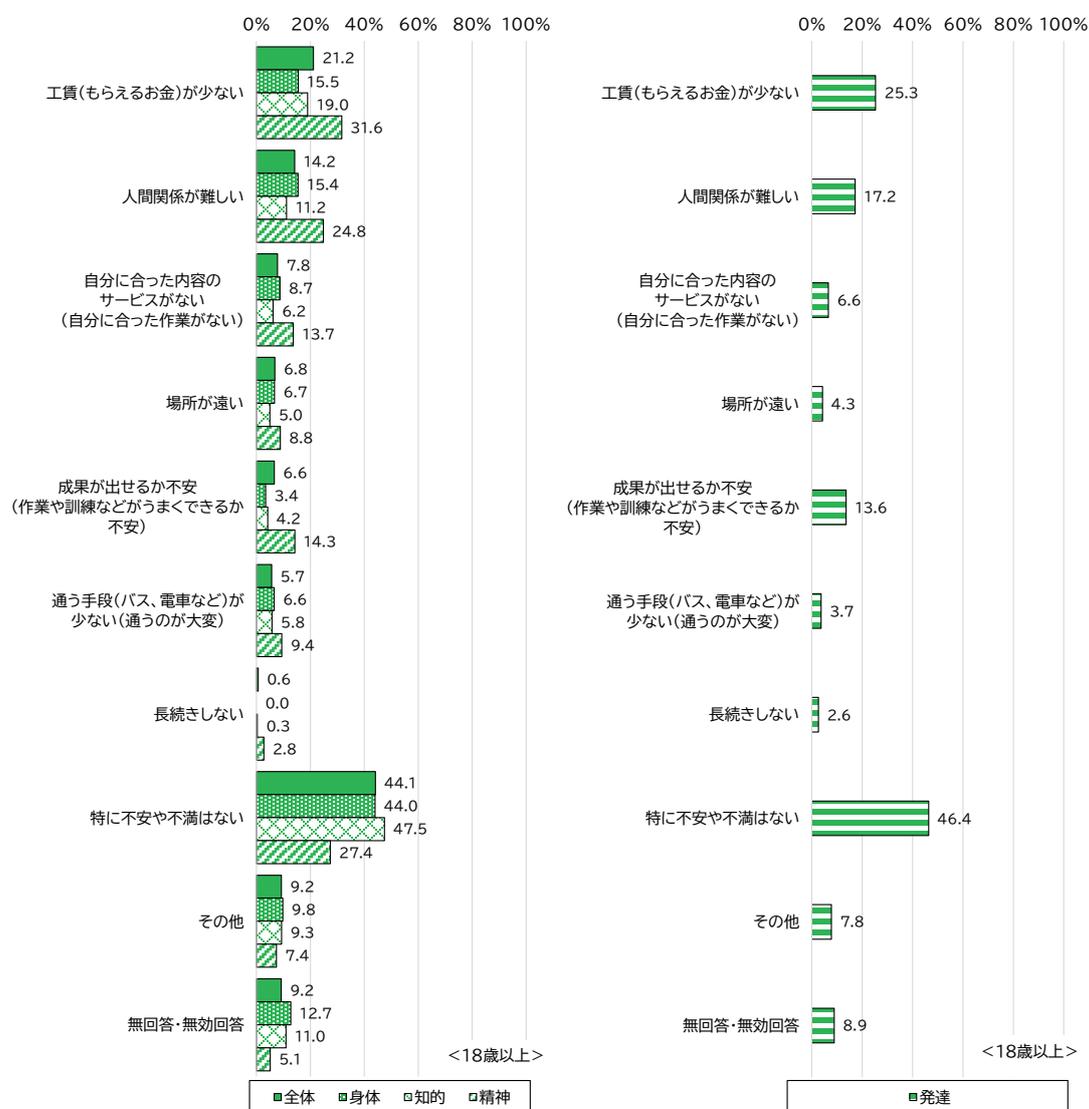
## ウ 就労継続支援などの施設での不安や不満

就労継続支援などの施設での不安や不満について、18歳以上の方全体では、「特に不安や不満はない」の回答が44.1%と最も高くなっている。一方で、「工賃(もらえるお金)が少ない」の回答が21.2%、「人間関係が難しい」の回答が14.2%、「自分に合った内容のサービスがない(自分に合った作業がない)」の回答が7.8%となっている。

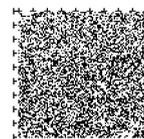
障がい種別に見ると、[精神]において「工賃(もらえるお金が少ない)」、「人間関係が難しい」の回答が全体と比較して高くなっており、「特に不安や不満はない」の回答が全体と比較して低くなっている。

【18歳以上 問15\_3】 自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、生活介護、療養介護などの施設に通う上で、不安や不満はありますか。(複数回答)

図表 3-83 就労継続支援などの施設での不安や不満(18歳以上)<sup>40</sup>



<sup>40</sup> 平日の日中を主に過ごす場所について、「働く練習や社会生活を学ぶために作業などを行う施設(自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、生活介護、療養介護)に通っている」と回答した方のみ集計対象。また、[難病]、[高次]においては、集計対象件数が10件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため掲載を省略した。



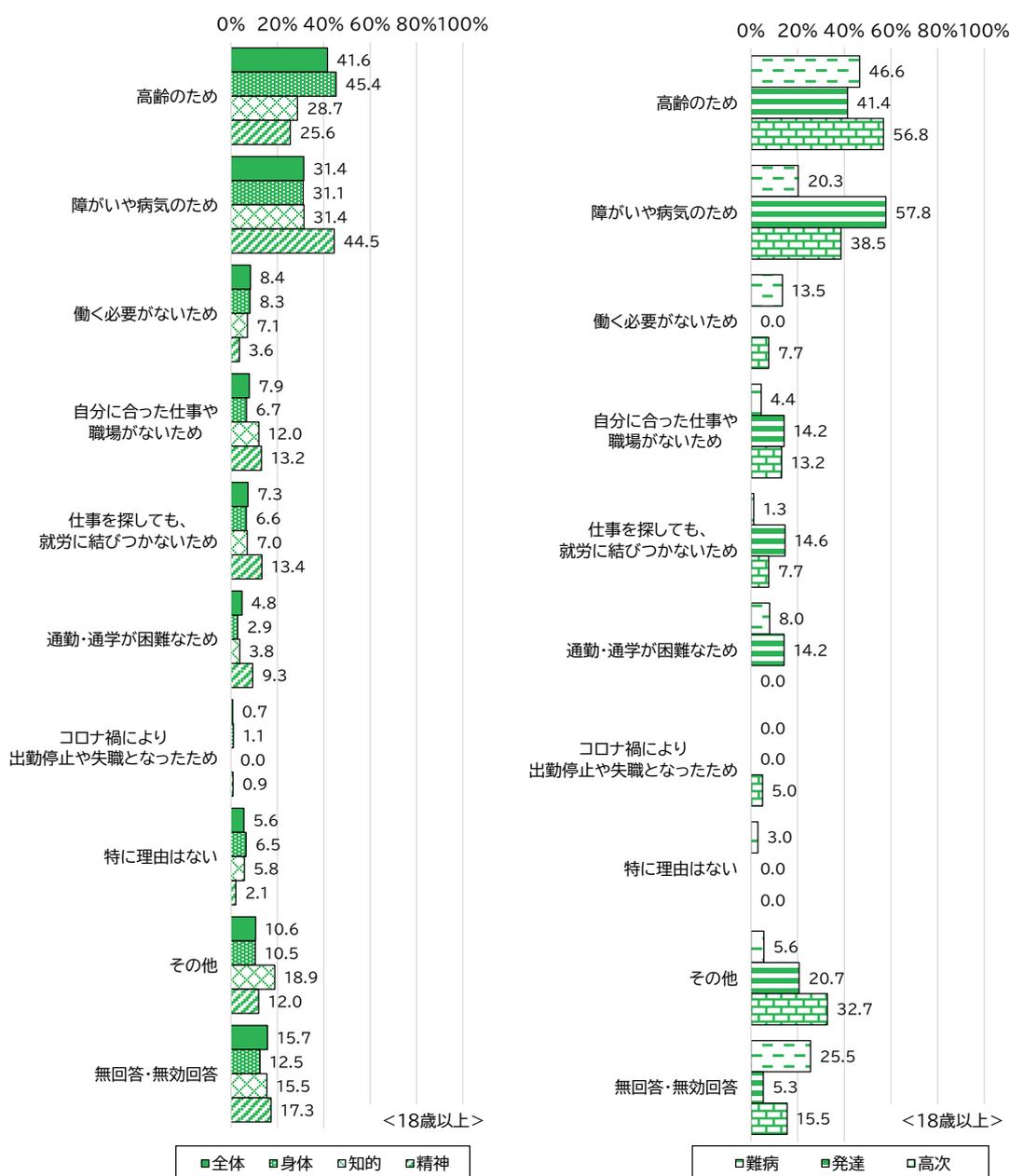
## エ 仕事・就学・家事等をしていない理由

仕事・就学・家事等をしていない理由について、18歳以上の方全体では、「高齢のため」の回答が41.6%と最も高く、次いで「障がいや病気のため」の回答が31.4%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「高齢のため」の回答が、[精神]、[発達]において「障がいや病気のため」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問15\_4】仕事・就学・家事等をしていない理由は何ですか。(複数回答)

図表 3-84 仕事・就学・家事等をしていない理由(18歳以上)<sup>41</sup>



<sup>41</sup> 平日の日中を主に過ごす場所について、「1～7に該当することはしていない」(グラフでは「上記のことはしていない」と回答した方のみ集計対象。

## オ 平日の日中を過ごしたい場所

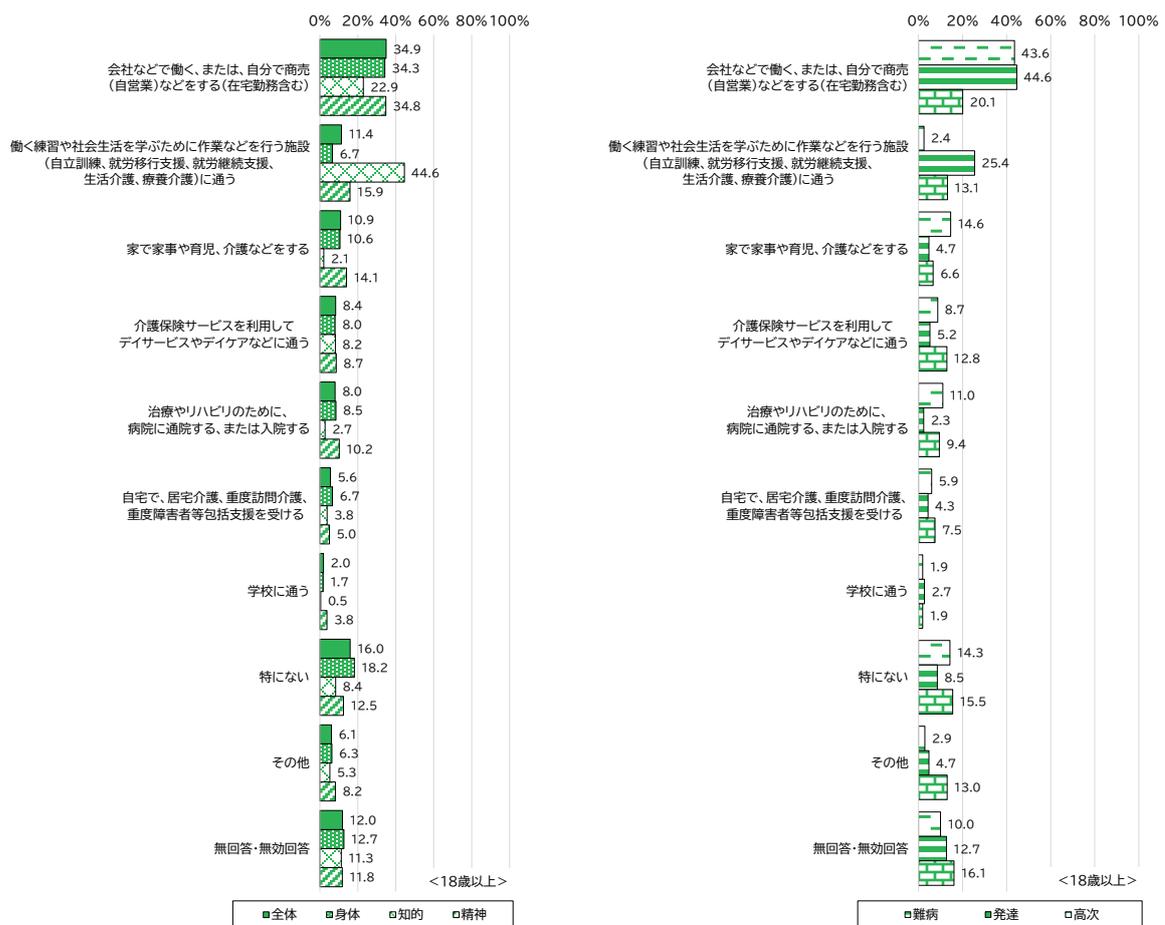
平日の日中を過ごしたい場所について、18歳以上の方全体では、「会社などで働く、または、自分で商売(自営業)などをする(在宅勤務含む)」の回答が34.9%と最も高く、「働く練習や社会生活を学ぶために作業などを行う施設(自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、生活介護、療養介護)に通う」の回答が11.4%、「家で家事や育児、介護などをする」の回答が10.9%となっている。なお、「特にない」の回答は16.0%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]、[発達]において「働く練習や社会生活を学ぶために作業などを行う施設(自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、生活介護、療養介護)に通う」の回答が全体と比較して高くなっている。

就労系障害福祉サービス等利用者<sup>42</sup>に限って集計を行うと、「会社などで働く、または、自分で商売(自営業)などをする(在宅勤務含む)」の回答は10.6%となっている。また、今後一般就労を希望する方<sup>43</sup>に限って現在の平日の日中を主に過ごす場所について集計を行うと、「家で家事や育児、介護などをしてい」と「上記のことはしていない」を合わせた回答は10.8%となっている。

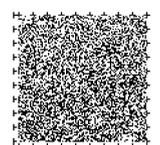
【18歳以上 問16】あなたは今後、月曜日から金曜日(平日)の日中(昼間)、どこで過ごしたいですか。(複数回答)

図表 3-85 平日の日中を過ごしたい場所(18歳以上)

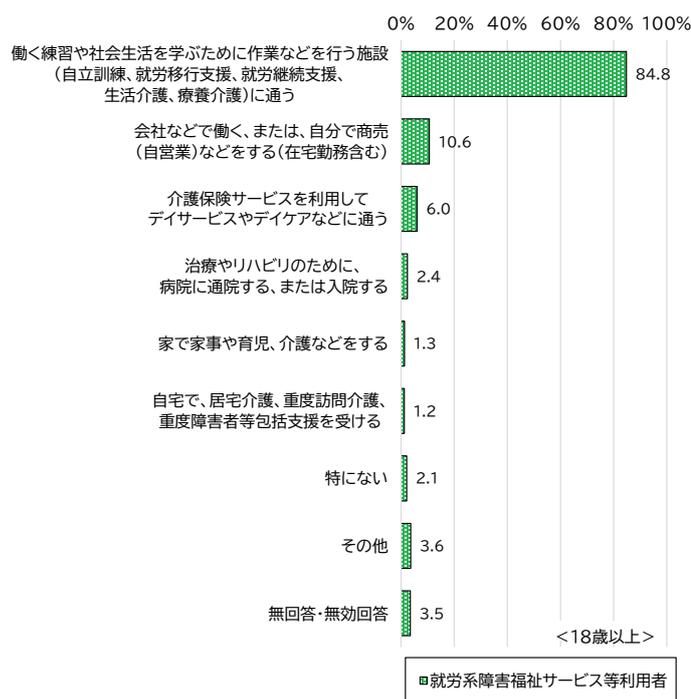


<sup>42</sup> 平日の日中を主に過ごす場所について、「働く練習や社会生活を学ぶために作業などを行う施設(自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、生活介護、療養介護)に通っている」と回答した方。

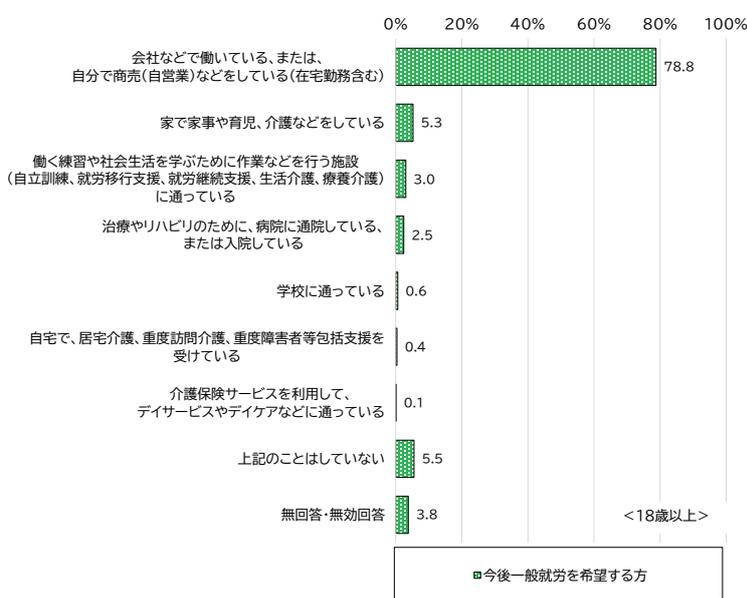
<sup>43</sup> 平日の日中を主に過ごしたい場所について、「会社などで働く、または、自分で商売(自営業)などをする(在宅勤務含む)」と回答した方



図表 3-86 平日の日中を過ごしたい場所(18歳以上 就労系障害福祉サービス等利用者)<sup>44</sup>



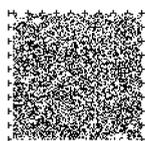
図表 3-87 平日の日中を主に過ごす場所(18歳以上 今後一般就労を希望する方)<sup>45</sup>



※問 15\_1 「あなたは、月曜日から金曜日(平日)の日中(昼間)、主にどこで過ごしていますか。」と尋ねた設問への回答状況について集計を行っている。

<sup>44</sup> 平日の日中を主に過ごす場所について、「働く練習や社会生活を学ぶために作業などを行う施設(自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、生活介護、療養介護)に通っている」と回答した方のみ集計対象。

<sup>45</sup> 平日の日中を主に過ごしたい場所について、「会社などで働く、または、自分で商売(自営業)などをする(在宅勤務含む)」と回答した方のみ集計対象。



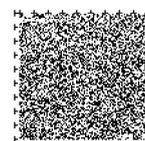
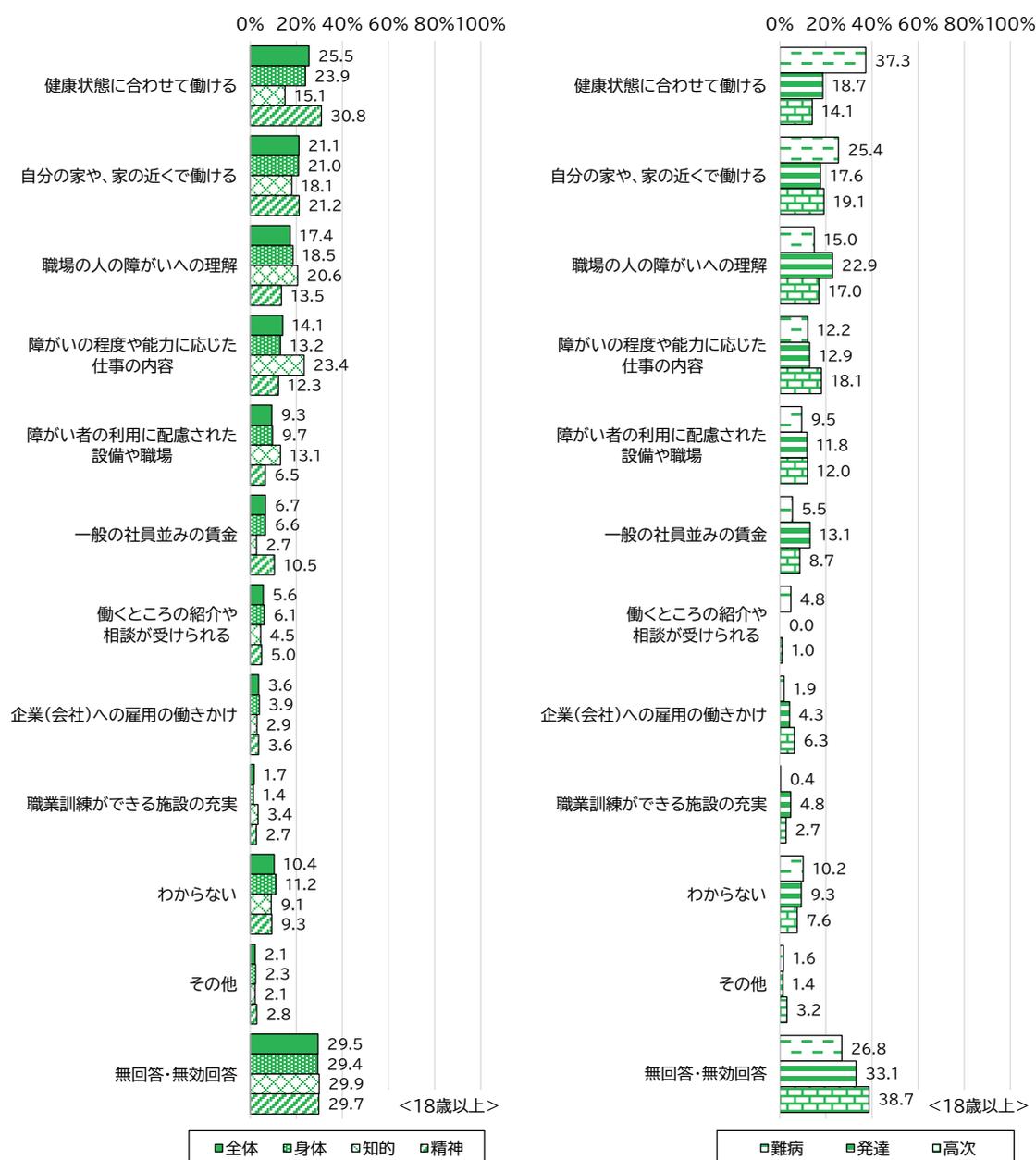
## カ 障がい者が就労する上で大切だと思うこと

障がい者が就労する上で大切だと思うことについて、18歳以上の方全体では、「健康状態に合わせて働ける」の回答が25.5%と最も高く、次いで「自分の家や、家の近くで働ける」の回答が21.1%、「職場の人の障がいへの理解」の回答が17.4%となっている。

障がい種別に見ると、[難病]において、「健康状態に合わせて働ける」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問17】あなたは、障がいのある方が働くためには、特にどのようなことが大切だと思いますか。（2つまで回答）

図表 3-88 障がい者が就労する上で大切だと思うこと(18歳以上)



## (5) 保育・教育について

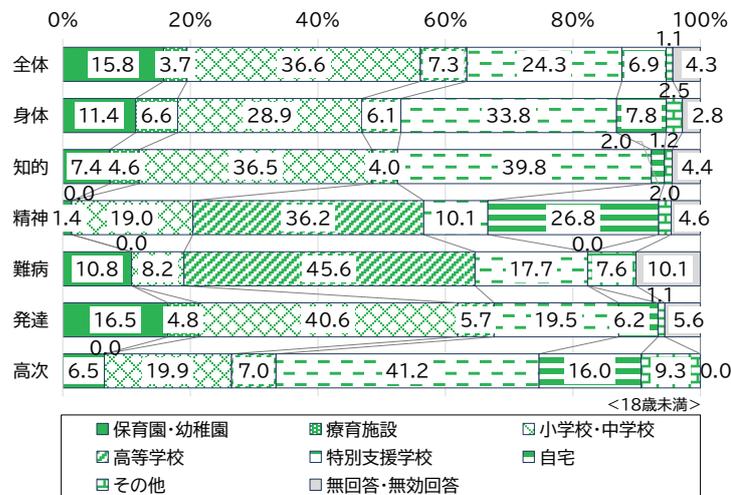
### ア 平日の日中を主に過ごす場所

平日の日中を主に過ごす場所について、18歳未満の方全体では、「小学校・中学校」の回答が36.6%と最も高く、次いで「特別支援学校」の回答が24.3%、「保育園・幼稚園」の回答が15.8%となっている。

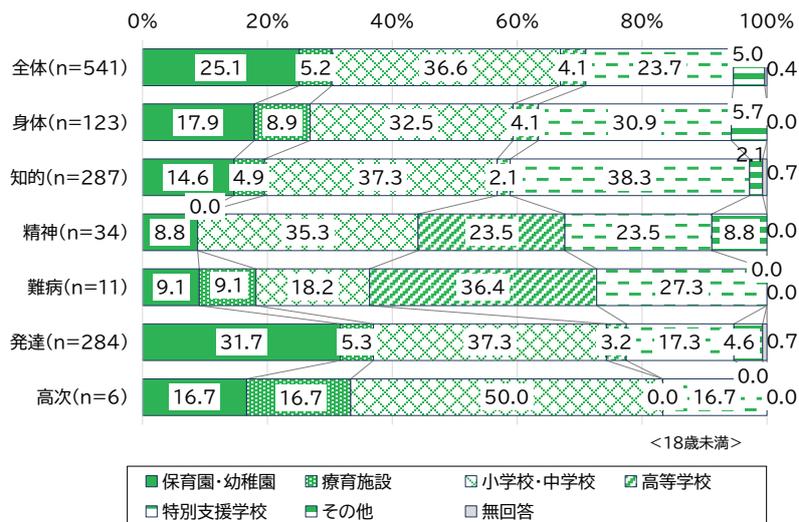
障がい種別に見ると、[精神]、[難病]において「高等学校」の回答が、[精神]において「自宅」の回答が、[知的]、[高次]において「特別支援学校」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問14】あなたが、月曜日から金曜日(平日)の日中(昼間)、主に過ごしている場所はどこですか。(単一回答)

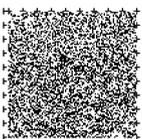
図表 3-89 平日の日中を主に過ごす場所(18歳未満)



図表 3-90 参考: 前回調査結果 平日の日中を主に過ごす場所(18歳未満)<sup>46</sup>



<sup>46</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)



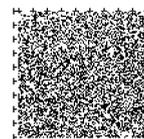
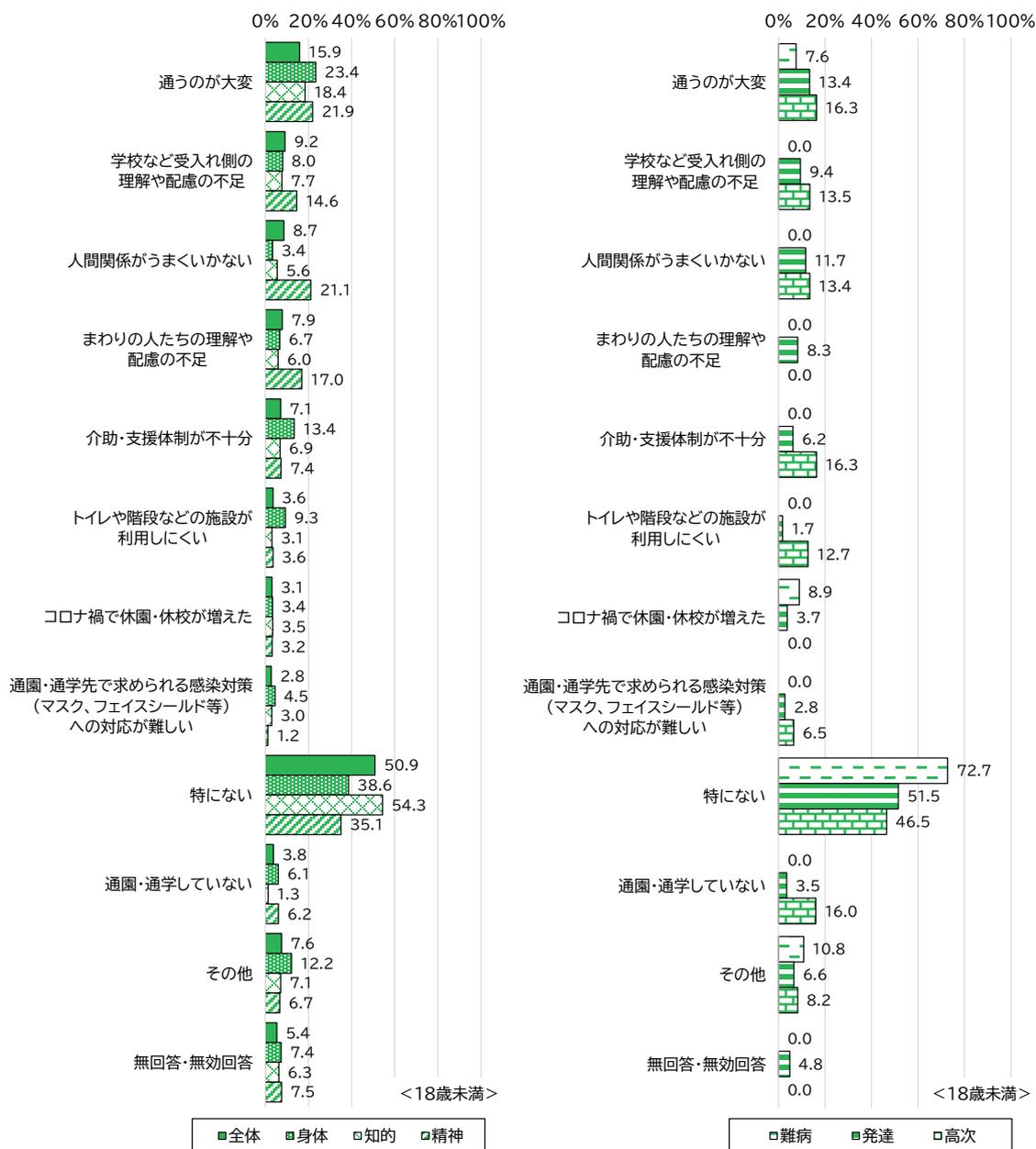
## イ 通園・通学での困りごと

通園・通学での困りごとについて、18歳未満の方全体では、「特にない」の回答が50.9%と最も高くなっている。一方で、「通うのが大変」の回答が15.9%、「学校など受入れ側の理解や配慮の不足」の回答が9.2%、「人間関係がうまくいかない」の回答が8.7%となっている。

障がい種別に見ると、[精神]において「人間関係がうまくいかない」の回答が全体と比較して高くなっている。また、「特にない」の回答は、全体と比較して[難病]において高く、[身体]、[精神]において低くなっている。

【18歳未満 問15】あなたは、通園や通学で困っていることがありますか。(複数回答)

図表 3-91 通園・通学での困りごと(18歳未満)



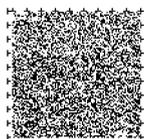
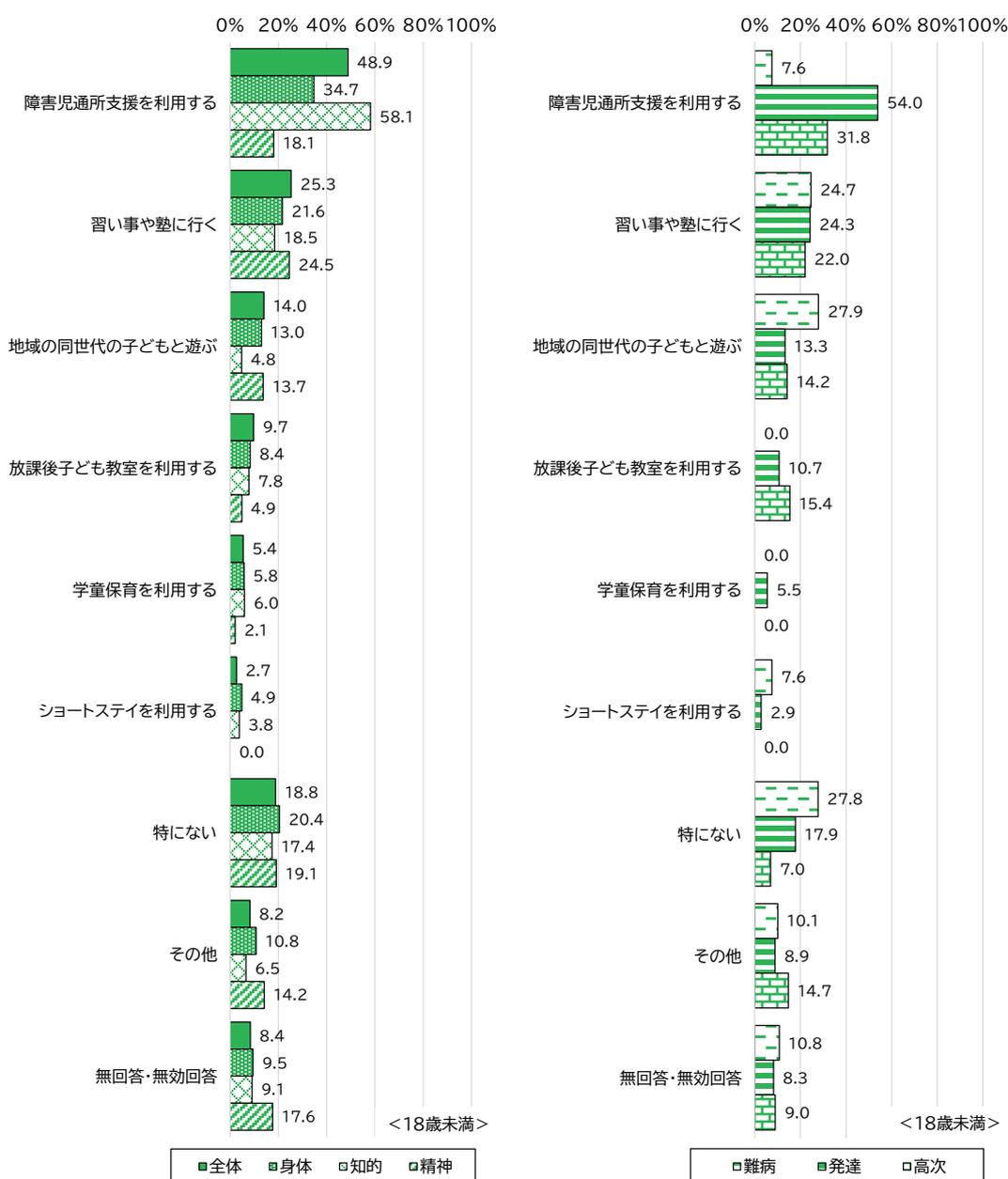
## ウ 放課後や休みの日の現在の過ごし方

放課後や休みの日の現在の過ごし方について、18歳未満の方全体では、「障害児通所支援を利用する」の回答が48.9%と最も高く、次いで「習い事や塾に行く」の回答が25.3%となっている。また、「特にない」の回答は18.8%となっている。

障がい種別に見ると、[難病]において「地域の同世代の子どもと遊ぶ」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問16】放課後や学校休業日などの時間の過ごし方についてお尋ねします。(1)現在、どのように過ごしていますか。また、(2)今後、どのように過ごしたいですか。  
(1,2ともに複数回答)

図表 3-92 放課後や休みの日の現在の過ごし方(18歳未満)



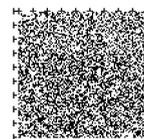
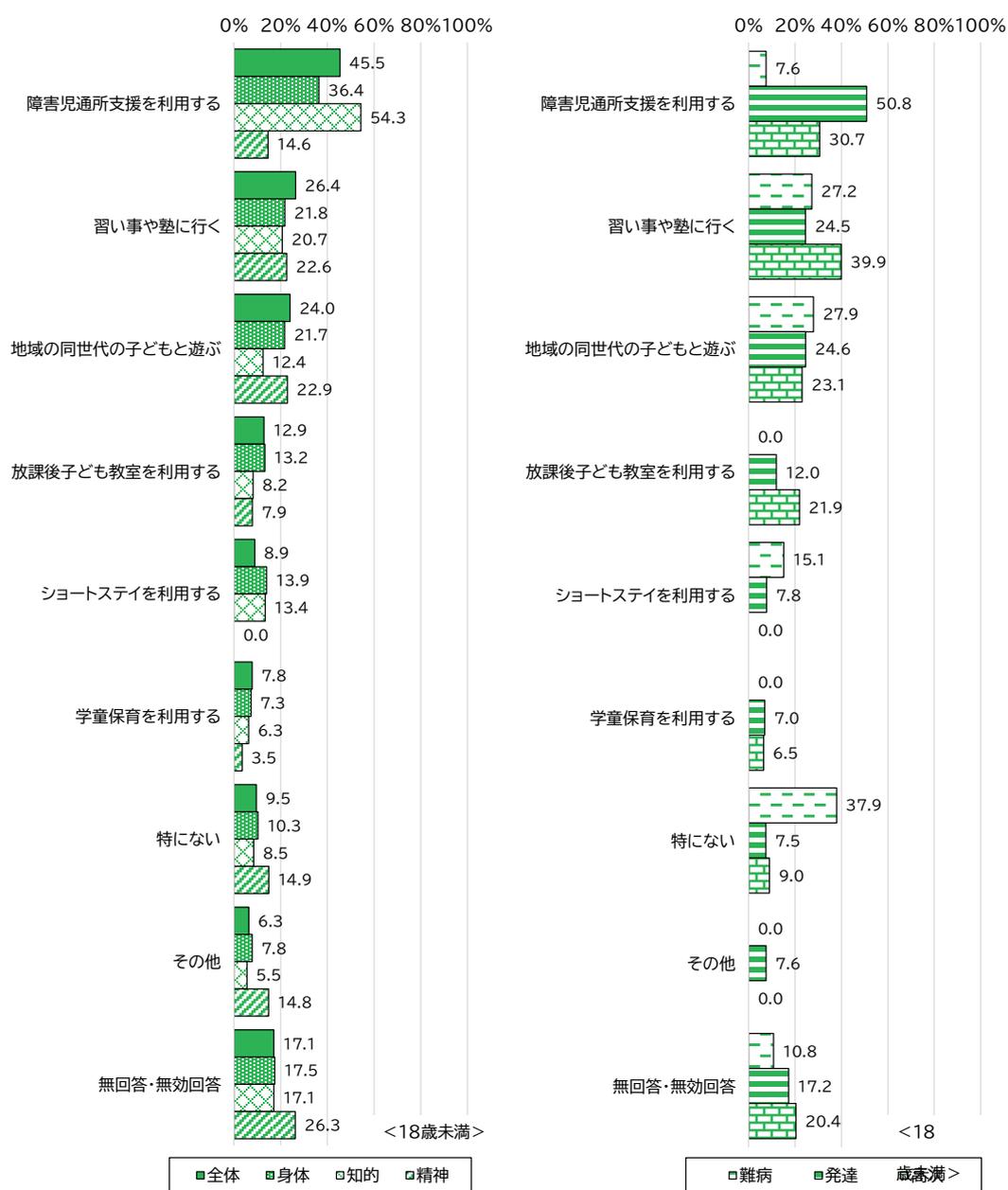
## エ 放課後や休業日の今後の過ごし方の希望

放課後や休業日の今後の過ごし方の希望について、18歳未満の方全体では、「障害児通所支援を利用する」の回答が45.5%と最も高く、次いで「習い事や塾に行く」の回答が26.4%、「地域の同世代の子とも遊ぶ」の回答が24.0%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において、「習い事や塾に行く」の回答が全体と比較して高くなっている。また、「特にない」の回答は、全体と比較して[難病]において高くなっている。

【18歳未満 問16\_2】放課後や学校休業日などの時間の過ごし方についてお尋ねします。(1)現在、どのように過ごしていますか。また、(2)今後、どのように過ごしたいですか。(1,2ともに複数回答)

図表 3-93 放課後や休業日の今後の過ごし方の希望(18歳未満)



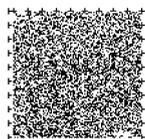
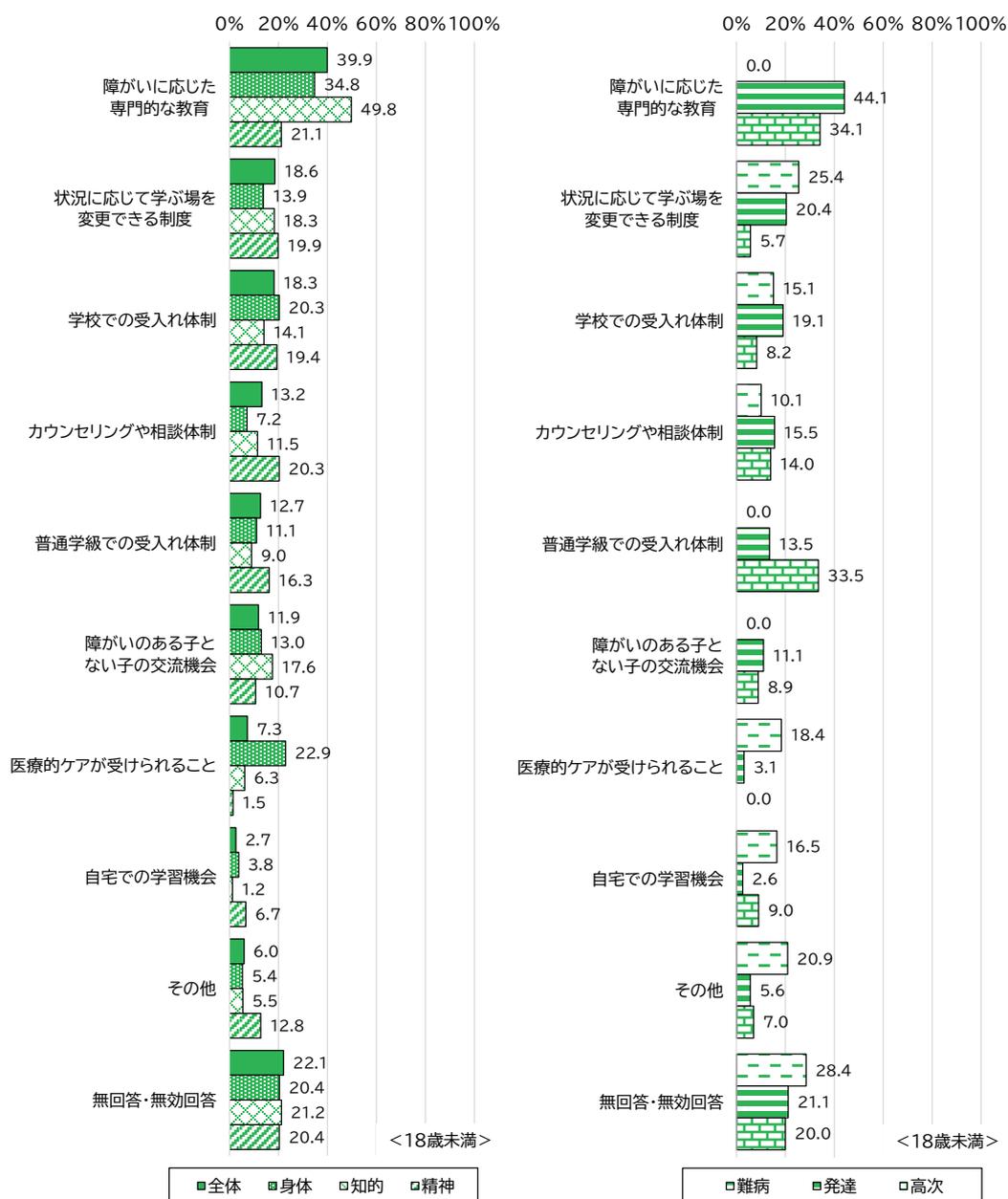
## オ 教育で充実してほしいこと

教育で充実してほしいことについて、18歳未満の方全体では、「障がいに応じた専門的な教育」の回答が39.9%と最も高く、次いで「状況に応じて学ぶ場を変更できる制度」の回答が18.6%、「学校での受入れ体制」の回答が18.3%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「普通学級での受入れ体制」の回答が、[身体]、[難病]において「医療的ケアが受けられること」の回答が、[難病]において「自宅での学習機会」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問17】あなたが、教育の場面において、特に充実させてほしいのはどのようなことですか。  
(2つまで回答)

図表 3-94 教育で充実してほしいこと(18歳未満)



## (6) 外出とバリアフリーについて

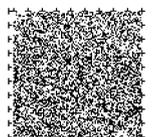
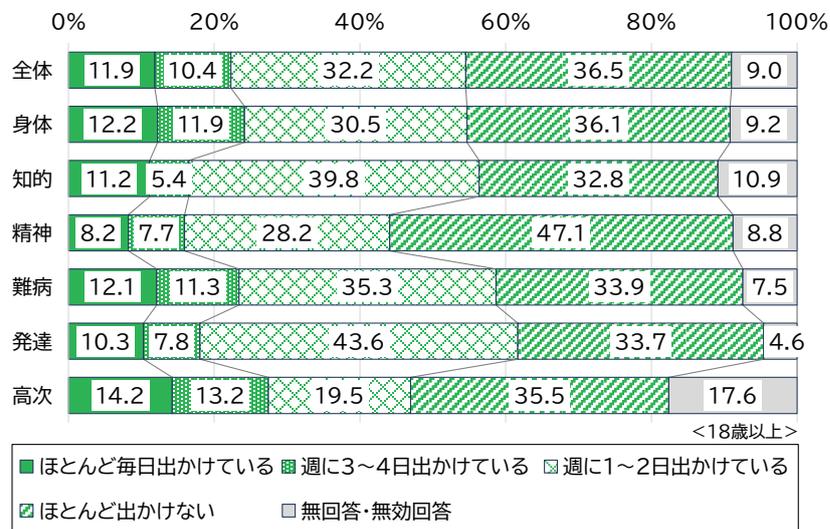
### ア レジャー・余暇等の外出頻度

レジャー・余暇等の外出頻度について、18歳以上の方全体では、「ほとんど出かけていない」の回答が36.5%と最も高く、次いで「週に1～2日出かけている」の回答が32.2%、「ほとんど毎日出かけている」の回答が11.9%となっている。

障がい種別に見ると、[精神]において「ほとんど出かけていない」の回答が、[発達]において「週に1～2日出かけている」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問18】 ふだん、あなたはどのくらい外に出かけていますか。レジャー・余暇等と通勤・通学・通所等の目的ごとに教えてください。(単一回答)

図表 3-95 レジャー・余暇等の外出頻度(18歳以上)

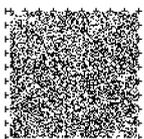
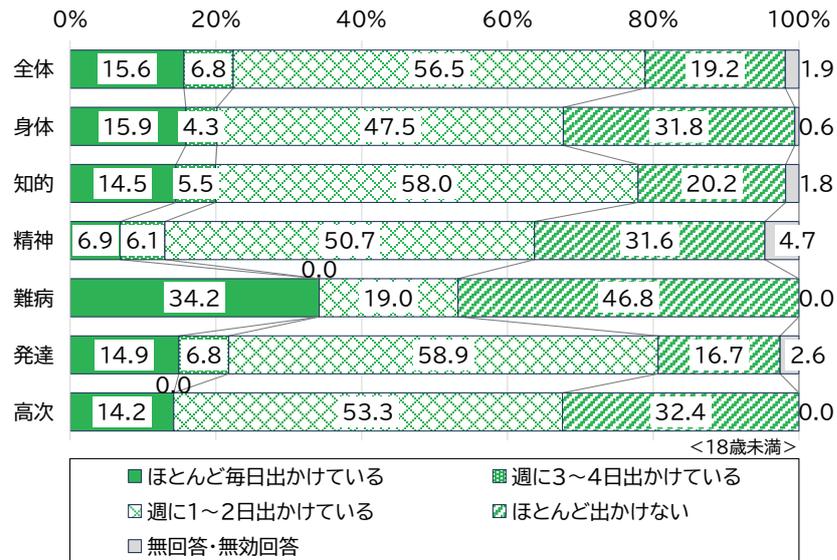


18歳未満の方全体では、「週に1～2日出かけている」の回答が56.5%と最も高く、次いで「ほとんど出かけていない」の回答が19.2%、「ほとんど毎日出かけている」の回答が15.6%となっている。

障がい種別に見ると、[難病]において「ほとんど毎日出かけている」の回答が、[身体]、[精神]、[難病]、[高次]において「ほとんど出かけていない」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問18】 ふだん、あなたはどのくらい外に出かけていますか。レジャー・余暇等と通勤・通学・通所等の目的ごとに教えてください。(単一回答)

図表 3-96 レジャー・余暇等の外出頻度(18歳未満)



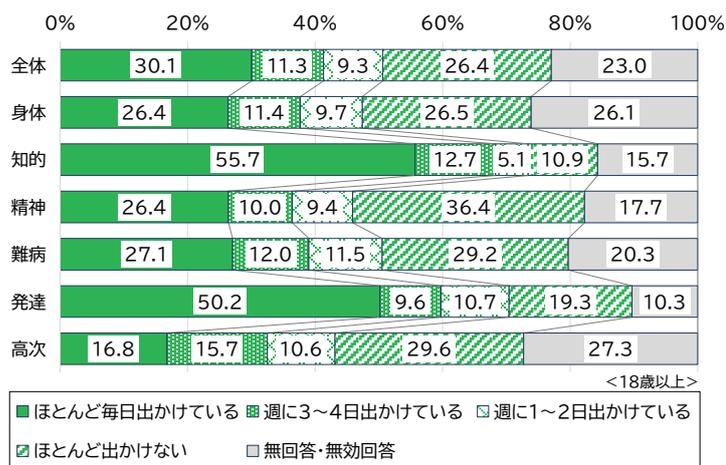
## イ 通勤・通学・通所等の外出頻度

通勤・通学・通所等の外出頻度について、18歳以上の方全体では、「ほとんど毎日出かけている」の回答が30.1%と最も高く、次いで「ほとんど出かけていない」の回答が26.4%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]、[発達]において「ほとんど毎日出かけている」の回答が、[精神]において「ほとんど出かけていない」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問18】 ふだん、あなたはどのくらい外に出かけていますか。レジャー・余暇等と通勤・通学・通所等の目的ごとに教えてください。(単一回答)

図表 3-97 通勤・通学・通所等の外出頻度(18歳以上)

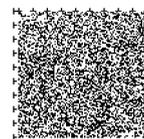
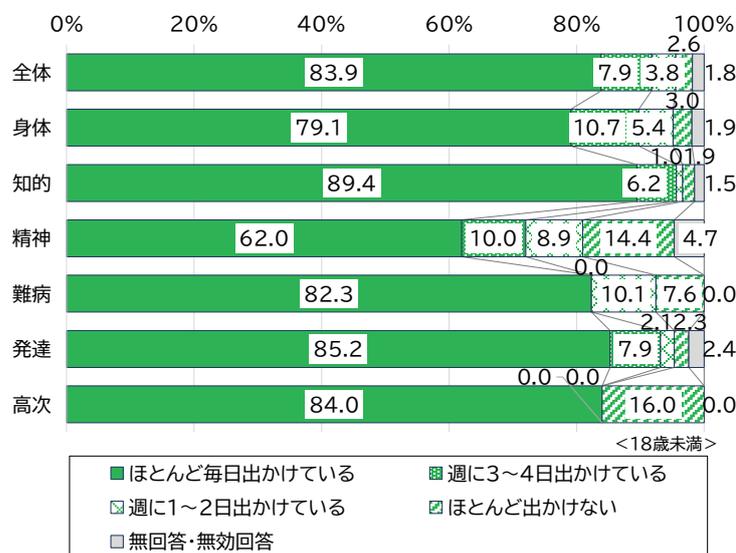


18歳未満の方全体では、「ほとんど毎日出かけている」の回答が83.9%と最も高く、次いで「週に3~4日出かけている」の回答が7.9%となっている。

障がい種別に見ると、[精神]、[高次]において、「ほとんど出かけていない」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問18】 ふだん、あなたはどのくらい外に出かけていますか。レジャー・余暇等と通勤・通学・通所等の目的ごとに教えてください。(単一回答)

図表 3-98 通勤・通学・通所等の外出頻度(18歳未満)



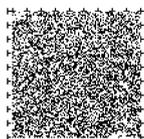
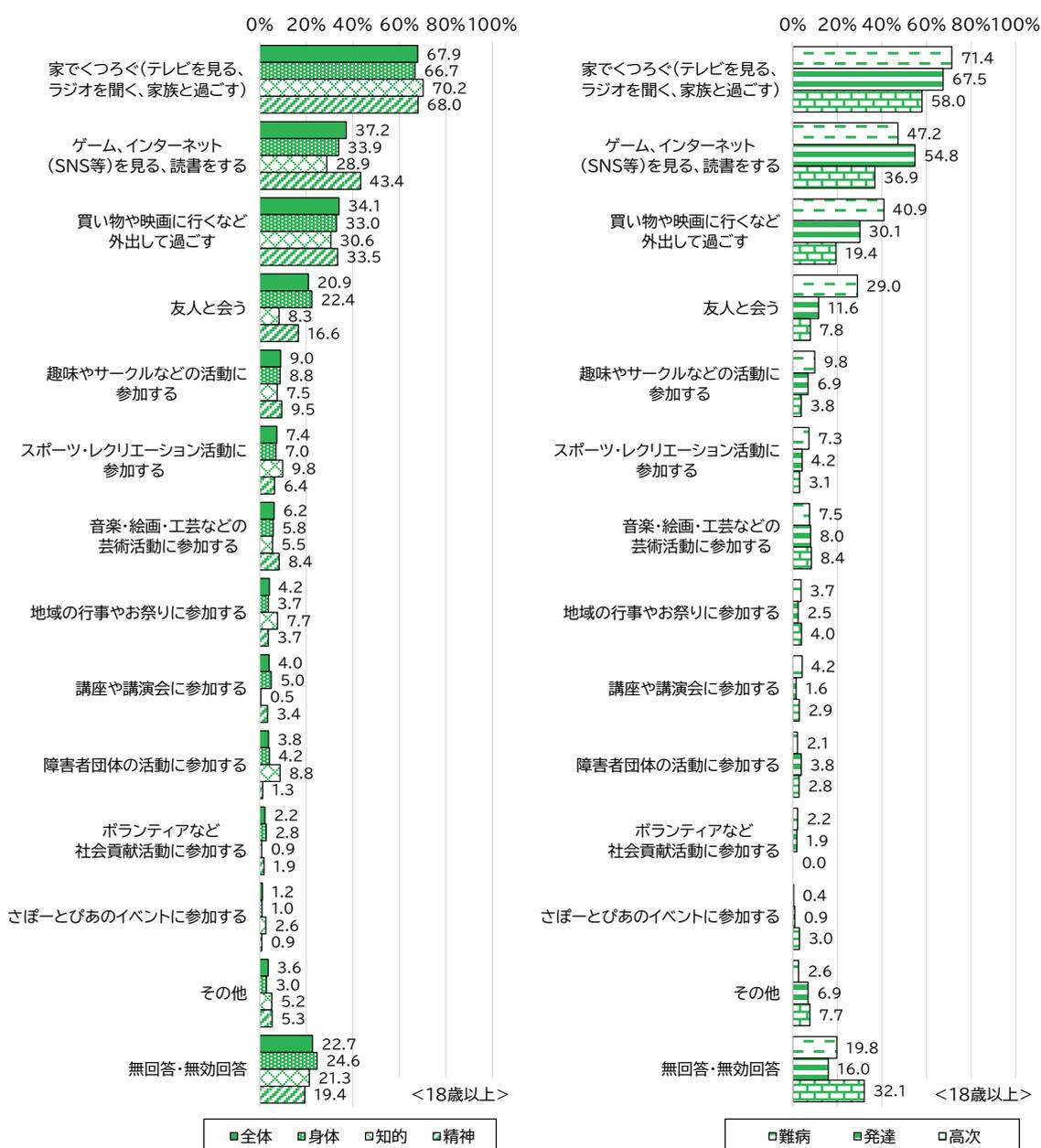
## ウ 現在の余暇の時間の過ごし方

現在の余暇の時間の過ごし方について、18歳以上の方全体では、「家でくつろぐ(テレビを見る、ラジオを聞く、家族と過ごす)」の回答が67.9%と最も高く、次いで「ゲーム、インターネット(SNS等)を見る、読書をする」の回答が37.2%、「買い物や映画に行くなど外出して過ごす」の回答が34.1%となっている。

障がい種別に見ると、[難病]、[発達]において、「ゲーム、インターネット(SNS等)を見る、読書をする」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問19】勤務時間や学校・施設に通っている時間以外の、余暇の時間の過ごし方についてお尋ねします。(1)現在、どのように過ごしていますか。また、(2)今後、どのように過ごしたいですか。(1,2ともに複数回答)

図表 3-99 現在の余暇の時間の過ごし方(18歳以上)

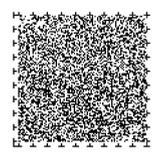
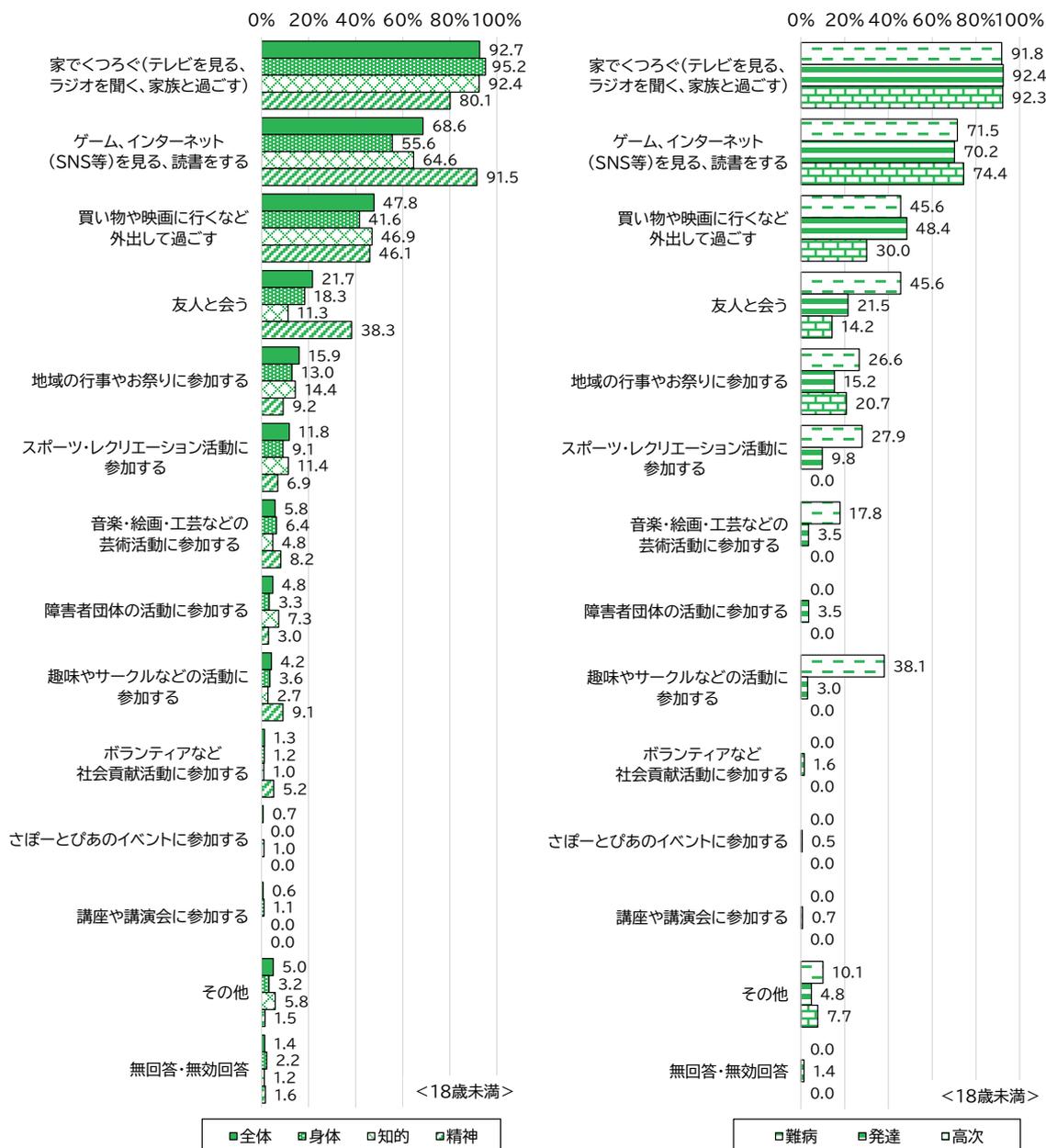


18歳未満の方全体では、「家でくつろぐ(テレビを見る、ラジオを聞く、家族と過ごす)」の回答が92.7%と最も高く、次いで「ゲーム、インターネット(SNS等)を見る、読書をする」の回答が68.6%、「買い物や映画に行くなど外出して過ごす」の回答が47.8%となっている。

障がい種別に見ると、[精神]において「ゲーム、インターネット(SNS等)を見る、読書をする」の回答が、[精神]、[難病]において「友人と会う」の回答が、[難病]において「地域の行事やお祭りに参加する」、「スポーツ・レクリエーション活動に参加する」、「音楽・絵画・工芸などの芸術活動に参加する」、「趣味やサークルなどの活動に参加する」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問19】 学校・施設に通っている時間以外の、余暇の時間の過ごし方についてお尋ねします。(1) 現在、どのように過ごしていますか。また、(2) 今後、どのように過ごしたいですか。(1,2ともに複数回答)

図表 3-100 現在の余暇の時間の過ごし方(18歳未満)



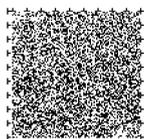
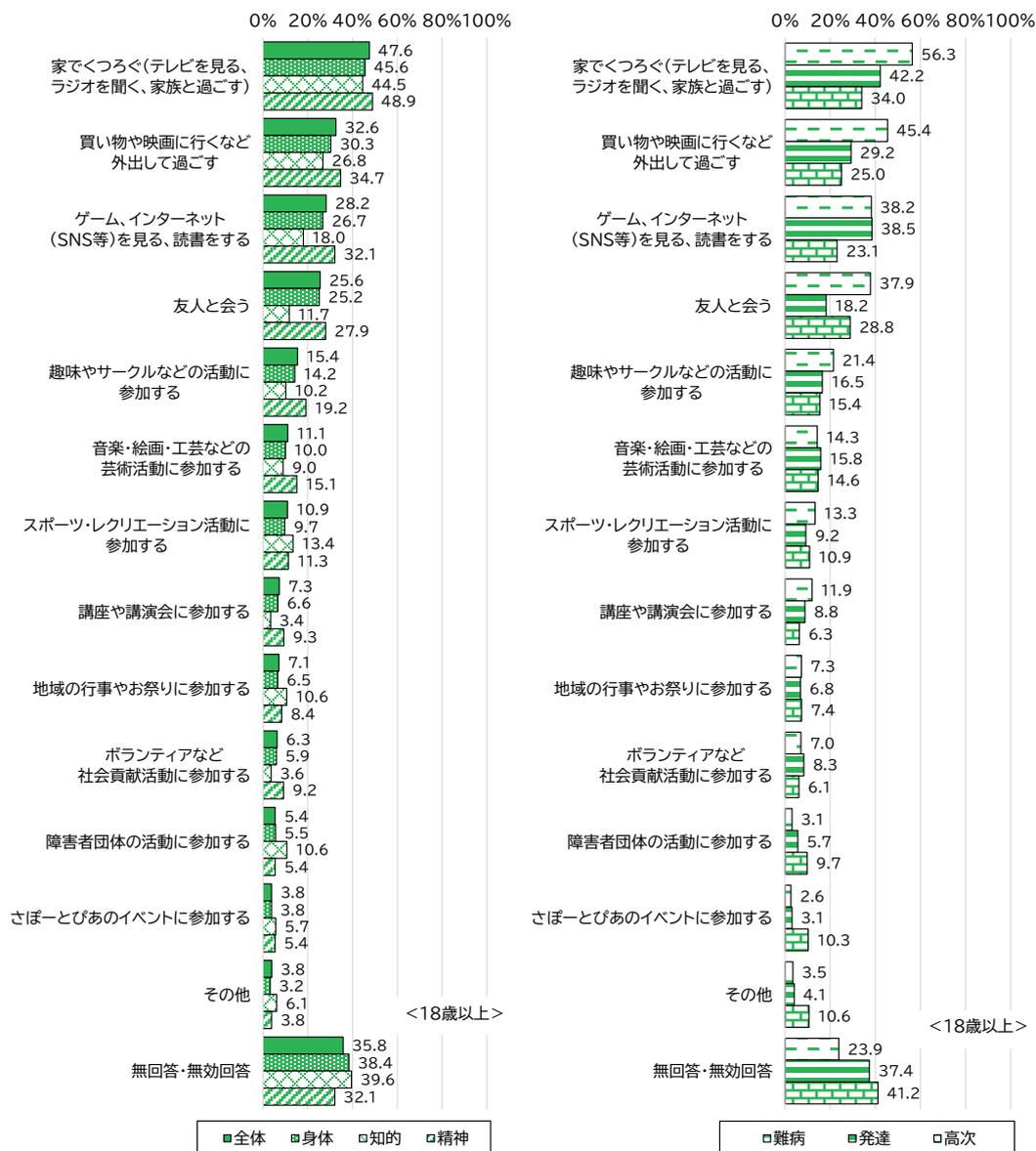
## エ 今後の余暇の時間の過ごし方の希望

今後の余暇の時間の過ごし方の希望について、18歳以上の方全体では、「家でくつろぐ(テレビを見る、ラジオを聞く、家族と過ごす)」の回答が47.6%と最も高く、「買い物や映画に行くなど外出して過ごす」の回答が32.6%、「ゲーム、インターネット(SNS等)を見る、読書をする」の回答が28.2%となっている。

障がい種別に見ると、[難病]において「買い物や映画に行くなど外出して過ごす」、「友人と会う」の回答が、[難病]、[発達]において「ゲーム、インターネット(SNS等)を見る、読書をする」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問19】勤務時間や学校・施設に通っている時間以外の、余暇の時間の過ごし方についてお尋ねします。(1)現在、どのように過ごしていますか。また、(2)今後、どのように過ごしたいですか。(1,2ともに複数回答)

図表 3-101 今後の余暇の時間の過ごし方の希望(18歳以上)

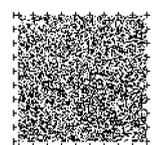
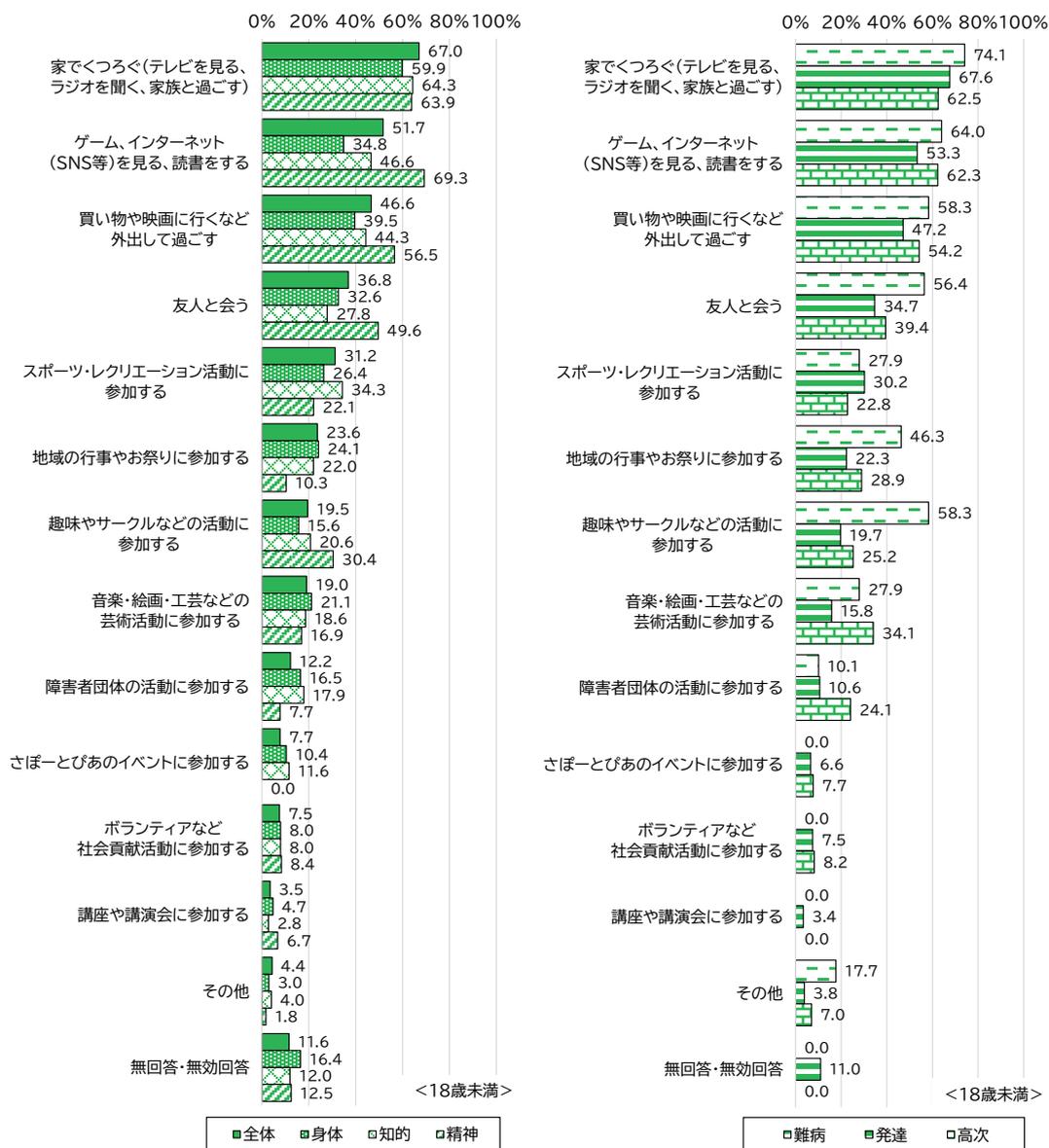


18歳未満の方全体では、「家でくつろぐ(テレビを見る、ラジオを聞く、家族と過ごす)」の回答が67.0%と最も高く、次いで「ゲーム、インターネット(SNS等)を見る、読書をする」の回答が51.7%、「買い物や映画に行くなど外出して過ごす」の回答が46.6%となっている。

障がい種別に見ると、[精神]、[難病]、[高次]において「ゲーム、インターネット(SNS等)を見る、読書をする」の回答が、[難病]において「買い物や映画に行くなど外出して過ごす」、「地域の行事やお祭りに参加する」の回答が、[精神]、[難病]において「友人と会う」、「趣味やサークルなどの活動に参加する」の回答が、[高次]において「音楽・絵画・工芸などの芸術活動に参加する」、「障害者団体の活動に参加する」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問19】 学校・施設に通っている時間以外の、余暇の時間の過ごし方についてお尋ねします。(1) 現在、どのように過ごしていますか。また、今後、どのように過ごしたいですか。(1,2ともに複数回答)

図表 3-102 今後の余暇の時間の過ごし方の希望(18歳未満)



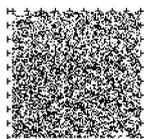
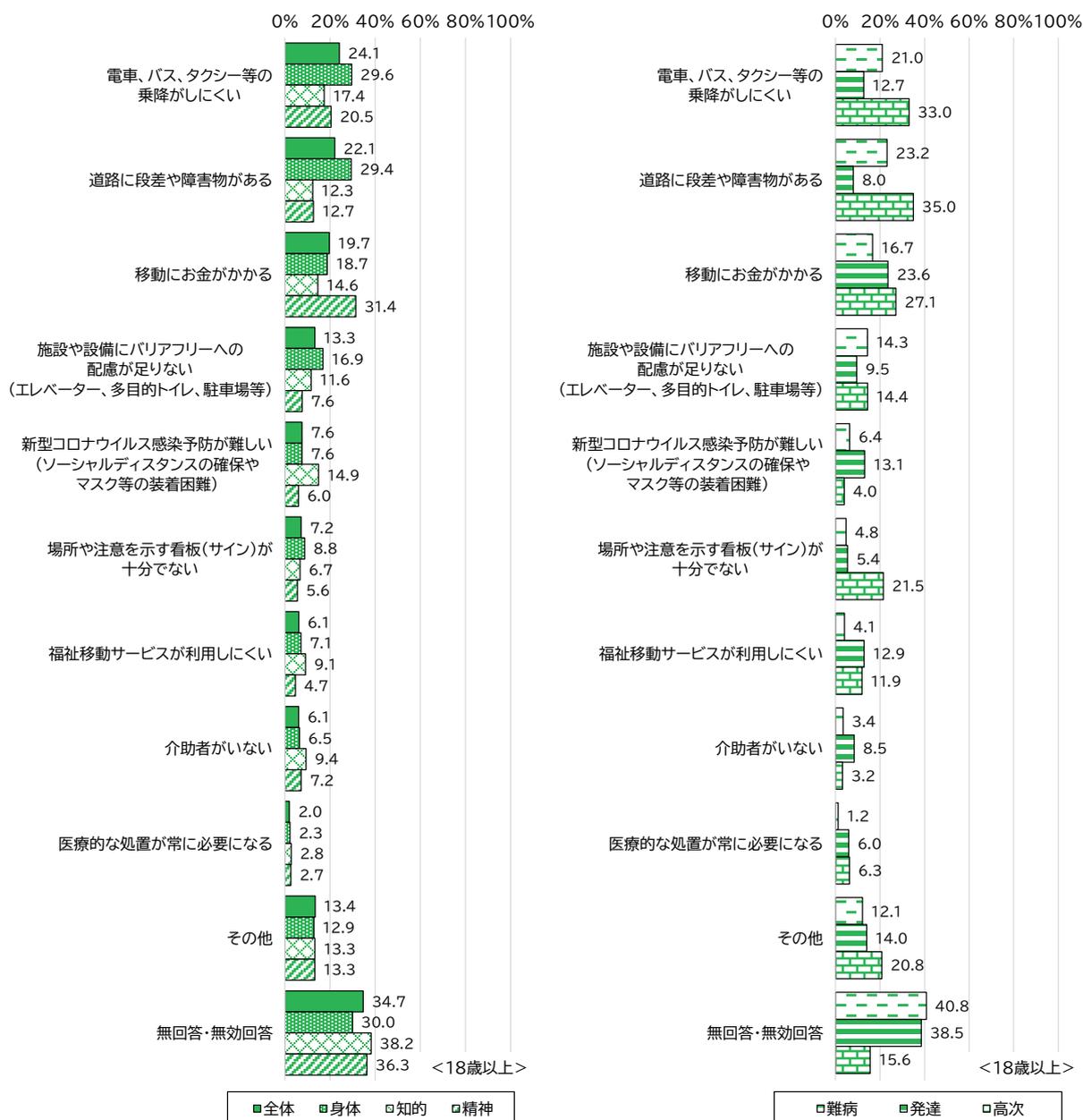
## オ 外出時の困りごと

外出時の困りごとについて、18歳以上の方全体では、「電車、バス、タクシー等の乗降がしにくい」の回答が24.1%と最も高く、次いで「道路に段差や障害物がある」の回答が22.1%、「移動にお金がかかる」の回答が19.7%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「道路に段差や障害物がある」、「場所や注意を示す看板(サイン)が十分でない」の回答が、[精神]において「移動にお金がかかる」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問20】あなたが外出するときに、不便に感じたり困ったりすることはどういうことですか。  
(複数回答)

図表 3-103 外出時の困りごと(18歳以上)

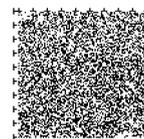
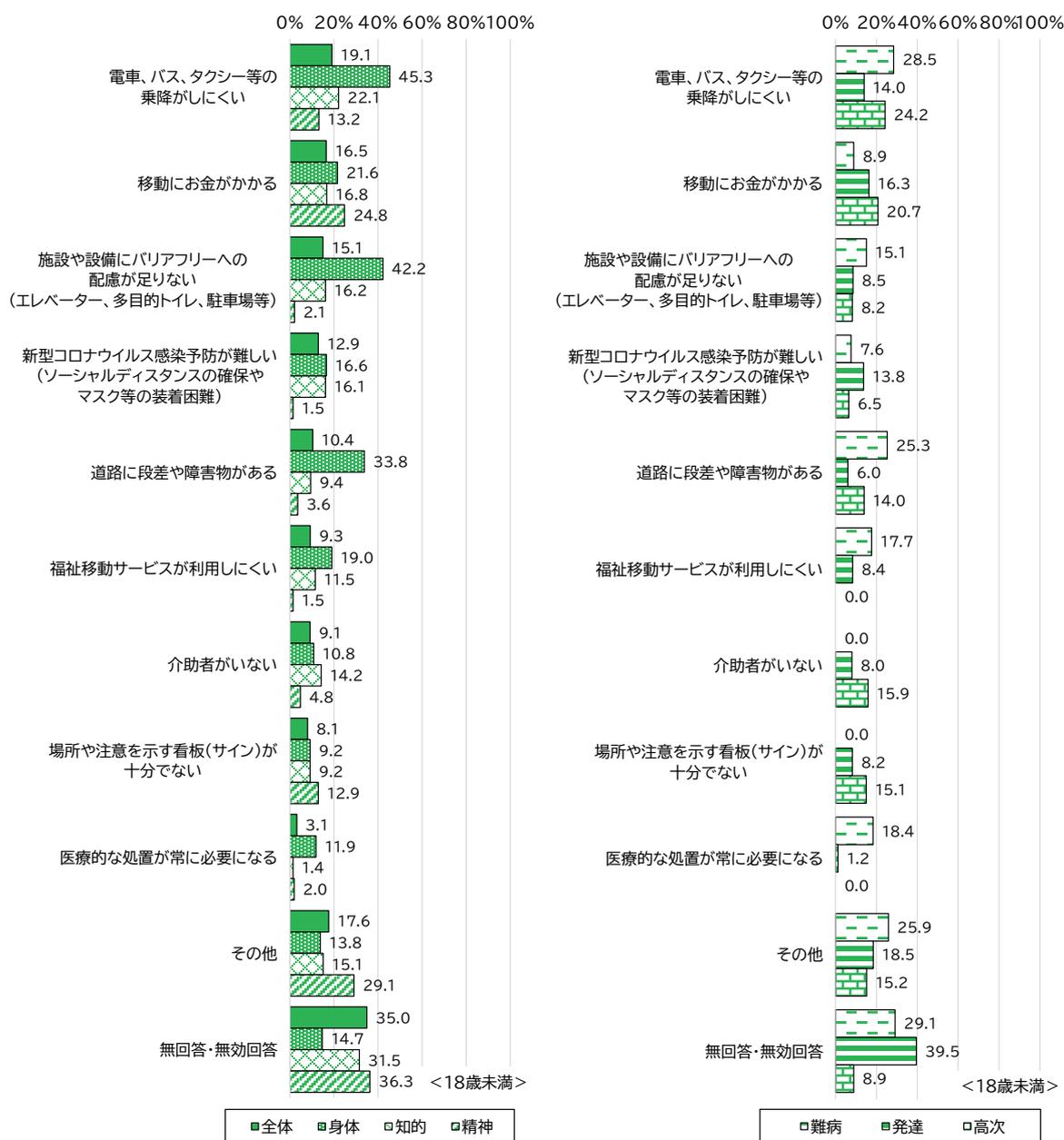


18歳未満の方全体では、「電車、バス、タクシー等の乗降がしにくい」の回答が19.1%と最も高く、「移動にお金がかかる」の回答が16.5%、「施設や設備にバリアフリーへの配慮が足りない(エレベーター、多目的トイレ、駐車場等)」の回答が15.1%となっている。

障がい種別に見ると、[身体]において「電車、バス、タクシー等の乗降がしにくい」、「施設や設備にバリアフリーへの配慮が足りない(エレベーター、多目的トイレ、駐車場等)」の回答が全体と比較して高くなっている。[身体]、[難病]において「道路に段差や障害物がある」の回答が、[難病]において「医療的な処置が常に必要になる」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問20】あなたが外出するときに、不便に感じたり困ったりすることはどのようなことですか。  
(複数回答)

図表 3-104 外出時の困りごと(18歳未満)



## (7) 保険・医療について

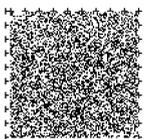
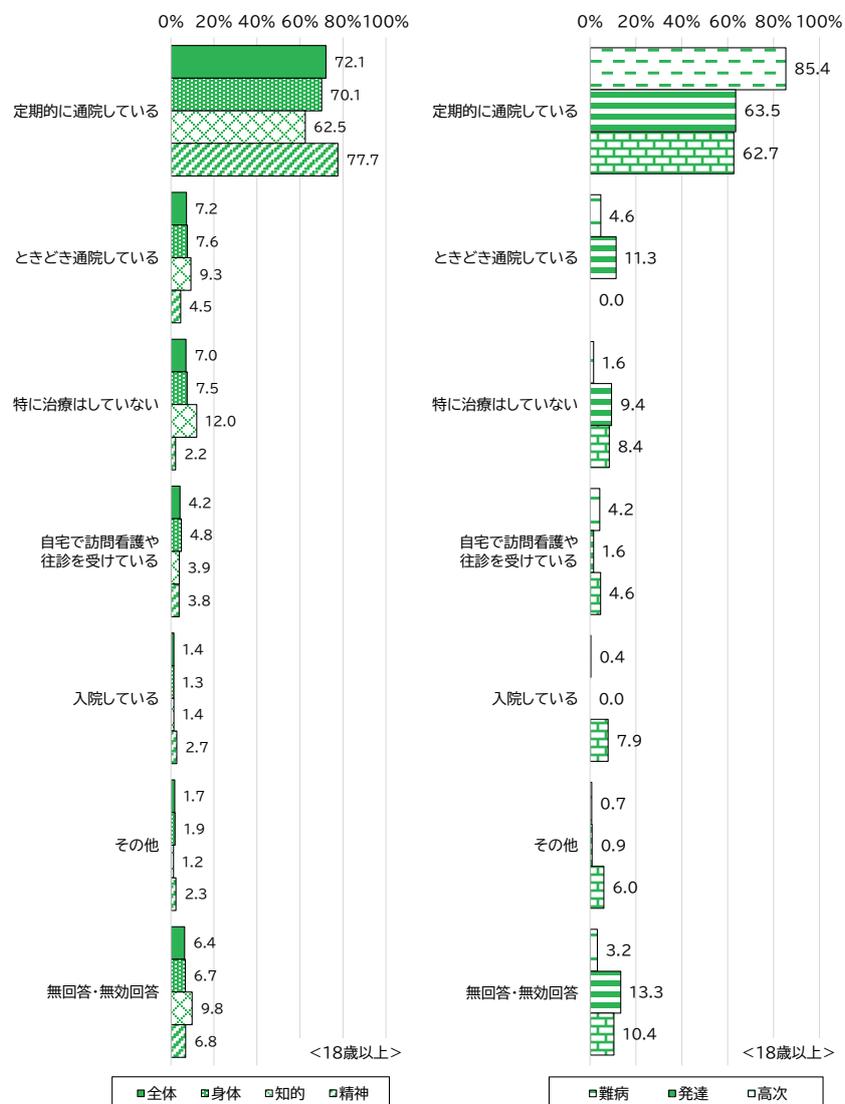
### ア 医療の利用状況

医療の利用状況について、18歳以上の方全体では、「定期的に通院している」の回答が72.1%と最も高く、次いで「ときどき通院している」の回答が7.2%、「特に治療はしていない」の回答が7.0%となっている。

障がい種別に見ると、[難病]において「定期的に通院している」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問21】あなたは、現在、医師の治療(歯科診療を含む)を受けていますか。(単一回答)

図表 3-105 医療の利用状況(18歳以上)<sup>47</sup>



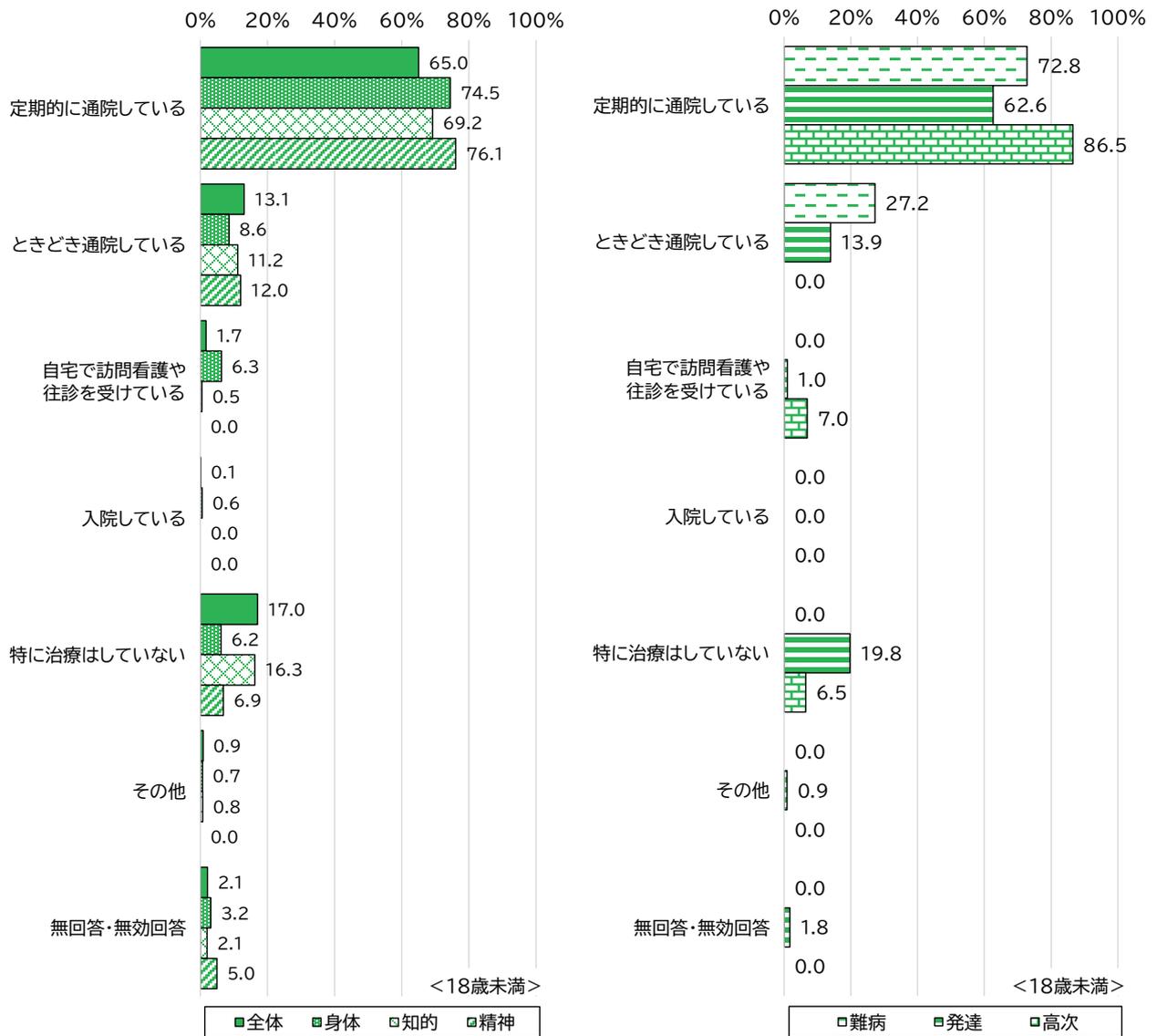
<sup>47</sup> 本設問は単一回答の設問であるが、表記の都合上、複数回答と同様のグラフを用いて集計結果を示している。

18歳未満の方全体では、「定期的に通院している」の回答が65.0%と最も高く、次いで「特に治療はしていない」の回答が17.0%、「ときどき通院している」の回答が13.1%となっている。

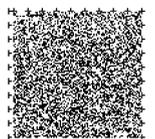
障がい種別に見ると、[精神]、[高次]において「定期的に通院している」の回答が、[難病]において「ときどき通院している」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問21】あなたは、現在、医師の治療(歯科診療を含む)を受けていますか。(単一回答)

図表 3-106 医療の利用状況(18歳未満)<sup>48</sup>



<sup>48</sup> 本設問は単一回答の設問であるが、表記の都合上、複数回答と同様のグラフを用いて集計結果を示している。

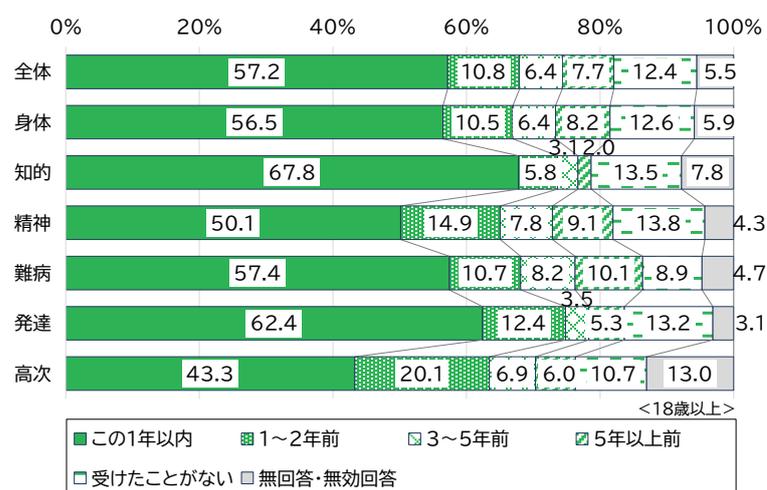


## イ 最後に健康診断等を受けた時期

最後に健康診断等を受けた時期について、18歳以上の方全体では、「この1年以内」の回答が57.2%と最も高く、次いで「受けたことがない」の回答が12.4%、「1～2年前」の回答が10.8%となっている。  
障がい種別に見ると、[知的]において「この1年以内」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問22】最後に健康診断(人間ドックを含む)を受けたのはいつですか。(単一回答)

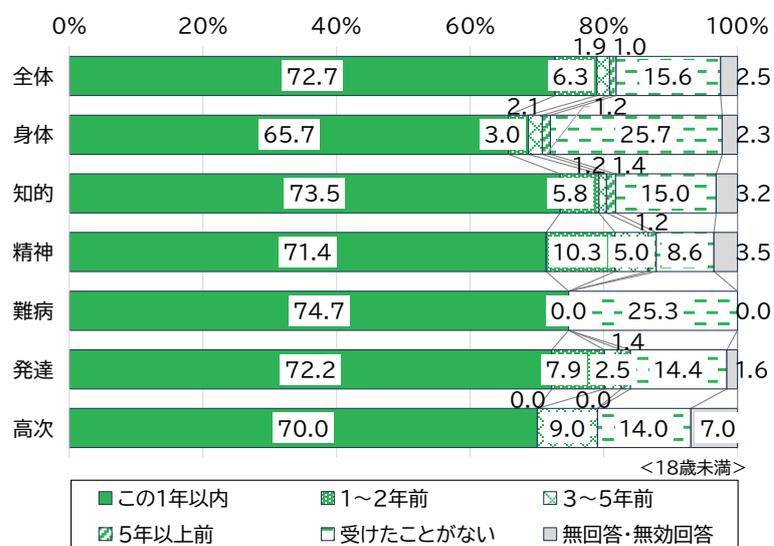
図表 3-107 最後に健康診断等を受けた時期(18歳以上)



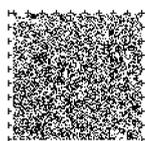
18歳未満の方全体では、「この1年以内」の回答が72.7%と最も高く、次いで「受けたことがない」の回答が15.6%、「1～2年前」の回答が6.3%となっている。  
障がい種別に見ると、[身体]において、「受けたことがない」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問22】最後に健康診断を受けたのはいつですか。(単一回答)

図表 3-108 最後に健康診断を受けた時期(18歳未満)<sup>49</sup>



<sup>49</sup> [難病]において、「1～2年前」、「3～5年前」、「5年以上前」の回答割合が0.0%となっている。



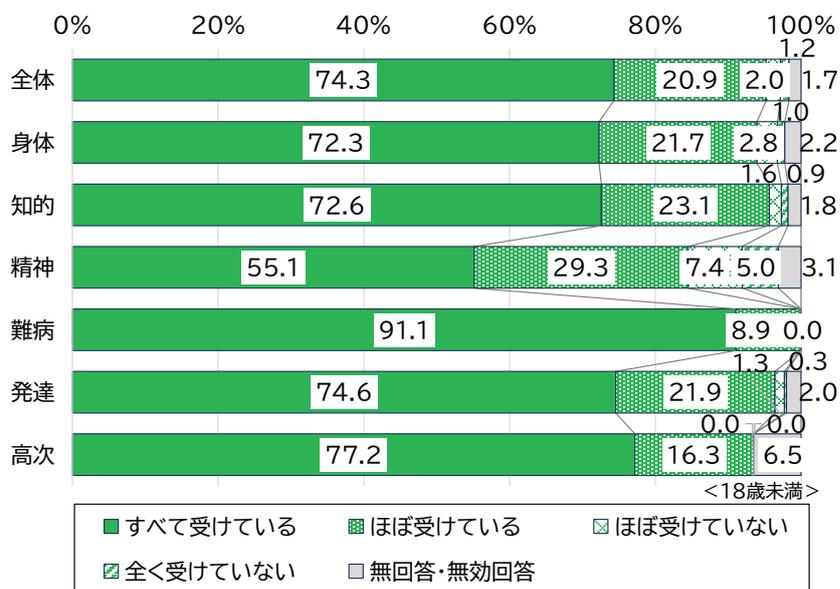
## ウ 予防接種の状況

予防接種の状況について、18歳未満の方全体では、「すべて受けている」の回答が74.3%と最も高く、次いで「ほぼ受けている」の回答が20.9%、「ほぼ受けていない」の回答が2.0%となっている。

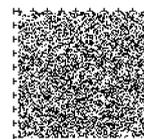
障がい種別に見ると、「すべて受けている」の回答は、全体と比較して[難病]において高く、[精神]において低くなっている。

【18歳未満 問23】 あなたは予防接種(ジフテリア・百日せき・麻しん(はしか)、風しん等)を受けていますか。(単一回答)

図表 3-109 予防接種の状況(18歳未満)<sup>50</sup>



<sup>50</sup> [難病]において、「ほぼ受けていない」、「全く受けていない」、「無回答・無効回答」の回答割合が0.0%となっている。

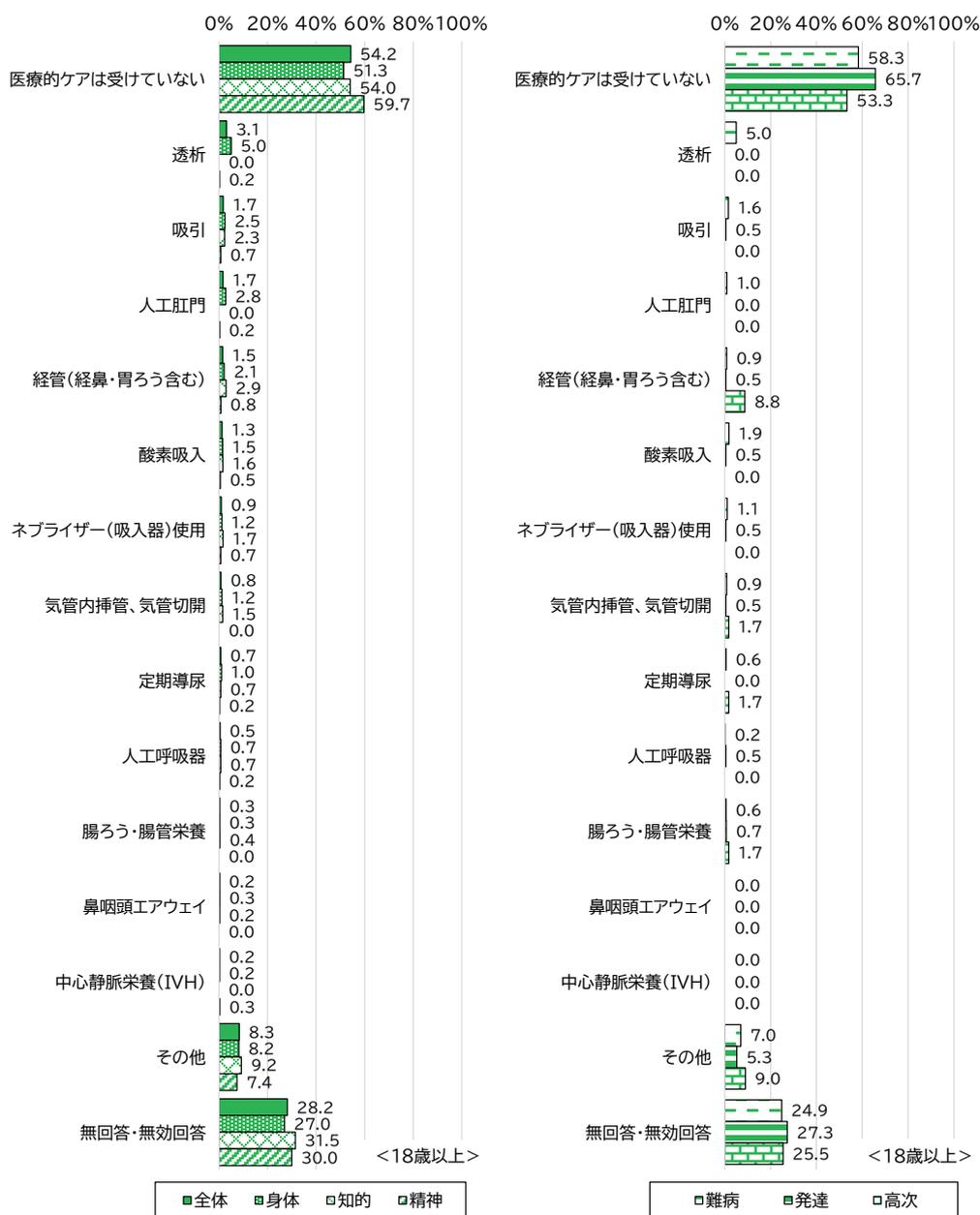


## 工 医療的ケアの有無

医療的ケアの有無について、18 歳以上の方全体では、何らかの医療的ケアを受けている方の割合は、17.6%<sup>51</sup>となっている。を受けている医療的ケアの種類については、「透析」、「吸引」、「人工肛門」、「経管（経鼻・胃ろう含む）」の順に割合が高くなっている。

【18 歳以上 問 23】 あなたは、どのような「医療的ケア」を受けていますか。（複数回答）

図表 3-110 医療的ケアの有無(18 歳以上)



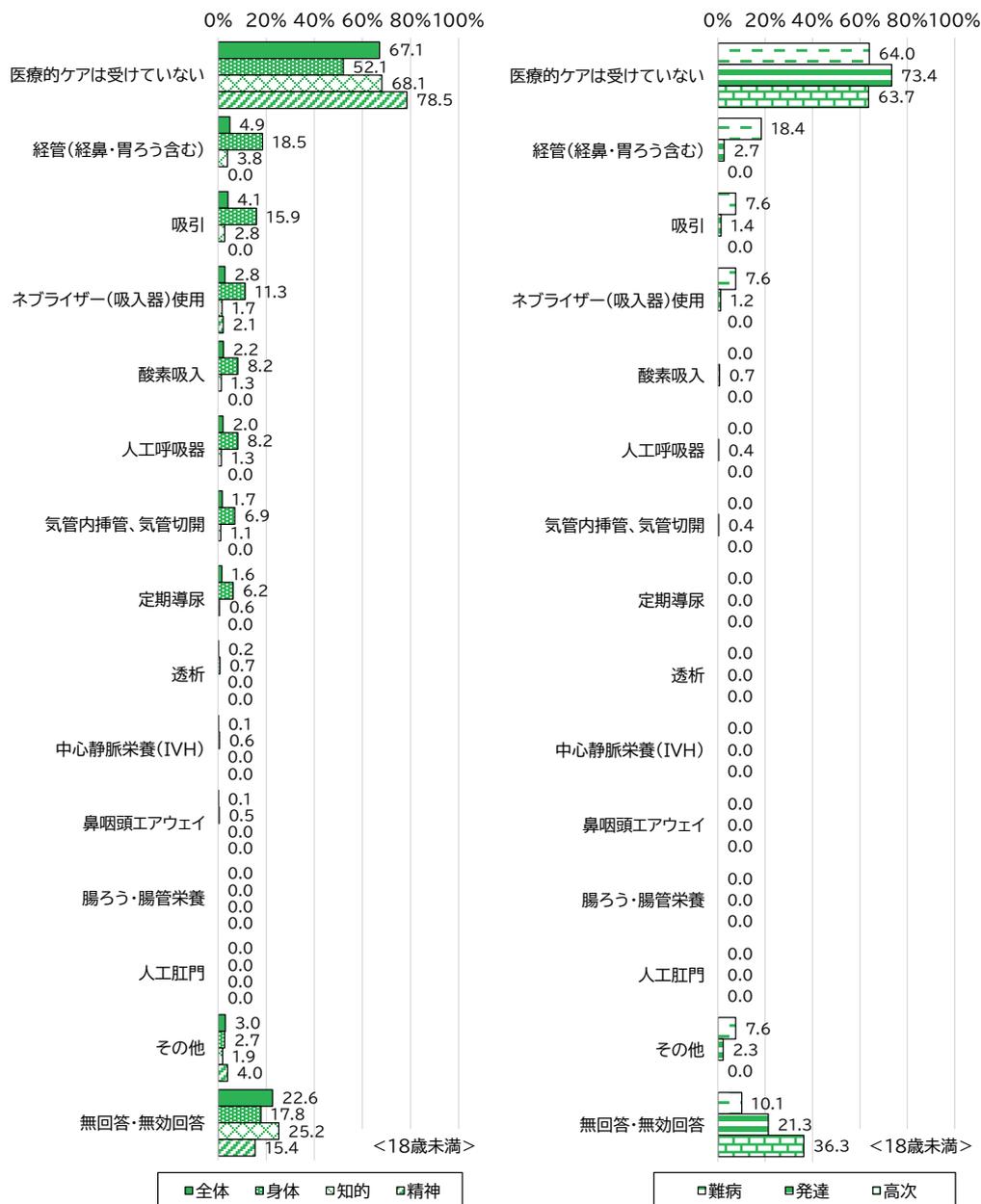
<sup>51</sup> 100%から、「医療的ケアは受けていない」の回答(54.2%)と「無回答・無効回答」(28.2%)を除いた割合。

18歳未満の方全体では、何らかの医療的ケアを受けている方の割合は、10.3%<sup>52</sup>となっている。受けている医療的ケアの種類については、「経管(経鼻・胃ろう含む)」、「吸引」、「ネブライザー(吸入器)使用」、「酸素吸入」、「人工呼吸器」の順に割合が高くなっている。

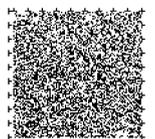
障がい種別に見ると、何らかの医療的ケアを受けている方の割合は、[身体]において30.1%、[難病]において25.9%と、全体と比較して高くなっている。また、医療的ケアの内容について、[身体]、[難病]において「経管(経鼻・胃ろう含む)」の回答が、[身体]において「吸引」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問24】あなたは、どのような「医療的ケア」を受けていますか。(複数回答)

図表 3-111 医療的ケアの有無(18歳未満)



<sup>52</sup> 100%から、「医療的ケアは受けていない」の回答(67.1%)と「無回答・無効回答」(22.6%)を除いた割合。([身体]、[難病]においても同様に算出)



## オ 健康や医療についての不安、困っていること

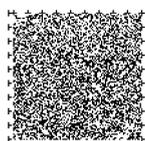
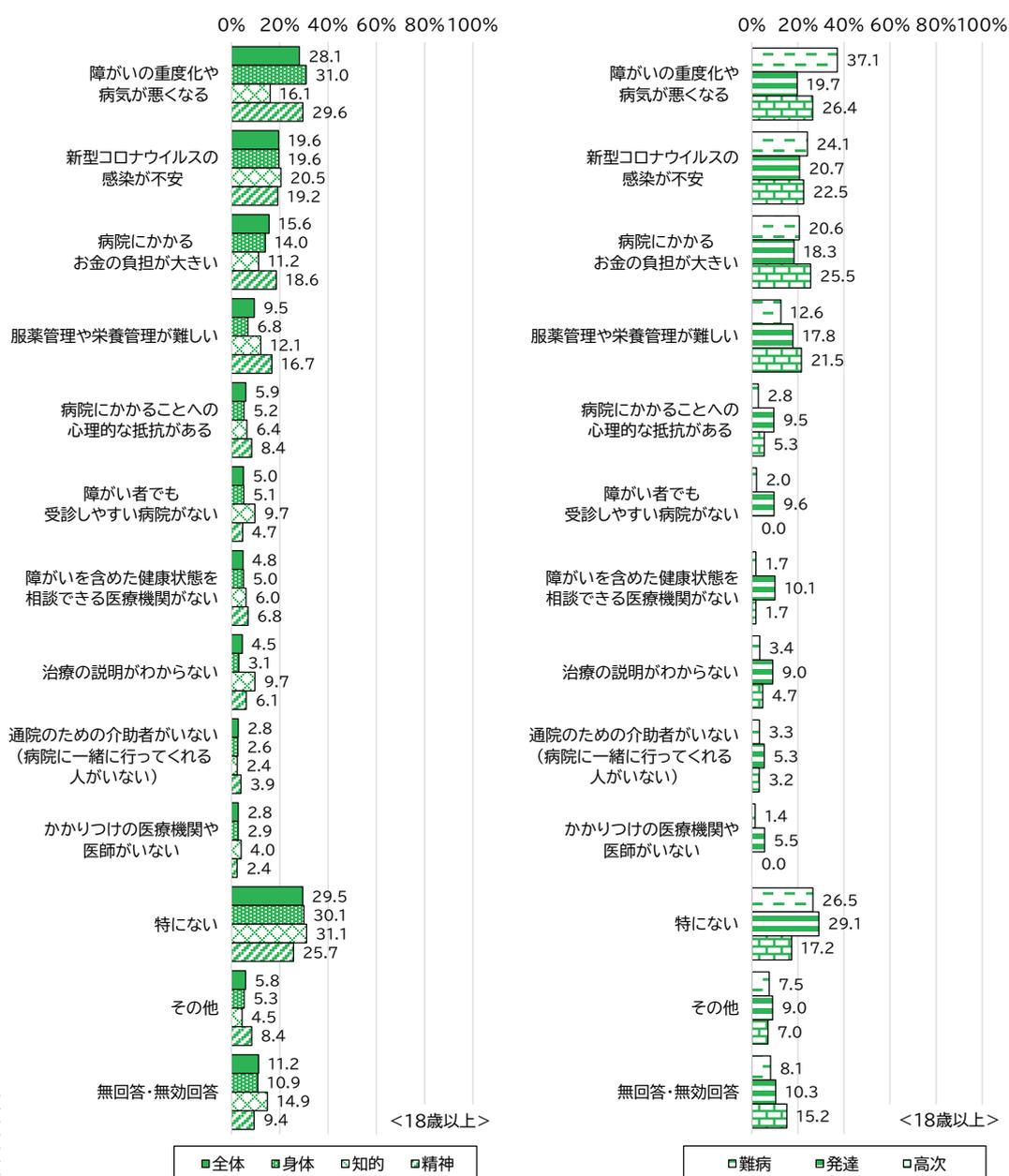
健康や医療についての不安、困っていることについて、18歳以上の方全体では、「特にない」の回答が29.5%と最も高くなっている。一方で、「障がいの重度化や病気が悪くなる」の回答が28.1%、「新型コロナウイルスの感染が不安」の回答が19.6%、「病院にかかるお金の負担が大きい」の回答が15.6%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「服薬管理や栄養管理が難しい」の回答が全体と比較して高く、「特にない」の回答は全体と比較して低くなっている。

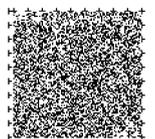
身体障がいの詳細についてみると、[視覚]において「障がいの重度化や病気が悪くなる」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問24】あなたは、ご自分の健康や医療のことで、困っていることや不安に思っていることがありますか。(複数回答)

図表 3-112 健康や医療についての不安、困っていること(18歳以上)



図表 3-113 健康や医療についての不安、困っていること(18歳以上 身体障がい詳細)



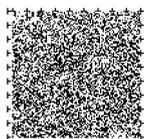
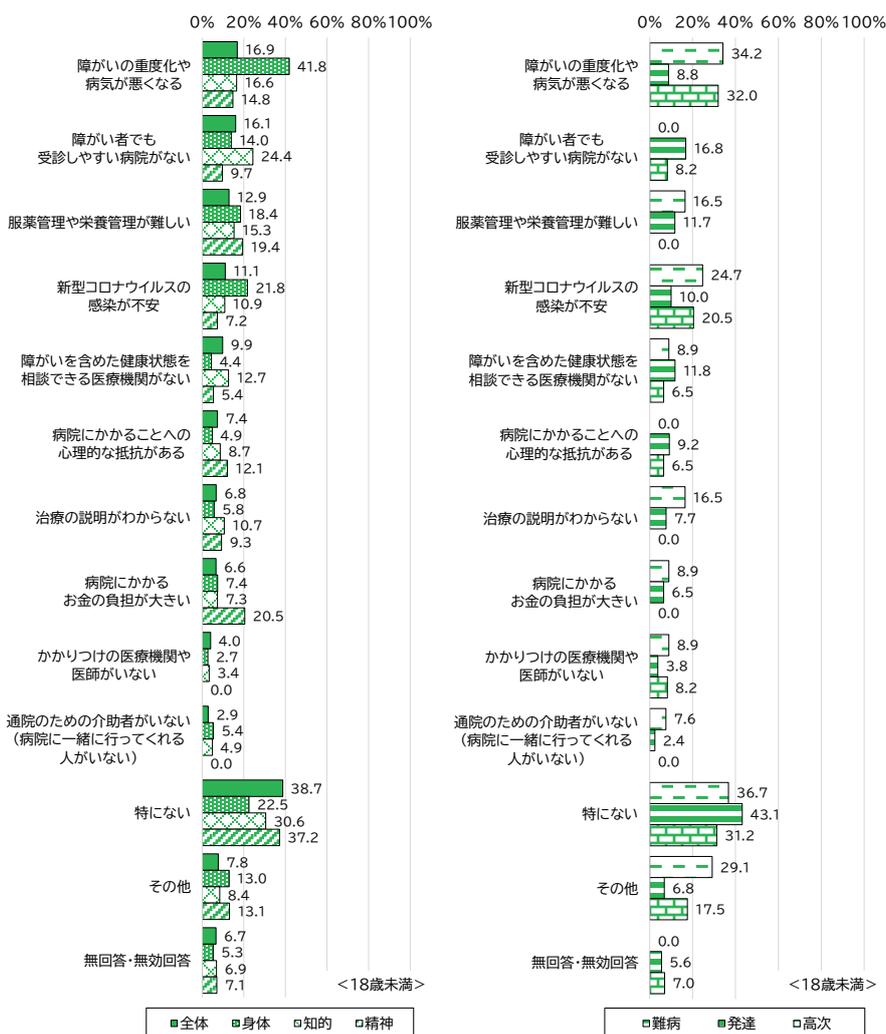
18歳未満の方全体では、「特にない」の回答が38.7%と最も高くなっている。一方で、「障がいの重度化や病気が悪くなる」の回答が16.9%、「障がい者でも受診しやすい病院がない」の回答が16.1%、「服薬管理や栄養管理が難しい」の回答が12.9%となっている。

障がい種別に見ると、[身体]、[難病]、[高次]において「障がいの重度化や病気が悪くなる」の回答が、[身体]、[難病]において「新型コロナウイルスの感染が不安」の回答が、[精神]において「病院にかかるお金の負担が大きい」の回答が全体と比較して高くなっている。また、「特にない」の回答は[身体]において全体と比較して低くなっている。

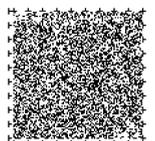
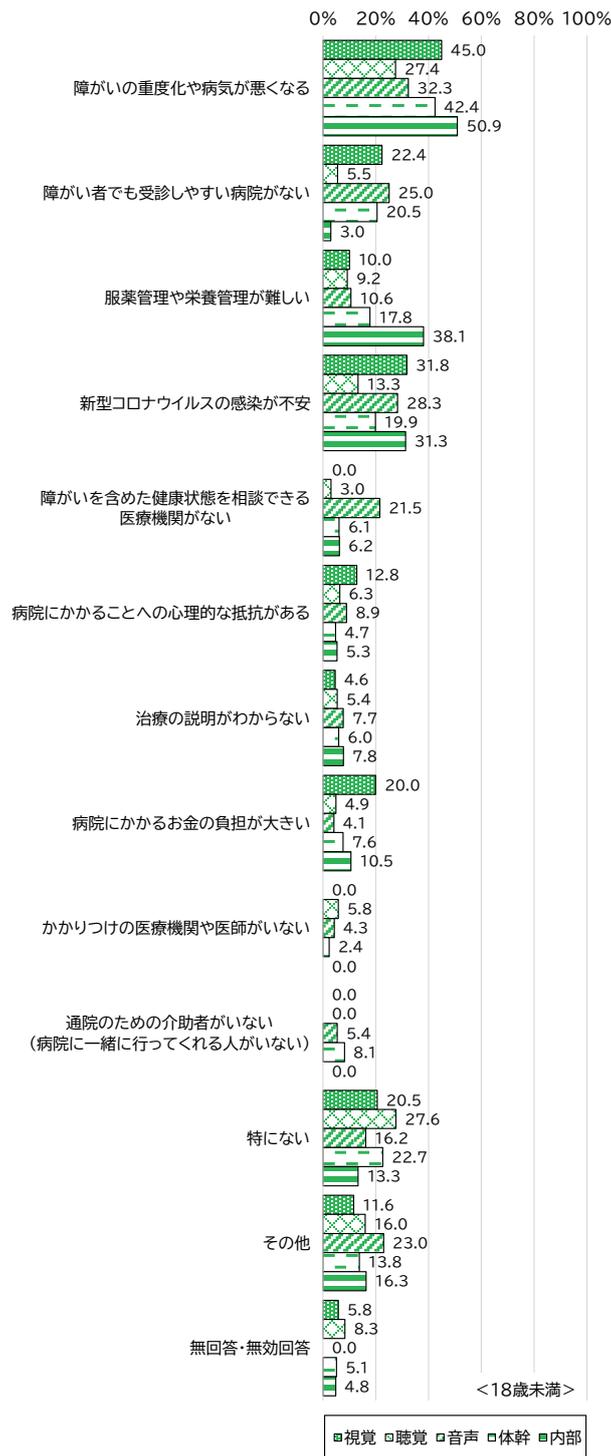
身体障がいの詳細についてみると、[視覚]、[聴覚]、[音声]、[体幹]、[内部]のすべてにおいて「障がいの重度化や病気が悪くなる」の回答が、[内部]において「服薬管理や栄養管理が難しい」の回答が、[視覚]、[音声]、[内部]において「新型コロナウイルスの感染が不安」の回答が、[音声]において「障がいを含めた健康状態を相談できる医療機関がない」の回答が、[視覚]において「病院にかかるお金の負担が大きい」の回答が全体と比較して高くなっている。また、「特にない」の回答は、[視覚]、[聴覚]、[音声]、[体幹]、[内部]のすべてにおいて全体と比較して低くなっている。

【18歳未満 問25】あなたは、ご自分の健康や医療のことで、困っていることや不安に思っていることがありますか。(複数回答)

図表 3-114 健康や医療についての不安、困っていること(18歳未満)



図表 3-115 健康や医療についての不安、困っていること(18歳未満 身体障がい詳細)



## (8) 災害時の対応について

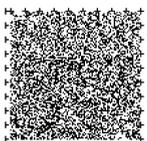
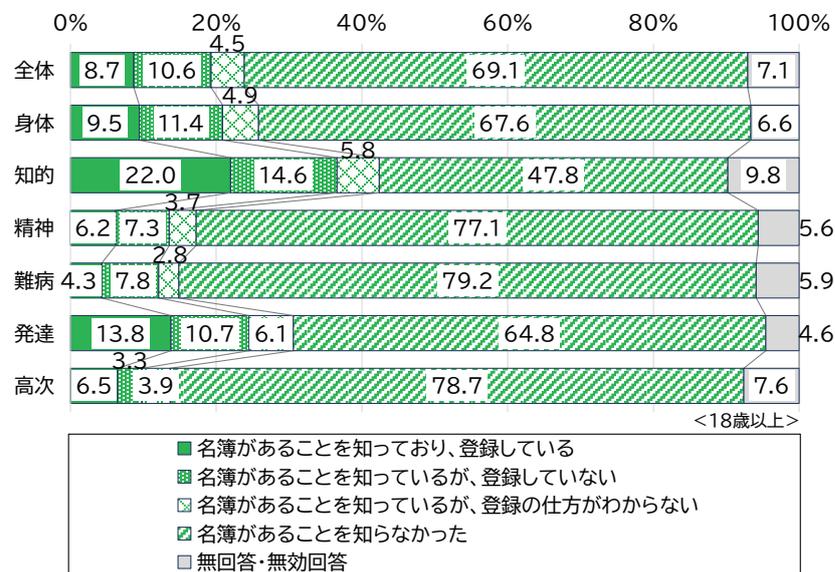
### ア 「避難行動要支援者名簿」の認知度

「避難行動要支援者名簿」の認知度について、18歳以上の方全体では、「名簿があることを知らなかった」の回答が69.1%と最も高く、次いで「名簿があることを知っているが、登録していない」の回答が10.6%、「名簿があることを知っており、登録している」の回答が8.7%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]において「名簿があることを知っており、登録している」の回答が、[難病]において「名簿があることを知らなかった」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問25】あなたは、災害(地震や台風など)のとき、無事かどうかの確認や避難の手助けなどのために作成されている「避難行動要支援者名簿」を知っていますか。(単一回答)

図表 3-116 「避難行動要支援者名簿」の認知度(18歳以上)

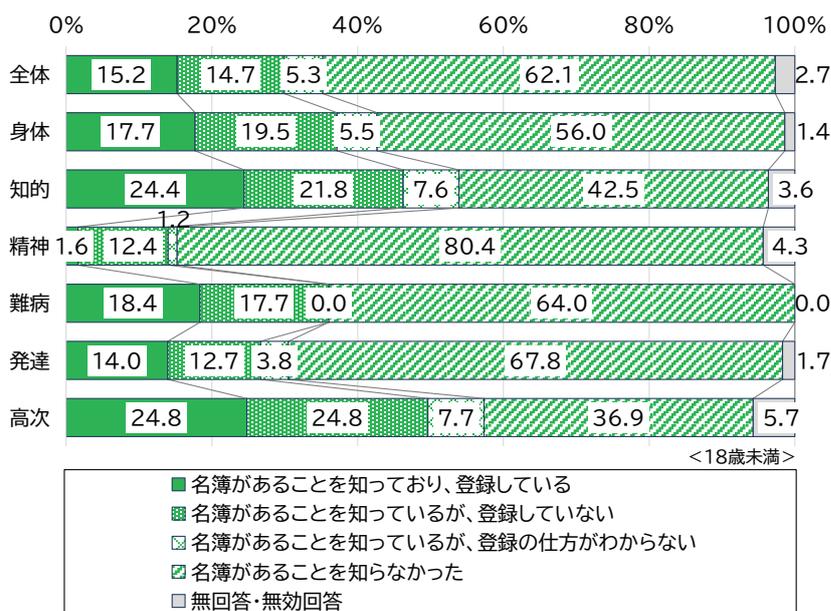


18歳未満の方全体では、「名簿があることを知らなかった」の回答が62.1%と最も高く、次いで「名簿があることを知っており、登録している」の回答が15.2%、「名簿があることを知っているが、登録していない」の回答が14.7%となっている。

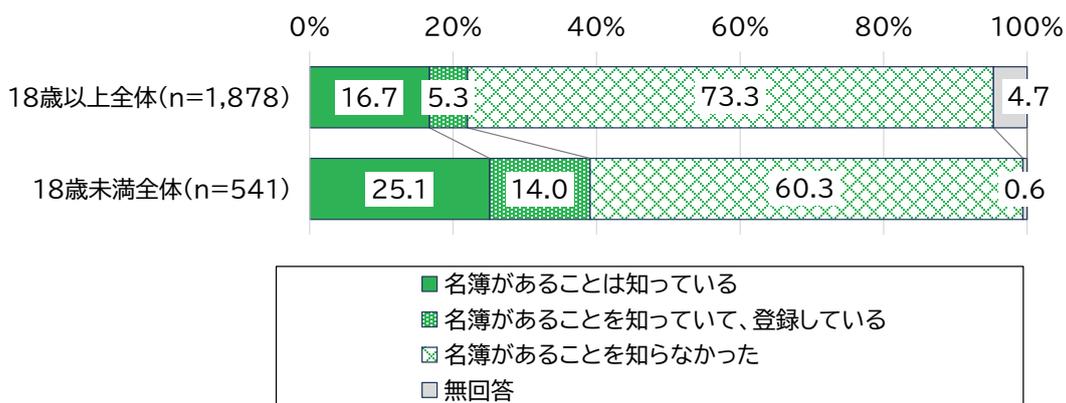
障がい種別に見ると、[高次]において「名簿があることを知っているが、登録していない」の回答が、[精神]において、「名簿があることを知らなかった」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問26】あなたは、災害(地震や台風など)のとき、無事かどうかの確認や避難の手助けなどのために作成されている「避難行動要支援者名簿」を知っていますか。(単一回答)

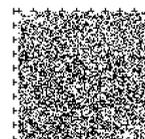
図表 3-117 「避難行動要支援者名簿」の認知度(18歳未満)



図表 3-118 参考:前回調査結果「避難行動要支援者名簿」の認知度<sup>53</sup>



<sup>53</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)



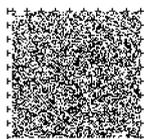
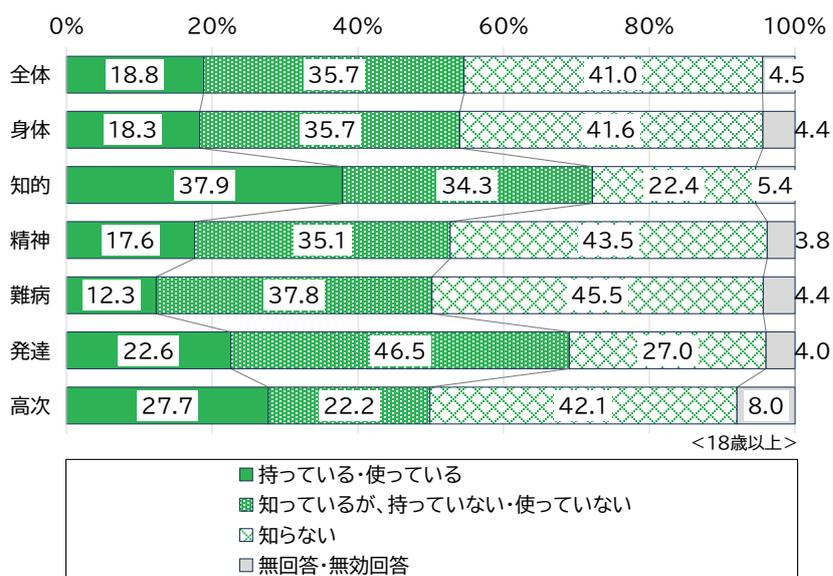
## イ 「ヘルプカード(たすけてねカード)」の認知度

「ヘルプカード(たすけてねカード)」の認知度について、18 歳以上の方全体では、「知らない」の回答が 41.0%と最も高く、次いで「知っているが、持っていない・使っていない」の回答が 35.7%、「持っている・使っている」の回答が 18.8%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]において「持っている・使っている」の回答が、[発達]において「知っているが、持っていない・使っていない」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18 歳以上 問 26】 あなたは「ヘルプカード(たすけてねカード)」を知っていますか。(単一回答)

図表 3-119 「ヘルプカード(たすけてねカード)」の認知度(18 歳以上)

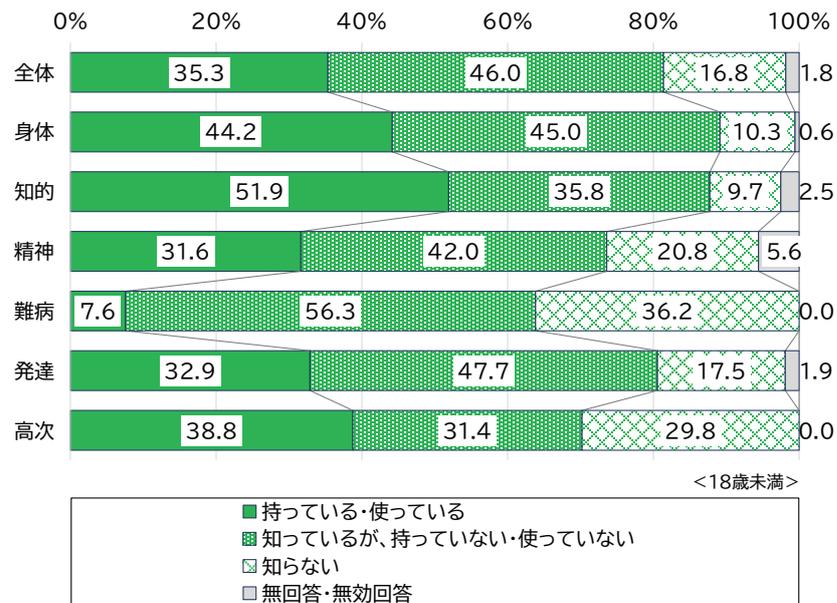


18歳未満の方全体では、「知っているが、持っていない・使っていない」の回答が46.0%と最も高く、次いで「持っている・使っている」の回答が35.3%、「知らない」の回答が16.8%となっている。

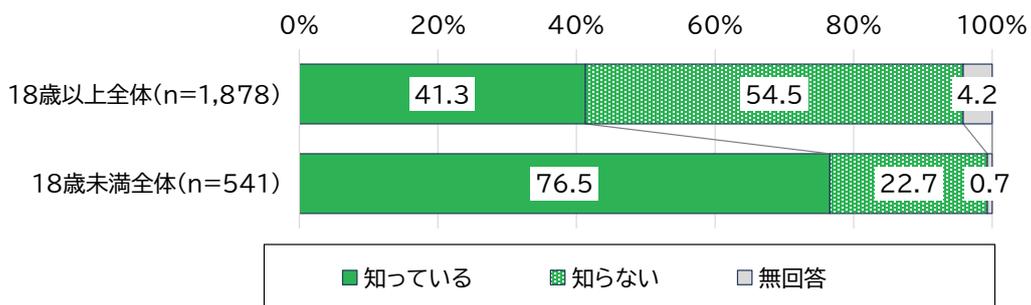
障がい種別に見ると、[知的]において「持っている・使っている」の回答が、[難病]において「知っているが、持っていない・使っていない」の回答が、[難病]、[高次]において「知らない」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問27】あなたは「ヘルプカード(たすけてねカード)」を知っていますか。(単一回答)

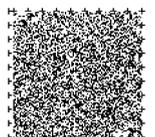
図表 3-120 「ヘルプカード(たすけてねカード)」の認知度(18歳未満)



図表 3-121 参考:前回調査結果「ヘルプカード(たすけてねカード)」の認知度<sup>54</sup>



<sup>54</sup> 前回調査結果は、居住地及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)

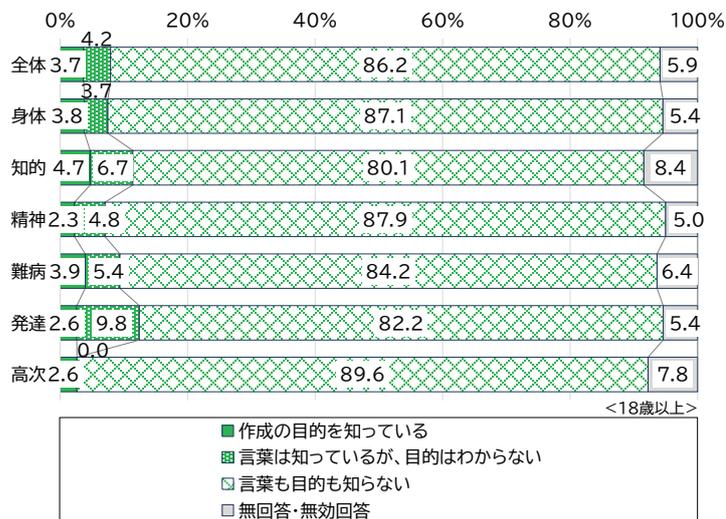


## ウ 「マイ・タイムライン」の認知度

「マイ・タイムライン」の認知度について、18 歳以上の方全体では、「言葉も目的も知らない」の回答が 86.2%と最も高くなっている。

【18 歳以上 問 27】 あなたは「マイ・タイムライン」を知っていますか。(単一回答)

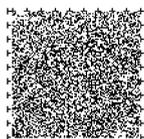
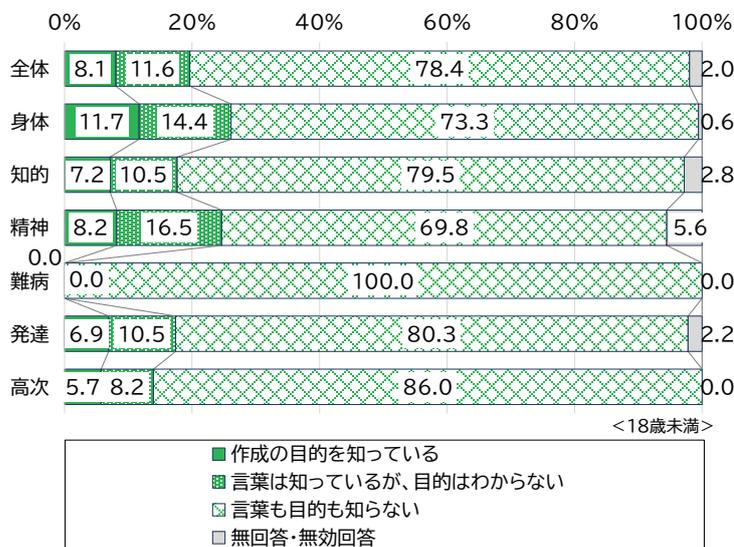
図表 3-122 「マイ・タイムライン」の認知度(18 歳以上)



18 歳未満の方全体では、「言葉も目的も知らない」の回答が 78.4%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、目的はわからない」の回答が 11.6%、「作成の目的を知っている」の回答が 8.1%となっている。  
障がい種別に見ると、[難病]において「言葉も目的も知らない」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18 歳未満 問 28】 あなたは「マイ・タイムライン」を知っていますか。(単一回答)

図表 3-123 「マイ・タイムライン」の認知度(18 歳未満)



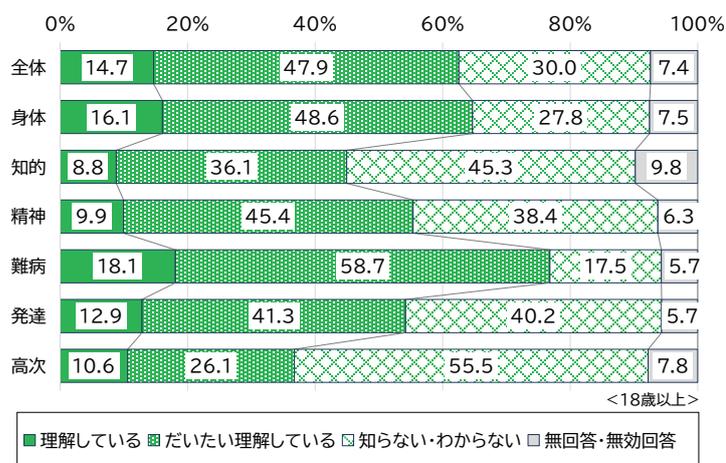
## 工 災害時の備えや行動への理解

災害時の備えや行動への理解について、18歳以上の方全体では、「理解している」と「だいたい理解している」を合わせた回答が62.6%となっており、一方で「知らない・わからない」の回答が30.0%となっている。

障がい種別に見ると、「理解している」と「だいたい理解している」を合わせた回答が[難病]では全体と比較して高くなっているが、[知的]、[高次]では全体と比較して低くなっている。

【18歳以上 問28】あなたは、災害(台風の水害等含む)が起きた際に、どのような備えが必要か、また、どのように行動(避難など)をすればよいか理解していますか。(単一回答)

図表 3-124 災害時の備えや行動への理解(18歳以上)

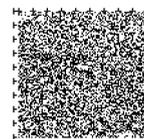
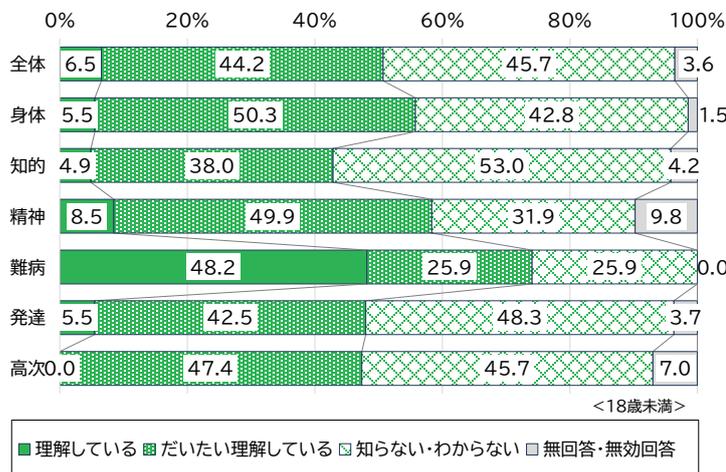


18歳未満の方全体では、「理解している」と「だいたい理解している」を合わせた回答が50.7%となっており、一方で「知らない・わからない」の回答が45.7%となっている。

障がい種別に見ると、「理解している」と「だいたい理解している」を合わせた回答が[難病]では全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問29】あなたは、災害(台風の水害等含む)が起きた際に、どのような備えが必要か、また、どのように行動(避難など)をすればよいか理解していますか。(単一回答)

図表 3-125 災害時の備えや行動への理解(18歳未満)

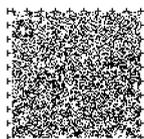


## オ 災害時の不安、困ること

災害時の不安、困ることについて、18 歳以上の方全体では、「自宅などに食べ物や飲み物の備えが不十分」の回答が 43.2%と最も高く、次いで「自宅などに非常用電源の備えが不十分」の回答が 39.1%、「実際に被害にあったとき、どう行動していいかわからない」の回答が 35.3%となっている。

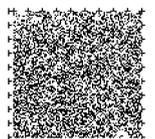
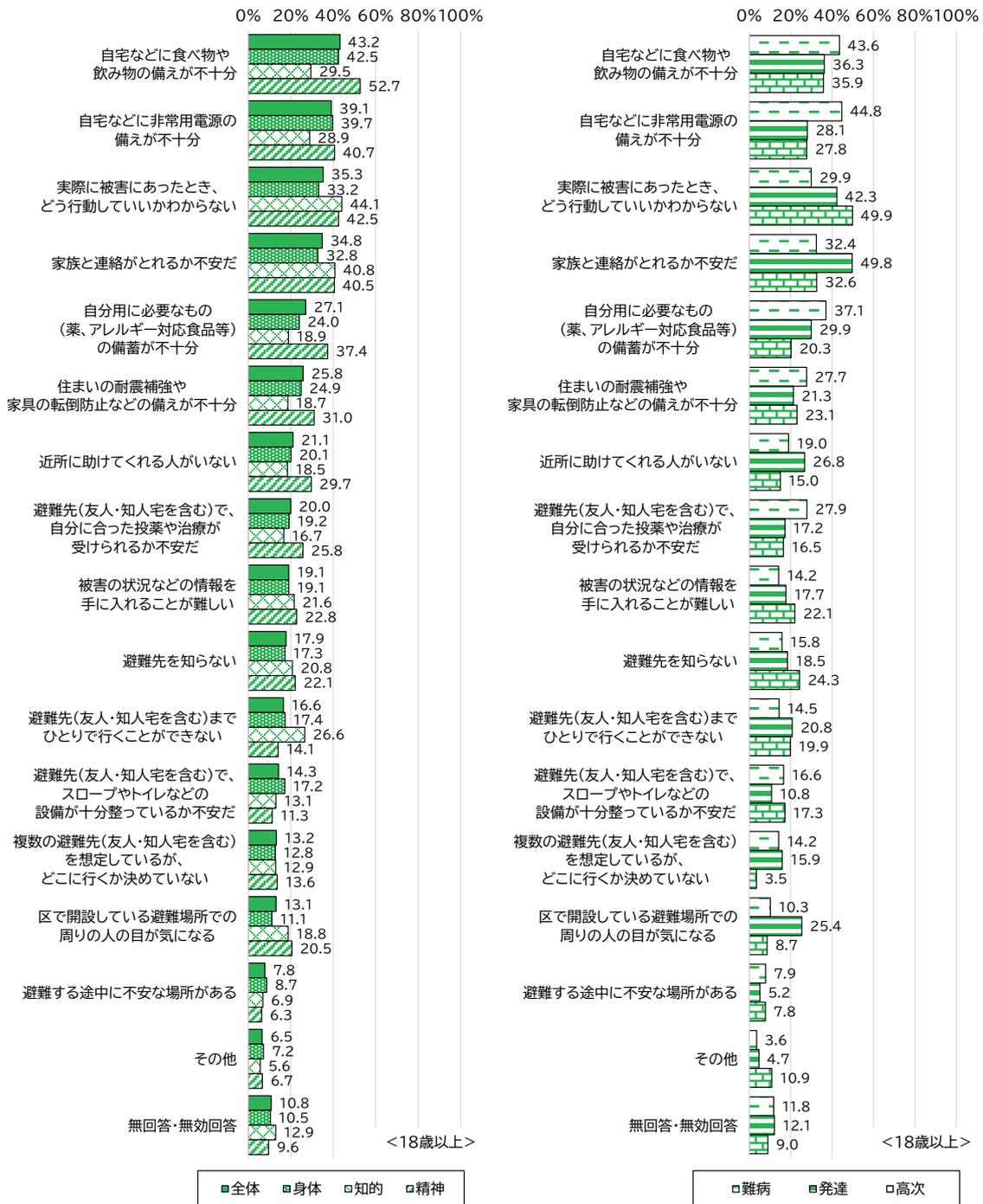
障がい種別に見ると、[高次]において「実際に被害にあったとき、どう行動していいかわからない」の回答が、[発達]において「家族と連絡がとれるか不安だ」、「区で開設している避難場所での周りの人の目が気になる」の回答が、[精神]、[難病]において「自分用に必要なもの(薬、アレルギー対応食品等)の備蓄が不十分」の回答が、[知的]において「避難先(友人・知人宅を含む)までひとりで行くことができない」の回答が全体と比較して高くなっている。

身体障がいの詳細について見ると、[視覚]、[聴覚]において「被害の状況などの情報を手に入れることが難しい」の回答が、[視覚]、[体幹]において「避難先(友人・知人宅を含む)までひとりで行くことができない」の回答が、[体幹]において「避難先(友人・知人宅を含む)で、スロープやトイレなどの設備が十分整っているか不安だ」の回答が全体と比較して高くなっている。

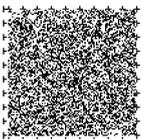
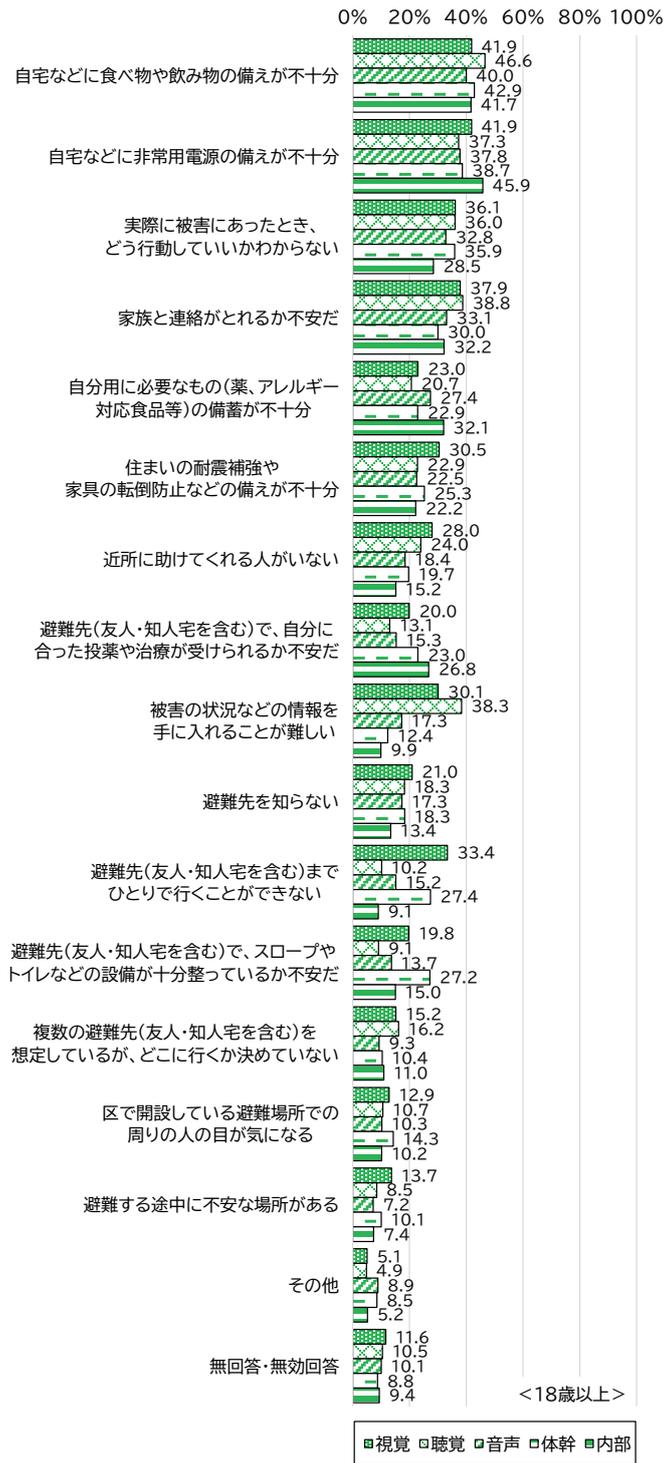


【18歳以上 問29】あなたが、災害(地震や台風など)があったときに、困ることや不安に思うことは何ですか。(複数回答)

図表 3-126 災害時の不安、困ること(18歳以上)



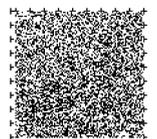
図表 3-127 災害時の不安、困ること(18歳以上 身体障がい詳細)



18歳未満の方全体では、「家族と連絡がとれるか不安だ」の回答が54.8%と最も高く、次いで「実際に被害にあったとき、どう行動していいかわからない」の回答が50.0%、「自宅などに食べ物や飲み物の備えが不十分」の回答が36.9%となっている。

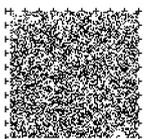
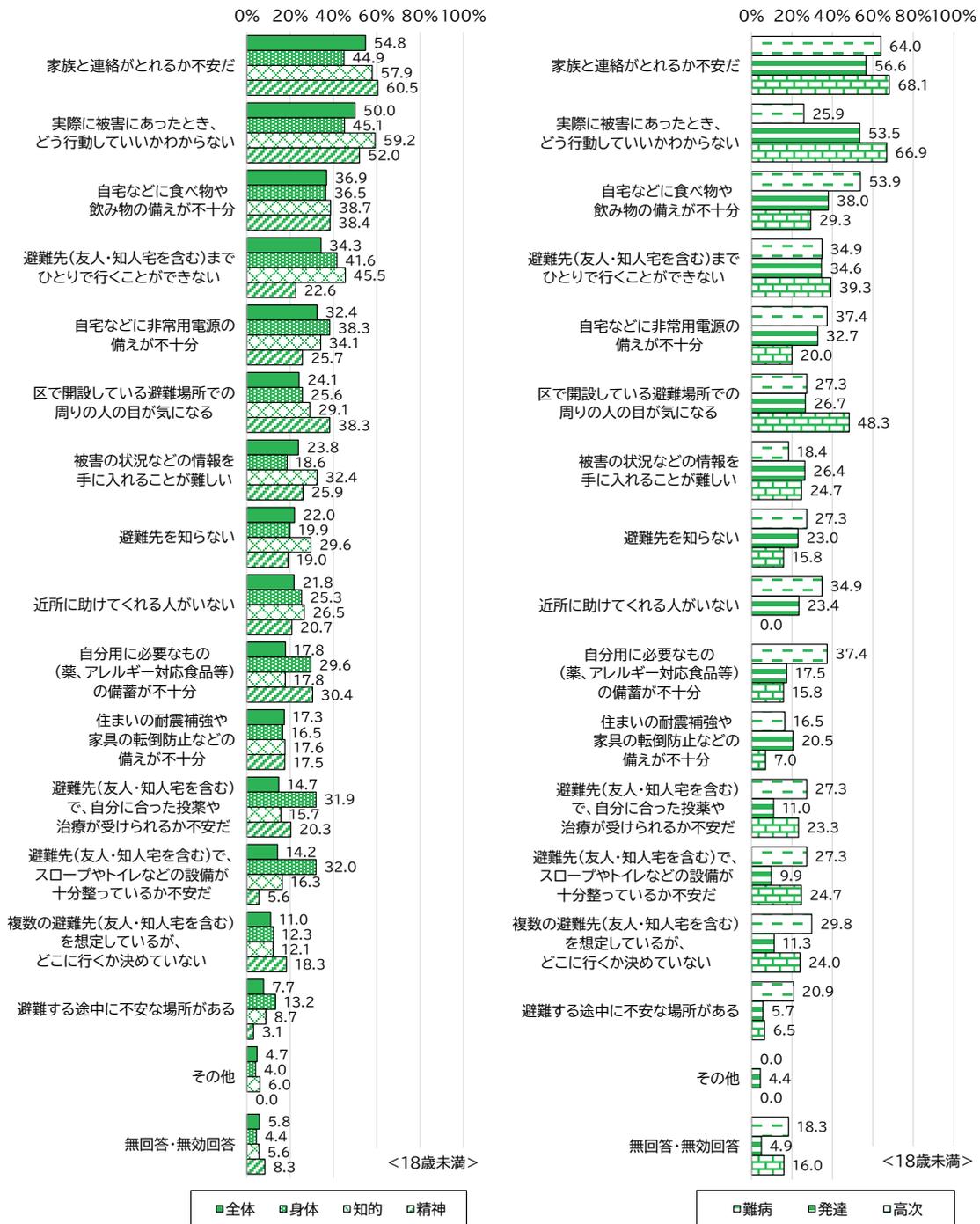
障がい種別に見ると、[高次]において「家族と連絡がとれるか不安だ」、「実際に被害にあったとき、どう行動していいかわからない」の回答が、[難病]において「自宅などに食べ物や飲み物の備えが不十分」、「近所に助けてくれる人がいない」、「避難する途中で不安な場所がある」の回答が、[知的]において「避難先(友人・知人宅を含む)までひとりで行くことができない」の回答が、[精神]、[高次]において「区で開設している避難場所での周りの人の目が気になる」の回答が、[身体]、[精神]、[難病]において「自分用に必要なもの(薬、アレルギー対応食品等)の備蓄が不十分」の回答が、[身体]、[難病]において「避難先(友人・知人宅を含む)で、自分に合った投薬や治療が受けられるか不安だ」の回答が、[身体]、[難病]、[高次]において「避難先(友人・知人宅を含む)で、スロープやトイレなどの設備が十分整っているか不安だ」の回答が、[難病]、[高次]において「複数の避難先(友人・知人宅を含む)を想定しているが、どこに行くか決めていない」の回答が全体と比較して高くなっている。

身体障がいの詳細について見ると、[視覚]、[音声]において「自宅などに食べ物や飲み物の備えが不十分」の回答が、[体幹]において「避難先(友人・知人宅を含む)までひとりで行くことができない」、「近所に助けてくれる人がいない」の回答が、[視覚]、[聴覚]、[音声]、[内部]において「自宅などに非常用電源の備えが不十分」の回答が、[視覚]、[音声]、[体幹]において「区で開設している避難場所での周りの人の目が気になる」の回答が、[聴覚]、[音声]において「被害の状況などの情報を手に入れることが難しい」の回答が、[体幹]、[内部]において「自分用に必要なもの(薬、アレルギー対応食品等)の備蓄が不十分」の回答が、[視覚]において「住まいの耐震補強や家具の転倒防止などの備えが不十分」、「避難する途中で不安な場所がある」の回答が、[視覚]、[体幹]、[内部]において「避難先(友人・知人宅を含む)で、自分に合った投薬や治療が受けられるか不安だ」の回答が、[音声]、[体幹]において「避難先(友人・知人宅を含む)で、スロープやトイレなどの設備が十分整っているか不安だ」の回答が全体と比較して高くなっている。

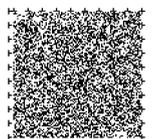
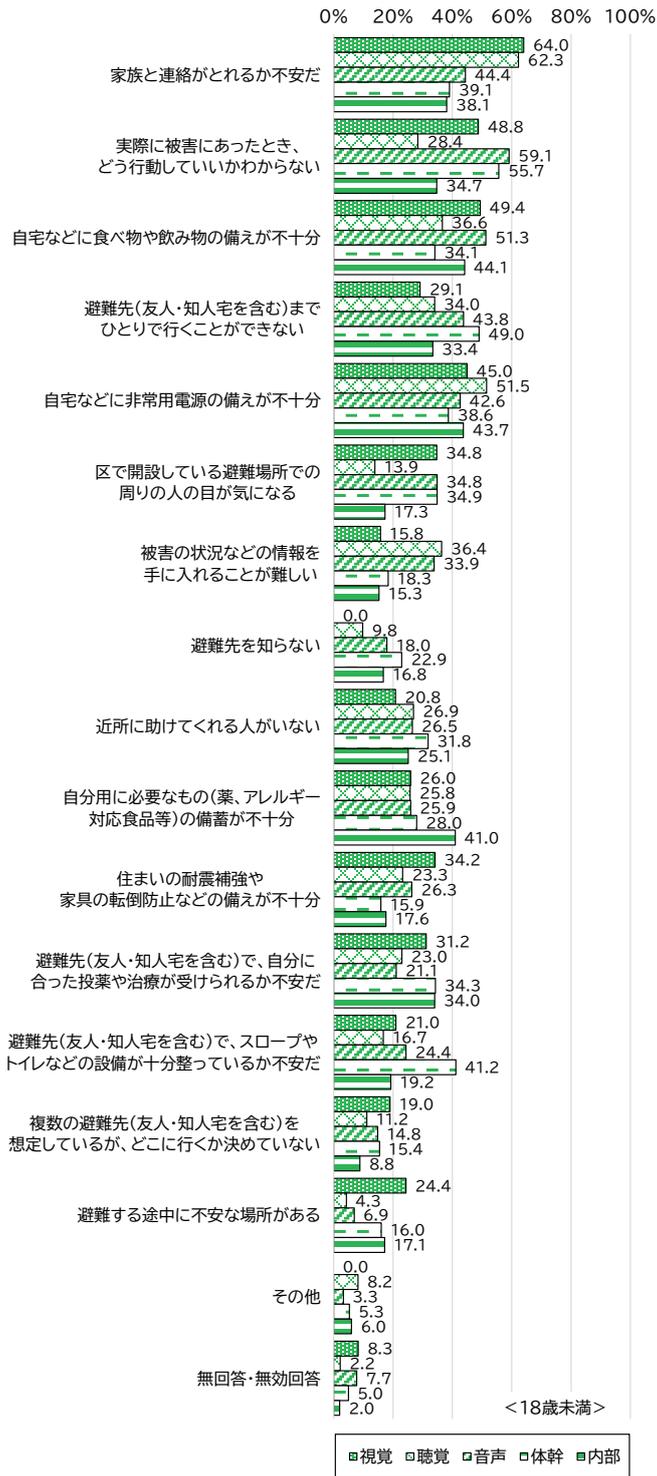


【18歳未満 問30】あなたが、災害(地震や台風など)があったときに、困ることや不安に思うことは何ですか。(複数回答)

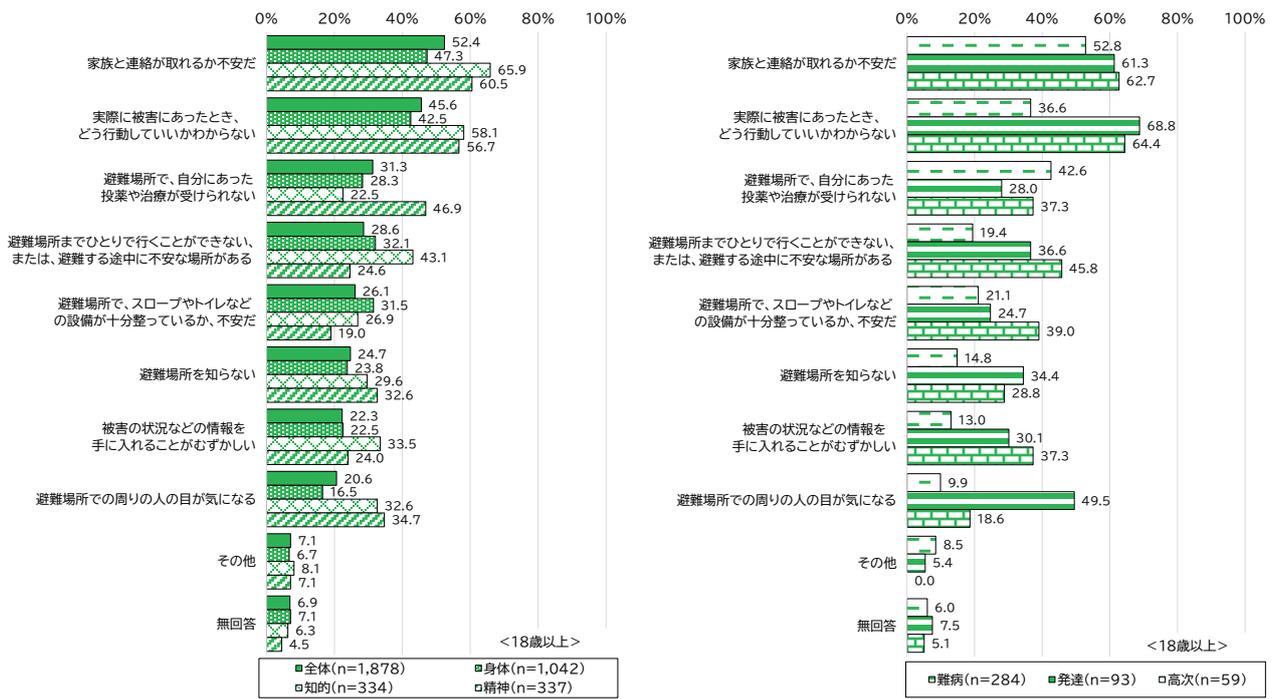
図表 3-128 災害時の不安、困ること(18歳未満)



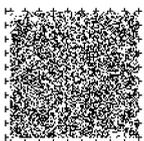
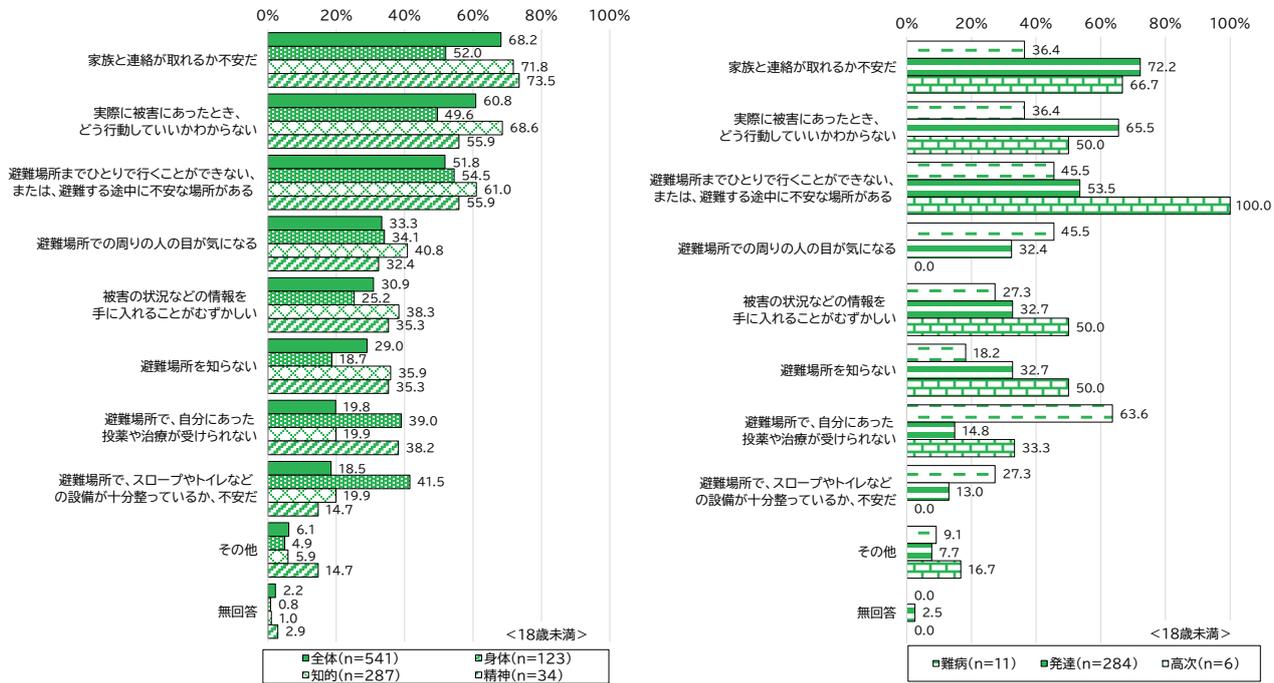
図表 3-129 災害時の不安、困ること(18歳未満 身体障がい詳細)



図表 3-130 参考:前回調査結果 災害時の不安、困ること(18歳以上)<sup>55</sup>



図表 3-131 参考:前回調査結果 災害時の不安、困ること(18歳未満)



<sup>55</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)

## (9) 権利擁護について

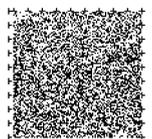
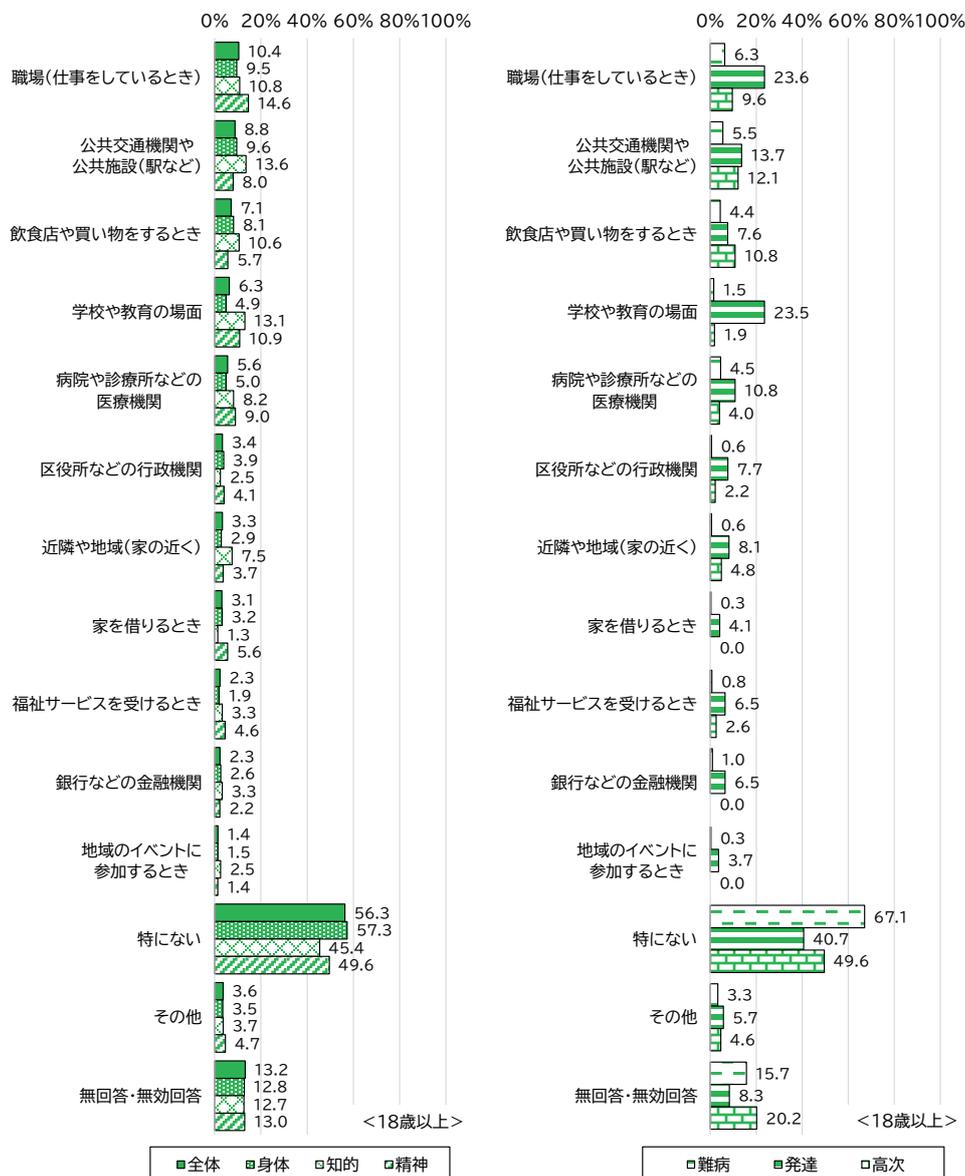
### ア 障がいがあることを理由に差別を感じた場所や場面

障がいがあることを理由に差別を感じた場所や場面について、18 歳以上の方全体では、「特にない」の回答が最も高く 56.3%となっている。一方で、「職場(仕事をしているとき)」の回答が 10.4%、「公共交通機関や公共施設(駅など)」の回答が 8.8%、「飲食店や買い物をするとき」の回答が 7.1%となっている。

障がい種別に見ると、[発達]において「職場(仕事をしているとき)」、「学校や教育の場面」の回答が全体と比較して高くなっている。また、「特にない」の回答は、全体と比較して[難病]において高くなっている一方で、[知的]、[発達]において低くなっている。

【18 歳以上 問 30\_1】障がいがあることを理由として差別をされたと感じた・いやな思いをしたことがありますか。あった方はどのような場所や場面でそのようなことがあったか教えてください。(複数回答)

図表 3-132 障がいがあることを理由に差別を感じた場所や場面(18 歳以上)

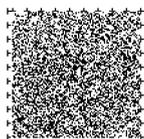
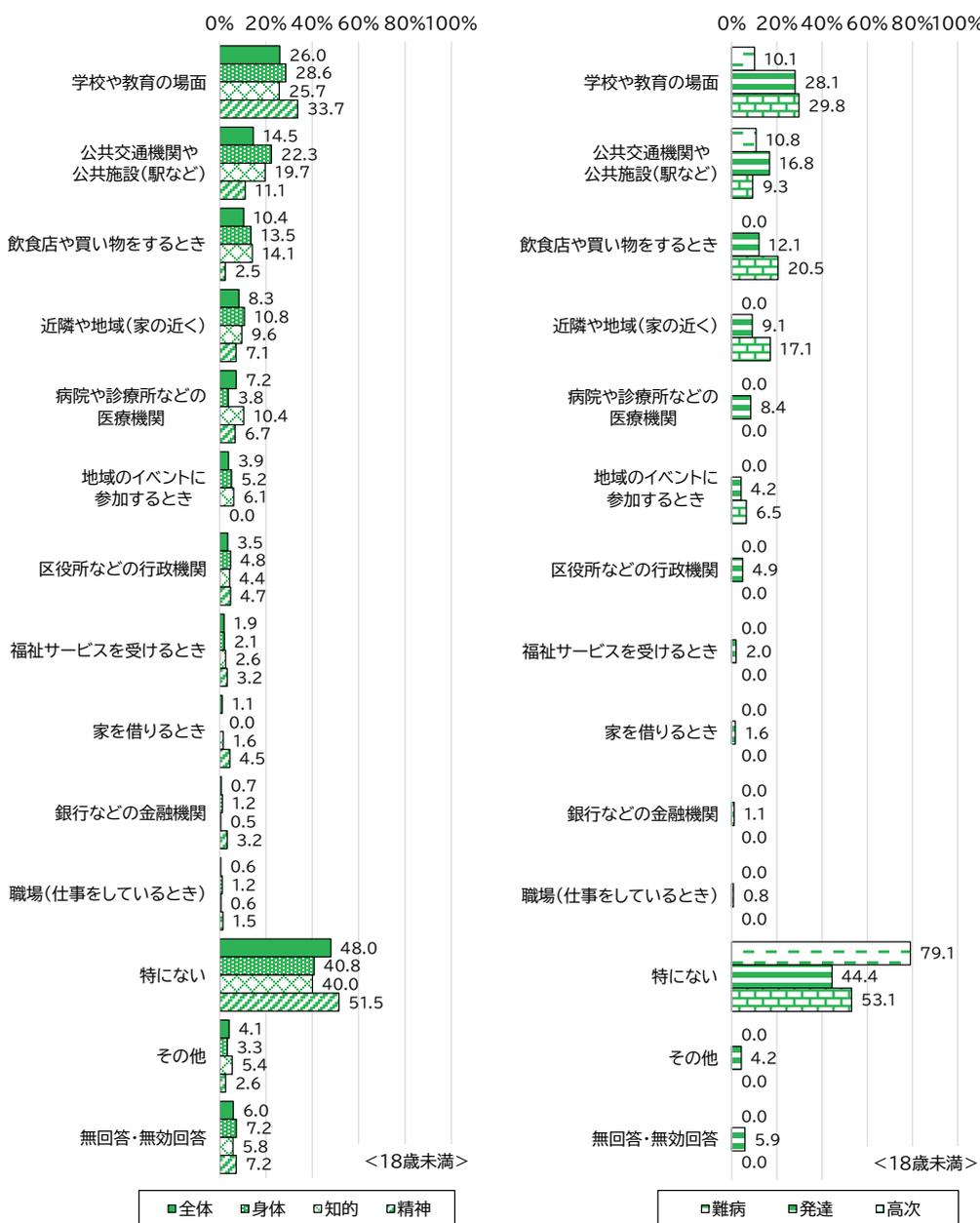


18歳未満の方全体では、「特にない」の回答が48.0%と最も高くなっている。一方で、「学校や教育の場面」の回答が26.0%、「公共交通機関や公共施設(駅など)」の回答が14.5%、「飲食店や買い物をするとき」の回答が10.4%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「飲食店や買い物をするとき」の回答が全体と比較して高くなっている。また、「特にない」の回答は、全体と比較して[難病]において高くなっている。

【18歳未満 問31\_1】 障がいがあることを理由として差別をされたと感じた・いやな思いをしたことがありますか。あった方はどのような場所や場面でそのようなことがあったか教えてください。(複数回答)

図表 3-133 障がいがあることを理由に差別を感じた場所や場面(18歳未満)



## イ 差別を感じた・いやな思いをした内容

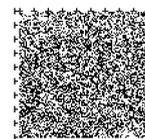
18 歳以上において、前問で回答のあった「差別を感じた場所や場面」ごとにその内容を抜粋して例示すると、以下ようになる。

【18 歳以上 問 30\_2】 問 30-1 の場所や場面で、あなたが差別をされたと感じた・いやな思いをしたのは、どのような内容でしたか。よろしければお書きください。(自由記述)

図表 3-134 差別を感じた・いやな思いをした内容(18 歳以上)<sup>56</sup>

場所・場面	差別を感じた・いやな思いをした内容(例)
学校や教育の場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生徒からの虐め、障がいへの誹謗中傷、からかい</li> <li>● 教師からの虐め、通常級からの排除</li> <li>● 障がいへの理解不足</li> <li>● 障がいが就職活動において不利に働く</li> </ul>
職場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障がいを理由とする会社の人からのいじめ、誹謗中傷</li> <li>● 職場内における障がいへの理解不足</li> <li>● 障がいを理由とする一方的な業務内容の限定</li> <li>● 障がいを理由とする就職試験の不合格</li> <li>● 障がいのある人とない人の賃金格差</li> <li>● 障がいを理由として退職を求められた</li> <li>● 税金対策のために障がい者を雇用していると言われた</li> </ul>
公共交通機関や公共施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車いすで乗るとほかの乗客や運転手に嫌な顔をされたり、乗車を拒否される</li> <li>● ほかの乗客からの障がいに対する心無い言動</li> <li>● 外見上分かりにくい障がいのため、優先席や障害者手帳等使用時に疑われたり怒鳴られたりする</li> </ul>
区役所などの行政機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員からの障がいに対する心無い言葉</li> <li>● 職員の障がいへの配慮の欠如</li> </ul>
病院や診療所などの医療機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障がいを理由とする受診拒否</li> <li>● 医療関係者からの障がいを理由とする見下し、腫物に触るような態度</li> </ul>
銀行などの金融機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通帳の作成拒否</li> <li>● お金をおろす際に、障がいで筆跡が変わったため警察を呼ばれそうになった</li> </ul>
飲食店や買い物をするとき	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 来店拒否</li> <li>● 店員による障がいを理由とする嘲笑</li> <li>● 店にバリアフリーが完備されていないため利用できない</li> <li>● 店員からの障がいに対する冷たい視線、言葉</li> </ul>
福祉サービスを受ける時	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員から障がい者であることを疑われた</li> <li>● 職員からの心無い言葉</li> <li>● 職員の障がいへの理解不足</li> </ul>
家を借りる時	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障がいを理由とする賃貸契約の拒否</li> </ul>
近隣や地域(家の近く)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障がいに対する心無い言動</li> </ul>

<sup>56</sup> 表中の内容が差別に該当するということを示すものではない。



18 歳未満において、前問で回答のあった「差別を感じた場所や場面」ごとにその内容を抜粋して例示すると、以下ようになる。

【18 歳未満 問 31\_2】 問 31-1 の場所や場面で、あなたが差別をされたと感じた・いやな思いをしたのは、どのような内容でしたか。よろしければお書きください。(自由記述)

図表 3-135 差別を感じた・いやな思いをした内容(18 歳未満)<sup>57</sup>

場所・場面	差別を感じた・いやな思いをした内容(例)
学校や教育の場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入園・入学拒否、預かり拒否</li> <li>● 生徒からの虐め、差別的な発言、心無い言葉、仲間外れ</li> <li>● 先生からの虐め、理解不足による心無い言葉・態度、圧力</li> </ul>
職場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障がい児を持つことに対する、職場の方からの嫌味</li> </ul>
公共交通機関や公共施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パニックになったり、大きな声を上げてしまった時の他の乗客・利用者からの差別的な言葉、嫌味、態度</li> <li>● 他の乗客・利用者からの心無い発言・態度</li> <li>● 車内でベビーカー利用スペースを利用しようとしたら、威嚇された</li> <li>● 公園で嫌な目で見られて避けられた</li> <li>● 水族館で立ち上がったら叩かれた</li> </ul>
区役所などの行政機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 手続きの際、知的障がいの手続きであることを大声でほかの担当者に伝えられた</li> </ul>
病院や診療所などの医療機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受診拒否</li> <li>● 障がいを理由として診察が進まない時の医療関係者からの心無い態度</li> </ul>
飲食店や買い物をするとき	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷たい視線</li> </ul>
福祉サービスを受ける時	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 理解不足による支援員からの行動の強要</li> <li>● 受入れ拒否</li> </ul>
近隣や地域(家の近く)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公園等で遊ぶ際の仲間外れ、迷惑がられる</li> <li>● 好奇の視線</li> <li>● 公園で嫌な目で見られて避けられた</li> </ul>



<sup>57</sup> 表中の内容が差別に該当するということを示すものではない。

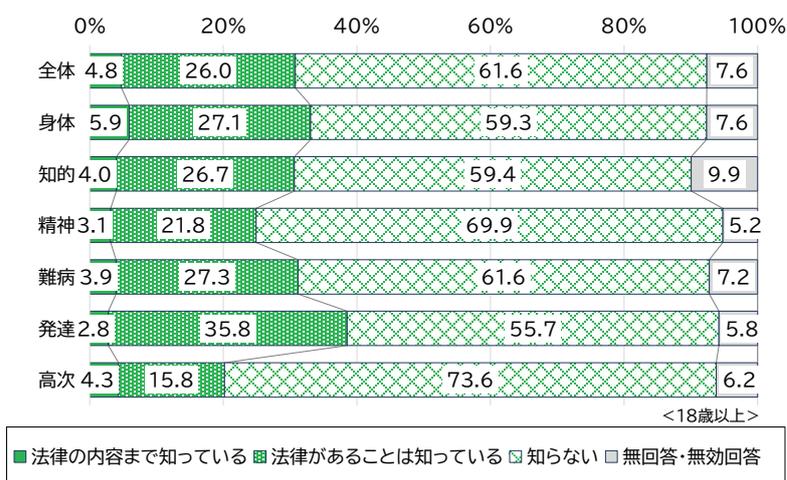
## ウ 「障害者差別解消法」の認知度

「障害者差別解消法」の認知度について、18歳以上の方全体では、「知らない」の回答が61.6%と最も高く、次いで「法律があることは知っている」の回答が26.0%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「知らない」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問31】あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。(単一回答)

図表 3-136 「障害者差別解消法」の認知度(18歳以上)

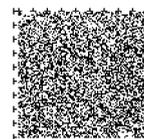
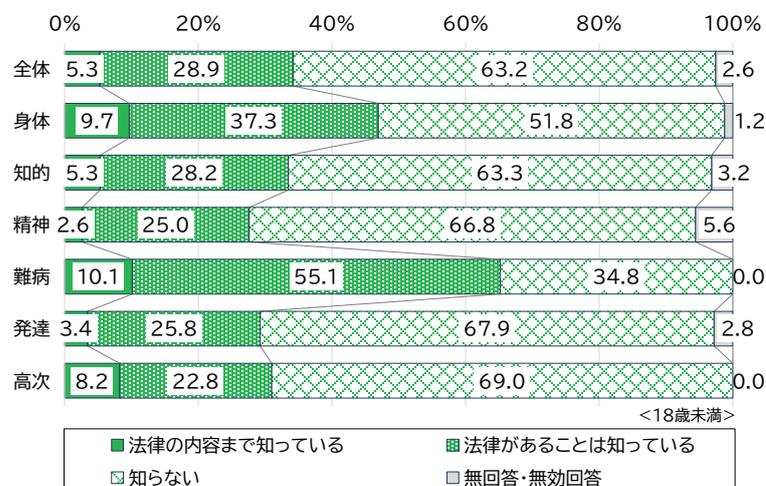


18歳未満の方全体では、「知らない」の回答が63.2%と最も高く、次いで「法律があることは知っている」の回答が28.9%となっている。

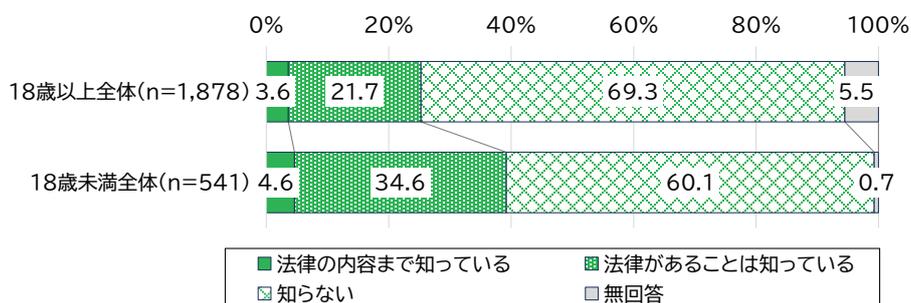
障がい種別に見ると、[難病]において「法律があることは知っている」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問32】あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。(単一回答)

図表 3-137 「障害者差別解消法」の認知度(18歳未満)



図表 3-138 参考:前回調査結果「障害者差別解消法」の認知度<sup>58</sup>



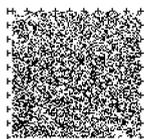
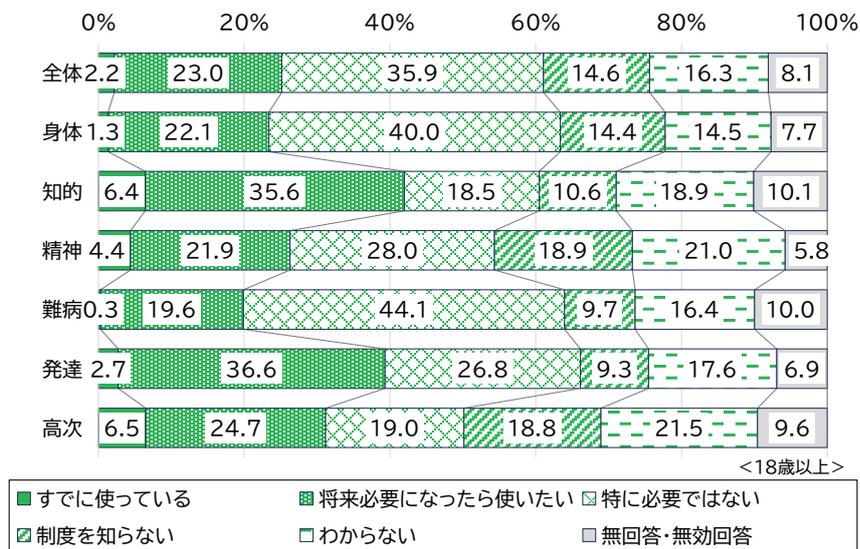
## エ 「成年後見制度」の活用意向

「成年後見制度」の活用意向について、18歳以上の方全体では、「特に必要ではない」の回答が35.9%と最も高く、次いで「将来必要になったら使いたい」の回答が23.0%、「わからない」の回答が16.3%となっている。また、「すでに使っている」の回答は2.2%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]、[発達]において「将来必要になったら使いたい」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問32】あなたは、成年後見制度を使いたいですか。(単一回答)

図表 3-139 「成年後見制度」の活用意向(18歳以上)



<sup>58</sup> 前回調査結果は、居住地及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)

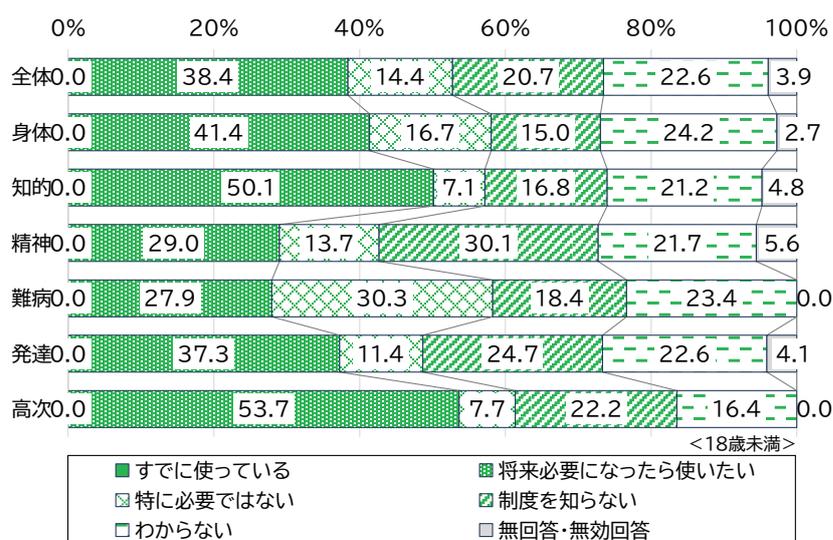
## オ 「未成年後見制度」の活用意向

「未成年後見制度」の活用意向について、18歳未満の方全体では、「将来必要になったら使いたい」の回答が38.4%と最も高く、次いで「わからない」の回答が22.6%、「制度を知らない」の回答が20.7%となっている。また、「すでに使っている」と回答した方はいなかった。

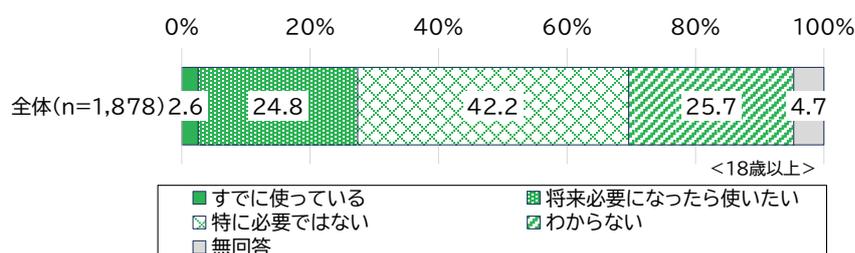
障がい種別に見ると、[知的]、[高次]において「将来必要になったら使いたい」の回答が、[難病]において「特に必要ではない」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問33】 あなたは、未成年後見制度を使いたいですか。(単一回答)

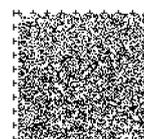
図表 3-140 「未成年後見制度」の活用意向(18歳未満)



図表 3-141 参考: 前回調査結果 「成年後見制度」の活用意向(18歳以上)<sup>59</sup>



<sup>59</sup> 前回調査結果は、居住地及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)

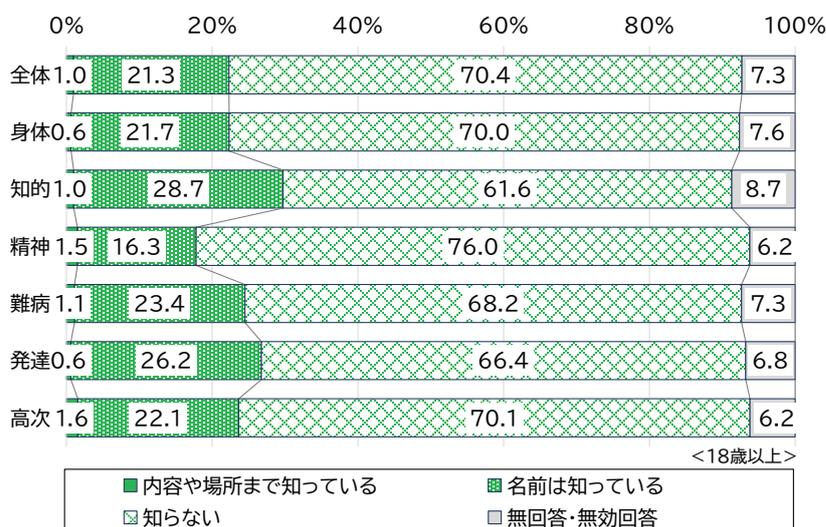


## カ 「障害者虐待防止センター」の認知度

「障害者虐待防止センター」の認知度について、18 歳以上の方全体では、「知らない」の回答が 70.4% と最も高く、次いで「名前は知っている」の回答が 21.3%となっている。

【18 歳以上 問 33】 あなたは、障害者虐待防止センターがあることを知っていますか。(単一回答)

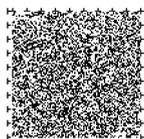
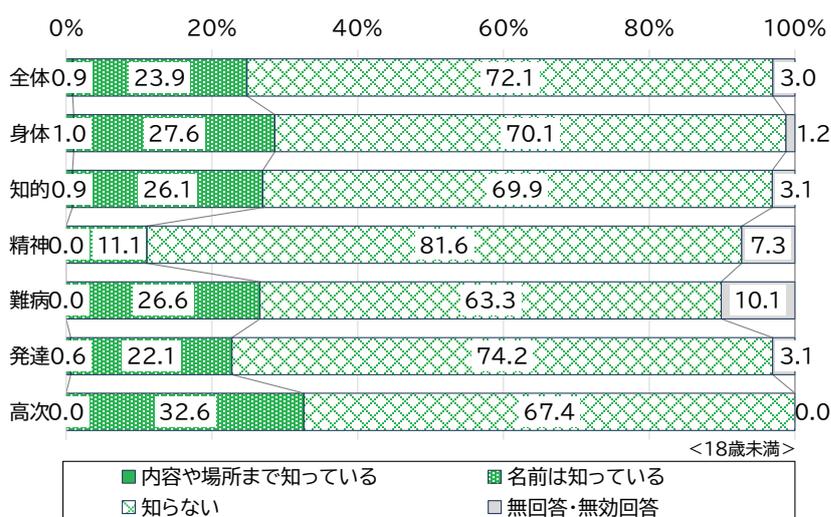
図表 3-142 「障害者虐待防止センター」の認知度(18 歳以上)



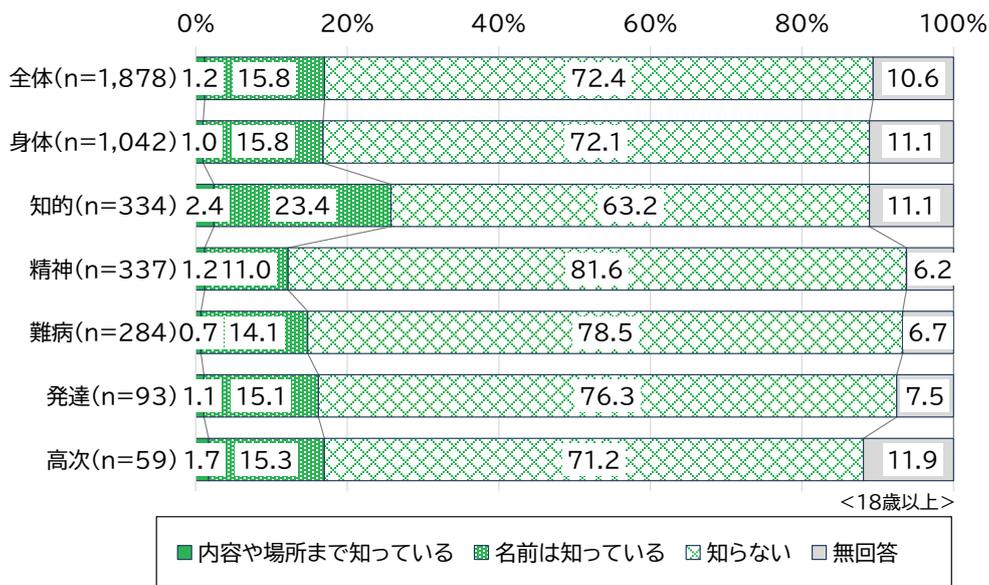
18 歳未満の方全体では、「知らない」の回答が 72.1% と最も高く、次いで「名前は知っている」の回答が 23.9%となっている。

【18 歳未満 問 34】 あなたは、障害者虐待防止センターがあることを知っていますか。(単一回答)

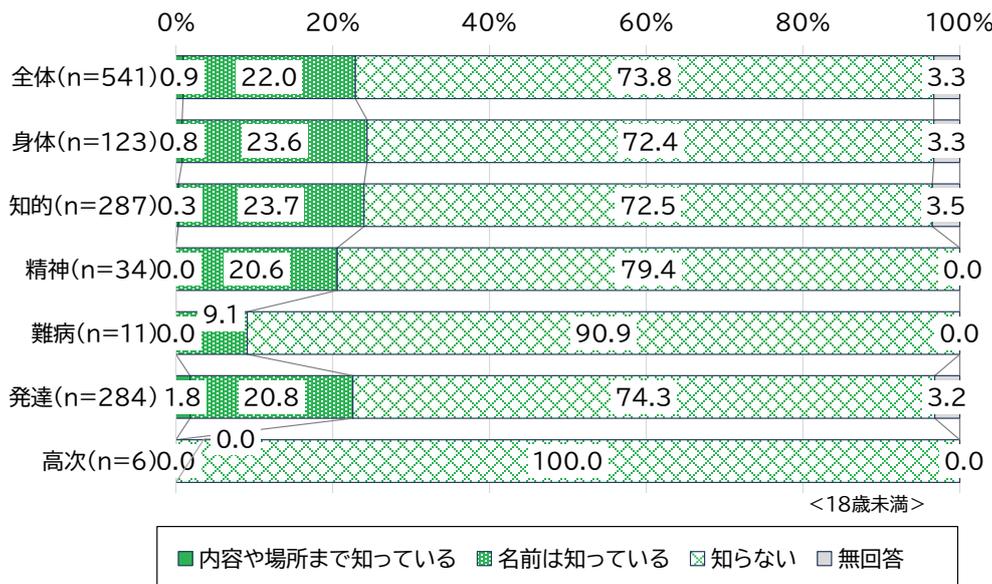
図表 3-143 「障害者虐待防止センター」の認知度(18 歳未満)



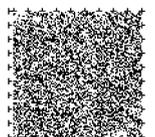
図表 3-144 参考:前回調査結果「障害者虐待防止センター」の認知度(18歳以上)<sup>60</sup>



図表 3-145 参考:前回調査結果「障害者虐待防止センター」の認知度(18歳未満)



<sup>60</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)



## (10) 相談や情報について

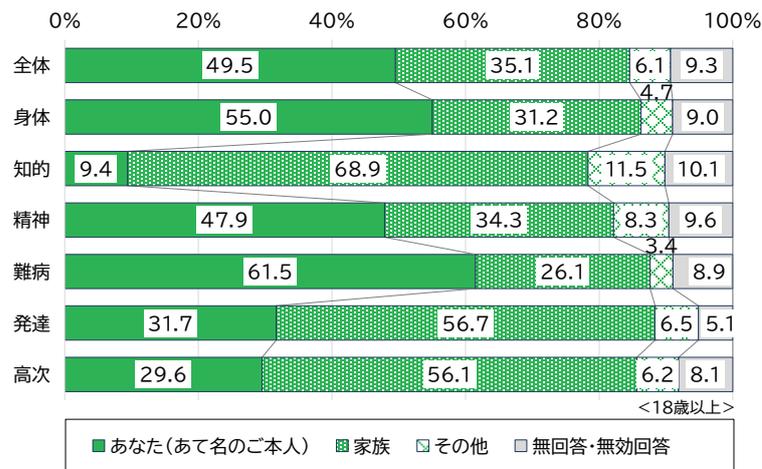
### ア 福祉情報の主な入手者

福祉情報の主な入手者について、18歳以上の方全体では、「あなた(あて名のご本人)」の回答が49.5%と最も高く、次いで「家族」の回答が35.1%となっている。

障がい種別に見ると、[難病]において「あなた(あて名のご本人)」の回答が、[知的]、[発達]、[高次]において「家族」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問34\_1】福祉についての情報などを手に入れているのは、主にどなたですか。(単一回答)

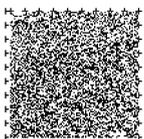
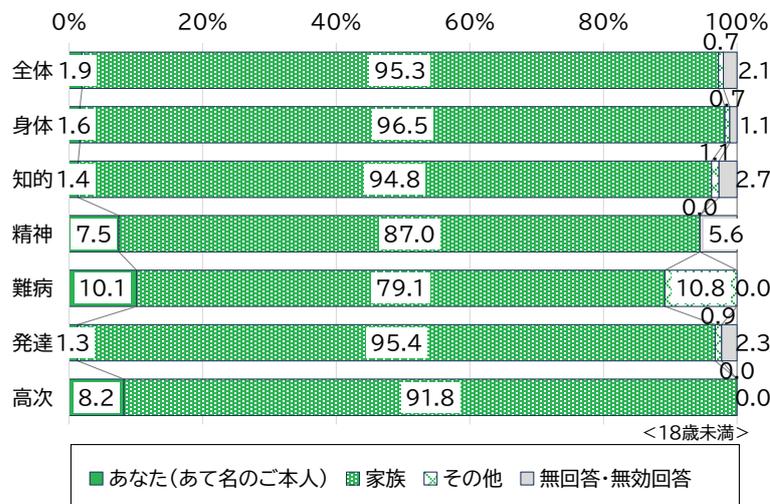
図表 3-146 福祉情報の主な入手者(18歳以上)



18歳未満の方全体では、「家族」の回答が95.3%と最も高く、次いで「あなた(あて名のご本人)」の回答が1.9%となっている。

【18歳未満 問35\_1】福祉についての情報などを手に入れているのは、主にどなたですか。(単一回答)

図表 3-147 福祉情報の主な入手者(18歳未満)



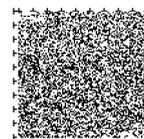
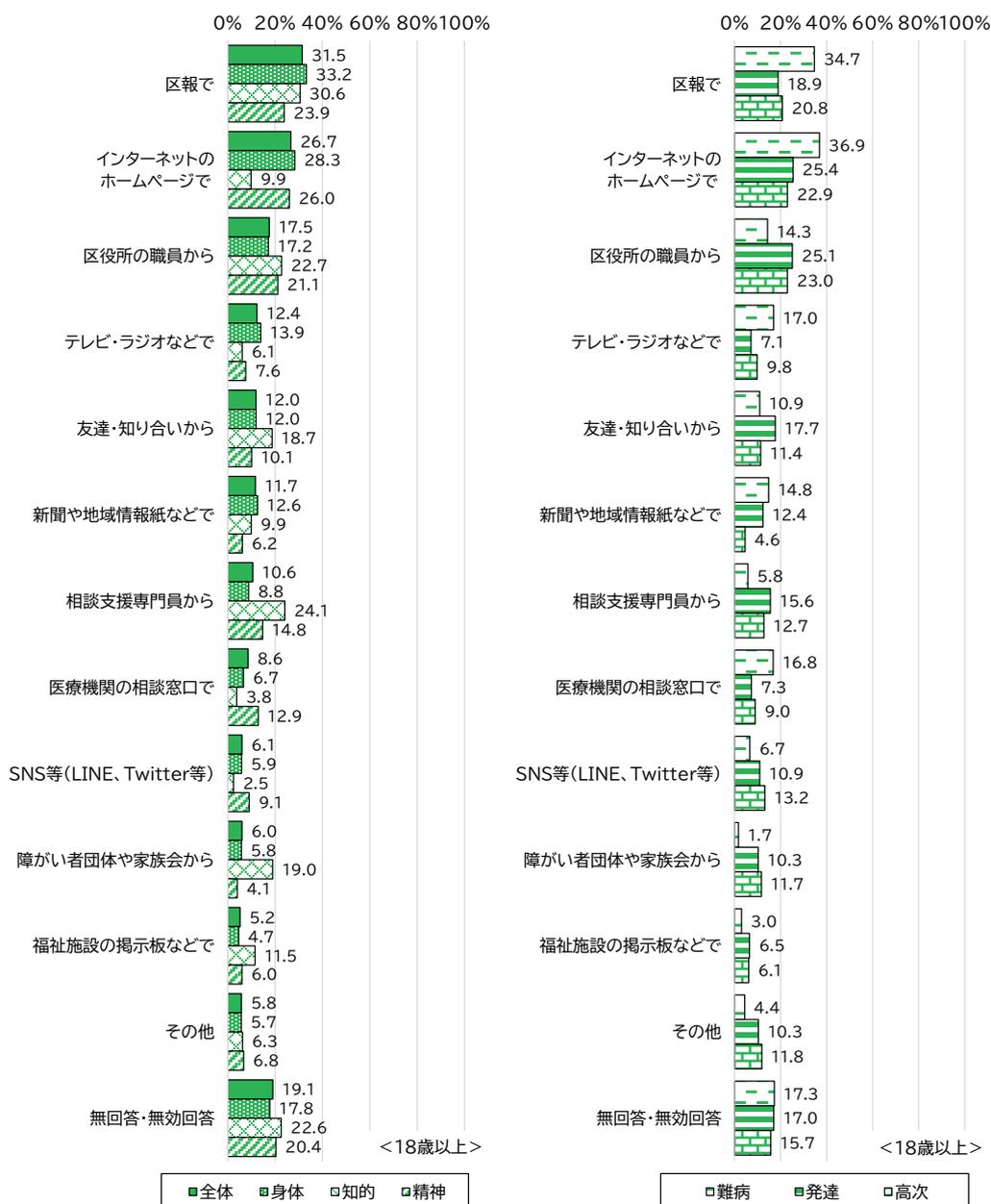
## イ 福祉情報の入手方法

福祉情報の入手方法について、18歳以上の方全体では、「区報で」の回答が31.5%と最も高く、次いで「インターネットのホームページで」の回答が26.7%、「区役所の職員から」の回答が17.5%となっている。

障がい種別に見ると、[難病]において「インターネットのホームページで」の回答が、[知的]において「相談支援専門員から」、「障がい者団体や家族会から」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問34\_2】問34-1でご回答した方は、福祉についての情報などを、どのような方法で手に入れていますか。(複数回答)

図表 3-148 福祉情報の入手方法(18歳以上)

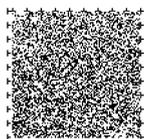
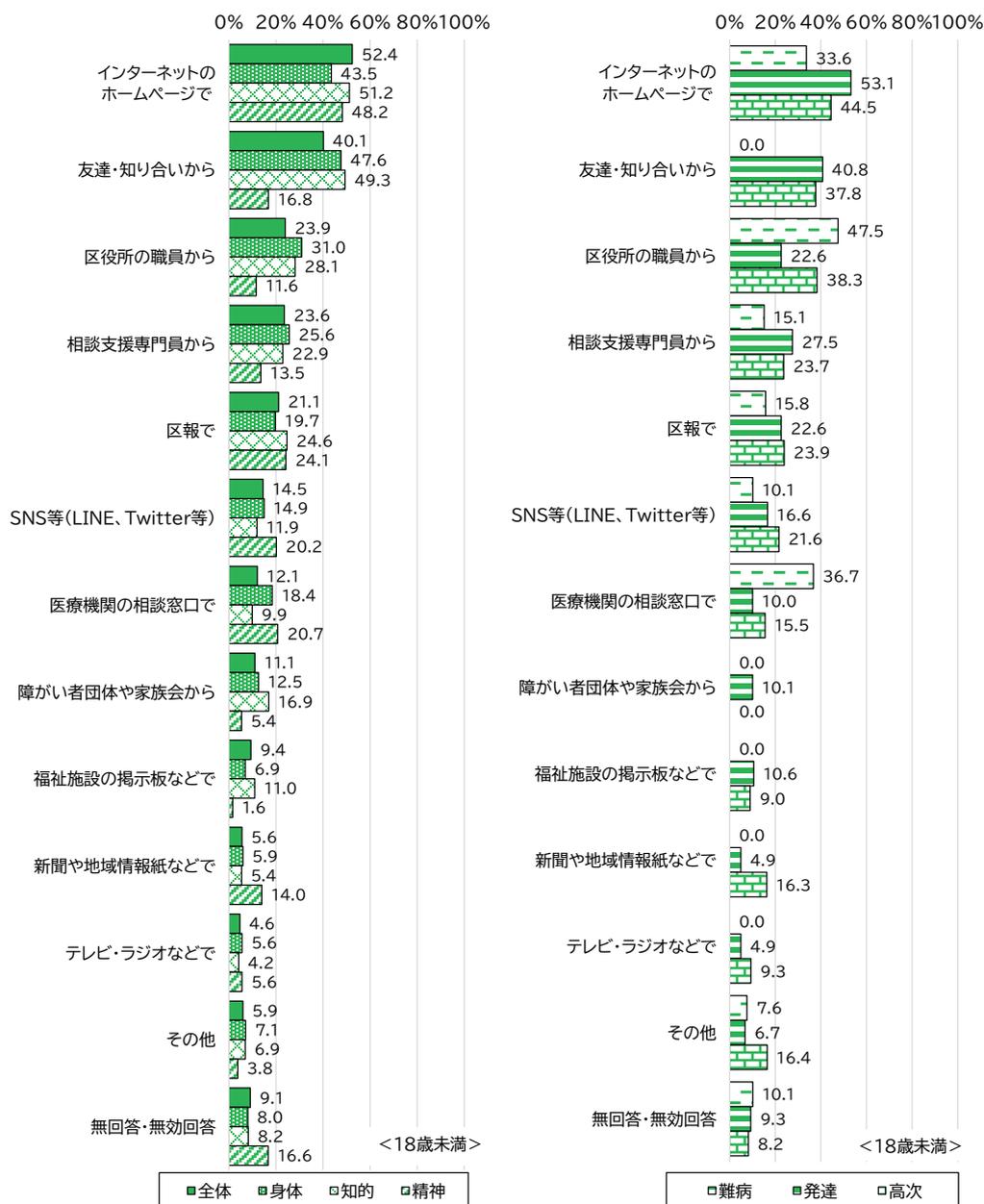


18歳未満の方全体では、「インターネットのホームページで」の回答が52.4%と最も高く、次いで「友達・知り合いから」の回答が40.1%、「区役所の職員から」の回答が23.9%となっている。

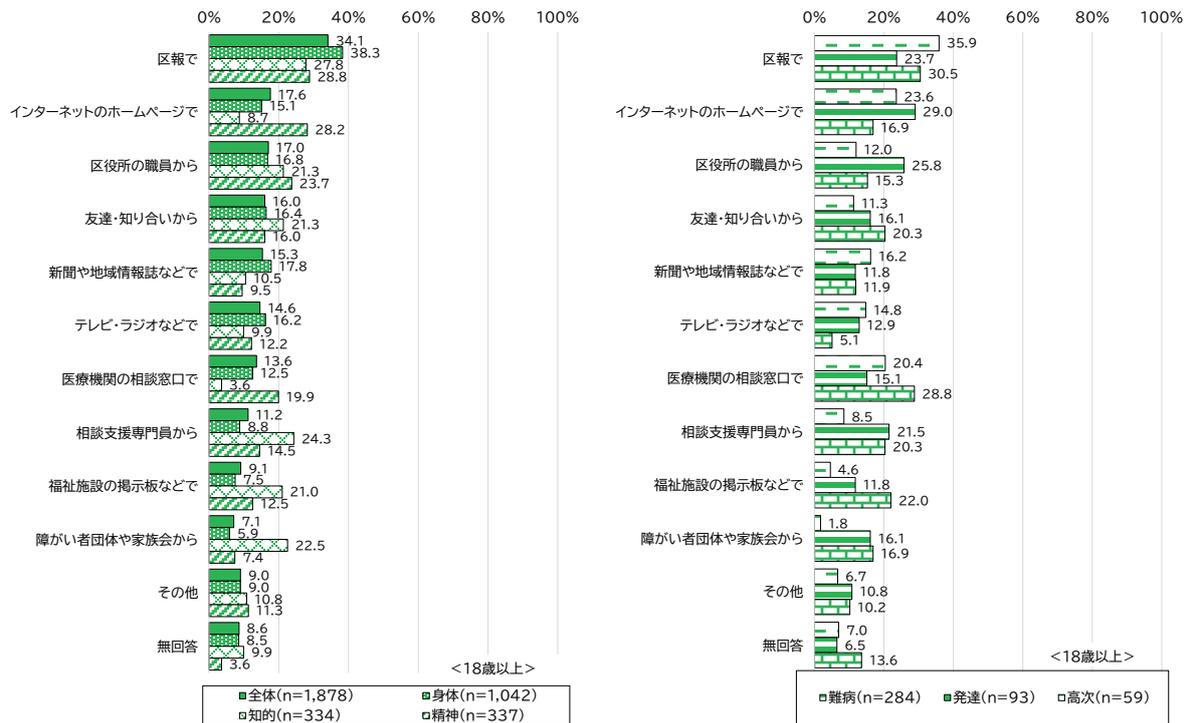
障がい種別に見ると、[難病]、[高次]において「区役所の職員から」の回答が、[難病]において「医療機関の相談窓口で」の回答が、[高次]において「新聞や地域情報紙などで」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問 35\_2】 問 35-1でご回答した方は、福祉についての情報などを、どのような方法で手に入れていますか。(複数回答)

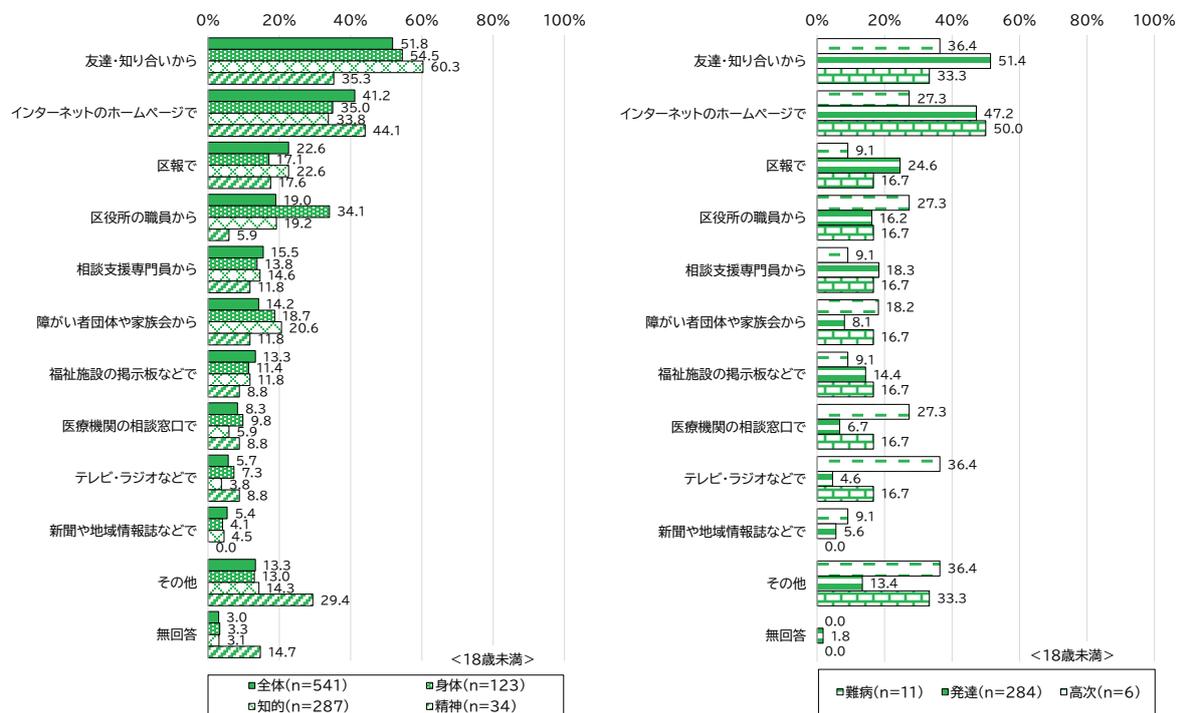
図表 3-149 福祉情報の入手方法(18歳未満)



図表 3-150 参考:前回調査結果 福祉情報の入手方法(18歳以上)<sup>61</sup>

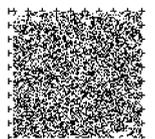


図表 3-151 参考:前回調査結果 福祉情報の入手方法(18歳未満)



<sup>61</sup> 前回調査結果は、居住地及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。

また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)なお、今回調査では福祉情報の主な入手者の情報入手方法を尋ねているのに対し、前回調査では「あなたは、福祉についての情報などを、どのような方法で手に入れていますか。」と尋ねているため、情報の入手者の主体が異なることに留意が必要。



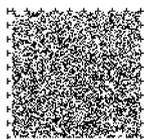
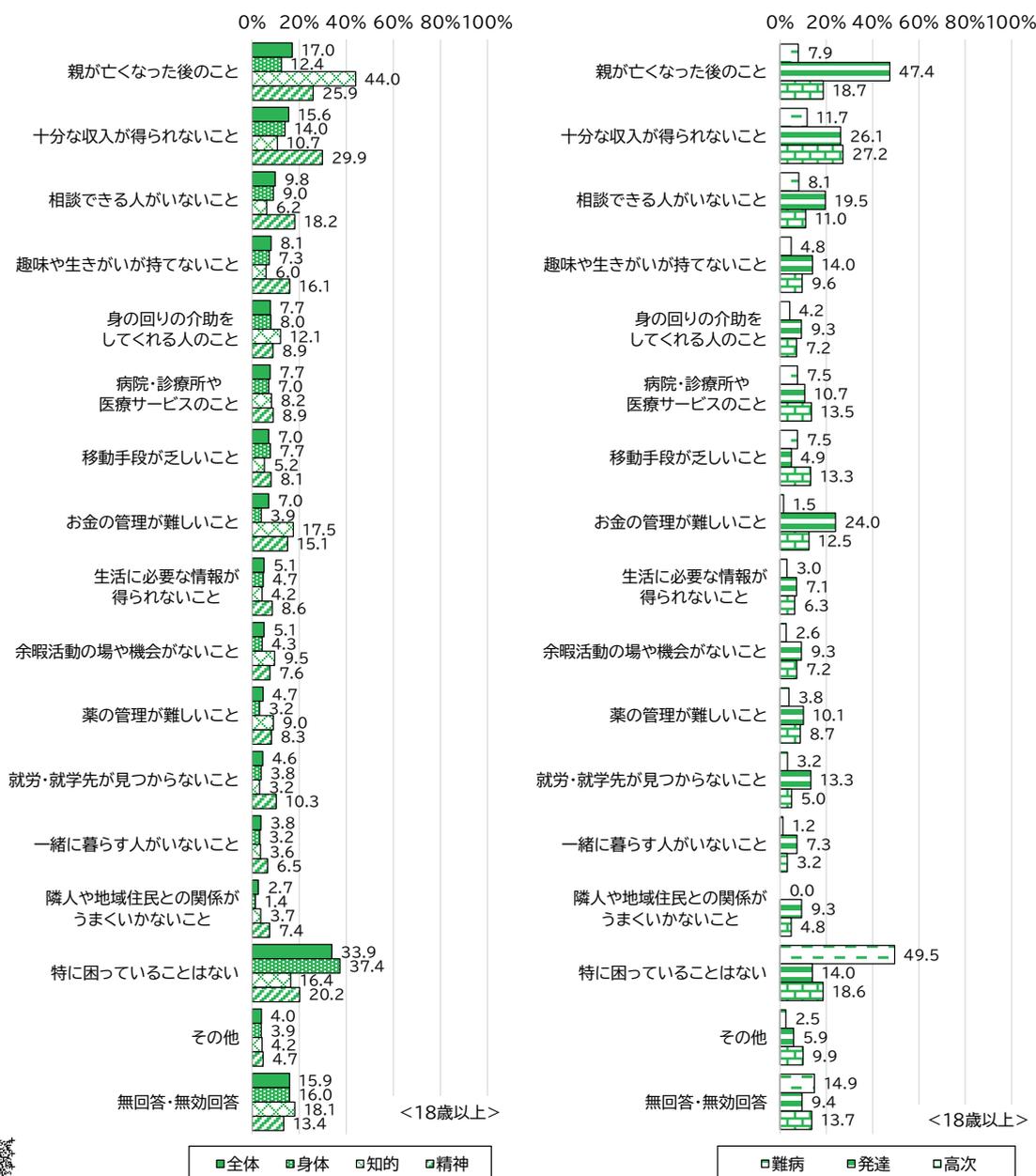
## ウ 日常生活での困りごと・相談したいこと

日常生活での困りごと・相談したいことについて、18歳以上の方全体では、「特に困っていることはない」の回答が33.9%と最も高くなっている。一方で、「親が亡くなった後のこと」の回答が17.0%、「十分な収入が得られないこと」の回答が15.6%、「相談できる人がいないこと」の回答が9.8%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]、[発達]において「親が亡くなった後のこと」、「お金の管理が難しいこと」の回答が、[精神]、[発達]、[高次]において「十分な収入が得られないこと」の回答が全体と比較して高くなっている。また、「特に困っていることはない」の回答は、全体と比較して[難病]において高くなっており、[知的]、[精神]、[発達]、[高次]において低くなっている。

【18歳以上 問35】あなたが日常の生活で困っていたり、相談したいと思っていることはどのようなことですか。(複数回答)

図表 3-152 日常生活での困りごと・相談したいこと(18歳以上)

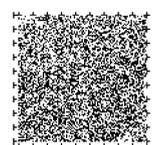
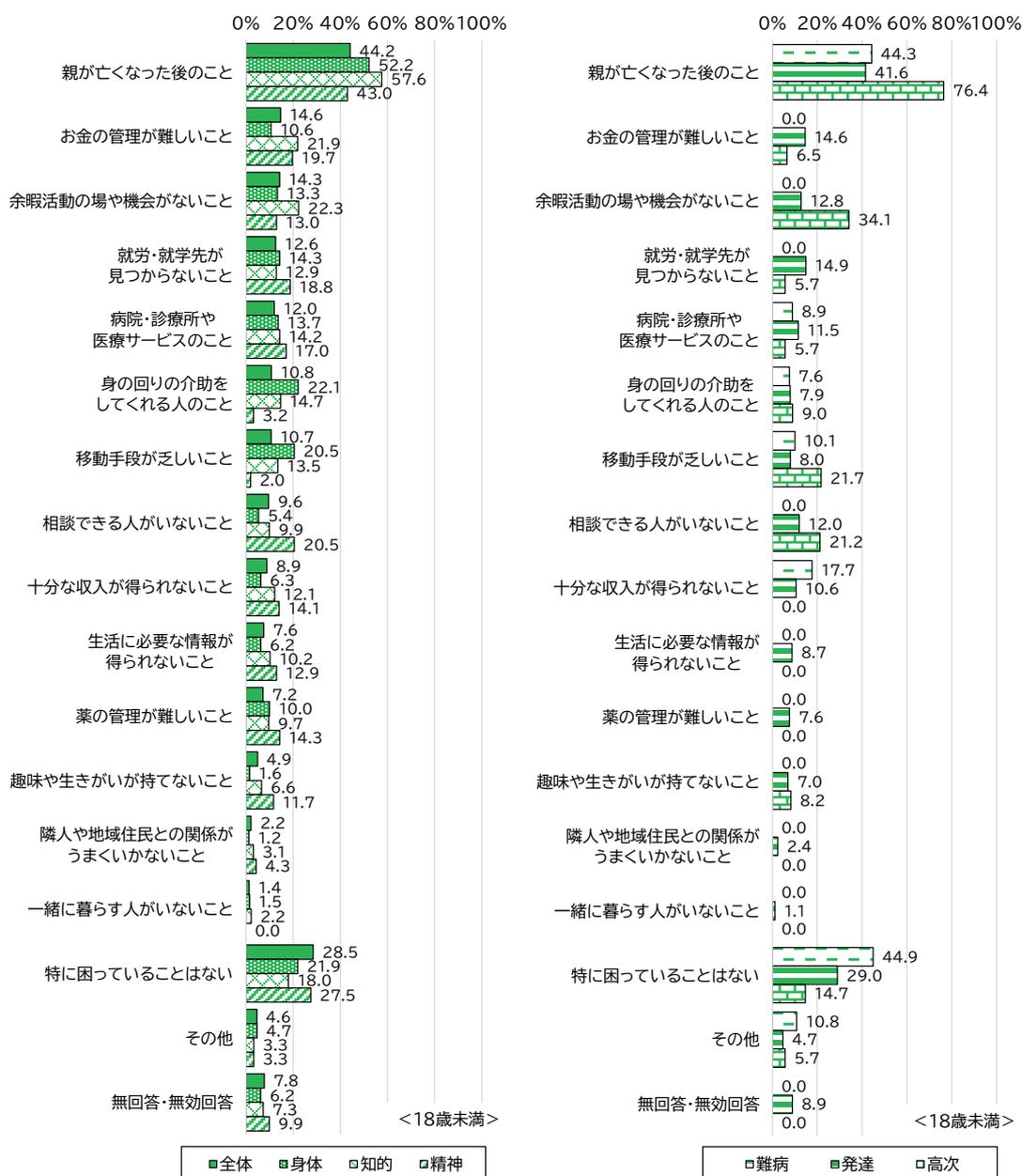


18歳未満の方全体では、「親が亡くなった後のこと」の回答が44.2%と最も高く、「お金の管理が難しいこと」の回答が14.6%、「余暇活動の場や機会がないこと」の回答が14.3%となっている。また、「特に困っていることはない」の回答は28.5%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]、[高次]において「親が亡くなった後のこと」の回答が、[高次]において「余暇活動の場や機会がないこと」、「移動手段が乏しいこと」の回答が、[身体]において「身の回りの介助をしてくれる人のこと」の回答が、[精神]、[高次]において「相談できる人がいないこと」の回答が全体と比較して高くなっている。また、「特に困っていることはない」の回答は、全体と比較して[難病]において高くなっており、[知的]、[高次]において低くなっている。

【18歳未満 問36】あなたが日常の生活で困っていたり、相談したいと思っていることはどのようなことですか。(複数回答)

図表 3-153 日常生活での困りごと・相談したいこと(18歳未満)



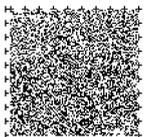
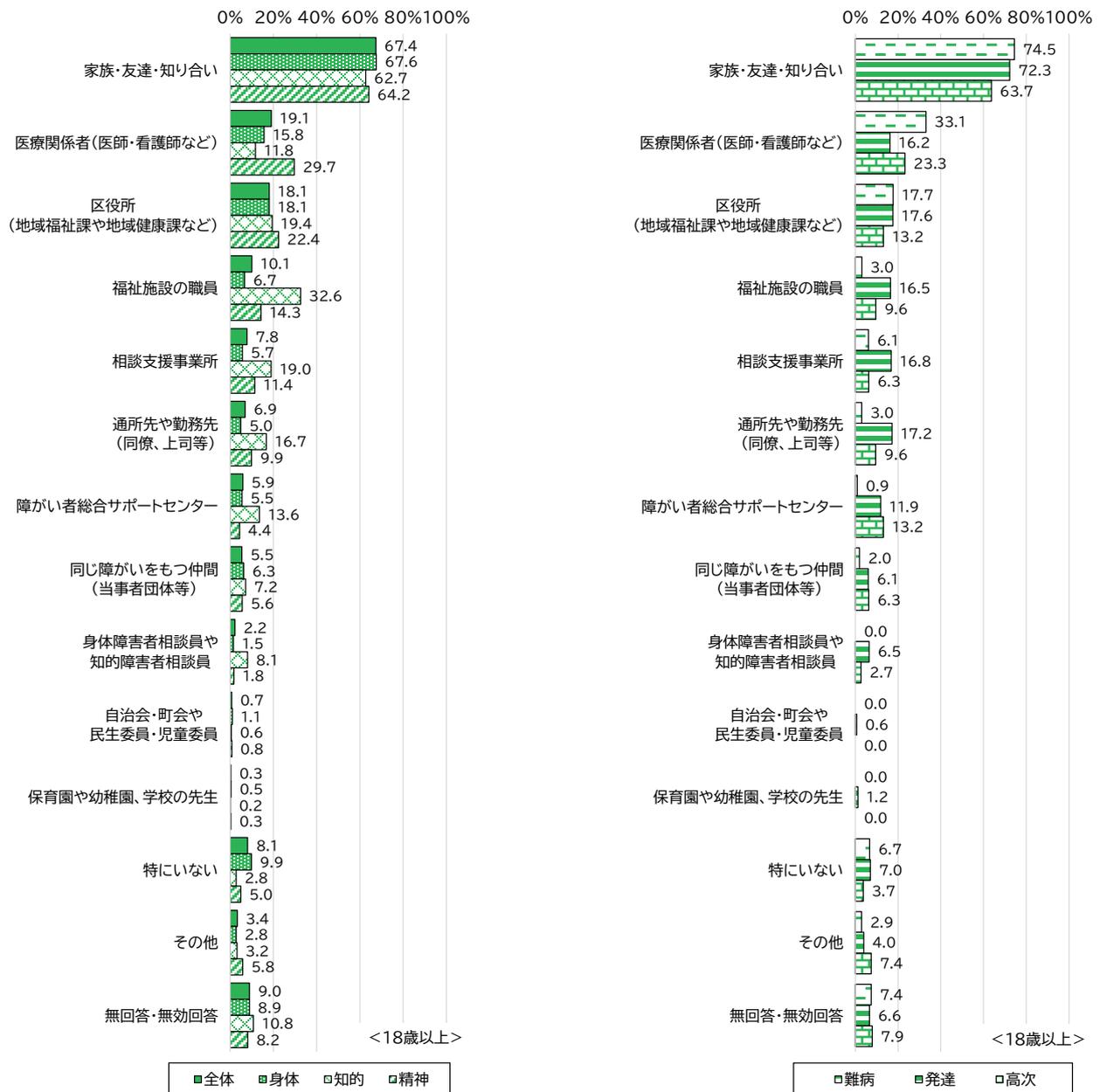
## 工 相談相手・相談先

相談相手・相談先について、18歳以上の方全体では、「家族・友達・知り合い」の回答が67.4%と最も高く、次いで「医療関係者(医師・看護師など)」の回答が19.1%、「区役所(地域福祉課や地域健康課など)」の回答が18.1%となっている。また、「特にない」の回答は8.1%となっている。

障がい種別に見ると、[精神]、[難病]において「医療関係者(医師・看護師など)」の回答が、[知的]において「福祉施設の職員」、「相談支援事業所」の回答が、[発達]において「通所先や勤務先(同僚、上司等)」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問36】 いま、あなたが相談できるのは、どのようなところ(人)ですか。(複数回答)

図表 3-154 相談相手・相談先(18歳以上)

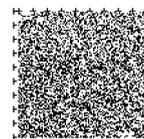
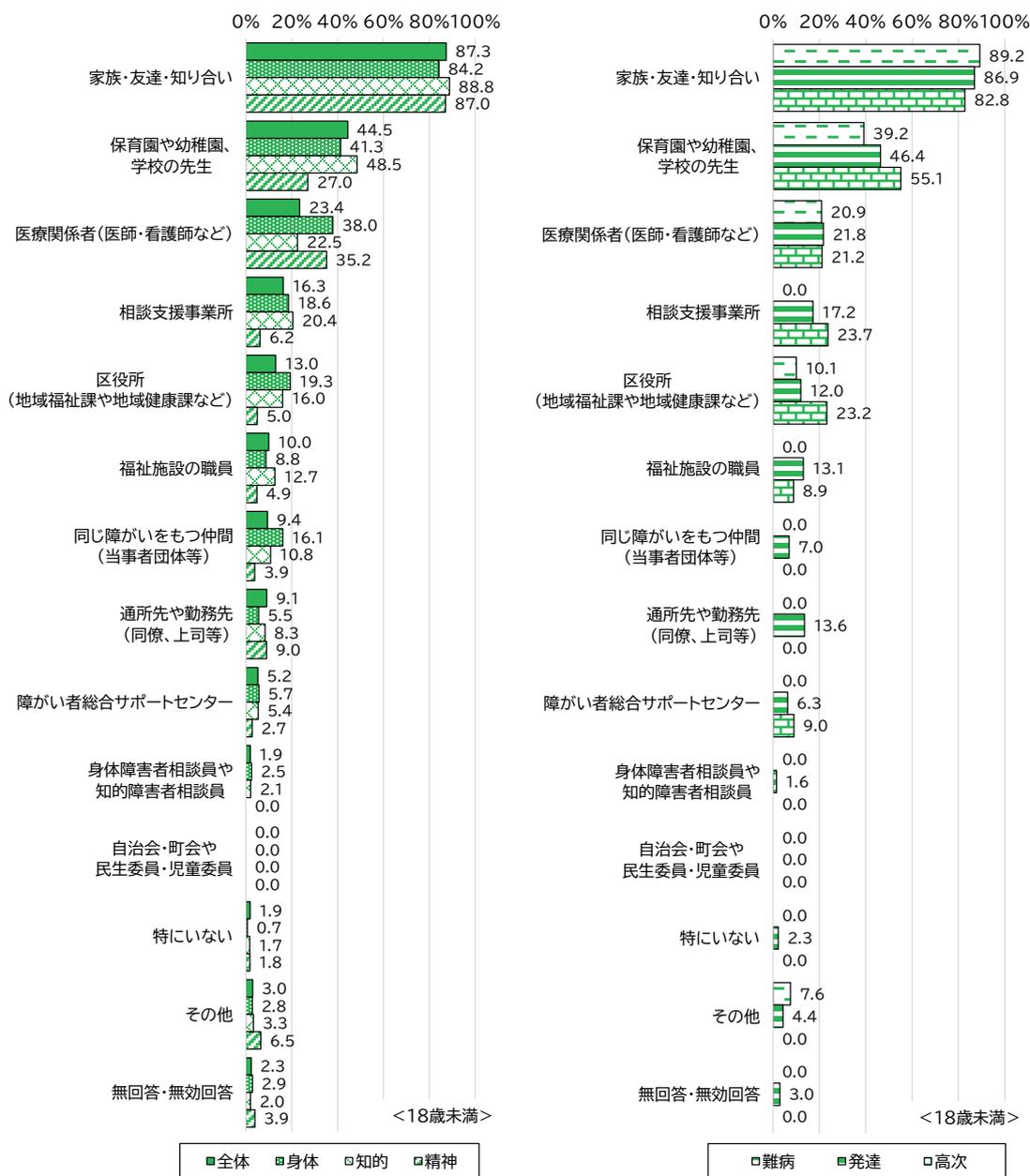


18歳未満の方全体では、「家族・友達・知り合い」の回答が87.3%と最も高く、次いで「保育園や幼稚園、学校の先生」の回答が44.5%、「医療関係者(医師・看護師など)」の回答が23.4%となっている。また、「特にない」の回答は1.9%となっている。

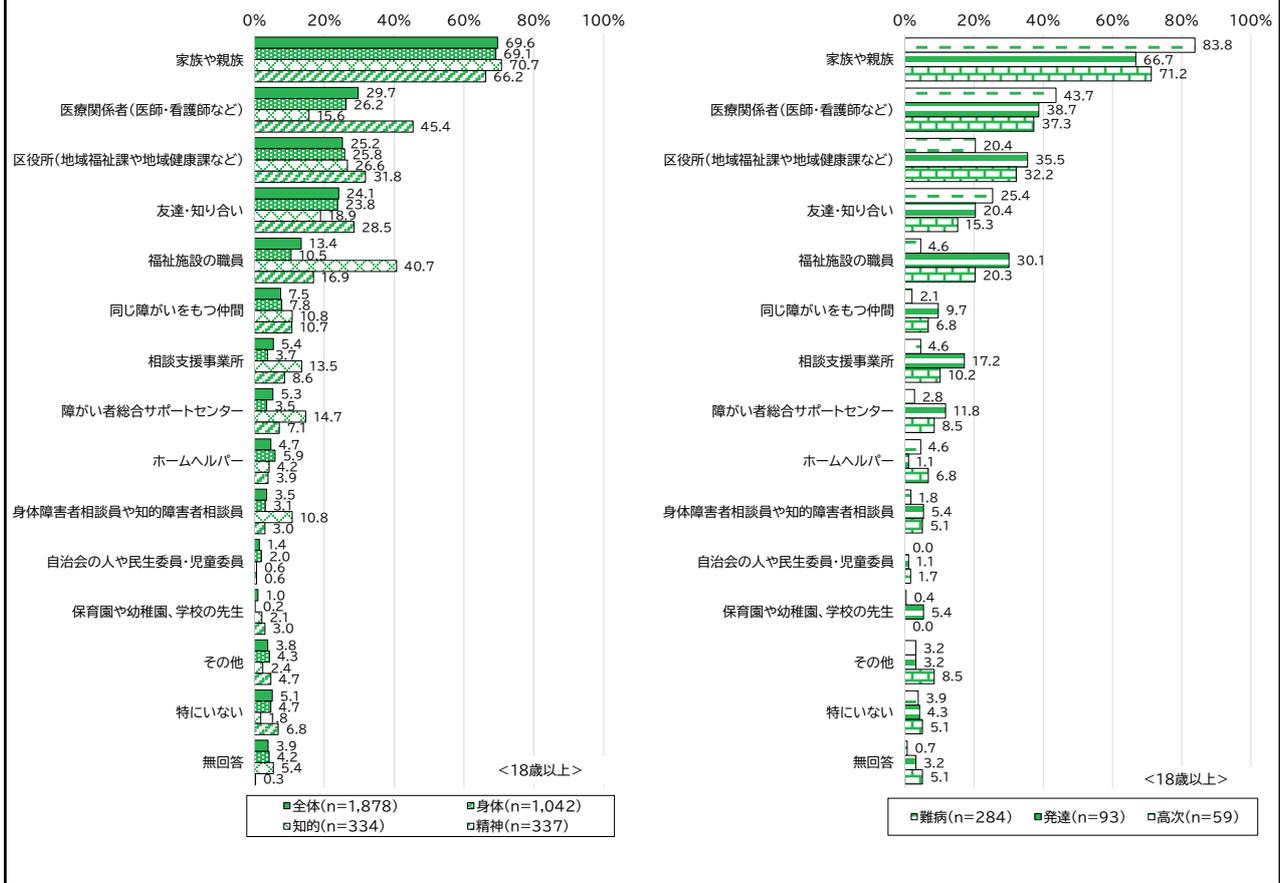
障がい種別に見ると、[高次]において「保育園や幼稚園、学校の先生」、「区役所(地域福祉課や地域健康課など)」の回答が、[身体]、[精神]において「医療関係者(医師・看護師など)」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問37】 いま、あなたが相談できるのは、どのようなところ(人)ですか。(複数回答)

図表 3-155 相談相手・相談先(18歳未満)

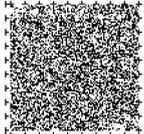
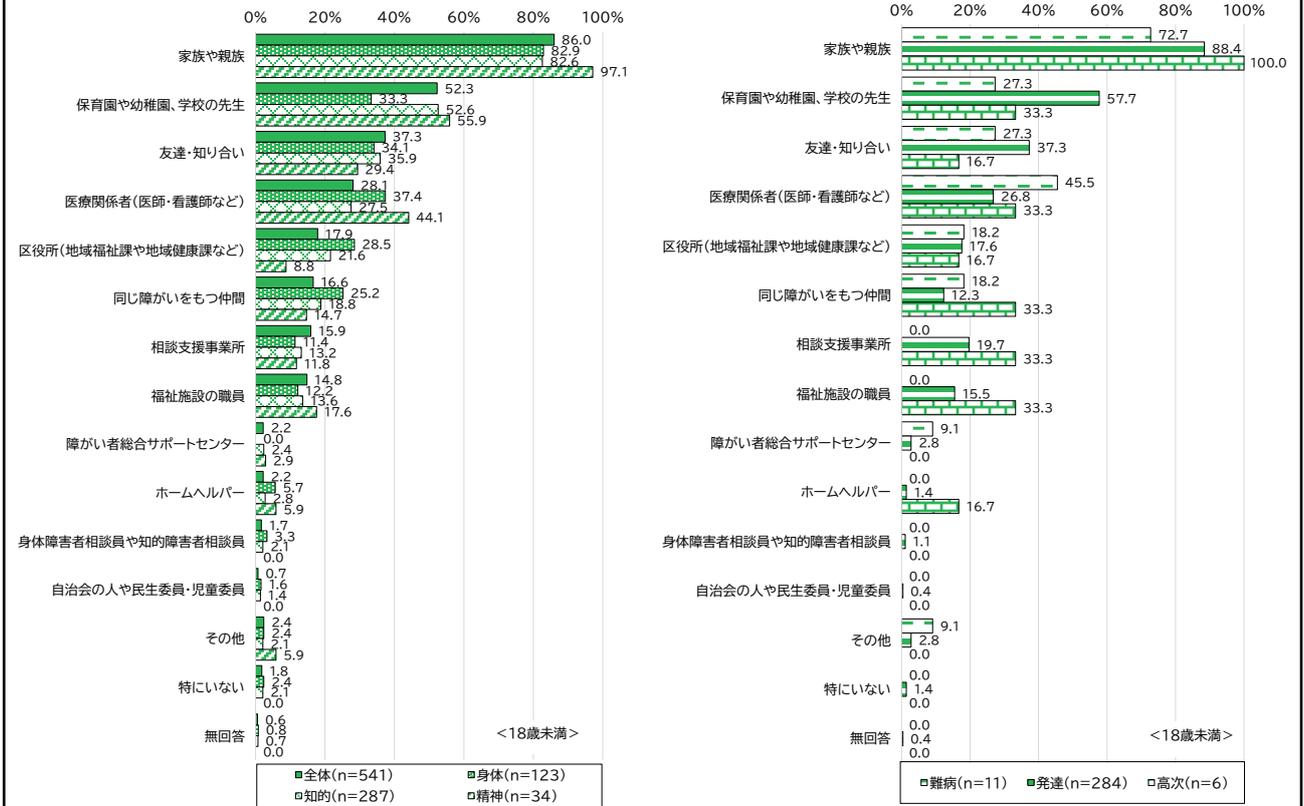


図表 3-156 参考:前回調査結果 相談相手・相談先(18歳以上)<sup>62</sup>



<sup>62</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)

図表 3-157 参考:前回調査結果 相談相手・相談先(18歳未満)



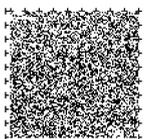
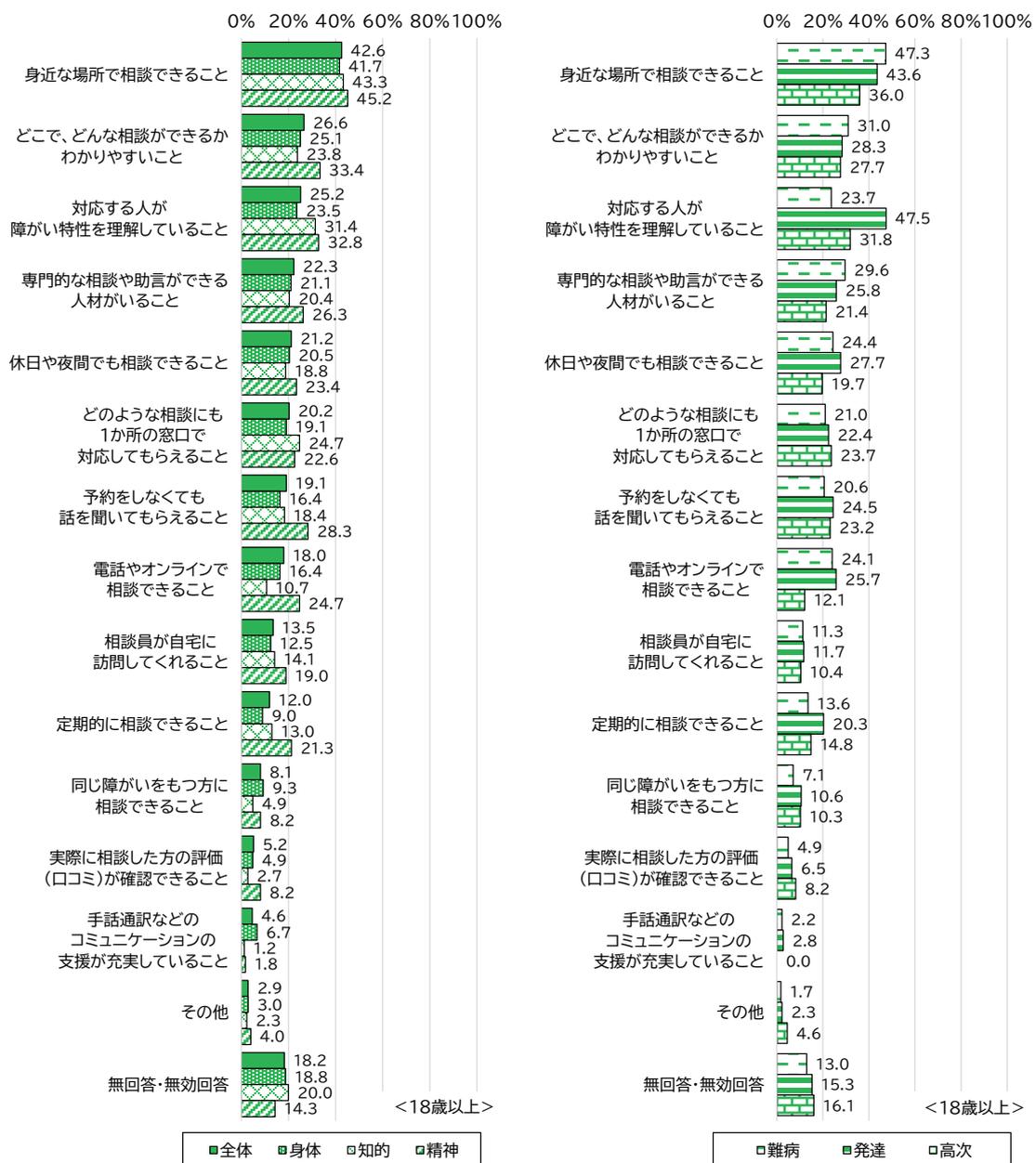
## オ 日常生活での困りごとを相談しやすくするために必要なこと

日常生活での困りごとを相談しやすくするために必要なことについて、18歳以上の方全体では、「身近な場所で相談できること」の回答が42.6%と最も高く、次いで「どこで、どんな相談ができるかわかりやすいこと」の回答が26.6%、「対応する人が障がい特性を理解していること」の回答が25.2%となっている。

障がい種別に見ると、[発達]において「対応する人が障がい特性を理解していること」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問37】日常生活での困りごとなどを相談しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

図表 3-158 日常生活での困りごとを相談しやすくするために必要なこと(18歳以上)

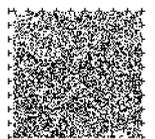
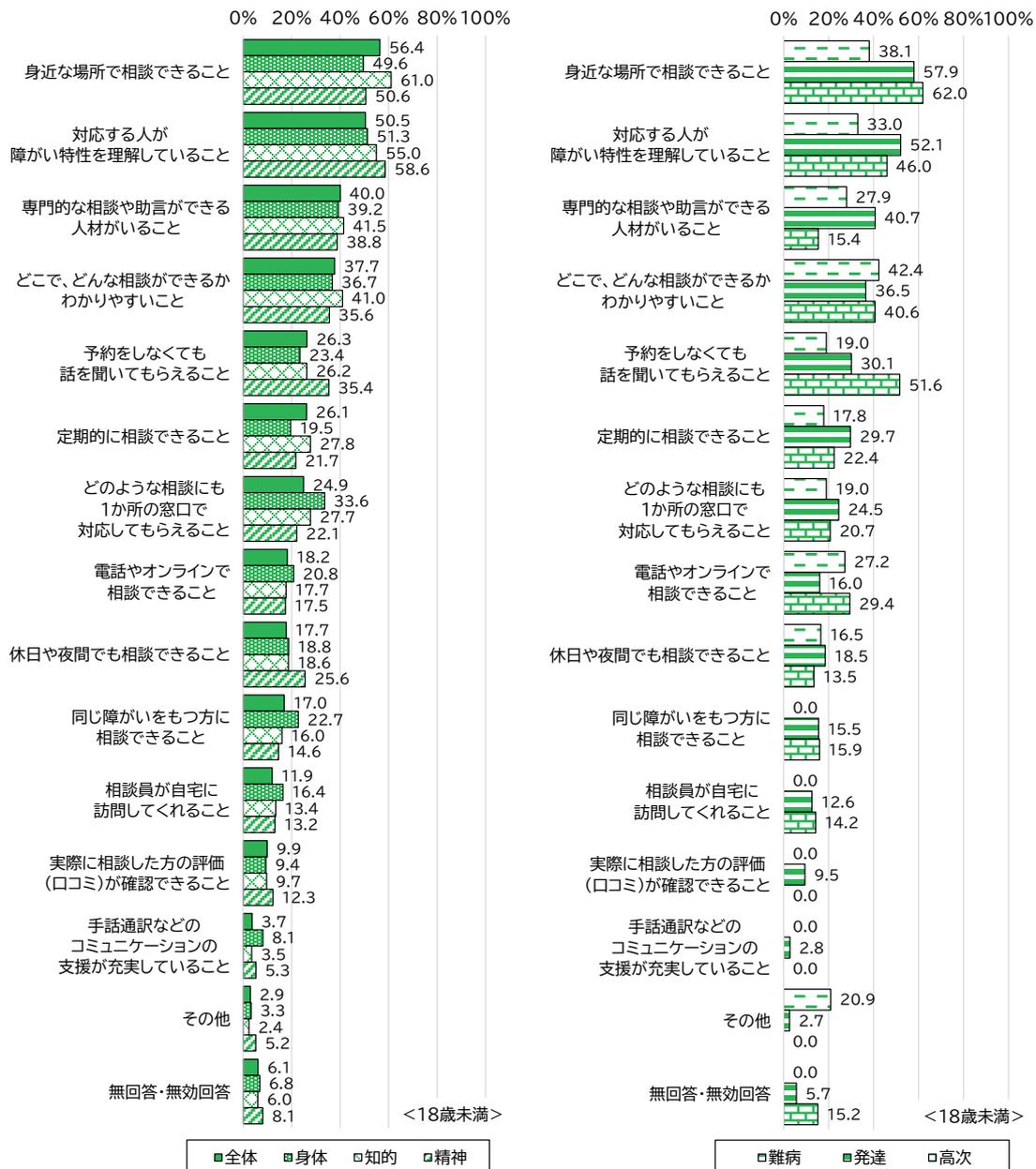


18歳未満の方全体では、「身近な場所で相談できること」の回答が56.4%と最も高く、次いで「対応する人が障がい特性を理解していること」の回答が50.5%、「専門的な相談や助言ができる人材がいること」の回答が40.0%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「予約をしなくても話を聞いてもらえること」、「電話やオンラインで相談できること」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問38】日常生活での困りごとなどを相談しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

図表 3-159 日常生活での困りごとを相談しやすくするために必要なこと(18歳未満)



## (11) 将来の暮らし方について

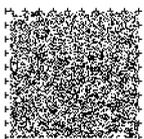
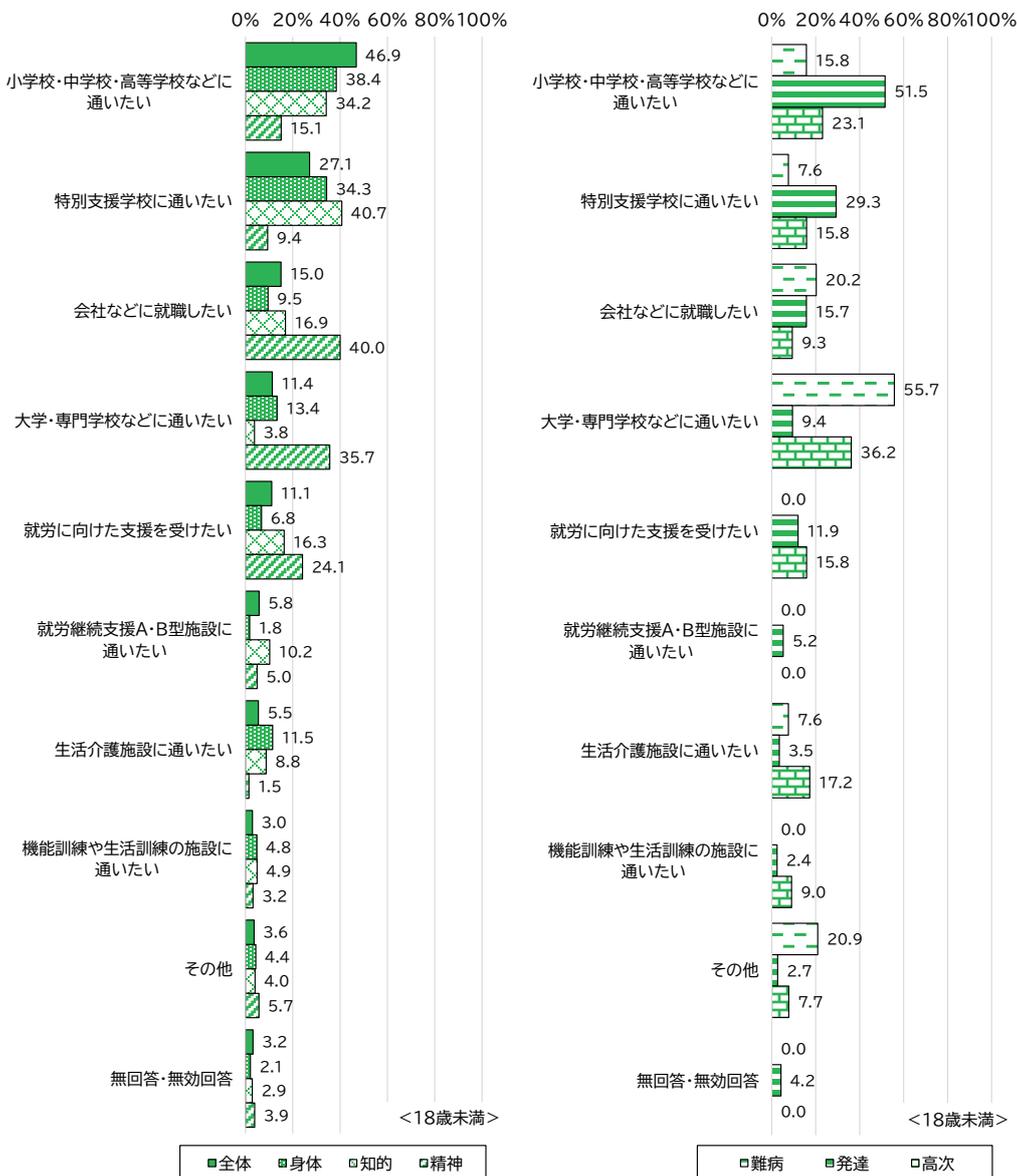
### ア 今後の進路や生活設計

今後の進路や生活設計について、18歳未満の方全体では、「小学校・中学校・高等学校などに通いたい」の回答が46.9%と最も高く、次いで「特別支援学校に通いたい」の回答が27.1%、「会社などに就職したい」の回答が15.0%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]において「特別支援学校に通いたい」の回答が、[精神]において「会社などに就職したい」、「就労に向けた支援を受けたい」の回答が、[精神]、[難病]、[高次]において「大学・専門学校などに通いたい」の回答が、[高次]において「生活介護施設に通いたい」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問39】あなたは、今後(5年後)の進路をどのようにしたいと思っていますか。  
(3つまで回答)

図表 3-160 今後の進路や生活設計(18歳未満)



## イ 将来の暮らし方

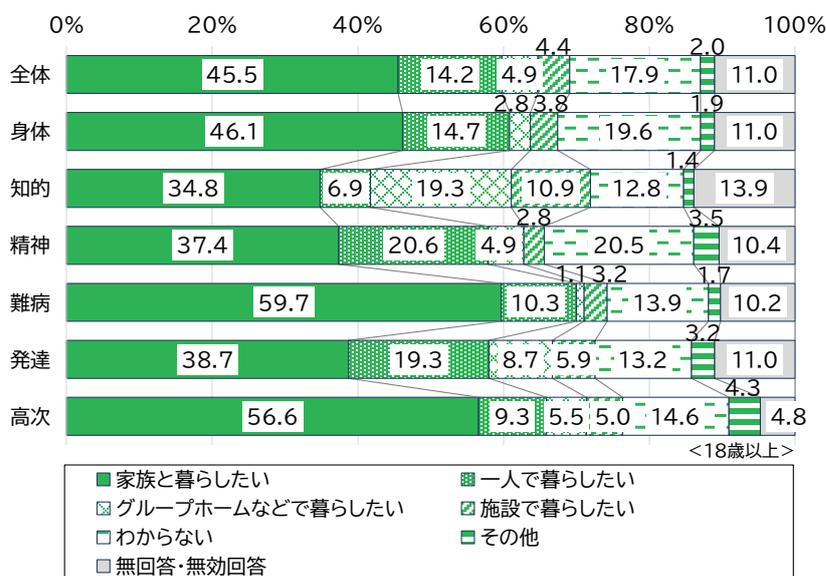
将来の暮らし方について、18歳以上の方全体では、「家族と暮らしたい」の回答が45.5%と最も高く、次いで「わからない」の回答が17.9%、「一人で暮らしたい」の回答が14.2%となっている。

障がい種別に見ると、[難病]、[高次]において「家族と暮らしたい」の回答が、[知的]において「グループホームなどで暮らしたい」の回答が全体と比較して高くなっている。

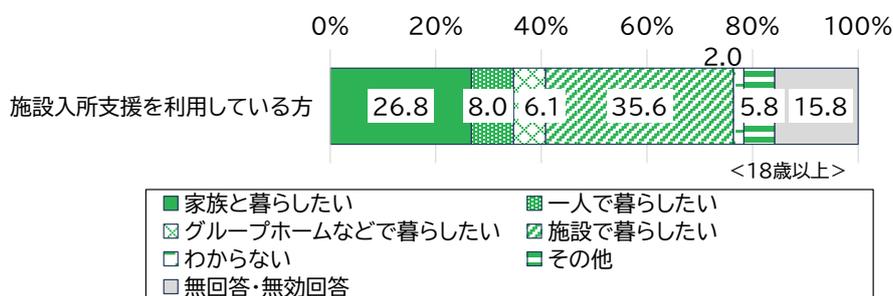
また、施設入所支援を利用している方に限って集計を行うと、「施設で暮らしたい」の回答が35.6%と最も高く、次いで「家族と暮らしたい」の回答が26.8%となっている。

【18歳以上 問38】 将来(5~10年後)、あなたはどのように暮らしたいと思っていますか。(単一回答)

図表 3-161 将来の暮らし方(18歳以上)



図表 3-162 将来の暮らし方(18歳以上 施設入所支援利用者)<sup>63</sup>



<sup>63</sup> 現在利用しているサービスの満足度を尋ねる設問において、施設入所支援についての回答があった方のみ集計対象。なお、18歳未満では該当する方が10件未満であったことから、集計の精度を保てないため掲載を省略している。

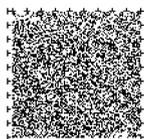
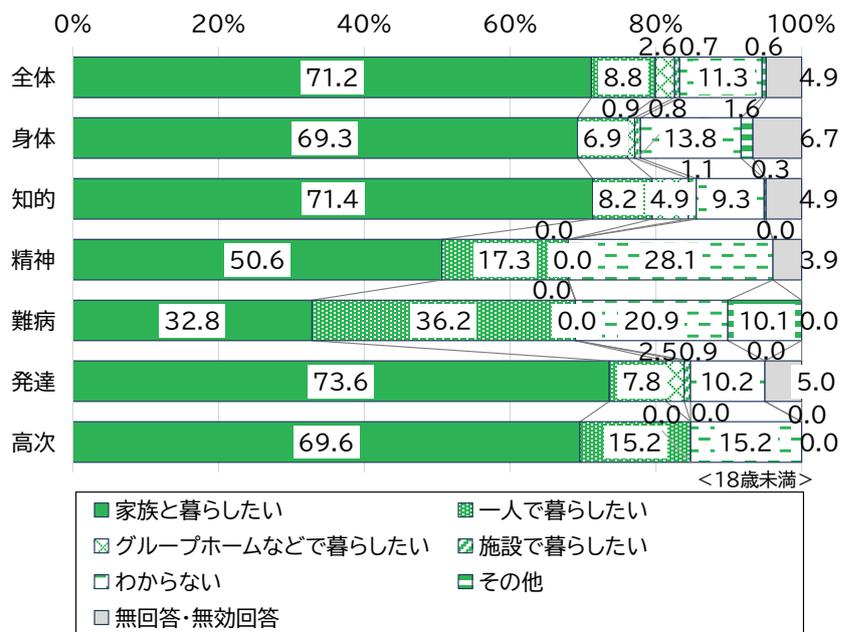


18歳未満の方全体では、「家族と暮らしたい」の回答が71.2%と最も高く、次いで「わからない」の回答が11.3%、「一人で暮らしたい」の回答が8.8%となっている。

障がい種別に見ると、[難病]において、「一人で暮らしたい」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問40】 将来(5~10年後)、あなたはどのように暮らしたいと思っていますか。(単一回答)

図表 3-163 将来の暮らし方(18歳未満)



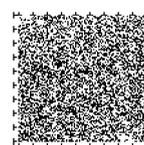
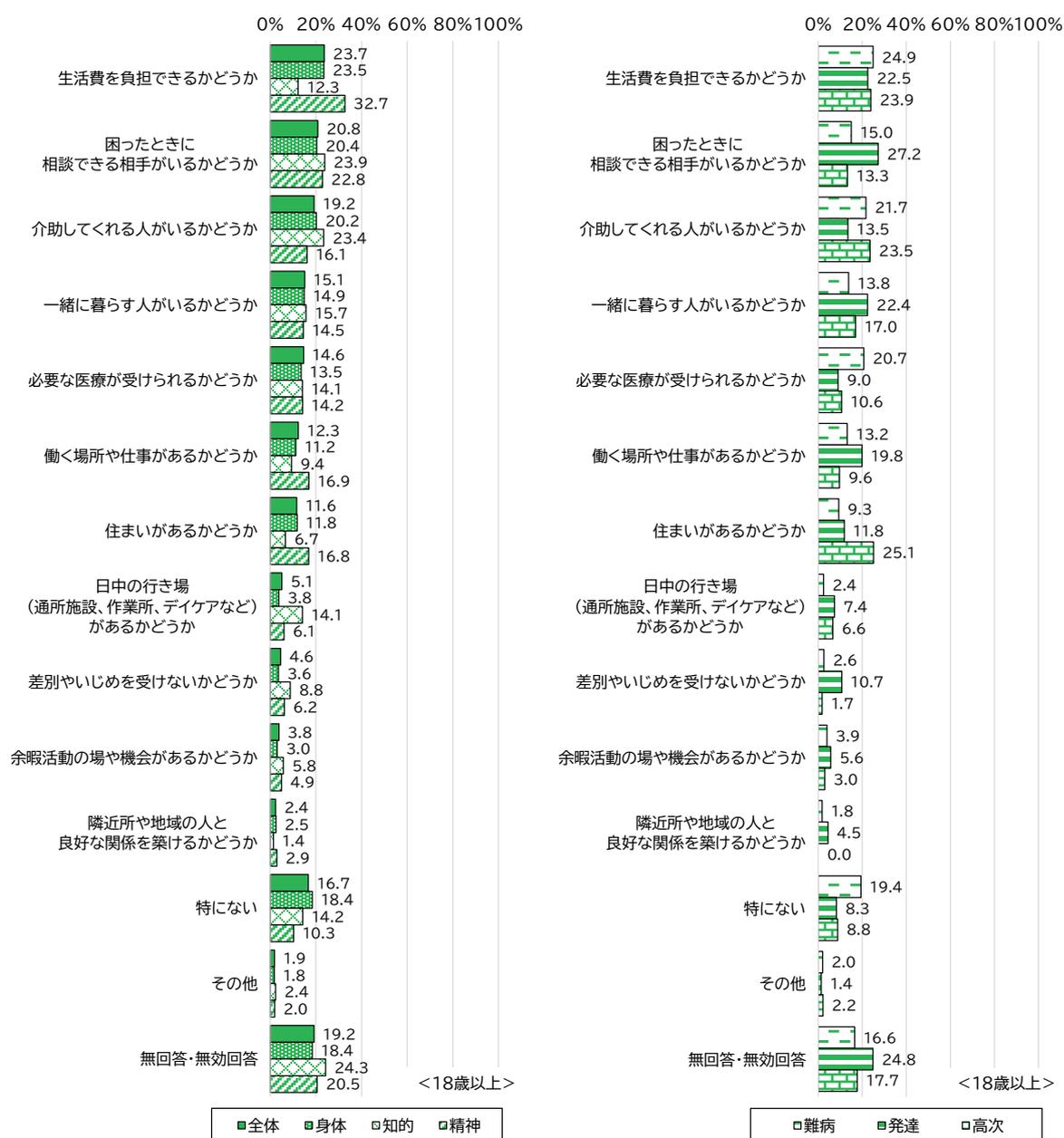
## ウ 希望する暮らし方や進路・生活設計を実現する上での不安

希望する暮らし方や進路・生活設計を実現する上での不安について、18歳以上の方全体では、「生活費を負担できるかどうか」の回答が23.7%と最も高く、次いで「困ったときに相談できる相手がいるかどうか」の回答が20.8%、「介助してくれる人があるかどうか」の回答が19.2%となっている。なお、「特にない」の回答は16.7%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「住まいがあるかどうか」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問39】希望する暮らし方や進路・生活設計を実現する上で、どのようなことに不安を感じますか。(3つまで回答)

図表 3-164 希望する暮らし方や進路・生活設計を実現する上での不安(18歳以上)

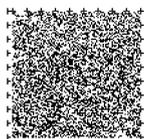
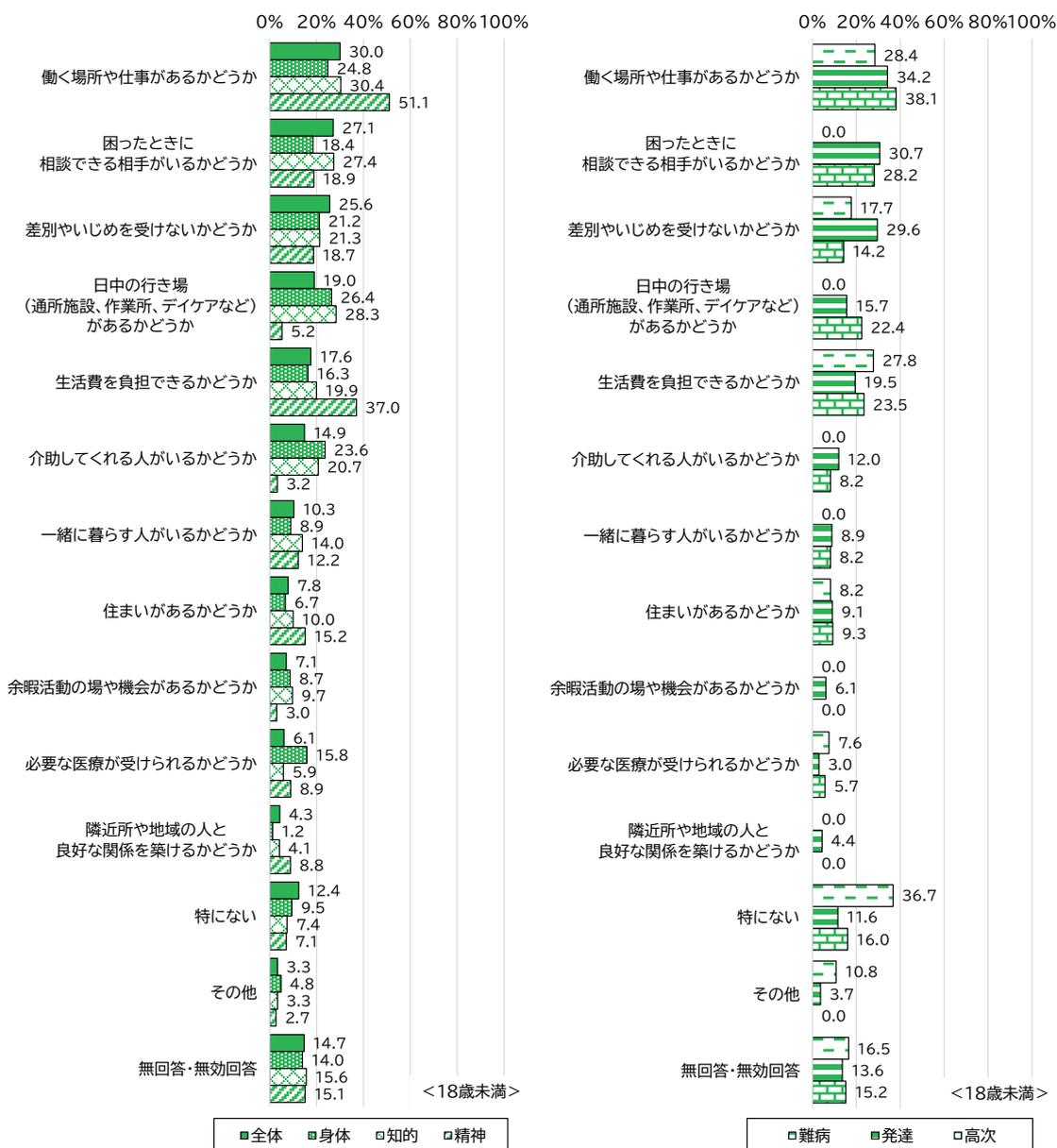


18歳未満の方全体では、「働く場所や仕事があるかどうか」の回答が30.0%と最も高く、次いで「困ったときに相談できる相手がいるかどうか」の回答が27.1%、「差別やいじめを受けないかどうか」の回答が25.6%となっている。また、「特にない」の回答は12.4%となっている。

障がい種別に見ると、[精神]において「働く場所や仕事があるかどうか」の回答が、[精神]、[難病]において「生活費を負担できるかどうか」の回答が全体と比較して高くなっている。なお、「特にない」の回答は、全体と比較して[難病]において高くなっている。

【18歳未満 問41】希望する暮らし方や進路・生活設計を実現する上で、どのようなことに不安を感じますか。(3つまで回答)

図表 3-165 希望する暮らし方や進路・生活設計を実現する上での不安(18歳未満)



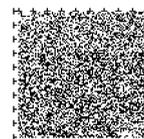
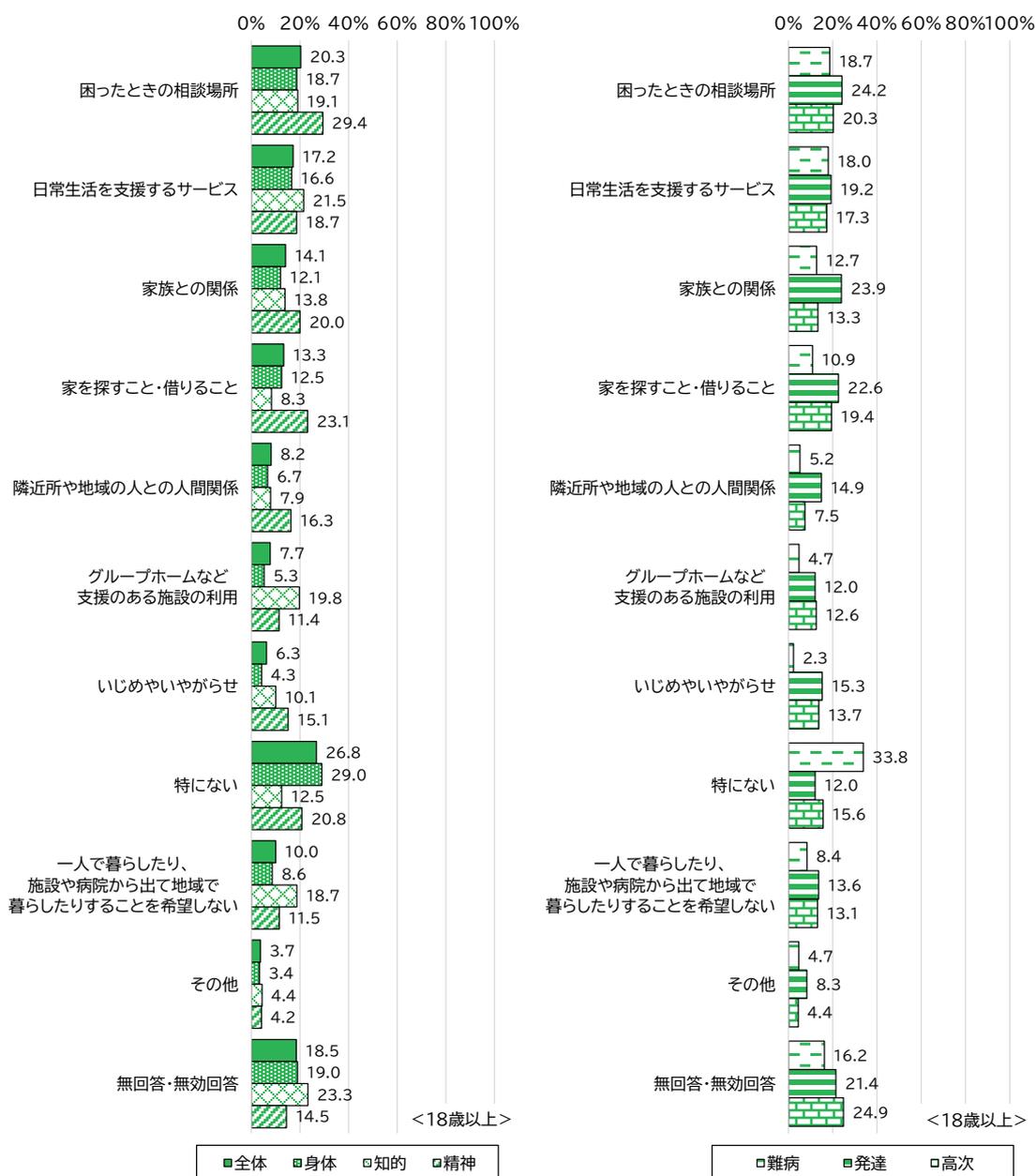
## 工 地域生活に対する不安

地域生活に対する不安について、18歳以上の方全体では、「特にない」の回答が最も高く26.8%となっている。一方で、「困ったときの相談場所」の回答が20.3%、「日常生活を支援するサービス」の回答が17.2%、「家族との関係」の回答が14.1%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]において「グループホームなど支援のある施設の利用」の回答が全体と比較して高くなっている。なお、「特にない」の回答は全体と比較して[知的]、[発達]、[高次]において低くなっている。

【18歳以上 問40】あなたが、一人で暮らす場合や、施設や病院から出るときに不安に思う(思った)ことは何ですか。(複数回答)

図表 3-166 地域生活に対する不安(18歳以上)

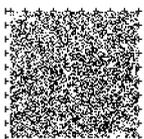
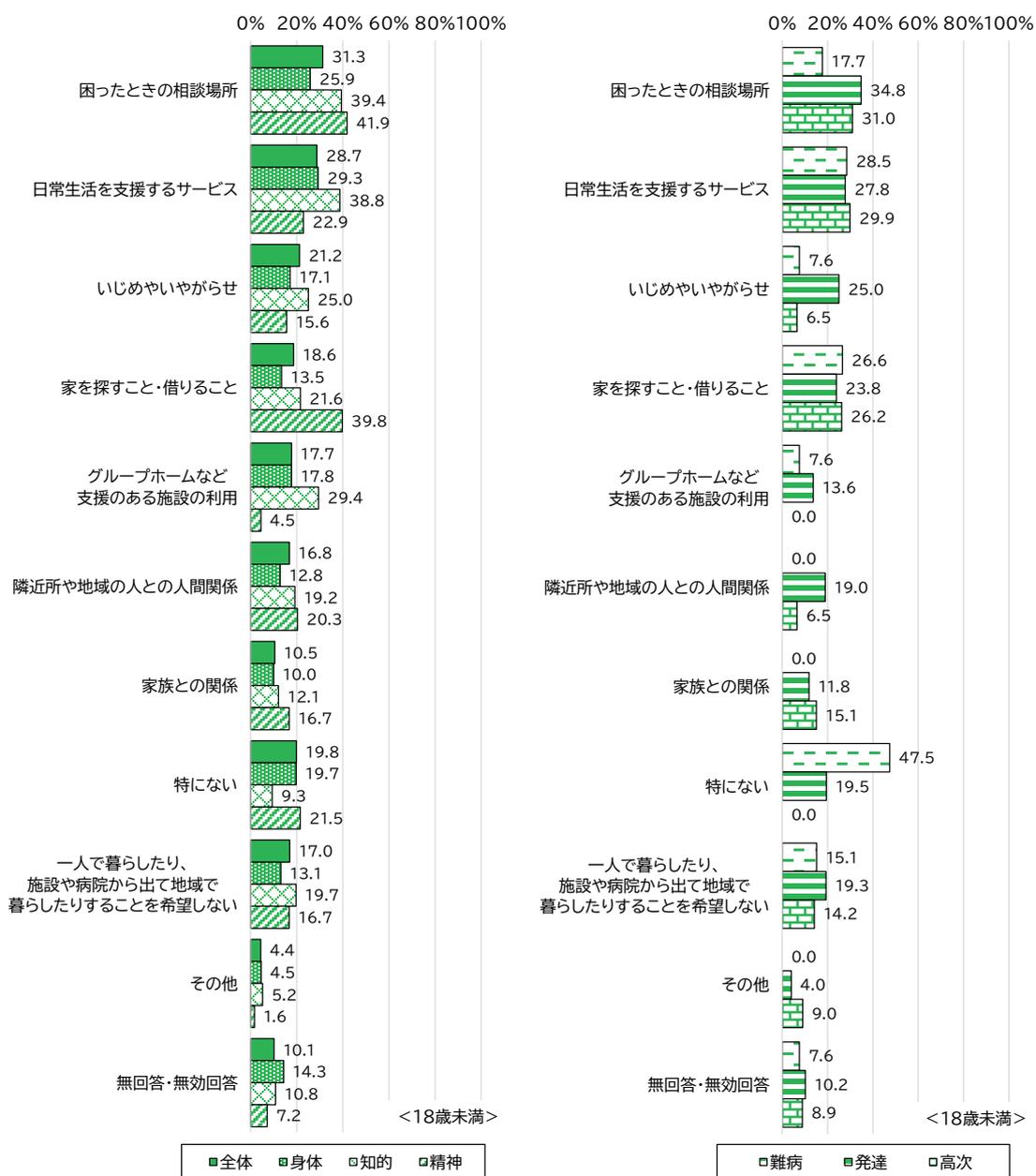


18歳未満の方全体では、「困ったときの相談場所」の回答が31.3%と最も高く、次いで「日常生活を支援するサービス」の回答が28.7%、「いじめやいやがらせ」の回答が21.2%となっている。また、「特にない」の回答は19.8%となっている。

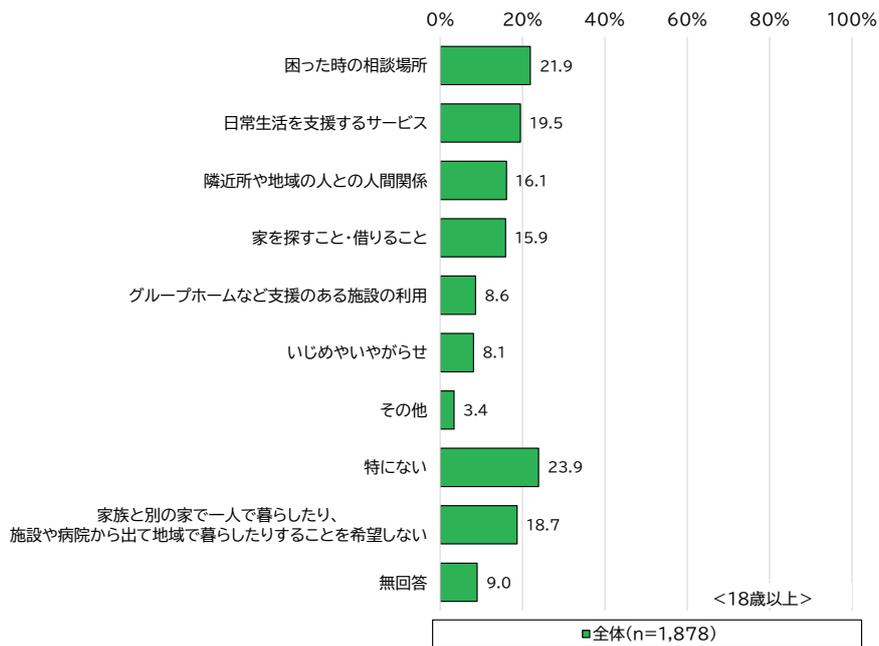
障がい種別に見ると、[精神]において「困ったときの相談場所」、「家を探すこと・借りること」の回答が、[知的]において「日常生活を支援するサービス」、「グループホームなど支援のある施設の利用」の回答が全体と比較して高くなっている。なお、「特にない」の回答は、全体と比較して[難病]において高くなっており、[知的]、[高次]において低くなっている。

【18歳未満 問42】あなたが、一人で暮らす場合や、施設や病院から出るときに不安に思う(思った)ことは何ですか。(複数回答)

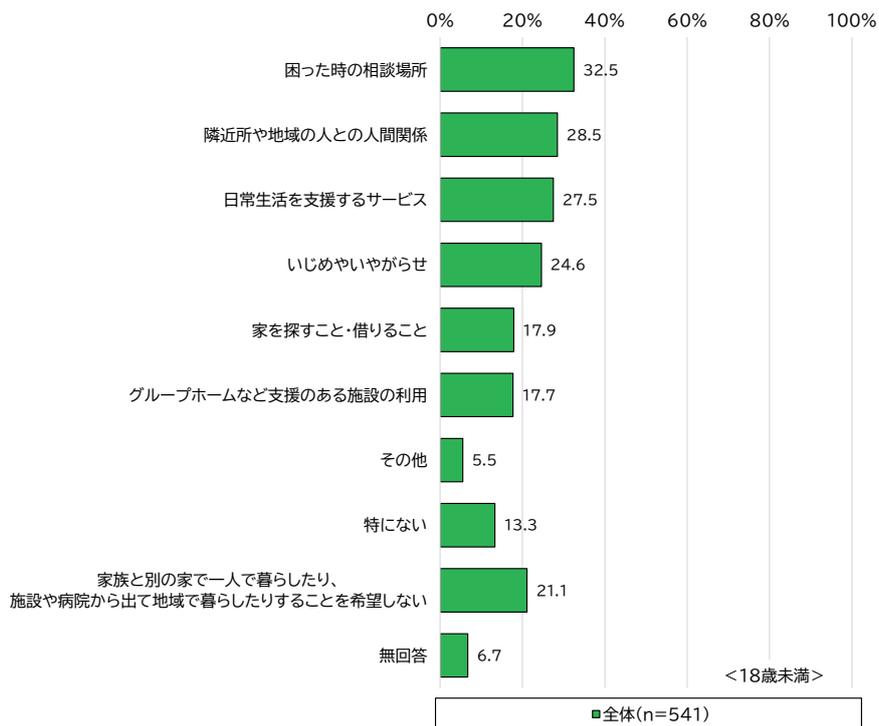
図表 3-167 地域生活に対する不安(18歳未満)



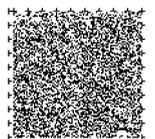
図表 3-168 参考:前回調査結果 地域生活に対する不安(18歳以上)<sup>64</sup>



図表 3-169 参考:前回調査結果 地域生活に対する不安(18歳未満)



<sup>64</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)



## (12) 区の施策について

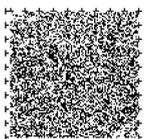
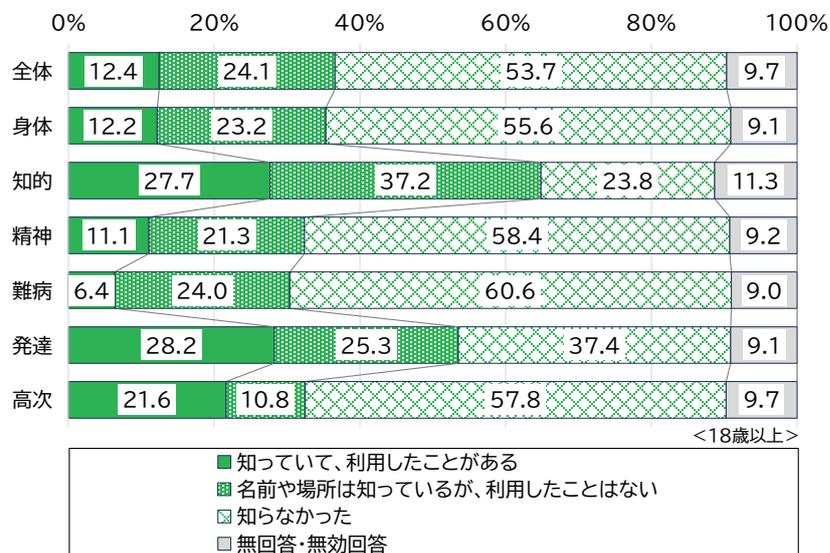
### ア 「さぼーとぴあ」の認知度

「さぼーとぴあ」の認知度について、18 歳以上の方全体では、「知らなかった」の回答が 53.7%と最も高く、次いで「名前や場所は知っているが、利用したことはない」の回答が 24.1%、「知っていて、利用したことがある」の回答が 12.4%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]、[発達]において「知っていて、利用したことがある」の回答が、[知的]において「名前や場所は知っているが、利用したことはない」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18 歳以上 問 41】 あなたは「大田区立 障がい者総合サポートセンター さぼーとぴあ」を知っていますか。  
(単一回答)

図表 3-170 「さぼーとぴあ」の認知度(18 歳以上)

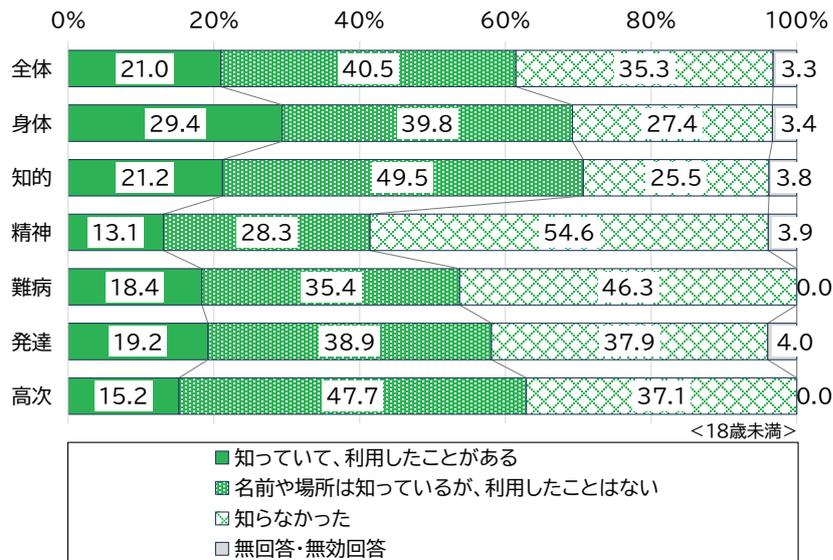


18歳未満の方全体では、「名前や場所は知っているが、利用したことはない」の回答が40.5%と最も高く、次いで「知らなかった」の回答が35.3%、「知っていて、利用したことがある」の回答が21.0%となっている。

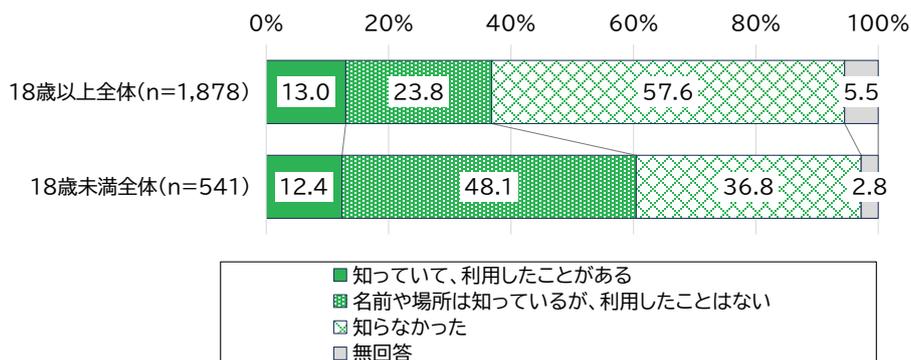
障がい種別に見ると、[精神]、[難病]において「知らなかった」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問43】あなたは「大田区立 障がい者総合サポートセンター さぼーとぴあ」を知っていますか。(単一回答)

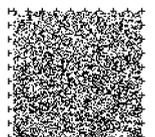
図表 3-171 「さぼーとぴあ」の認知度(18歳未満)



図表 3-172 参考:前回調査結果「さぼーとぴあ」の認知度<sup>65</sup>



<sup>65</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)



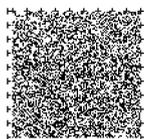
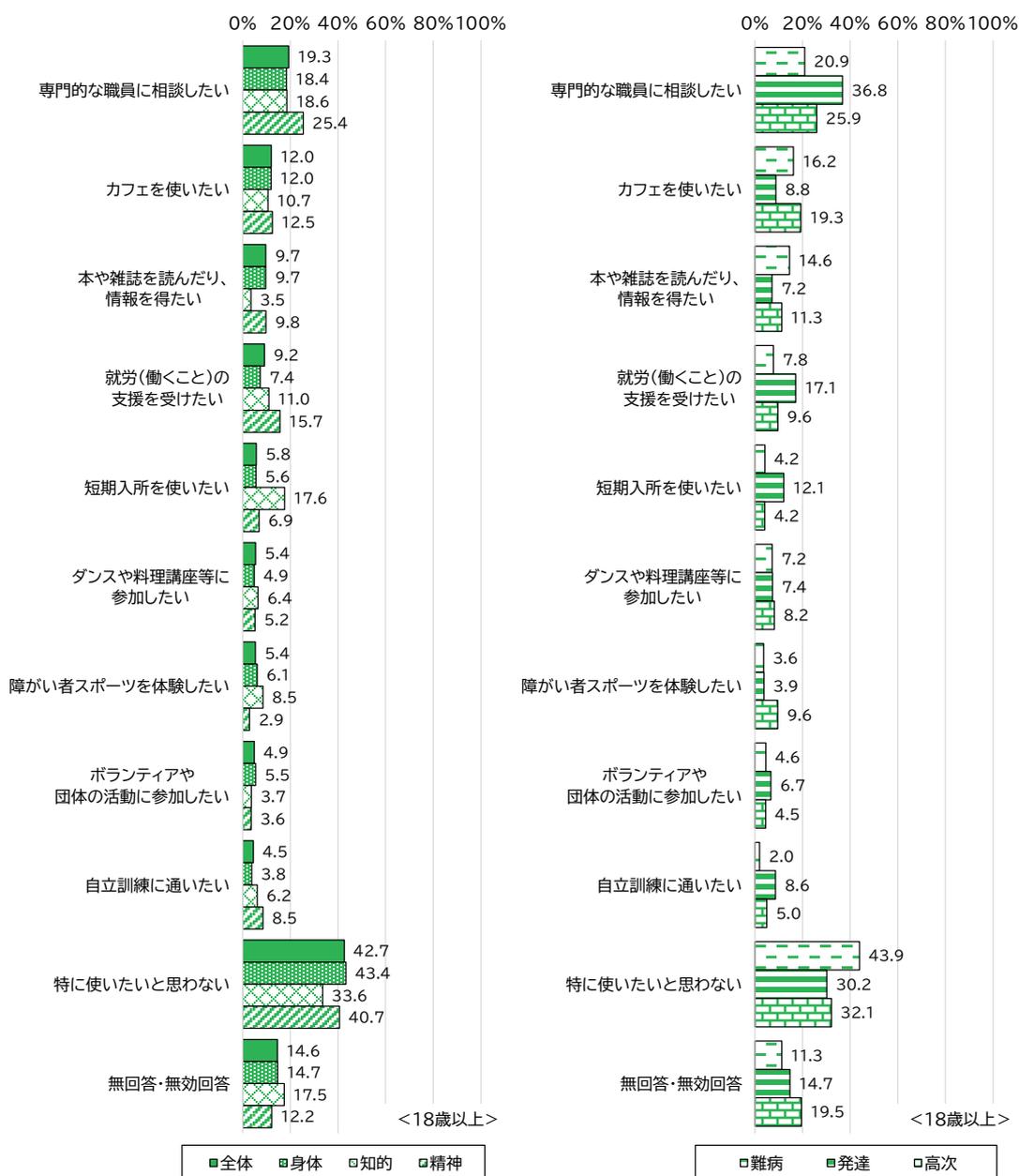
## イ さぼーとぴあの利用意向

さぼーとぴあの利用意向について、18歳以上の方全体では、「特に使いたいと思わない」の回答が42.7%と最も高くなっている。一方で、「専門的な職員に相談したい」の回答が19.3%、「カフェを使いたい」の回答が12.0%、「本や雑誌を読んだり、情報を得たい」の回答が9.7%となっている。

障がい種別に見ると、[発達]において「専門的な職員に相談したい」の回答が、[知的]において「短期入所を使いたい」の回答が全体と比較して高くなっている。なお、「特に使いたいと思わない」の回答は、全体と比較して[発達]、[高次]において低くなっている。

【18歳以上 問42\_1】「さぼーとぴあ」では、下に書かれているようなことができます。あなたは、次のうち、どれを使いたいですか。(複数回答)

図表 3-173 さぼーとぴあの利用意向(18歳以上)

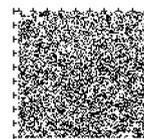
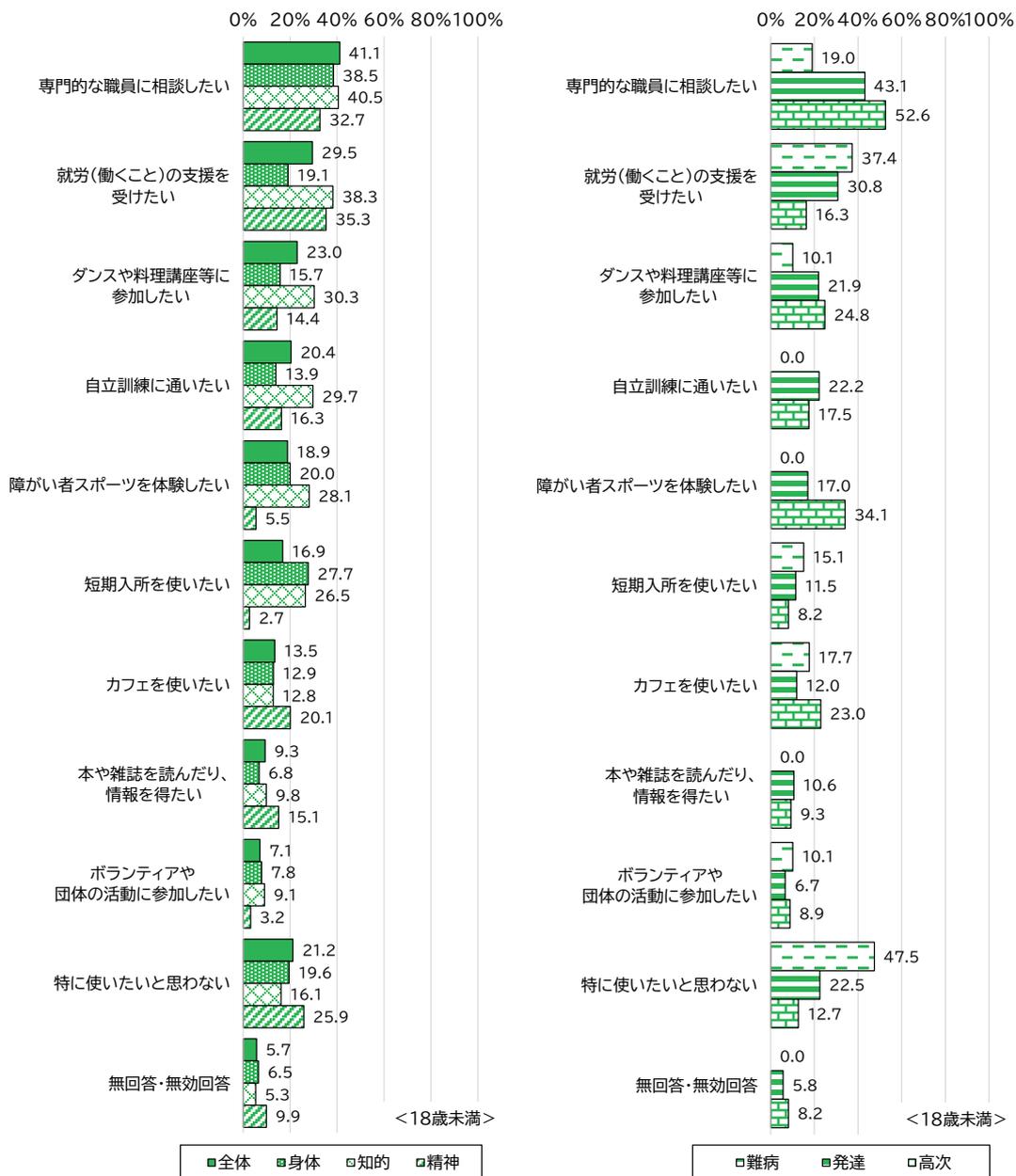


18歳未満の方全体では、「専門的な職員に相談したい」の回答が41.1%と最も高く、次いで「就労(働くこと)の支援を受けたい」の回答が29.5%、「ダンスや料理講座等に参加したい」の回答が23.0%となっている。なお、「特に使いたいと思わない」の回答は21.2%となっている。

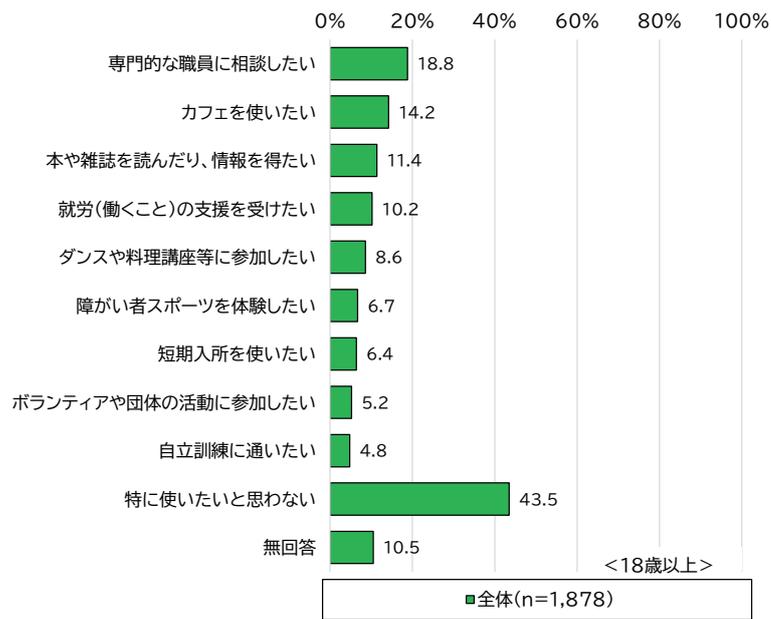
障がい種別に見ると、[高次]において「専門的な職員に相談したい」、「障がい者スポーツを体験したい」の回答が、[身体]において「短期入所を使いたい」の回答が全体と比較して高くなっている。なお、「特に使いたいと思わない」の回答は、全体と比較して[難病]において高くなっている。

【18歳未満 問44\_1】「さぼーとぴあ」では、下に書かれているようなことができます。あなたは、次のうち、どれを使いたいですか。(複数回答)

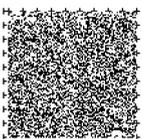
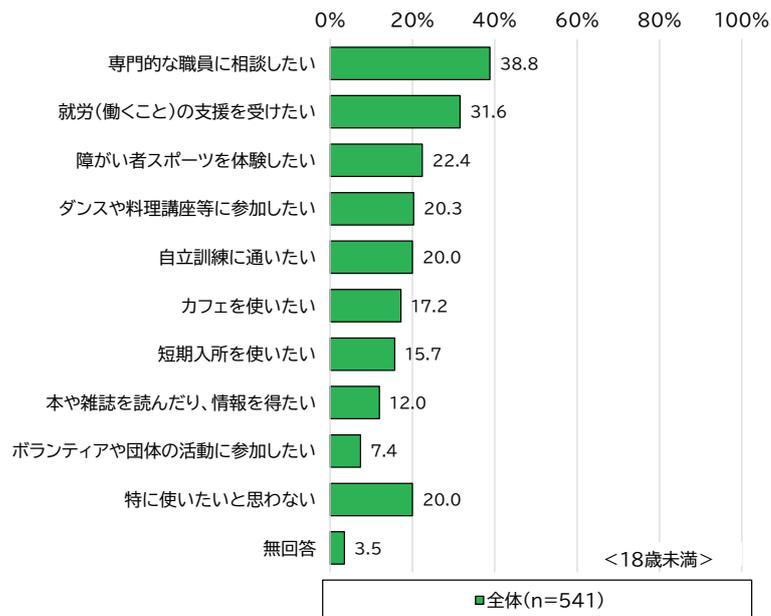
図表 3-174 さぼーとぴあの利用意向(18歳未満)



図表 3-175 参考:前回調査結果 さぼーとぴあの利用意向(18歳以上)<sup>66</sup>



図表 3-176 参考:前回調査結果 さぼーとぴあの利用意向(18歳未満)



<sup>66</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)

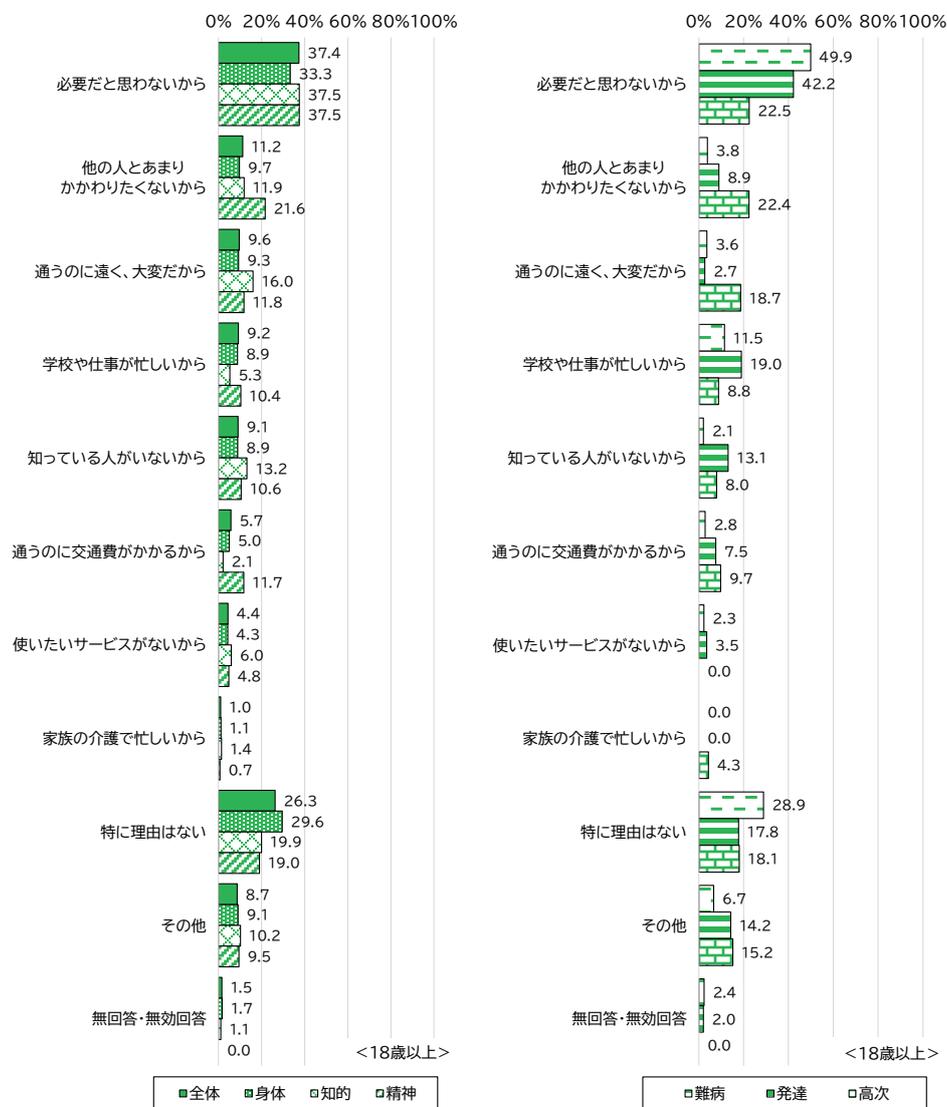
## ウ さぼーとぴあをを使いたいと思わない理由

さぼーとぴあを使いたいと思わない理由について、18歳以上の方全体では、「必要だと思わないから」の回答が最も高く37.4%、次いで「特に理由はない」の回答が26.3%となっている。一方で、「他の人とあまりかかわりたくないから」の回答が11.2%、「通うのに遠く、大変だから」の回答が9.6%、「学校や仕事が忙しいから」の回答が9.2%となっている。

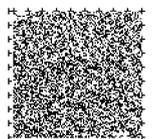
障がい種別に見ると、「必要だと思わないから」の回答は、全体と比較して[難病]において高く、[高次]において低くなっている。[精神]、[高次]において「他の人とあまりかかわりたくないから」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問42\_2】使いたいと思わない理由は何ですか。(複数回答)

図表 3-177 さぼーとぴあを使いたいと思わない理由(18歳以上)<sup>67</sup>



<sup>67</sup> さぼーとぴあの利用意向について、「特に使いたいと思わない」と回答した方のみ集計対象。(18歳未満も同様)

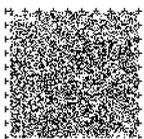
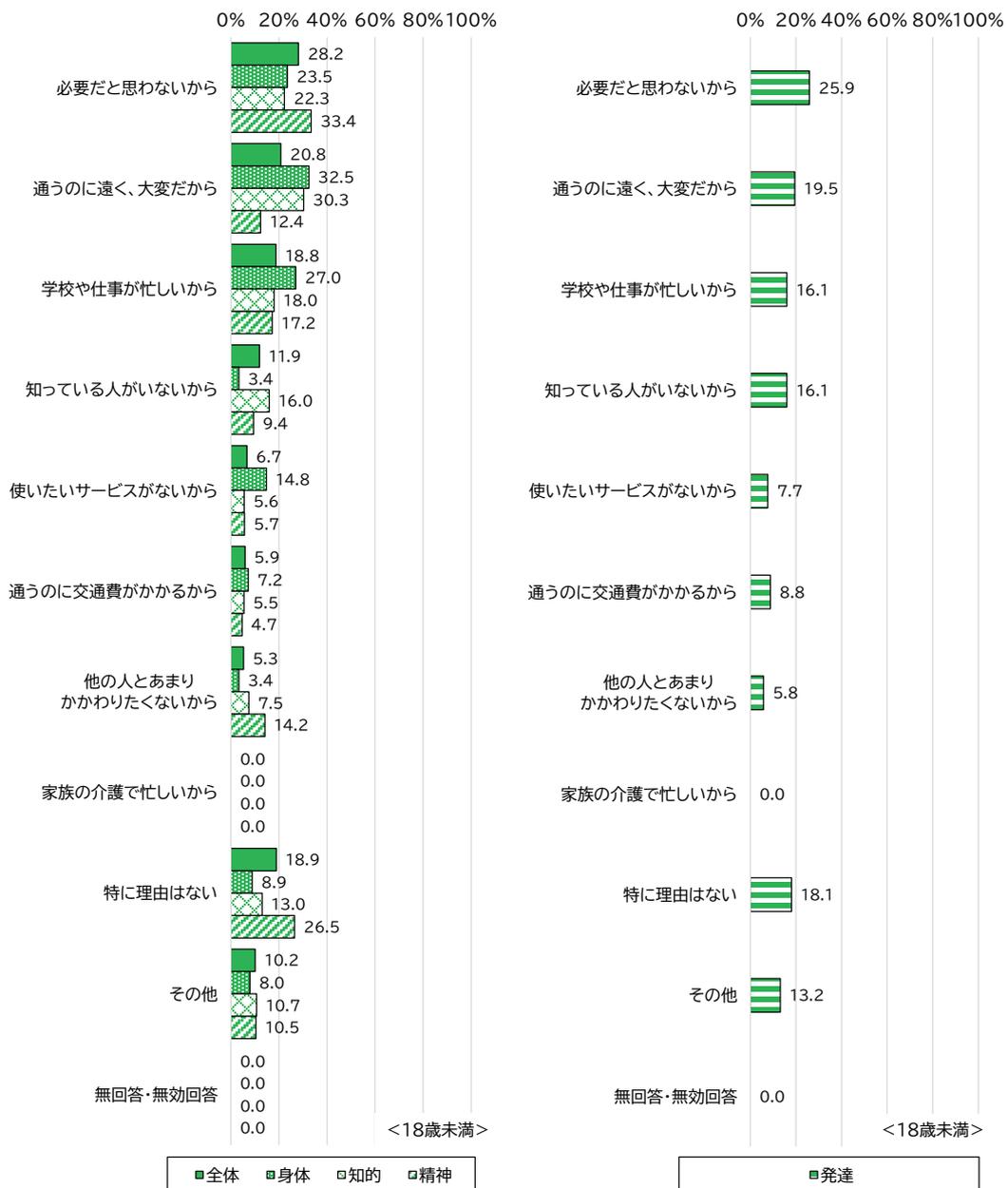


18歳未満の方全体では、「必要だと思わないから」の回答が28.2%、「特に理由はない」の回答が18.9%となっている。一方で「通うのに遠く、大変だから」の回答が20.8%、「学校や仕事が忙しいから」の回答が18.8%、「知っている人がいないから」の回答が11.9%となっている。

障がい種別に見ると、[身体]において「通うのに遠く、大変だから」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問44\_2】使いたいと思わない理由は何ですか。(複数回答)

図表 3-178 さぼーとぴあを使いたいと思わない理由(18歳未満)<sup>68</sup>



<sup>68</sup> [難病]、[高次]においては、集計対象件数が10件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため掲載を省略した。

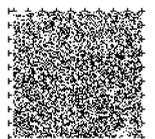
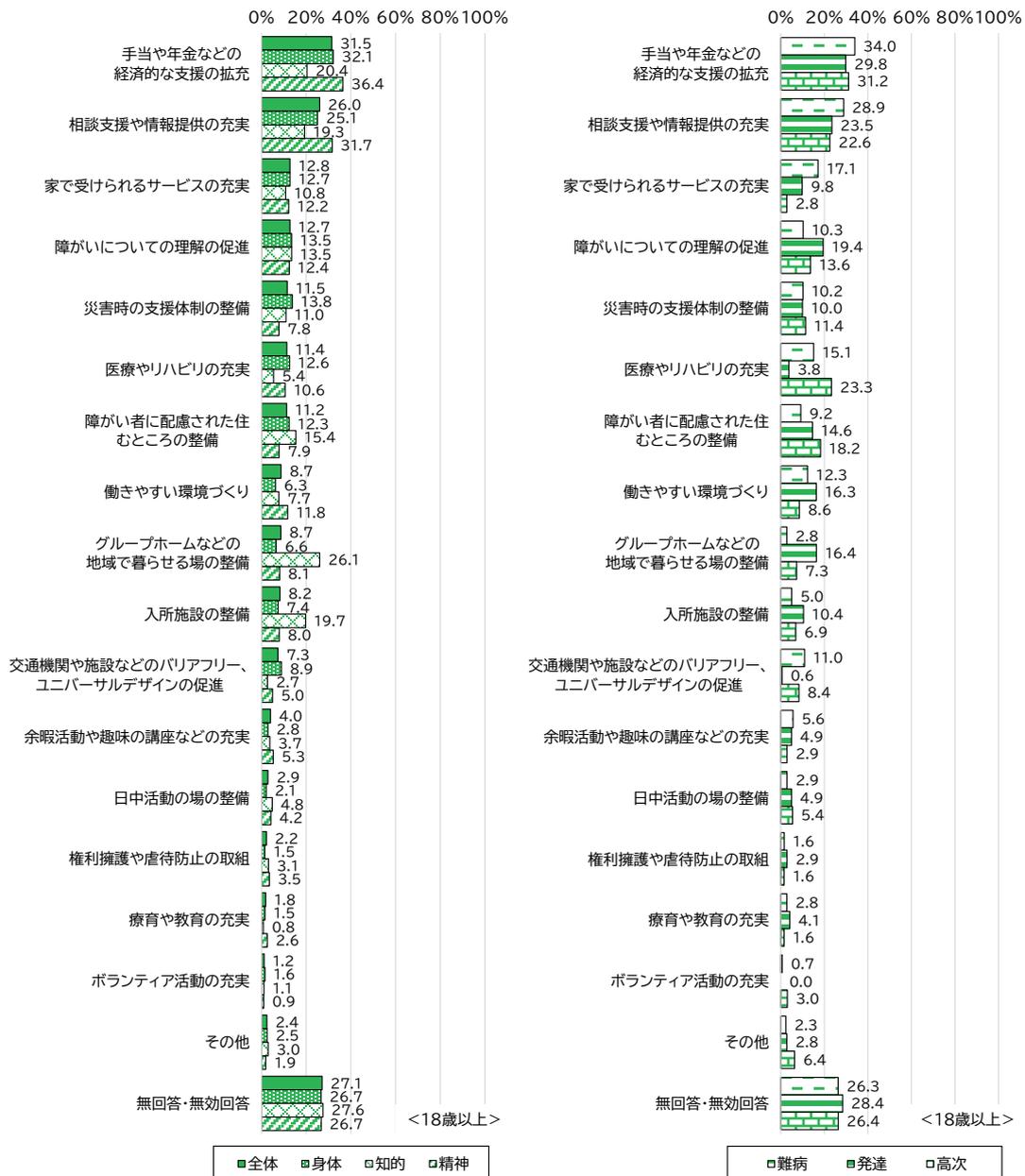
## 工 今後充実を希望する障がい施策

今後充実を希望する障がい施策について、18歳以上の方全体では、「手当や年金などの経済的な支援の拡充」の回答が31.5%と最も高く、「相談支援や情報提供の充実」の回答が26.0%、「家で受けられるサービスの充実」が12.8%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「医療やリハビリの充実」の回答が、[知的]において「グループホームなどの地域で暮らせる場の整備」、「入所施設の整備」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問43】 今後、大田区が障がい者への取組を進めていくために、あなたは、特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(3つまで回答)

図表 3-179 今後充実を希望する障がい施策(18歳以上)

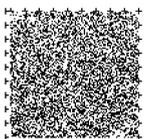
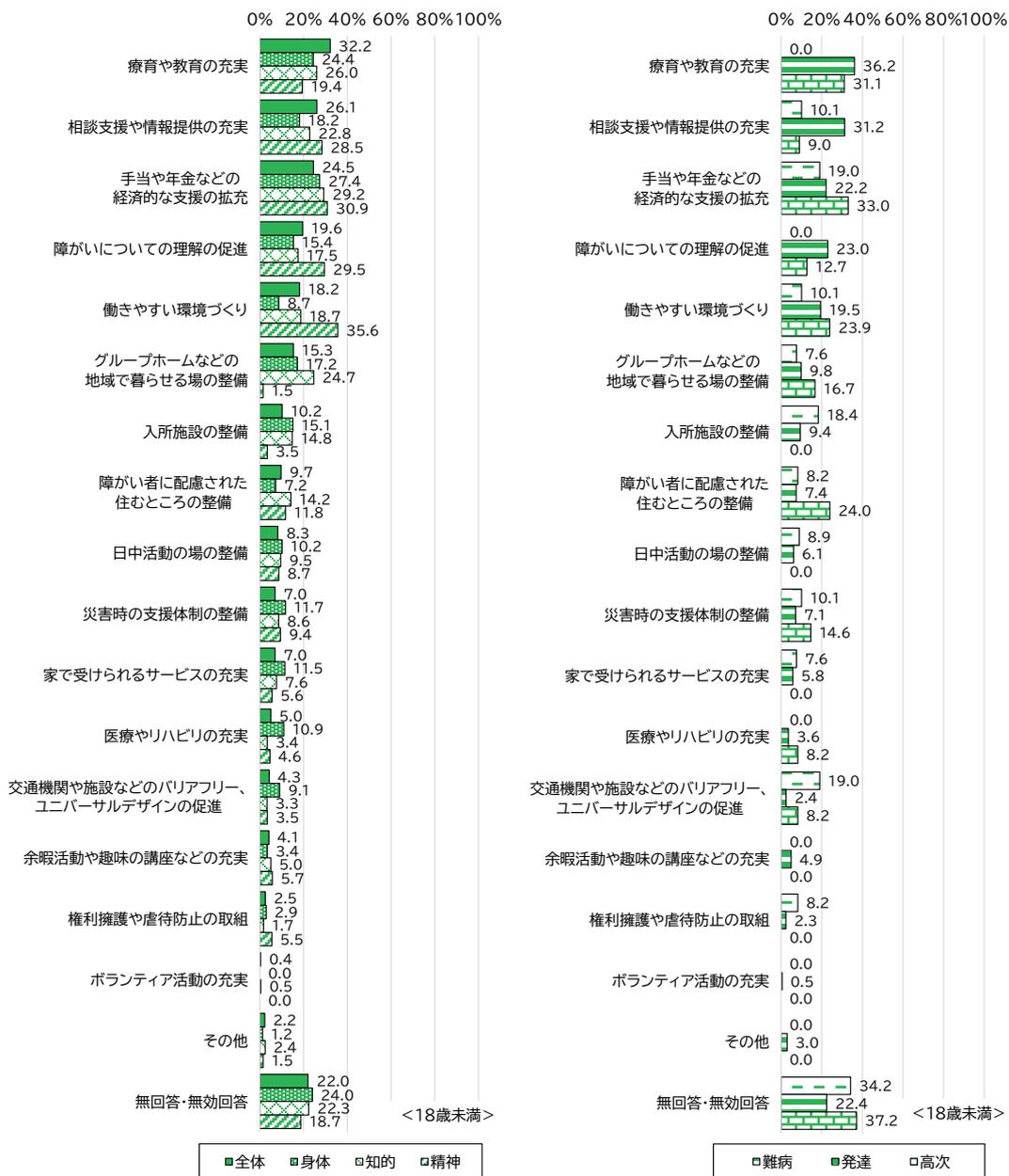


18歳未満の方全体では、「療育や教育の充実」の回答が32.2%と最も高く、次いで「相談支援や情報提供の充実」の回答が26.1%、「手当や年金などの経済的な支援の拡充」の回答が24.5%となっている。

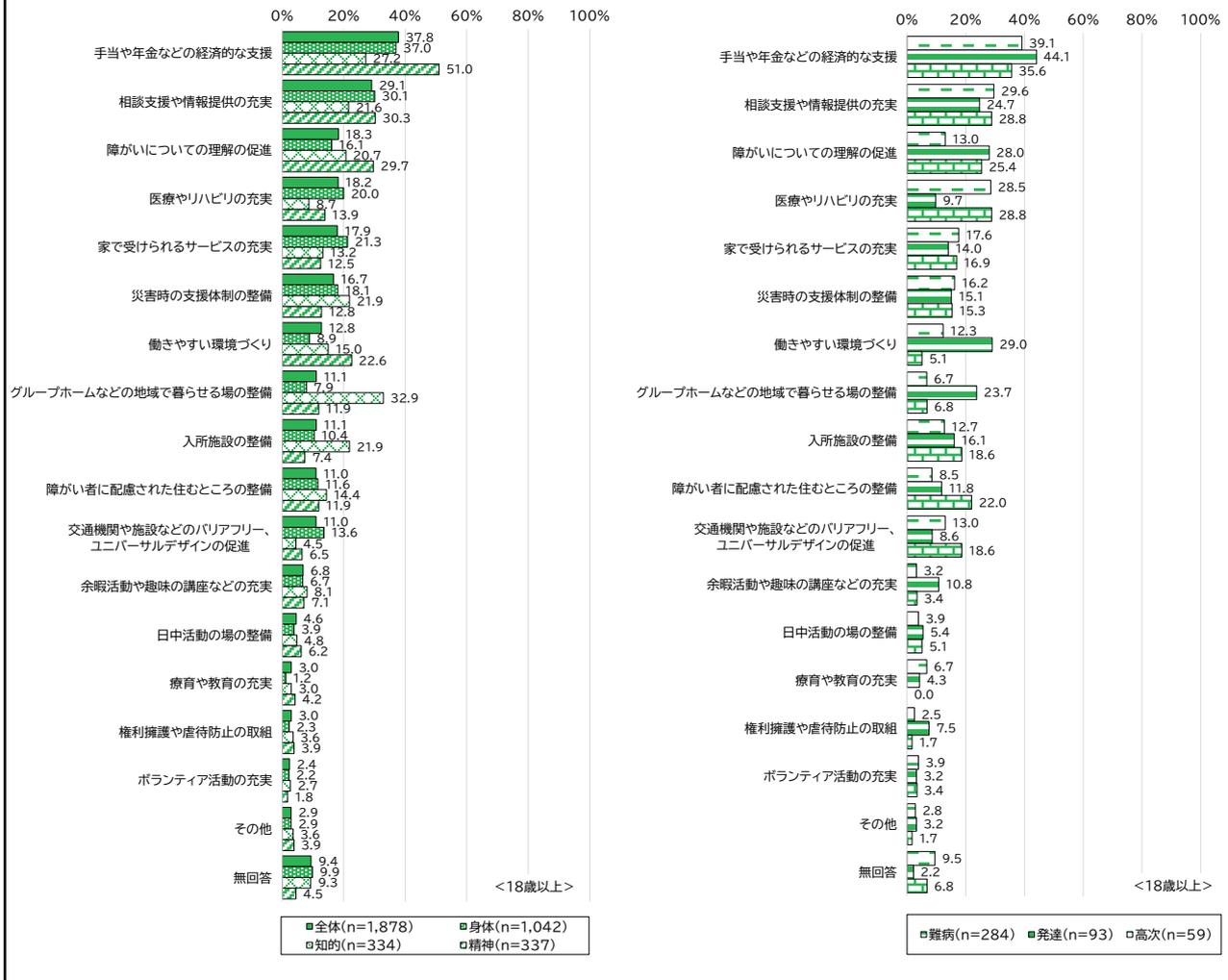
障がい種別に見ると、[精神]において「働きやすい環境づくり」の回答が、[高次]において「障がい者に配慮された住むところの整備」の回答が、[難病]において「交通機関や施設などのバリアフリー、ユニバーサルデザインの促進」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問45】 今後、大田区が障がい者への取組を進めていくために、あなたは、特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(3つまで回答)

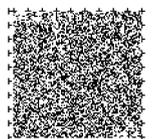
図表 3-180 今後充実を希望する障がい施策(18歳未満)



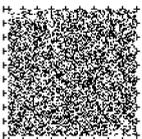
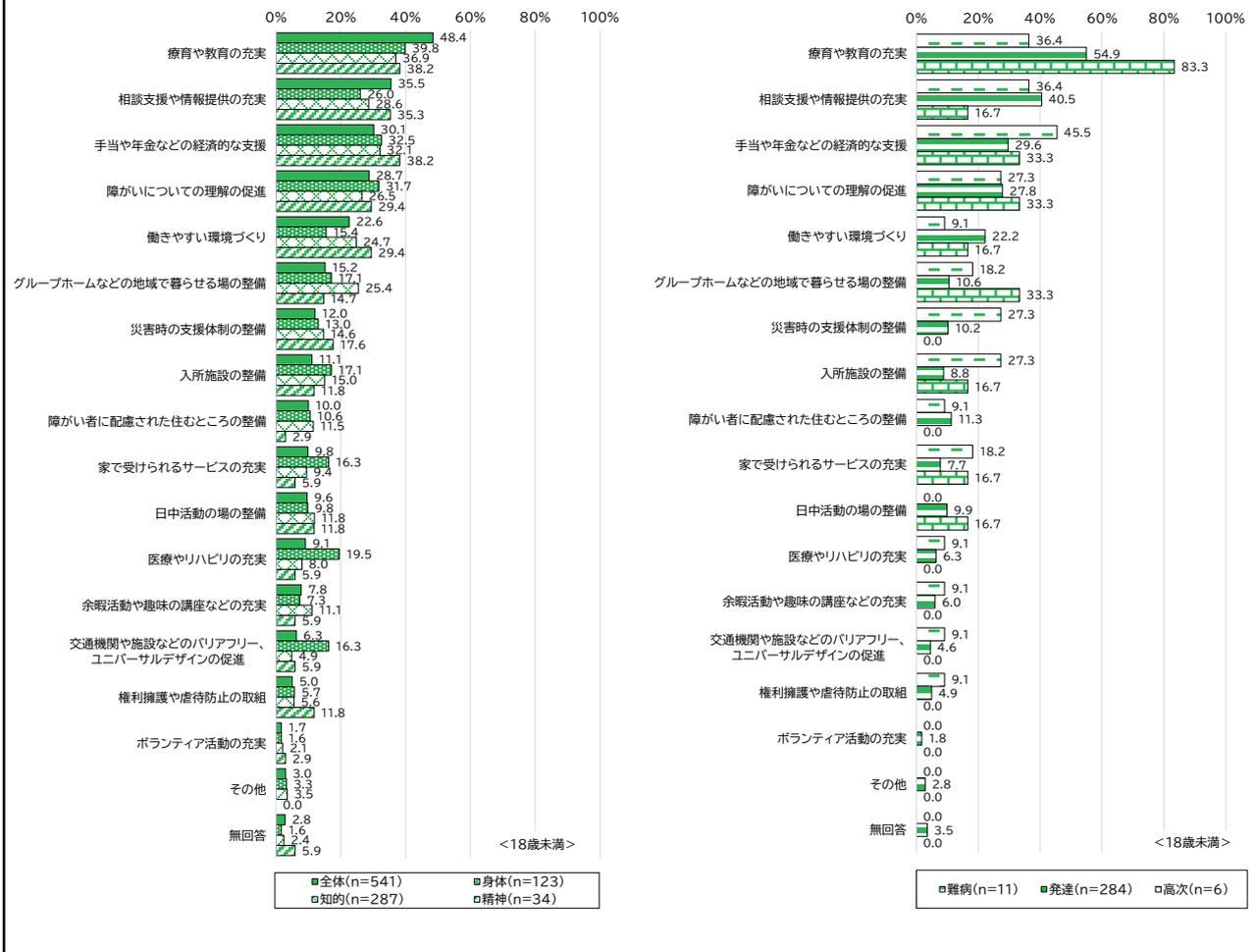
図表 3-181 参考:前回調査結果 今後充実を希望する障がい施策(18歳以上)<sup>69</sup>



<sup>69</sup> 前回調査結果は、居住地域及び年齢層によりウェイトバックを行っていないため、今回調査結果と厳密には比較する事ができない点に留意が必要である。また、前回調査と今回調査で、設問文及び選択肢の文言が一部異なっている設問があることにも留意が必要である。(18歳未満も同様)



図表 3-182 参考: 前回調査結果 今後充実を希望する障がい施策(18歳未満)



## オ 区に充実してほしい施策(自由記述)

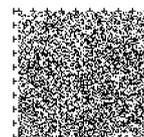
充実してほしい施策について自由記述で尋ねたところ、18 歳以上においては449件の意見について24の大カテゴリが形成された。このうち件数が多いものとしては、「サービスについて」が74件、「バリアフリーについて」が65件、「経済的支援について」が41件、「相談支援の充実について」が35件、「障がい等の理解促進について」が25件となっている。

【18 歳以上 問 44】 区に充実してほしい施策について、ご自由にご意見をお書きください。  
(文章による回答)<sup>70</sup>

図表 3-183 区に充実してほしい施策(18歳以上、大カテゴリ)

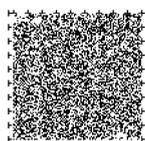
大カテゴリ	件数
サービスについて	74
バリアフリーについて	65
経済的支援について	41
相談支援の充実について	35
障がいへの理解促進について	25
医療費について	20
各種手続きについて	20
情報発信の充実について	19
福祉人材について	19
居住支援について	18
アンケートについて	16
親亡き後について	16
社会参加・社会活動について	14
働きやすい職場や仕事について	14
補装具支援について	12
行政機関の充実について	11
交通費支援について	10
医療・健康について	5
成年後見制度について	4
災害時対応の充実について	3
計画策定について	3
教育について	2
コロナ対策支援について	2
権利擁護について	1
総件数	449

<sup>70</sup> 18 歳以上調査票の本設問では、388 名から自由記述回答を得た。個々の回答について意味内容のまとめりごとに意見を抽出し、572 件の意見を抽出した。このうち、「特にない」といった回答や抽象度が高く内容が設問への回答となっていないもの、区の施策への要望ではないもの等 123 件を除外し、計 449 件を対象として整理を行い、意味内容の類似性に基づき 24 の大カテゴリを形成した。

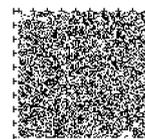


図表 3-184 区に充実してほしい施策(18歳以上、小カテゴリ)

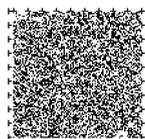
大カテゴリ	小カテゴリ	件数
サービスについて		74
	グループホームの充実	11
	ショートステイの充実	9
	就労支援の充実	8
	施設入所の充実	6
	障がい特性・重度に配慮したサービスの充実	6
	家族のケアの充実	4
	緊急時のサービスの充実	4
	事業所の立地の利便性	3
	サービス提供時間の柔軟性	3
	入浴サービスの充実	3
	居宅介護の充実	3
	公平なサービスの提供	2
	本人の意思に基づく適切なサービスの提供	2
	訪問系サービスの充実	1
	自傷他害・自殺リスクから保護するシェルターの設置	1
	サービス受給手続きの簡素化	1
	行政区域をまたいだサービスの提供	1
	サービス提供事業所の監査	1
	一人暮らし支援の充実	1
	日中活動系サービスの充実	1
	自立支援の充実	1
	工賃の増額	1
手話通訳の増加	1	
バリアフリーについて		65
	道路・歩道の整備(段差、白線、信号機等)	29
	使いやすいトイレの整備	8
	エスカレーター・エレベーターの充実	6
	バリアフリーを意識したまちづくり	5
	視覚情報の充実	4
	公共施設のバリアフリー化推進	3
	駅・駅周辺のバリアフリー化推進	3
	バリアフリー化工事・改修への補助	2
	公共交通機関のバリアフリー化	2
	耳マークのわかりやすい場所への表示	1
	買い物の配送サービスの充実	1
	障がい者であることを示すキーホルダー・ストラップの配布	1
	経済的支援について	
金銭的支援の拡充		16
障害年金・手当の増額		13
障害年金・手当の支給要件の緩和		7
税制の優遇(減税、相続税軽減等)		3
生活保護費の増額		1
自立し就労することにより年金・手当が減額になり手取りが減少する		1
相談支援の充実について		35
	身近で気軽に相談できること	12
	相談員の育成	4
	障がい者の高齢化・重度化の不安	4
	テーマごとの専門相談員(DV/ハラスメント、経済支援、就労)の配置	3
	困りごとを具体的に解決できること	2
	SNS やオンライン相談の設置・充実	2



	ひきこもり相談の充実	2
	必要な人をサービスにつなぐこと	2
	当事者同士の相談・情報交換	1
	民生委員・児童委員の活動の充実	1
	訪問相談の実施	1
	さぽーとびあと事業所の連携	1
<b>障がいへの理解促進について</b>		<b>25</b>
	様々な障がいやその特性の理解の促進	13
	障がいを理由とする差別の解消	3
	障がい者がいることを理解した自転車の運転	3
	障がいのある人とない人の相互理解の促進	2
	手話や点字の学習の場の設置	2
	学校教員の理解促進	1
	家族の理解促進	1
<b>医療費について</b>		<b>20</b>
	医療費の自己負担額の軽減	12
	医療費助成の対象拡大	3
	医療的ケアのための機器等への助成	2
	現行の医療費助成の継続	2
	入院費の助成の充実	1
<b>各種手続きについて</b>		<b>20</b>
	手続き(手帳、年金、補装具等)の簡素化	15
	サービス受給情報等のデジタル化の推進	3
	難病手帳の創設	1
	障害認定可能な医師の増加	1
<b>情報発信の充実について</b>		<b>19</b>
	施設・サービス情報のわかりやすい発信・提供	12
	障がい特性を踏まえたわかりやすい情報発信・情報提供	7
<b>福祉人材について</b>		<b>19</b>
	人材育成	10
	介助者の障がい理解の促進	4
	福祉人材への給与・手当の充実	2
	人材確保	2
	事業所の労働環境の改善	1
<b>居住支援について</b>		<b>18</b>
	公営住宅への入居支援	8
	障がい者が入居できる住居の充実	7
	物件情報のわかりやすい提供	1
	一人暮らしできる住宅の支援	1
	住宅手当の支給	1
<b>アンケートについて</b>		<b>16</b>
	設問が多い・用語が不明等により回答が困難	4
	調査対象者の見直しの必要性	4
	定期的な調査実施の必要性	3
	Web アンケートが答えにくい	3
	サービスや制度についての案内の同封を希望	1
	送らないでほしい	1
<b>親亡き後について</b>		<b>16</b>
	親亡き後のためのグループホームの充実	5
	親亡き後の住居・施設の確保	4
	親亡き後の不安一般	3
	親亡き後の訪問系サービスの充実	2
	親亡き後の経済的支援の充実	2



<b>社会参加・社会活動について</b>	<b>14</b>
趣味・余暇活動が出来る施設の充実	5
障がい者向けの各種教室の充実	4
イベントやお祭りへの参加	2
ボランティア活動の充実	2
障がい者向けの趣味・余暇活動の充実	1
<b>働きやすい職場や仕事について</b>	<b>14</b>
柔軟に働ける(時間、休み、場所等)仕事の充実	6
障がい者雇用の充実	4
職場の障がい理解の促進	3
公務員試験の障がい者枠の拡充	1
<b>補装具支援について</b>	<b>12</b>
補聴器等の手当・助成の充実	6
申請手続きの迅速化・簡素化	2
車椅子の専門業者の充実	1
用具のレンタル制度の充実	1
補助具の充実	1
視覚障がい者の iPad やスマホの購入補助	1
<b>行政機関の充実について</b>	<b>11</b>
窓口の開設時間延長・土日窓口の設置	5
職員の対応や説明のわかりやすさの改善	4
地域庁舎の職員数の増加	1
障がい者への無料での機器貸与	1
<b>交通費支援について</b>	<b>10</b>
タクシー券の配布	4
電車・バスの運賃助成の充実	4
交通費支援	1
ガソリン券の交付	1
<b>医療・健康について</b>	<b>5</b>
医療体制の充実	2
リハビリ支援の充実	2
精神科デイケアの充実	1
<b>成年後見制度について</b>	<b>4</b>
成年後見人の質の向上・統一	2
成年後見制度の利便性向上	1
成年後見人の変更を可能にする	1
<b>災害時対応の充実について</b>	<b>3</b>
災害時のわかりやすい情報発信	2
災害時の医療提供の仕組みづくり	1
<b>計画策定について</b>	<b>3</b>
公助よりも自助という考えの棄却	1
当事者参加による課題への対応策の検討	1
サービスメニューを充実させることではなく、利用者がより良い生活や就労をすることが目的であるという理解	1
<b>教育について</b>	<b>2</b>
インクルーシブ教育の推進	2
<b>コロナ対策支援について</b>	<b>2</b>
ワクチン予約の支援	1
マスク着用の困難	1
<b>権利擁護について</b>	<b>1</b>
大田区の児童相談所の開設	1



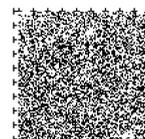
充実してほしい施策について自由記述で尋ねたところ、18 歳未満においては349件の意見について 20 の大カテゴリが形成された。このうち件数が多いものとしては、「サービスについて」が 93 件、「教育・療育について」が90件となっている。

【18 歳未満 問 46】 区に充実してほしい施策について、ご自由にご意見をお書きください。  
 (文章による回答)<sup>71</sup>

図表 3-185 区に充実してほしい施策(18歳未満、大カテゴリ)

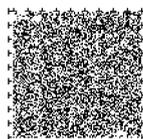
大カテゴリ	件数
サービスについて	93
教育・療育について	90
経済的支援について	36
福祉人材の確保・育成について	18
情報発信の充実について	15
バリアフリー・ユニバーサルデザインについて	12
遊び場・習い事の間について	11
障がいへの理解促進について	8
相談体制・窓口について	8
親亡き後について	8
行政等の手続きについて	7
地域づくり・政策について	6
アンケートについて	5
窓口等における対応について	4
医療について	4
労働環境について	4
災害時対応の充実について	4
障がいの診断について	4
社会参加・社会活動について	4
その他	8
総件数	349

<sup>71</sup> 18 歳未満調査票の本設問では、224名から自由記述回答を得た。個々の回答について意味内容のまとまりごとに意見を抽出し、361件の意見を抽出した。このうち、「特になし」といった回答や抽象度が高く内容が設問への回答となっていないもの、区の施策への要望ではないもの等 12 件を除外し、計349 件を対象として整理を行い、意味内容の類似性に基づき 20 の大カテゴリを形成した。

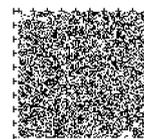


図表 3-186 区に充実してほしい施策(18歳未満、小カテゴリ)

大カテゴリ	小カテゴリ	件数
サービスについて		93
	放課後等デイサービスの拡充・増設・質の向上	23
	ショートステイの充実	9
	移動支援の充実	8
	グループホームの充実	7
	事業所の受け入れ拡大・増設・質の向上	6
	施設入所支援の充実	5
	障がいの特性に合わせたサービスの提供	5
	親が働ける環境の整備	4
	就労支援の充実	4
	家族支援の充実	3
	居場所の充実	3
	さぼーとぴあの増設	3
	緊急一時保護の充実	3
	医療的ケアが必要な障がい児の受け入れ充実	2
	サービス一般の充実	2
	余暇活動の支援	1
	年齢で途切れない支援	1
	サービスの一元化	1
	「居宅訪問型保育」事業の導入	1
	一人暮らし支援の充実	1
	支援施設の名称の配慮	1
教育・療育について		90
	インクルーシブ教育の推進	14
	療育機関の増設・開設時間の拡充	12
	特別支援学級の増設・充実	10
	障がい特性や能力に応じた教育	7
	通学時の支援や送迎の充実	7
	サポートルームの充実	7
	障がい児の受け入れ体制整備	4
	ギフテッド教育の推進	4
	療育サービスの質の向上	3
	進路の充実と進路支援	3
	制度の狭間の子ども向けの施策	3
	盲・ろう学校の充実	3
	学校における合理的配慮の提供	2
	支援学校における医療的ケア児支援の充実	2
	学校における支援手続き	2
	療育を含めた教育の充実	2
	年齢で途切れない支援	1
	フリースクールの充実	1
	サポートルームとつばさ教室の同時利用	1
	アニマルセラピーの導入	1
障がい児の受け入れ体制整備	1	
経済的支援について		36
	経済的支援の充実	20
	サービス自己負担額の軽減	15
	日常生活用具給付の年齢制限の見直し	1



福祉人材の確保・育成について	18
教員への教育	8
学校における教員等の増員	6
福祉人材の増員	2
福祉人材の育成	2
情報発信の充実について	15
行政サービスに関する情報の充実	15
バリアフリー・ユニバーサルデザインについて	12
バリアフリーの充実	8
視覚障がい児に対するサービスの充実	3
ユニバーサルデザインの普及	1
遊び場・習い事の場について	11
スポーツ・習い事ができる場の充実	8
遊び場の充実	3
障がいへの理解促進について	8
障がいへの理解の促進・教育	8
相談体制・窓口について	8
相談体制・窓口の充実	6
手続き窓口の一元化	2
親亡き後について	8
親亡き後の支援の充実	7
親亡き後の暮らしに関する情報の充実	1
行政等の手続きについて	7
手続きの簡素化	4
窓口の一元化	2
区役所と地域庁舎間の手続きの一元化	1
地域づくり・政策について	6
全ての人が生き生きと生活できる社会づくり	3
障がい者に寄り添った政策	2
障がい者と健常者が共生できる地域づくり	1
アンケートについて	5
設問が多い・用語が不明等により回答が困難	2
定期的な調査実施の必要性	1
告知していない本人に配慮した送付の必要性	1
アンケートに基づく改正状況について	1
窓口等における対応について	4
施設や役所における丁寧な対応	4
医療について	4
障がいがあっても受け入れて診てくれる病院の不足	4
労働環境について	4
サービス提供事業所の労働環境の改善	4
災害時対応の充実について	4
災害時の福祉避難所の充実	4
障がいの診断について	4
早期発見の促進	3
学習障がい(LD)の診断の充実	1
社会活動・社会参加について	4
障がいの有無に関わらず参加できるイベントの充実	2
情報交換ができるコミュニティについて	2
その他	8



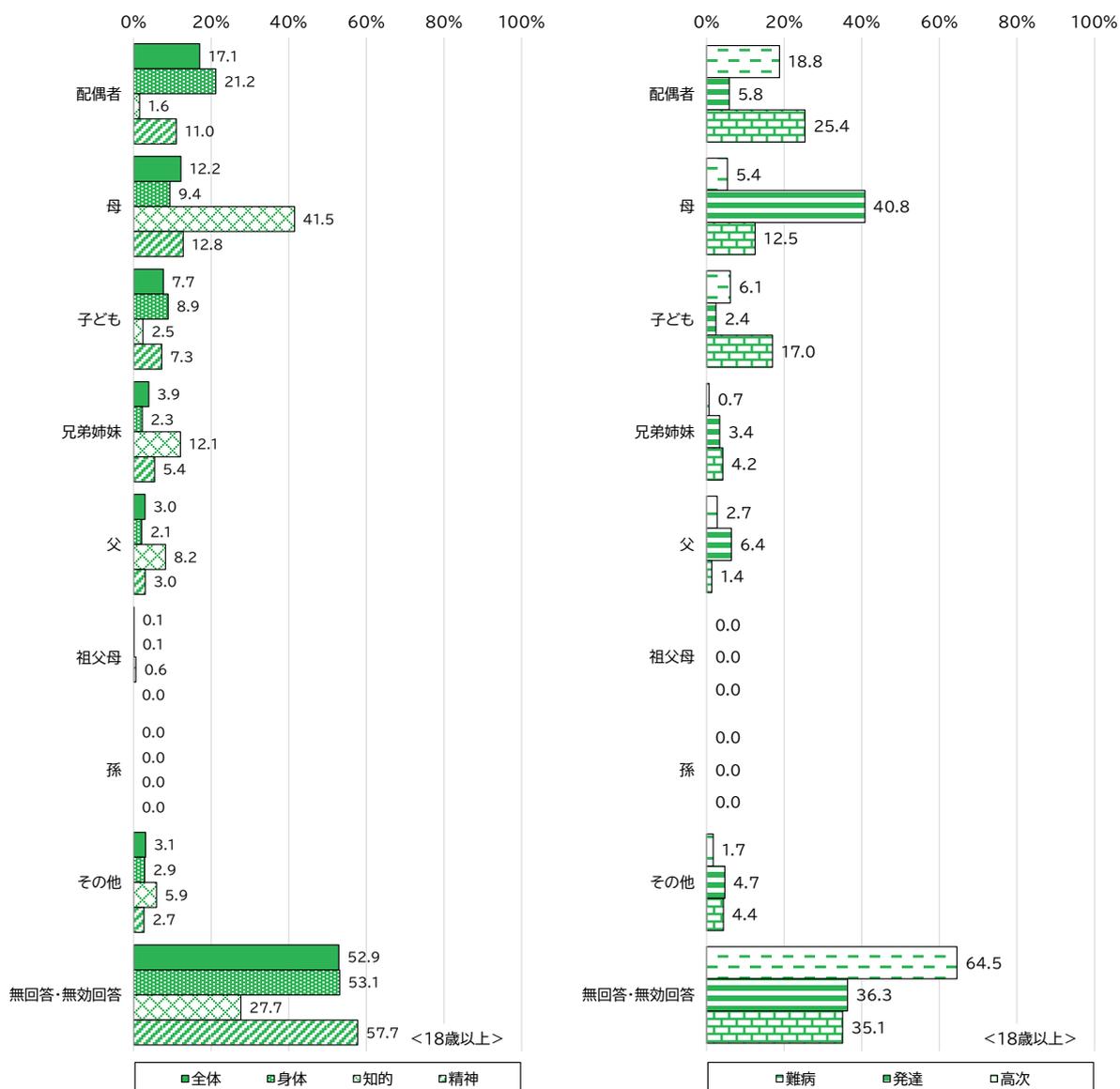
### (13) 家族のニーズについて<sup>72</sup>

#### ア 障がいのある方本人からみた回答者の続柄

障がいのある方本人からみた回答者の続柄について、18歳以上の方全体では、「配偶者」の回答が17.1%、「母」の回答が12.2%、「子ども」の回答が7.7%となっている。

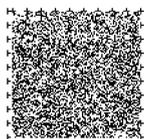
【18歳以上 問45】 障がいのある方本人(あて名の方)からみて、あなたの続柄は何ですか。(単一回答)

図表 3-187 障がいのある方本人からみた回答者の続柄(18歳以上)<sup>73</sup>



<sup>72</sup> 「家族のニーズについて」の設問は、本人のケアを主に担われている家族に回答していただいた。また、同居家族がない場合や、家族が本人のケアを担っていない場合は回答を求めておらず、そのような場合は「無回答」として集計を行っている。

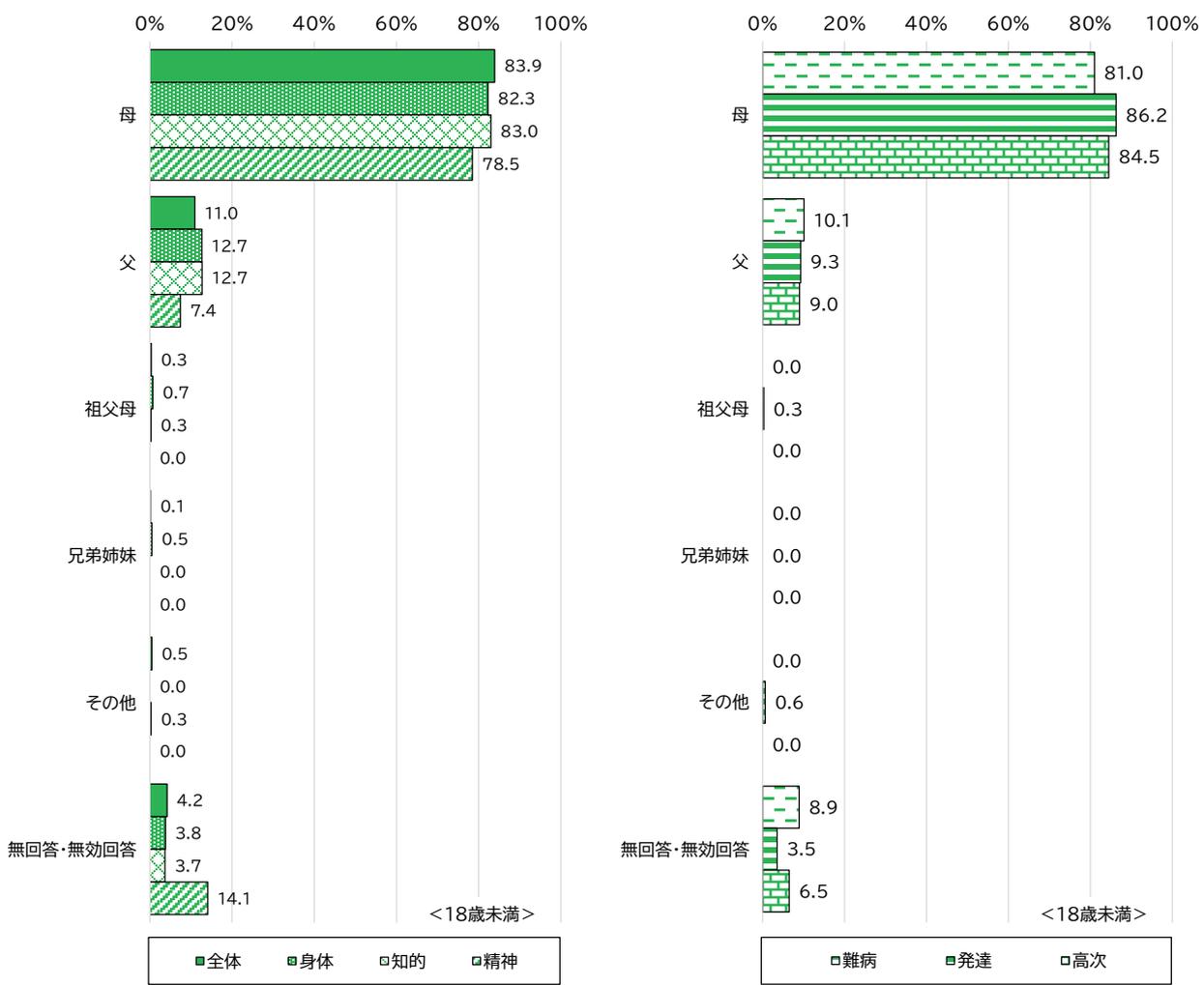
<sup>73</sup> 本設問は単一回答の設問であるが、表記の都合上、複数回答と同様のグラフを用いて集計結果を示している。



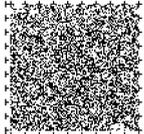
18 歳未満の方全体では、「母」の回答が 83.9%と最も高く、次いで「父」の回答が 11.0%となっている。

【18 歳未満 問 47】 障がいのある方本人(宛名の方)からみて、あなたの続柄は何ですか。(単一回答)

図表 3-188 障がいのある方本人からみた回答者の続柄(18 歳未満)<sup>74</sup>



<sup>74</sup> 本設問は単一回答の設問であるが、表記の都合上、複数回答と同様のグラフを用いて集計結果を示している。



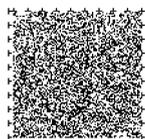
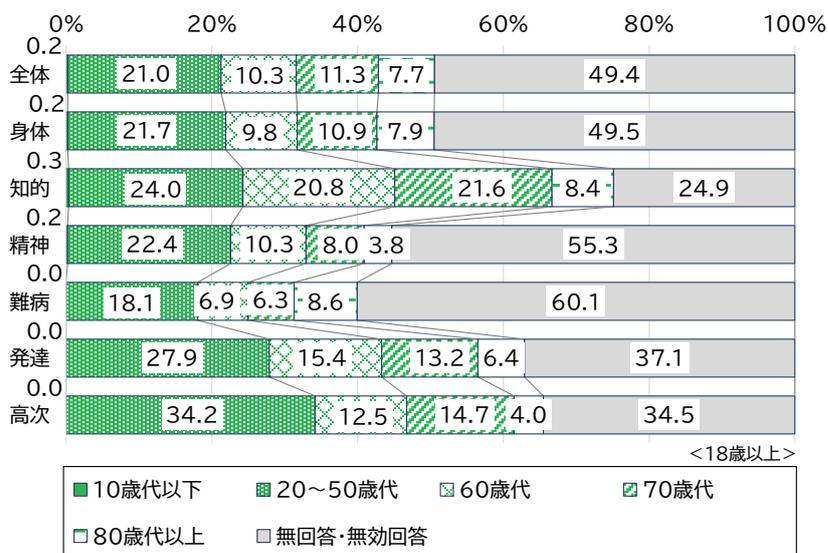
## イ ケアを担われている方の年代

ケアを担われている方の年代について、18 歳以上の方全体では、「20～50歳代」の方の回答が21.0%、「70歳代」と「80歳代以上」を合わせた回答が19.0%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「20～50歳代」の方の回答が、[知的]において「70歳代」と「80歳代以上」を合わせた回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問46】 (1)あなたの年代を教えてください。また、(2)あなたの就労・就学状況を教えてください。  
(1,2ともに単一回答)

図表 3-189 ケアを担われている方の年代(18歳以上)<sup>75</sup>

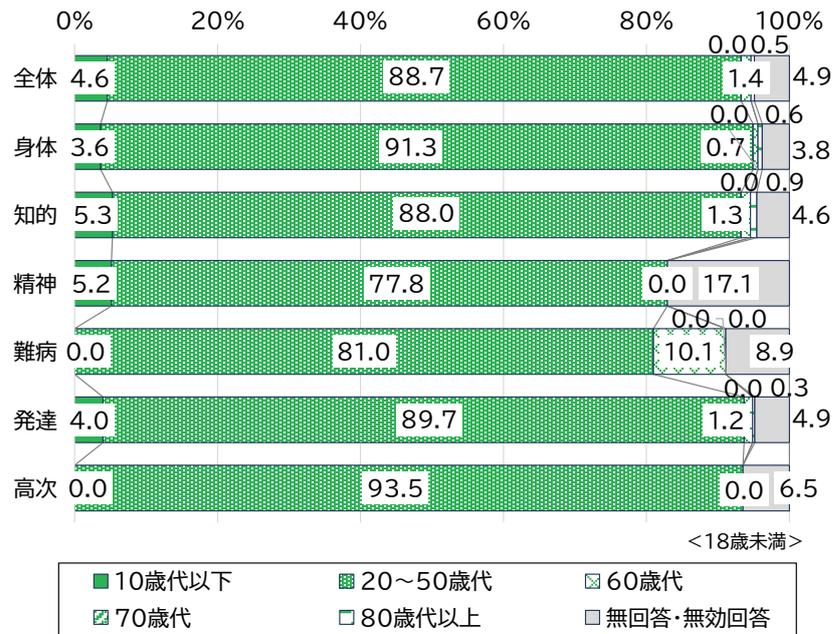


<sup>75</sup> 「20～50歳代」の区分について、調査票においては、「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」、「50歳代」に分けて尋ねているが、表記の都合上まとめて記載している。詳細な結果は資料編を参照。

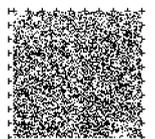
18 歳未満の方全体では、「20～50 歳代」の方の回答が 88.7%と最も高くなっている。また、「10 歳代以下」の方の回答は 4.6%となっている。

【18 歳未満 問 48】 (1)あなたの年代を教えてください。また、(2)あなたの就労・就学状況を教えてください。  
(1,2ともに単一回答)

図表 3-190 ケアを担われている方の年代(18 歳未満)<sup>76</sup>



<sup>76</sup> 「20～50 歳代」の区分について、調査票においては、「20 歳代」、「30 歳代」、「40 歳代」、「50 歳代」に分けて尋ねているが、表記の都合上まとめて記載している。詳細な結果は資料編を参照。なお、[精神]、[高次]においては、「60 歳代」、「70 歳代」、「80 歳代」の回答割合が 0.0%となっている。



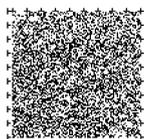
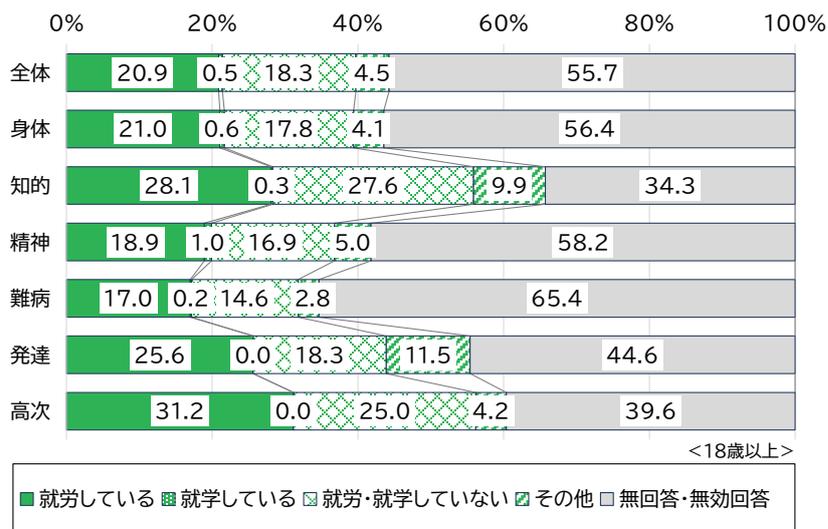
## ウ ケアを担われている方の就労・就学状況

ケアを担われている方の就労・就学状況について、18 歳以上の方全体では、「就労している」の回答が 20.9%、「就労・就学していない」の回答が 18.3%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「就労している」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18 歳以上 問 46】 (1)あなたの年代を教えてください。また、(2)あなたの就労・就学状況を教えてください。  
(1,2ともに単一回答)

図表 3-191 ケアを担われている方の就労・就学状況(18 歳以上)

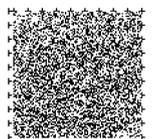
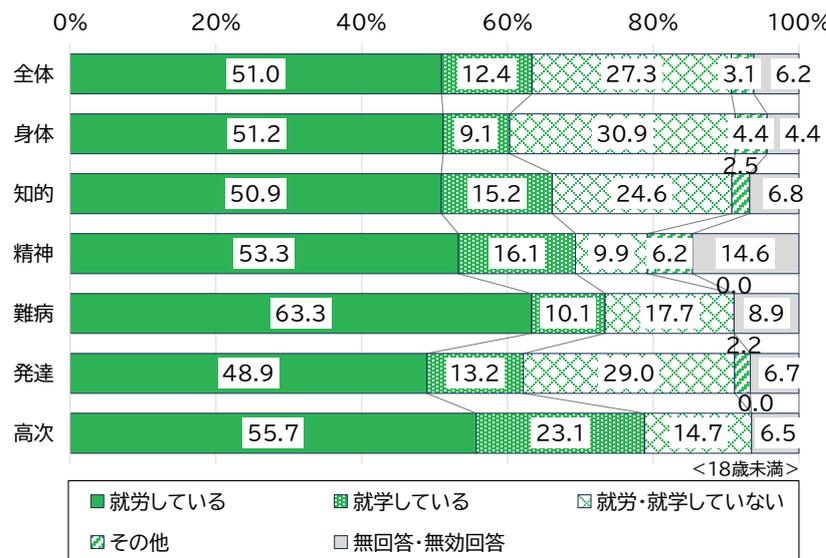


18 歳未満の方全体では、「就労している」の回答が 51.0%と最も高く、次いで「就労・就学していない」の回答が 27.3%、「就学している」の回答が 12.4%となっている。

障がい種別に見ると、[難病]において「就労している」の回答が、[高次]において「就学している」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18 歳未満 問 48】 (1)あなたの年代を教えてください。また、(2)あなたの就労・就学状況を教えてください。  
(1,2ともに単一回答)

図表 3-192 ケアを担われている方の就労・就学状況(18 歳未満)



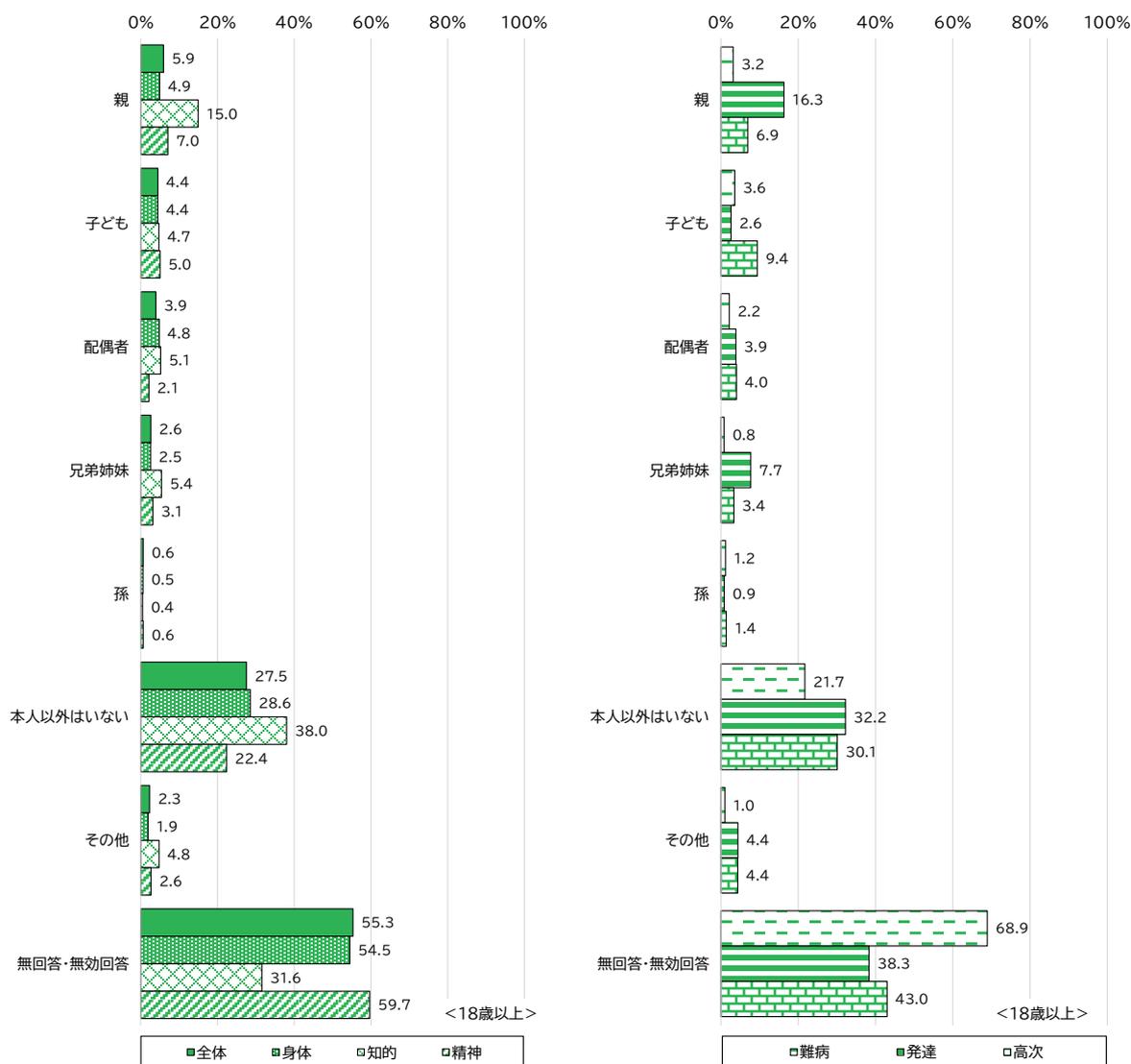
## エ 本人以外に介護や育児等が必要な方

本人以外に介護や育児等が必要な方について、18歳以上の方全体では、「本人以外はいない」の回答が27.5%となっている一方で、本人以外に介護や育児等が必要な方がいると回答した方は17.2%<sup>77</sup>となっている。また、「親」の回答が5.9%、「子ども」の回答が4.4%となっている。

障がい種別に見ると、本人以外に介護や育児等が必要な方がいると回答した方の割合は、[知的]では30.4%、[発達]では29.5%と全体と比較して高くなっている。また、[発達]において「親」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問47】 障がいのある方本人(あて名の方)以外のご家族に、あなた自身がケアにたずさわっている、介護や育児等が必要な方がいらっしゃいますか。その方のあなたから見た続柄をお選びください。(複数回答)

図表 3-193 本人以外に介護や育児等が必要な方(18歳以上)



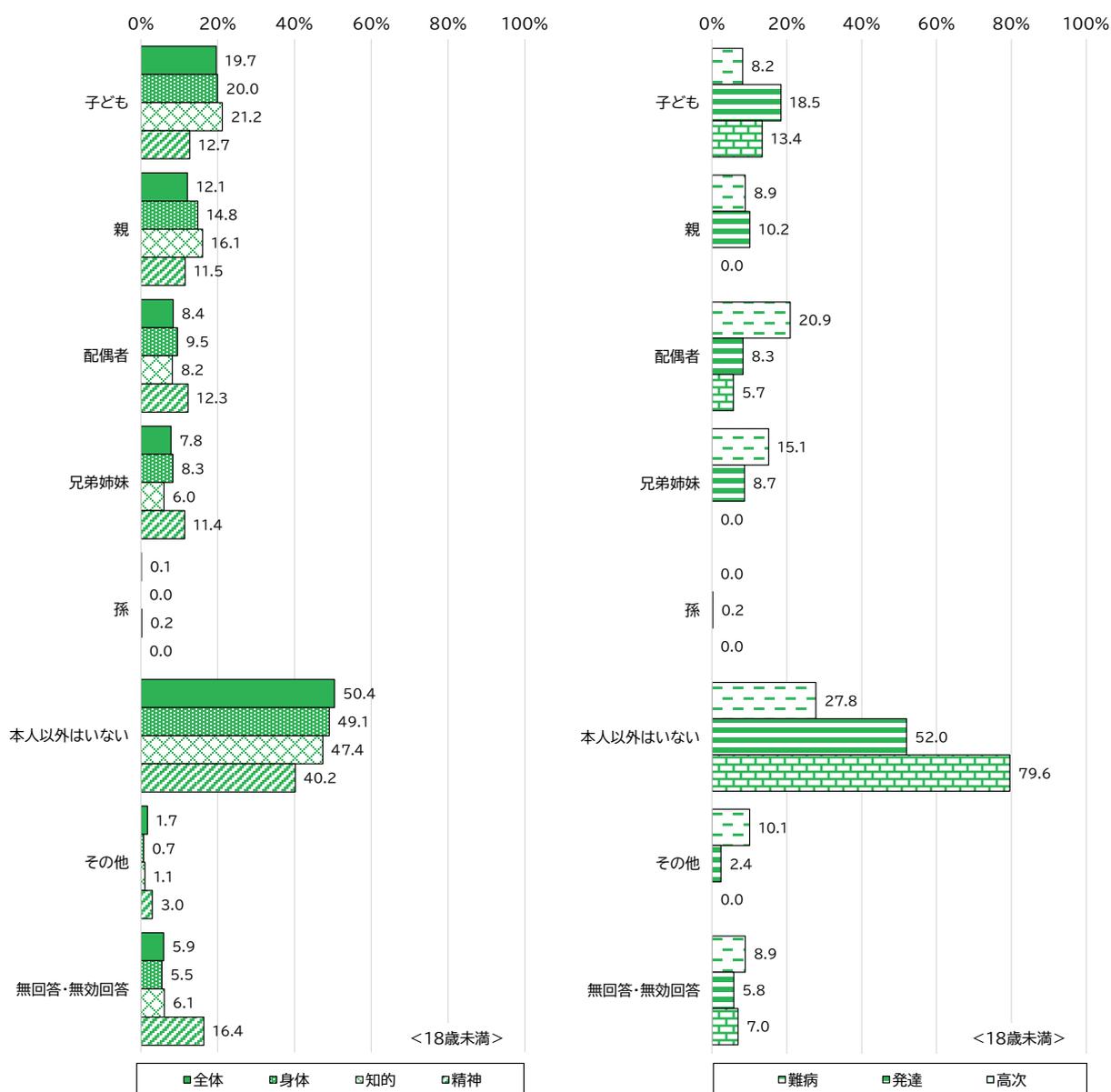
<sup>77</sup> 100%から、「本人以外はいない」の回答(27.5%)と「無回答・無効回答」(55.3%)を除いた割合。(〔知的〕、〔発達〕においても同様に算出)

18歳未満の方全体では、「本人以外はいない」の回答が50.4%と最も高くなっている一方で、本人以外に介護や育児等が必要な方がいると回答した方は43.7%<sup>78</sup>となっている。また、「子ども」の回答が19.7%、「親」の回答が12.1%となっている。

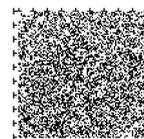
障がい種別に見ると、本人以外に介護や育児等が必要な方がいると回答した方の割合は、[難病]では63.3%と全体と比較して高くなっている。また、[難病]において「配偶者」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問49】 障がいのある方本人(宛名の方)以外のご家族に、あなた自身がケアにたずさわっている、介護や育児等が必要な方がいらっしゃいますか。その方のあなたから見た続柄をお選びください。(複数回答)

図表 3-194 本人以外に介護や育児等が必要な方(18歳未満)



<sup>78</sup> 100%から、「本人以外はいない」の回答(50.4%)と「無回答・無効回答」(5.9%)を除いた割合。  
([難病]においても同様に算出)



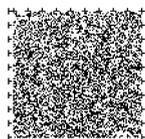
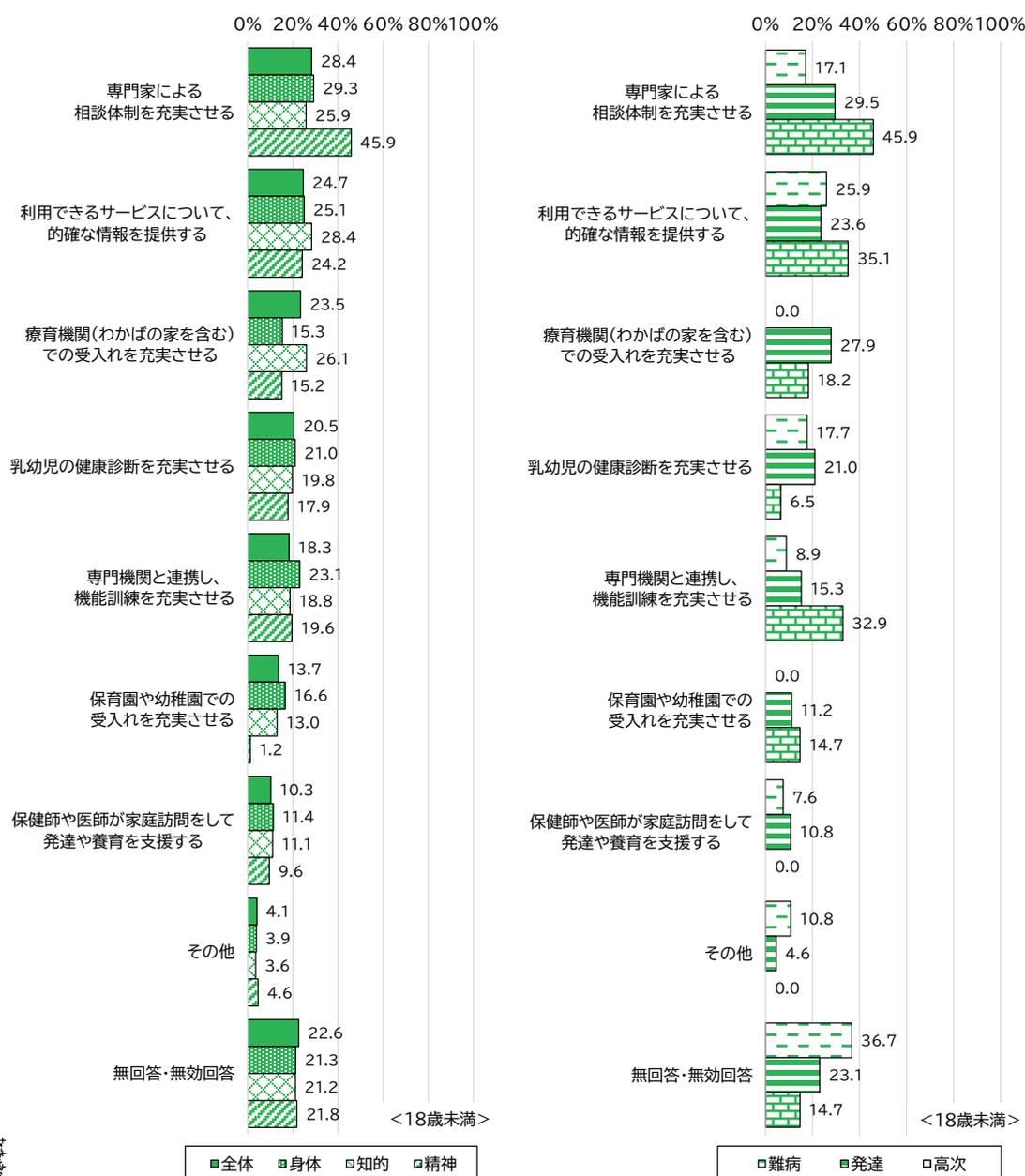
## オ 障がいの早期発見、早期療育のために必要なこと

障がいの早期発見、早期療育のために必要なことについて、18歳未満の方全体では、「専門家による相談体制を充実させる」の回答が28.4%と最も高く、次いで「利用できるサービスについて、的確な情報を提供する」の回答が24.7%、「療育機関(わかばの家を含む)での受入れを充実させる」の回答が23.5%となっている。

障がい種別に見ると、[精神]、[高次]において「専門家による相談体制を充実させる」の回答が、[高次]において「利用できるサービスについて、的確な情報を提供する」、「専門機関と連携し、機能訓練を充実させる」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問50】あなたは、障がいの早期発見、早期療育を充実させるために、特にどのようなことが必要だと思いますか。(2つまで回答)

図表 3-195 障がいの早期発見、早期療育のために必要なこと(18歳未満)



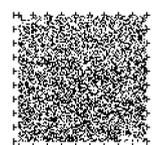
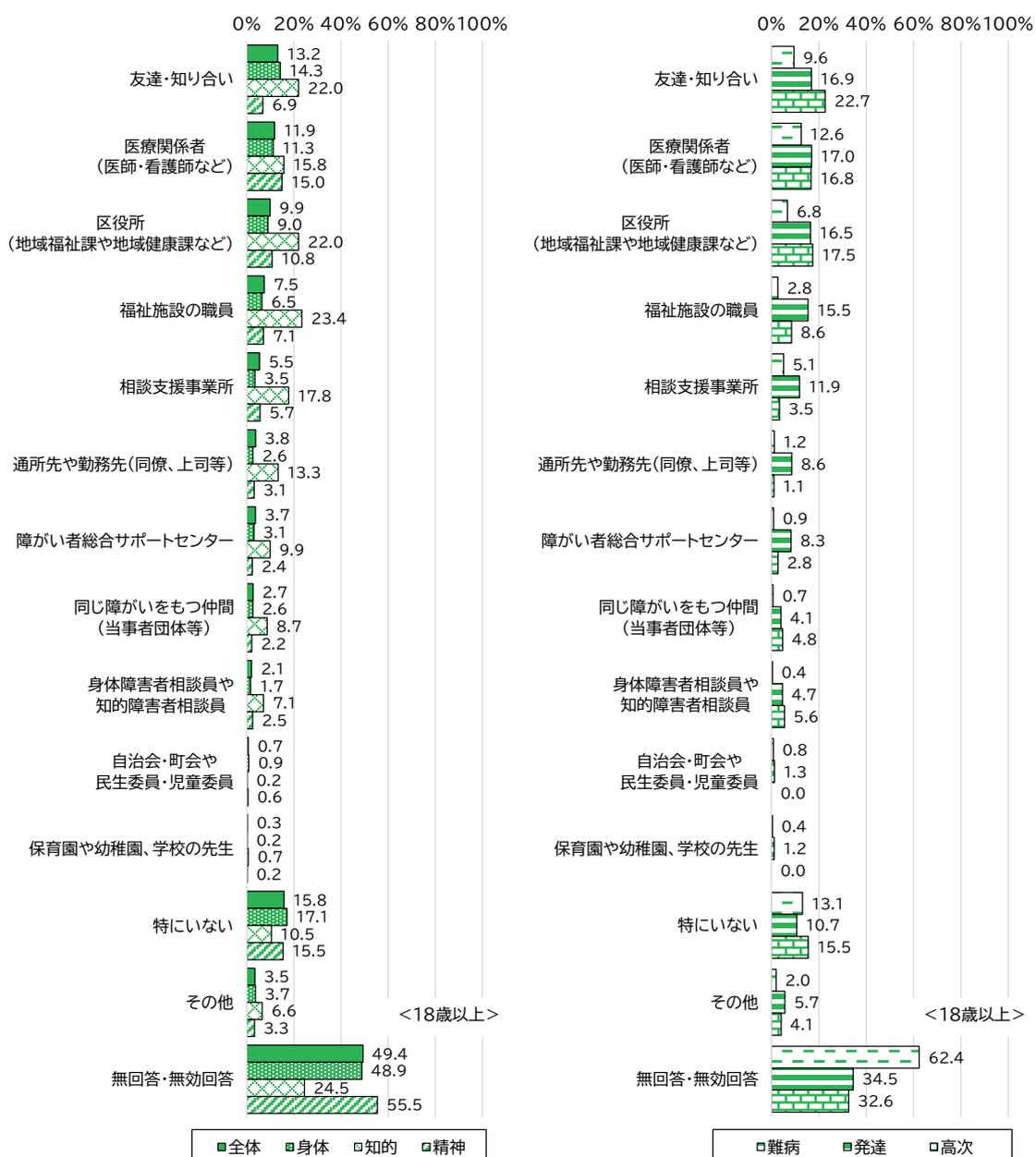
## カ ケアを担われている方の相談相手

ケアを担われている方の相談相手について、18歳以上の方全体では、「特にない」の回答が15.8%と最も高くなっている。一方で、「友達・知り合い」の回答が13.2%、「医療関係者(医師・看護師など)」の回答が11.9%、「区役所(地域福祉課や地域健康課など)」の回答が9.9%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]において「区役所(地域福祉課や地域健康課など)」、「福祉施設の職員」、「相談支援事業所」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問48】 障がいのある方本人に関する悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親戚以外に、誰に相談していますか。(複数回答)

図表 3-196 ケアを担われている方の相談相手(18歳以上)



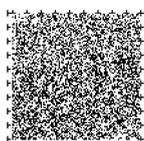
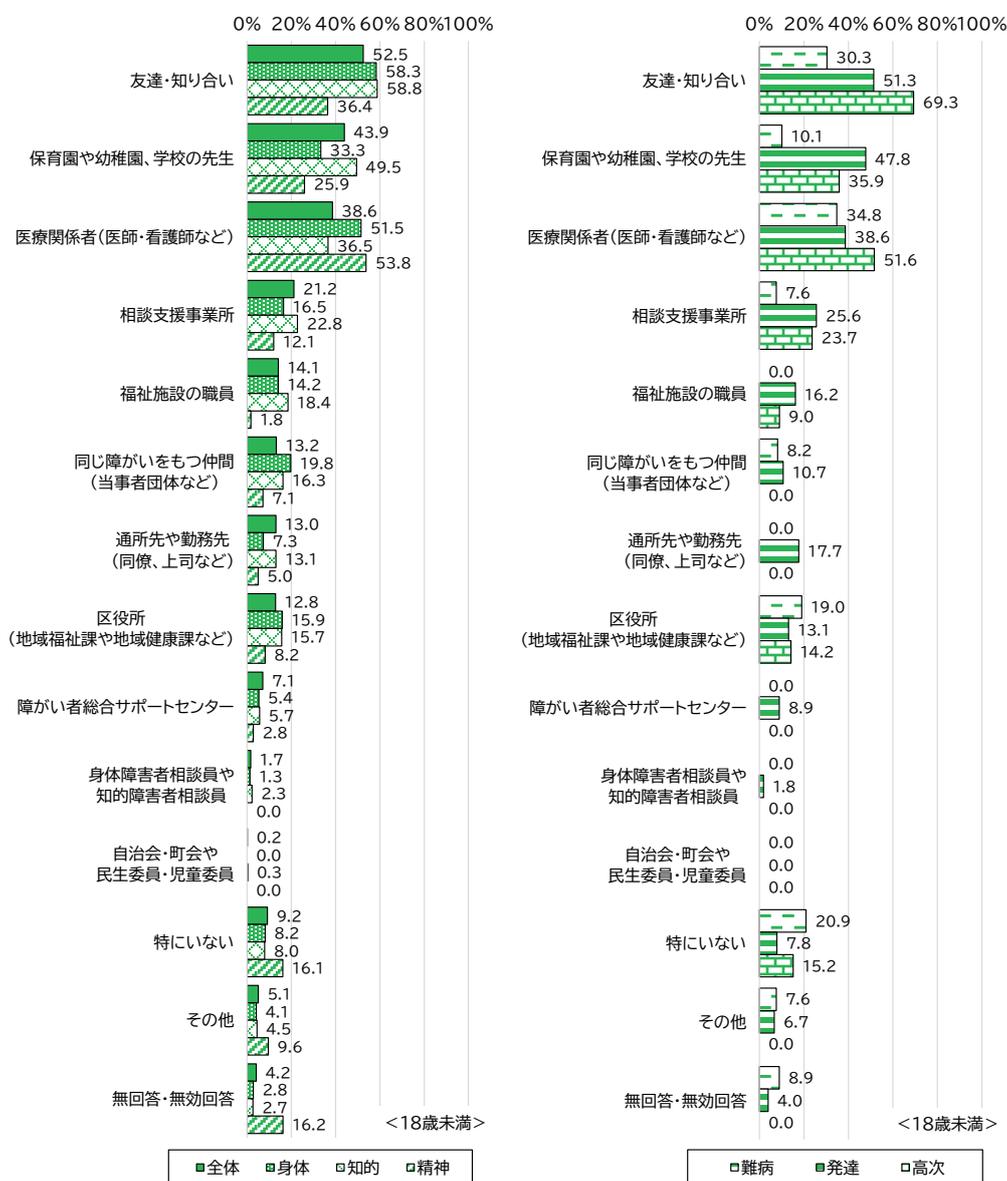
18歳未満の方全体では、「友達・知り合い」の回答が52.5%と最も高く、次いで「保育園や幼稚園、学校の先生」の回答が43.9%、「医療関係者(医師・看護師など)」の回答が38.6%となっている。また、「特にない」の回答は9.2%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「友達・知り合い」の回答が、[身体]、[精神]、[高次]において「医療関係者(医師・看護師など)」の回答が全体と比較して高くなっている。なお、「特にない」の回答は、全体と比較して、[難病]において高くなっている。

また、ケアを担われている方が10歳代以下の方に限って集計を行うと、「友達・知り合い」の回答が41.9%と最も高いが、その割合は全体と比較して低くなっている。また、「特にない」の回答は15.4%となっている。

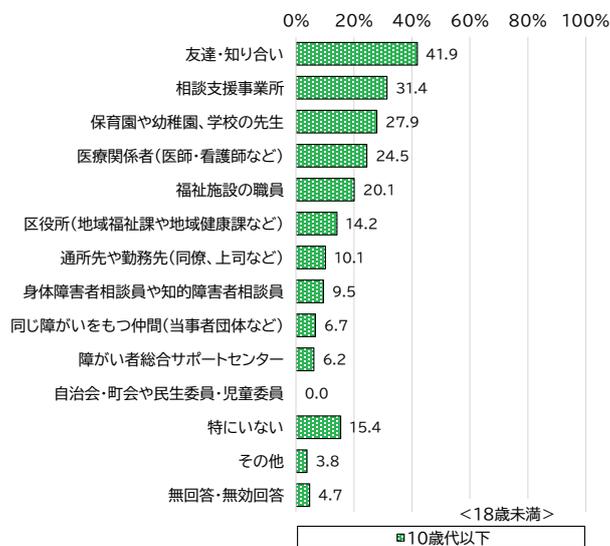
【18歳未満 問51】 障がいのある方本人に関する悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親戚以外に、誰に相談していますか。(複数回答)

図表 3-197 ケアを担われている方の相談相手(18歳未満)

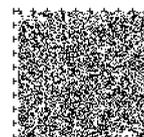


図表 3-198 ケアを担われている方の相談相手

(18歳未満 ケアを担われている方が10歳代以下)<sup>79</sup>



<sup>79</sup> ケアを担っている方の年代について、「10歳代以下」と回答した方のみ集計対象。なお、18歳以上では、集計対象件数が10件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため掲載を省略した。



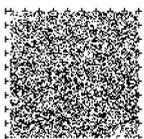
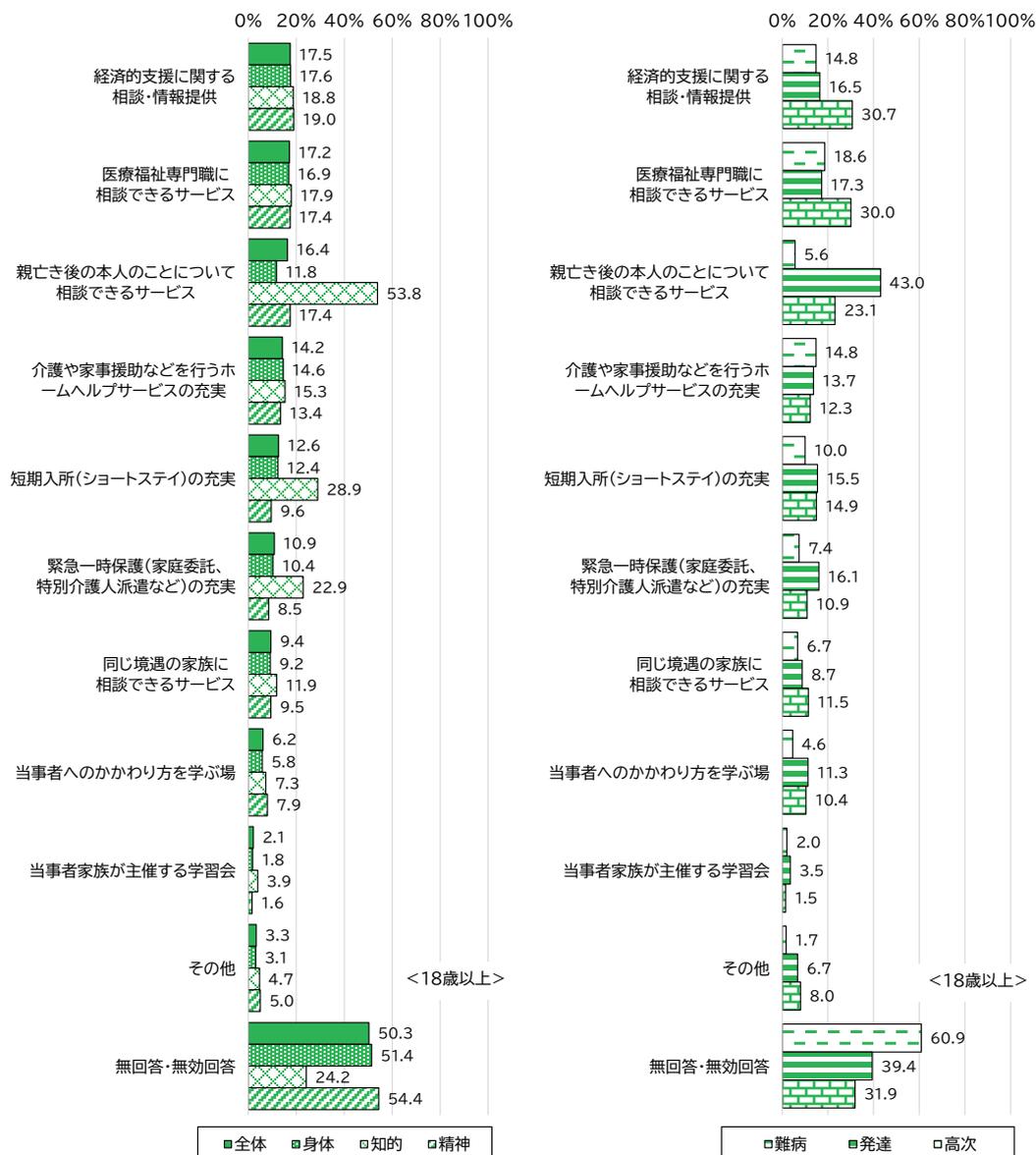
## キ 充実を希望する家族に対する支援

充実を希望する家族に対する支援について、18歳以上の方全体では、「経済的支援に関する相談・情報提供」の回答が17.5%と最も高く、次いで「医療福祉専門職に相談できるサービス」の回答が17.2%、「親亡き後の本人のことにについて相談できるサービス」の回答が16.4%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「経済的支援に関する相談・情報提供」、「医療福祉専門職に相談できるサービス」の回答が、[知的]、[発達]において「親亡き後の本人のことにについて相談できるサービス」の回答が、[知的]において「短期入所(ショートステイ)の充実」、「緊急一時保護(家庭委託、特別介護人派遣など)の充実」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問49】 家族に対する支援サービスとして、どのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(複数回答)

図表 3-199 充実を希望する家族に対する支援(18歳以上)



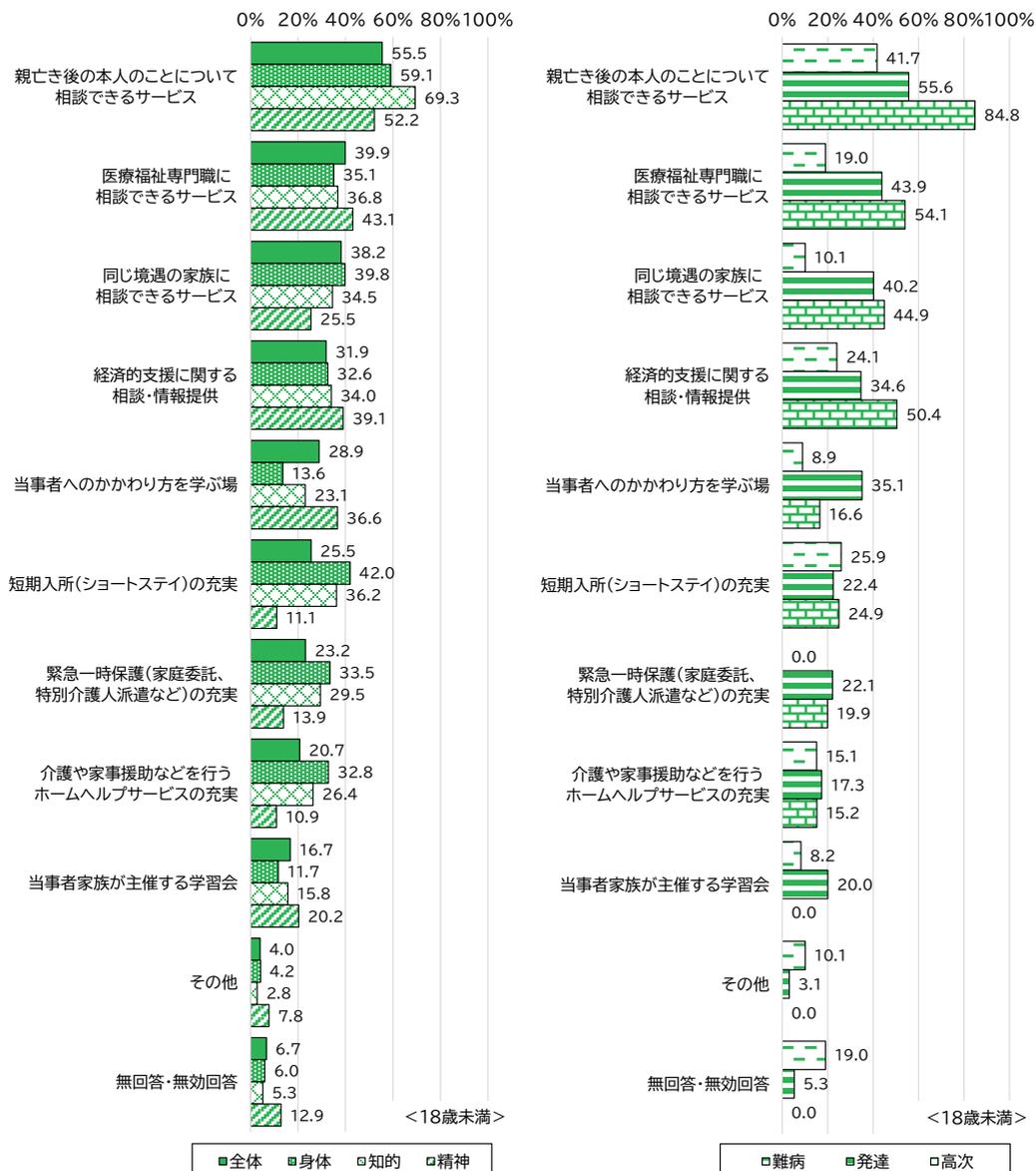
18歳未満の方全体では、「親亡き後の本人のことにについて相談できるサービス」の回答が55.5%と最も高く、次いで「医療福祉専門職に相談できるサービス」の回答が39.9%、「同じ境遇の家族に相談できるサービス」の回答が38.2%となっている。

障がい種別に見ると、[知的]、[高次]において、「親亡き後の本人のことにについて相談できるサービス」の回答が、[高次]において「医療福祉専門職に相談できるサービス」、「経済的支援に関する相談・情報提供」の回答が、[身体]、[知的]において「短期入所(ショートステイ)の充実」の回答が、[身体]において「緊急一時保護(家庭委託、特別介護人派遣など)の充実」、「介護や家事援助などを行うホームヘルプサービスの充実」の回答が全体と比較して高くなっている。

また、ケアを担われている方が10歳代以下の方に限って集計を行うと、「短期入所(ショートステイの充実)」の回答が全体と比較して高くなっている。

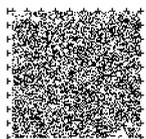
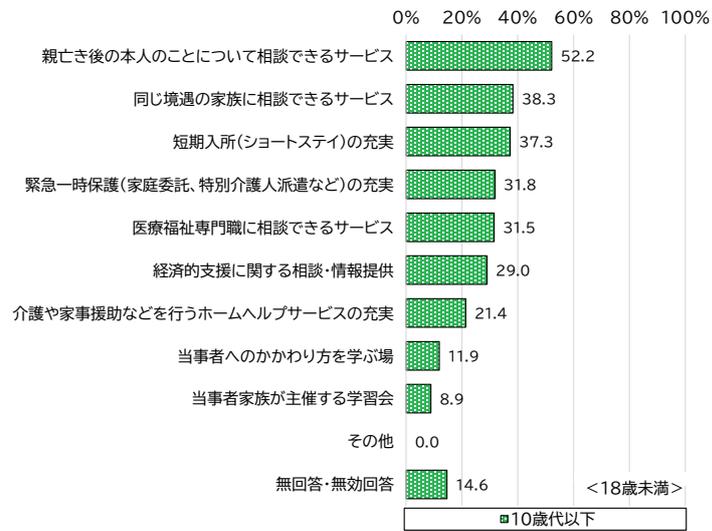
【18歳未満 問52】 家族に対する支援サービスとして、どのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(複数回答)

図表 3-200 充実を希望する家族に対する支援(18歳未満)



図表 3-201 充実を希望する家族に対する支援

(18歳未満 ケアを担われている方が10歳代以下)<sup>80</sup>



<sup>80</sup> ケアを担っている方の年代について、「10歳代以下」と回答した方のみ集計対象。なお、18歳以上では、集計対象件数が10件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため掲載を省略した。